

「昭島市障害者プラン」策定のための アンケート調査報告書

令和 2 年 3 月

昭 島 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的と方法	3
2. 調査結果の分析	4
第2章 18歳以上の方を対象にした調査	13
1. 調査票の回答者	15
2. ご本人について	16
3. 障害の状況について	23
4. 医療や介助の状況について	27
5. 相談や福祉情報について	38
6. 日中活動や仕事について	51
7. スポーツ・運動について	66
8. 住まいについて	70
9. 外出について	76
10. 福祉サービスの利用について	80
11. 権利擁護・障害理解について	94
12. 災害対策について	102
13. 昭島市の障害者施策について	111

第3章 18歳未満の方を対象にした調査・・・・・・・・ 119

1. 調査票の回答者・・・・・・・・	121
2. ご本人について・・・・・・・・	121
3. 障害の状況について・・・・・・・・	124
4. 医療や介助の状況について・・・・・・・・	128
5. 相談や福祉情報について・・・・・・・・	135
6. 日中活動や仕事について・・・・・・・・	148
7. スポーツ・運動について・・・・・・・・	156
8. 保育・教育・療育について・・・・・・・・	160
9. 住まいについて・・・・・・・・	165
10. 外出について・・・・・・・・	169
11. 福祉サービスの利用について・・・・・・・・	172
12. 権利擁護・障害理解について・・・・・・・・	183
13. 災害対策について・・・・・・・・	189
14. 昭島市の障害者施策について・・・・・・・・	194

資料(調査票)・・・・・・・・ 199

第 1 章

調 査 の 概 要

1. 調査の目的と方法

(1) 調査の目的

本調査は、令和2年度に予定されている「昭島市障害者プラン」の策定にあたって、障害のある方の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てることを目的に実施しました。

(2) 調査の対象と方法

①調査の対象

本調査は、昭島市内在住の身体障害者手帳、愛の手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者の中から2,000人を無作為抽出して対象としました。

②調査の方法

本調査は、郵送配布・郵送回収方式で実施しました。

③調査の期間

令和元年11月8日（金）～11月25日（月）

(3) 配付・回収状況

配付数	回収数	白票・無効票	有効回収数	有効回収率
2,000	996	1	995	49.8%

◆ 調査結果の見方について

- ①集計した数値（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。
このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）を全て合計しても、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。
- ②回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- ③表(クロス集計)では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が％（小数点第1位まで）を表示しています。また、「＊」はその項目に対象者がいない場合を表し、「－」はその項目に対象者がおり、回答がない場合を表しています。
- ④回答結果を見やすくするために、グラフや表等で回答のなかった選択肢や無回答など一部の項目を省略している場合があります。
- ⑤障害別の分析では、基本的に全体の傾向とは異なる特徴がある障害について記載しています。

2. 調査結果の分析

(1) 医療受診の支援

～ 医療費助成制度の周知・充実、医療関係者等の障害理解の促進、障害特性に合わせた配慮

- 18 歳以上、18 歳未満ともに、通院したり、訪問診療を受けるなど、医療機関を受診している方が 8 割近くに上っており、障害のある方にとって、医療との関わりが重要であることが見て取れます。
- 医療を受ける際に困ることを見ると、18 歳以上では「治療により症状が改善されない」に次いで、「医療費の負担が大きい」、「症状が正確に伝わらなかったり、治療に関する説明を十分理解できない」が多くなっており、経済的負担の大きさや、医療関係者とのコミュニケーションが大きな課題になっていると考えられます。
- 自立支援医療や難病医療費助成制度などの経済的支援に関する一層の周知を図るとともに、様々な障害に関する医療関係者等の理解の促進を図ることで、障害のある方が安心して医療を受診できるようにしていくことが必要であると考えられます。
- 18 歳未満では「受診手続きや案内など障害のある人への配慮が不十分」という回答が最も多くなっており、医療機関受診時に障害特性に合わせた配慮を提供していくことも必要とされています。

問 10 医療を受ける際に困ること

		全体	治療により症状が改善されない	軽いけがや病気の際に受診できる医療機関が身近にない	専門的な治療を受けられない医療機関がない	休日や夜間に対応してくれる医療機関がない	介助者を確保しにくい	訪問診療を気軽に頼める医師がいない	受診手続きや案内など障害のある人への配慮が不十分	医療や健康に関して気軽に相談できない	症状が正確に伝わらなかったり、治療に関する説明を十分理解できない	医療費の負担が大きい	障害を理由に診療拒否を受けたことがある	その他	特にな	無回答
18 歳以上	全体	860 100.0	197 22.9	41 4.8	72 8.4	66 7.7	68 7.9	41 4.8	61 7.1	76 8.8	89 10.3	140 16.3	24 2.8	57 6.6	316 36.7	92 10.7
	身体障害	584 100.0	121 20.7	19 3.3	41 7.0	29 5.0	48 8.2	26 4.5	30 5.1	41 7.0	35 6.0	84 14.4	12 2.1	33 5.7	237 40.6	76 13.0
	知的障害	124 100.0	13 10.5	15 12.1	13 10.5	10 8.1	8 6.5	3 2.4	16 12.9	10 8.1	26 21.0	18 14.5	8 6.5	5 4.0	48 38.7	8 6.5
	精神障害	165 100.0	64 38.8	12 7.3	21 12.7	28 17.0	14 8.5	12 7.3	18 10.9	25 15.2	32 19.4	38 23.0	5 3.0	20 12.1	38 23.0	5 3.0
18 歳未満	全体	110 100.0	11 10.0	11 10.0	8 7.3	7 6.4	6 5.5	3 2.7	17 15.5	10 9.1	15 13.6	13 11.8	16 14.5	11 10.0	41 37.3	7 6.4
	身体障害	42 100.0	6 14.3	6 14.3	5 11.9	3 7.1	3 7.1	2 4.8	4 9.5	4 9.5	1 2.4	8 19.0	8 19.0	7 16.7	12 28.6	4 9.5
	知的障害	83 100.0	9 10.8	10 12.0	6 7.2	7 8.4	5 6.0	2 2.4	14 16.9	8 9.6	13 15.7	9 10.8	16 19.3	7 8.4	28 33.7	4 4.8

(2) 相談支援体制の充実

～ 相談窓口の一層の周知、様々な通信手段の活用、窓口のワンストップ化、職員の専門性向上

- 困ったときの相談先としては、18 歳以上、18 歳未満ともに「家族や親族」は6～7割、「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」は3割前後と多くなっているのに対し、「市の障害福祉課」「相談支援事業所」はいずれも1割前後と少なくなっています。
- 相談場所についても、18 歳以上では12か所の相談場所のうち9か所で、『知っている（利用したことがある、知っているが利用したことはないの合計）』という回答が2割以下に留まっています。相談窓口の一層の周知が必要とされています。
- 気軽に相談するために必要なことについて見ると、18 歳以上では「電話・FAX・電子メールで相談できる」「どんな内容でも1つの窓口で相談できる」が約3割と多くなっており、様々な通信手段を活用した相談や、ワンストップ化された窓口の整備などが求められていることがわかります。
- 18 歳未満では、「専門性の高い内容でも対応できる」「どんな内容でも1つの窓口で相談できる」が約3割と多くなっており、相談を受ける職員の専門性向上も期待されていると考えられます。

問 16 気軽に相談するために必要なこと

		全体	電話・FAX・電子メールで相談できる	身近な地域で相談できる	相談員が自宅を訪問して相談できる	休日や夜間に相談できる	専門性の高い内容でも対応できる	どんな内容でも1つの窓口で相談できる	相談員から定期的に連絡をもらえるか	障害のある人やその家族など同じ立場の人に相談できる	プライバシーが守られる環境になっている	情報提供体制が充実している	相談窓口に関する	その他	特にない	無回答
18歳以上	全体	860 100.0	253 29.4	139 16.2	163 19.0	96 11.2	100 11.6	248 28.8	99 11.5	66 7.7	131 15.2	110 12.8	20 2.3	128 14.9	104 12.1	
	身体障害	584 100.0	173 29.6	83 14.2	119 20.4	54 9.2	59 10.1	177 30.3	63 10.8	33 5.7	87 14.9	71 12.2	13 2.2	93 15.9	70 12.0	
	知的障害	124 100.0	26 21.0	22 17.7	27 21.8	13 10.5	15 12.1	42 33.9	16 12.9	16 12.9	11 8.9	20 16.1	1 0.8	19 15.3	12 9.7	
	精神障害	165 100.0	58 35.2	35 21.2	19 11.5	31 18.8	29 17.6	33 20.0	21 12.7	20 12.1	34 20.6	23 13.9	7 4.2	20 12.1	18 10.9	
18歳未満	全体	110 100.0	25 22.7	14 12.7	21 19.1	12 10.9	34 30.9	33 30.0	20 18.2	15 13.6	17 15.5	23 20.9	4 3.6	5 4.5	17 15.5	
	身体障害	42 100.0	11 26.2	6 14.3	8 19.0	5 11.9	20 47.6	14 33.3	6 14.3	7 16.7	8 19.0	7 16.7	1 2.4	1 2.4	5 11.9	
	知的障害	83 100.0	17 20.5	11 13.3	20 24.1	12 14.5	21 25.3	28 33.7	17 20.5	8 9.6	11 13.3	18 21.7	3 3.6	2 2.4	14 16.9	

(3) 就労支援の充実

～ 工賃向上など収入面の改善、総合的な相談支援、障害特性にあった職種の拡大

- 就労しているという回答を見ると、身体障害では「正規の職員・従業員として働いている」が1割弱、知的障害では「福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所等）」が3割弱、「パート・アルバイト等で働いている」が2割あまり、精神障害では「パート・アルバイト等で働いている」が2割弱と多くなっています。
- 仕事をする上で困っていることについて見ると、「収入が少ない」が5割あまりと多くなっており、特に福祉的就労をしている方、パート・アルバイト等で働いている方で多くなっています。工賃向上など収入面の改善に向けた取組が求められていると考えられます。
- 働くために必要な支援について見ると、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が3割あまりと多くなっています。就労に向けた一貫性のある相談支援の充実とともに、障害特性にあった職種の拡大に向けた企業等への働きかけが必要とされています。

問 21 働くために必要な支援

		全体	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識・能力を身につける職業・訓練	職場を理解するための就労体験	求人情報の提供等の仕事を見つけるための支援	障害の特性にあった職業・雇用の拡大	短時間勤務や在宅勤務等の柔軟な勤務体制	通勤経路のバリアフリー化
18歳以上	全体	860 100.0	290 33.7	122 14.2	66 7.7	68 7.9	270 31.4	120 14.0	48 5.6
	身体障害	584 100.0	176 30.1	83 14.2	28 4.8	43 7.4	169 28.9	70 12.0	46 7.9
	知的障害	124 100.0	52 41.9	19 15.3	19 15.3	7 5.6	38 30.6	10 8.1	5 4.0
	精神障害	165 100.0	67 40.6	23 13.9	20 12.1	17 10.3	67 40.6	43 26.1	— —

(4) 保護者への支援及び療育・教育体制の充実

～ 一人ひとりに配慮した情報提供や相談支援、療育・機能訓練の機会の拡充、緊急時の一時預かり

●通園や通学、学校生活等で困っていることについて見ると、「今後の進路や将来について不安」が8割あまりと特に多くなっていますが、それ以外では「療育・機能訓練の機会が少ない」が約3割と多くなっています。多数の保護者が抱えている不安をできるだけ取り除けるように、一人ひとりに配慮した情報提供や相談支援などを充実していくとともに、療育・機能訓練の機会の拡充を図る必要があると考えられます。

●子育てで困っていることについて見ると、「子どもの成長や発達に不安がある」が7割弱と多くなっていますが、それ以外では「緊急時に子どもを預けられる場所がない」が4割あまりと多くなり、緊急時の一時預かりに対するニーズが高いことが伺えます。

問 29 通園や通学、学校生活等で困っていること

		全体	通園・通学の送迎が大変	友達との関係づくりがうまくできない	教職員の指導の仕方が心配	今後の進路や将来について不安	保育や教育・療育に関する情報が少ない	療育・機能訓練の機会が少ない	経済的な負担が大きい	その他	特にない	無回答
18歳未満	全体	110 100.0	31 28.2	15 13.6	23 20.9	93 84.5	30 27.3	34 30.9	26 23.6	6 5.5	5 4.5	1 0.9
	身体障害	42 100.0	12 28.6	3 7.1	7 16.7	35 83.3	10 23.8	14 33.3	10 23.8	3 7.1	3 7.1	1 2.4
	知的障害	83 100.0	23 27.7	11 13.3	18 21.7	71 85.5	24 28.9	29 34.9	19 22.9	4 4.8	3 3.6	1 1.2

(5) 外出支援の充実

～ 建物・道路等のバリアフリー化、休憩場所の確保などの配慮、心のバリアフリーの推進

- 外出の頻度について見ると、18 歳以上では「ほぼ毎日」が約3割と最も多くなっていますが、「あまり外出しない」も約1割となっており、割合は少ないものの、何らかの支障があって外出できていない人にも目を向けていく必要があると考えられます。18 歳未満では「ほぼ毎日」が約7割と特に多くなっています。
- 外出する際困っていることについて見ると、18 歳以上では「疲れたときの休憩場所がない」が約3割と最も多く、次いで「歩道の段差や建物の階段が困る」「歩道が狭く自動車・自転車に危険を感じる」が2割あまりと多くなっています。建物・道路等のバリアフリー化を一層推進するとともに、休憩場所の確保などの細やかな配慮をしていくことが必要だと考えられます。
- 18 歳未満では「障害に対する理解が不足している」「困った時にどうすればよいかわからない」が3割前後と多くなっており、ヘルプカード・ヘルプマークの周知等を含めた心のバリアフリーの推進も重要であると考えられます。

問 36 外出する際
困っていること

		全体	歩道の段差や 建物の階段が 困る	歩道が狭く自動 車・自転車に危 険を感じる	公共交通機関 が少ない	乗り降りや駅 構内の移動が大 変	販売機が利用し にくい 切符や飲料等	トイレ等の設備 が不便	標識・表示が わかりにくい
18歳以上	全体	860 100.0	209 24.3	208 24.2	85 9.9	118 13.7	26 3.0	96 11.2	34 4.0
	身体障害	584 100.0	186 31.8	152 26.0	70 12.0	94 16.1	23 3.9	74 12.7	22 3.8
	知的障害	124 100.0	14 11.3	25 20.2	1 0.8	9 7.3	2 1.6	9 7.3	6 4.8
	精神障害	165 100.0	14 8.5	35 21.2	15 9.1	18 10.9	2 1.2	18 10.9	6 3.6
18歳未満	全体	110 100.0	21 19.1	29 26.4	5 4.5	20 18.2	2 1.8	15 13.6	6 5.5
	身体障害	42 100.0	14 33.3	15 35.7	2 4.8	12 28.6	2 4.8	9 21.4	3 7.1
	知的障害	83 100.0	14 16.9	23 27.7	5 6.0	14 16.9	-	10 12.0	4 4.8
		休憩場所がない	障害に対する理 解が不足してい る	お金がかかる	介助者が確保で きない	困った時にどう すればよいかわ からない	その他	特にない	無回答
18歳以上	全体	270 31.4	145 16.9	167 19.4	74 8.6	115 13.4	39 4.5	223 25.9	68 7.9
	身体障害	198 33.9	89 15.2	87 14.9	54 9.2	55 9.4	26 4.5	135 23.1	54 9.2
	知的障害	16 12.9	30 24.2	21 16.9	16 12.9	29 23.4	3 2.4	43 34.7	7 5.6
	精神障害	56 33.9	34 20.6	65 39.4	6 3.6	33 20.0	8 4.8	47 28.5	9 5.5
18歳未満	全体	20 18.2	35 31.8	14 12.7	16 14.5	31 28.2	6 5.5	26 23.6	3 2.7
	身体障害	10 23.8	15 35.7	3 7.1	7 16.7	9 21.4	3 7.1	7 16.7	-
	知的障害	14 16.9	28 33.7	13 15.7	14 16.9	27 32.5	5 6.0	17 20.5	2

(6) 権利擁護の推進

～ 成年後見制度の内容の正確な周知、必要な人が安心して利用できるように配慮した利用支援

- 成年後見制度の認知状況について見ると、「名前も内容も知っている」という回答は、18 歳以上、18 歳未満ともに3割あまりとなっており、制度の周知がまだ十分ではないと考えられます。
- 成年後見制度の利用意向について見ると、「すでに利用している」「必要だが、利用できていない」という回答は少数にとどまっていますが、「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」という回答は、18 歳以上では3割あまり、18 歳未満では約6割となっており、特に 18 歳未満の方で将来の利用を希望する方が多いことがわかります。
- 成年後見制度の利用は少数にとどまっている一方、潜在的な需要は大きいと考えられるため、制度内容の正確な周知をさらに進めるとともに、必要な人が安心して利用できるように配慮した利用支援を行う必要があると考えられます。

問 40 成年後見制度の利用意向

		全体	すでに利用している	必要だが、利用できていない	今は必要ないが、今後必要になったら利用したい	利用したいとは思わない	わからない	無回答
18歳以上	全体	860 100.0	14 1.6	16 1.9	277 32.2	162 18.8	273 31.7	118 13.7
	身体障害	584 100.0	5 0.9	8 1.4	170 29.1	121 20.7	179 30.7	101 17.3
	知的障害	124 100.0	5 4.0	3 2.4	56 45.2	8 6.5	45 36.3	7 5.6
	精神障害	165 100.0	6 3.6	5 3.0	58 35.2	33 20.0	55 33.3	8 4.8
18歳未満	全体	110 100.0	- -	3 2.7	67 60.9	9 8.2	29 26.4	2 1.8
	身体障害	42 100.0	- -	- -	20 47.6	7 16.7	15 35.7	- -
	知的障害	83 100.0	- -	3 3.6	60 72.3	3 3.6	16 19.3	1 1.2

(7) 障害理解の促進 ～ 就労面・教育面など様々な分野での配慮

- 差別を受けたことがあるという回答は、18 歳以上では4割あまり、18 歳未満では6割あまりに達しており、障害理解はある程度は進んできたとはいえ、なお理解不足による差別事例が少なくないことを明らかにしています。
- 障害理解を進めるために力を入れるべきことについて見ると、18 歳以上では「障害のある人の一般企業等への就労を促進する」が3割弱と最も多くなっており、様々な取組の中でも就労面での配慮が特に重視されていることが伺えます。
- 18 歳未満では「障害のある人の一般企業等への就労を促進する」が5割、「インクルーシブ教育を推進する」「学校や生涯学習で障害に関する授業や講座を行う」が約4割と多くなっており、就労面に加えて教育面での配慮が重視されていることが伺えます。

問 43 障害理解を進めるために力を入れるべきこと

		全体	障害の内容や障害のある人の生活の伝えるパンフレットを発行する	障害に関する講演会や疑似体験会を開催する	作品展やイベントを開催する	インクルーシブ教育を推進する	学校や生涯学習で障害に関する授業や講座を行う	地域での交流の機会を増やす	障害のある人の一般企業等への就労を促進する	その他	特にない	無回答
18歳以上	全体	860 100.0	193 22.4	96 11.2	54 6.3	109 12.7	153 17.8	126 14.7	231 26.9	29 3.4	211 24.5	139 16.2
	身体障害	584 100.0	124 21.2	62 10.6	35 6.0	71 12.2	96 16.4	76 13.0	116 19.9	15 2.6	156 26.7	111 19.0
	知的障害	124 100.0	32 25.8	13 10.5	13 10.5	19 15.3	26 21.0	28 22.6	41 33.1	3 2.4	20 16.1	18 14.5
	精神障害	165 100.0	40 24.2	24 14.5	7 4.2	19 11.5	35 21.2	23 13.9	79 47.9	11 6.7	36 21.8	11 6.7
18歳未満	全体	110 100.0	13 11.8	10 9.1	5 4.5	45 40.9	44 40.0	20 18.2	55 50.0	11 10.0	7 6.4	6 5.5
	身体障害	42 100.0	6 14.3	3 7.1	2 4.8	19 45.2	18 42.9	8 19.0	12 28.6	4 9.5	4 9.5	3 7.1
	知的障害	83 100.0	9 10.8	7 8.4	5 6.0	32 38.6	31 37.3	16 19.3	45 54.2	9 10.8	5 6.0	4 4.8

(8) 災害時に必要な支援の充実

～ 避難についての配慮、福祉避難所の確保・充実、避難先での障害や医療等に対する配慮

- 災害時に困ることや不安なことについて見ると、18 歳以上では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が4割あまりと最も多くなっており、特に服薬や医療的ケアを必要としている方の不安が大きいことが伺えます。
- 18 歳未満では「一人では避難できない」が5割あまりと最も多くなっており、家族と一緒にいないときの避難についての配慮が必要であると考えられます。
- 災害時に必要な支援について見ると、18 歳以上では「障害に対応した避難場所」「薬や日常生活用具等の備蓄」が約3割、18 歳未満でも「障害に対応した避難場所」が5割と多く、福祉避難所の確保・充実や避難先での障害や医療等に対する配慮を求める意見が多くなっています。

問 47 災害時に必要な支援

		全体	避難する ときの 介助・支援	障害に 対応した 避難場所	薬や 日常生活 用具等の 備蓄	医療的 ケアの 確保	障害に 対応した 災害情報 の提供	コミュニ ケーション 手段の 確保	その他	特 に ない	無 回 答
18 歳 以上	全体	860 100.0	238 27.7	266 30.9	262 30.5	234 27.2	146 17.0	81 9.4	14 1.6	142 16.5	112 13.0
	身体障害	584 100.0	195 33.4	181 31.0	155 26.5	165 28.3	103 17.6	40 6.8	6 1.0	92 15.8	84 14.4
	知的障害	124 100.0	32 25.8	45 36.3	19 15.3	22 17.7	26 21.0	19 15.3	3 2.4	25 20.2	17 13.7
	精神障害	165 100.0	16 9.7	47 28.5	91 55.2	54 32.7	18 10.9	24 14.5	5 3.0	26 15.8	12 7.3
18 歳 未 満	全体	110 100.0	37 33.6	55 50.0	25 22.7	15 13.6	32 29.1	25 22.7	－	13 11.8	11 10.0
	身体障害	42 100.0	14 33.3	21 50.0	15 35.7	10 23.8	10 23.8	6 14.3	－	2 4.8	5 11.9
	知的障害	83 100.0	29 34.9	46 55.4	17 20.5	9 10.8	27 32.5	20 24.1	－	8 9.6	8 9.6

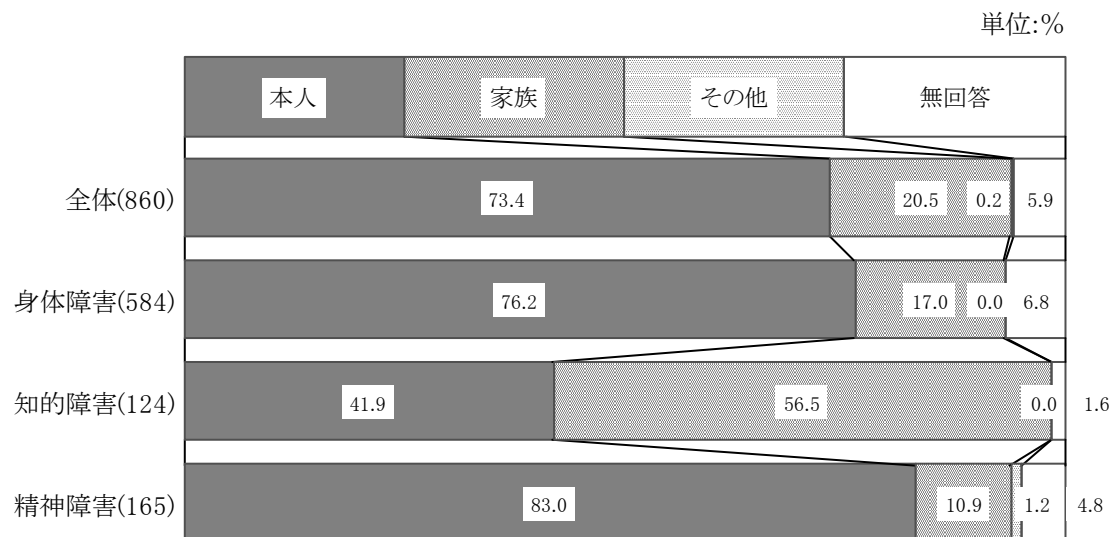
第 2 章

18 歳以上の方を対象にした調査

1. 調査票の回答者

問1 この調査票を回答していただく方は誰ですか。(〇は1つ)

全体では、「本人」が73.4%、「家族」が20.5%となっています。
障害別に見ると、知的障害では「家族」のほうが多くなっています。

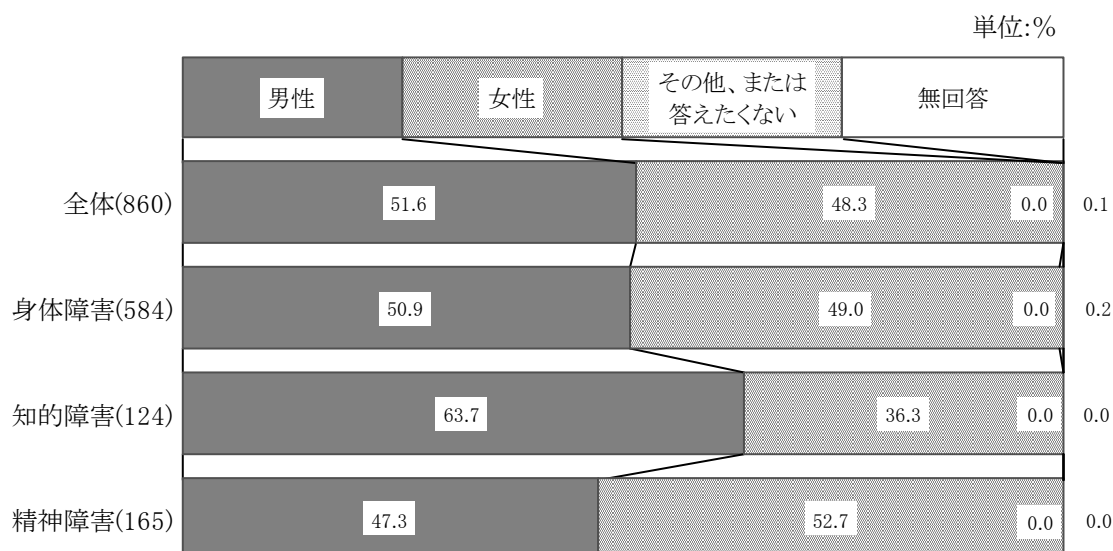


2. ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きます。(○は1つ)

全体では、「男性」が51.6%、「女性」が48.3%となっています。
障害別に見ると、知的障害では「男性」がやや多くなっています。



身体障害の種類別に見ると、視覚障害、音声・言語・そしゃく機能障害、内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）では男性のほうが、聴覚・平衡機能障害、肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）では女性のほうが多くなっています。

●性別（身体障害の種類別）

		全体	男性	女性	その他、または 答えたくない	無回答
全体		584 100.0	297 50.9	286 49.0	— —	1 0.2
身体 障害 の 種類	視覚障害	37 100.0	21 56.8	16 43.2	— —	— —
	聴覚・平衡機能障害	41 100.0	18 43.9	23 56.1	— —	— —
	音声・言語・そしゃく 機能障害	19 100.0	14 73.7	5 26.3	— —	— —
	肢体不自由（上肢・ 下肢・体幹等）	312 100.0	141 45.2	171 54.8	— —	— —
	内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼう こう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）	198 100.0	119 60.1	79 39.9	— —	— —
	無回答	14 100.0	8 57.1	5 35.7	— —	1 7.1

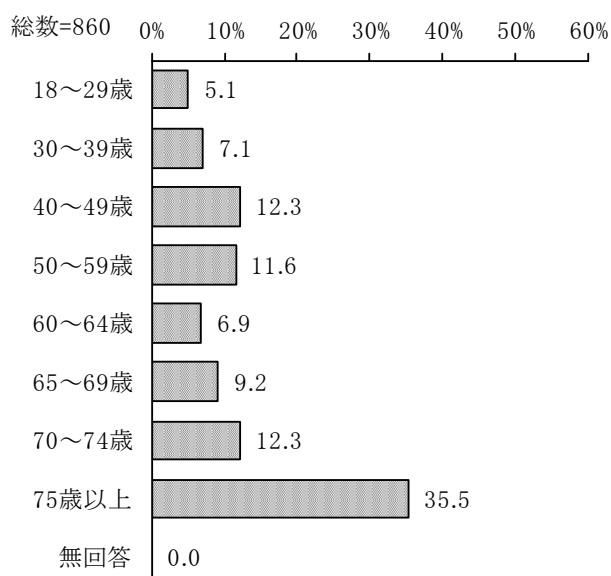
(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きます。令和元年10月1日現在の年齢をお書きください。

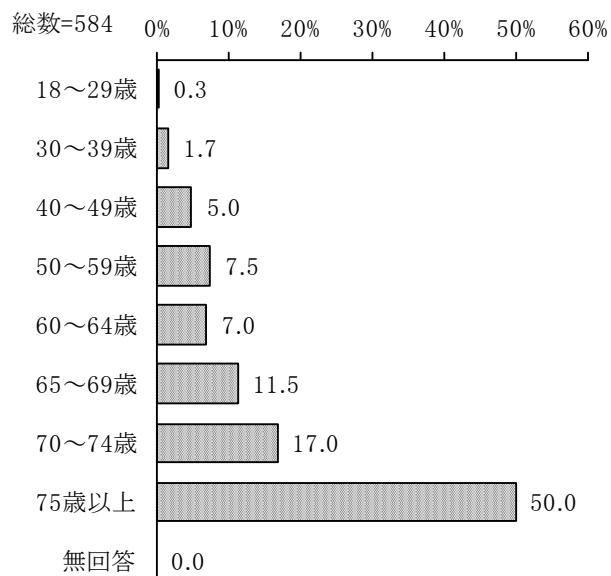
全体では、「75歳以上」が35.5%と最も多く、次いで「40～49歳」「70～74歳」がそれぞれ12.3%、「50～59歳」が11.6%となっています。

障害別に見ると、知的障害と精神障害では「40～49歳」が最も多くなっています。身体障害では半数が「75歳以上」、知的障害では7割あまりが50歳未満となっています。

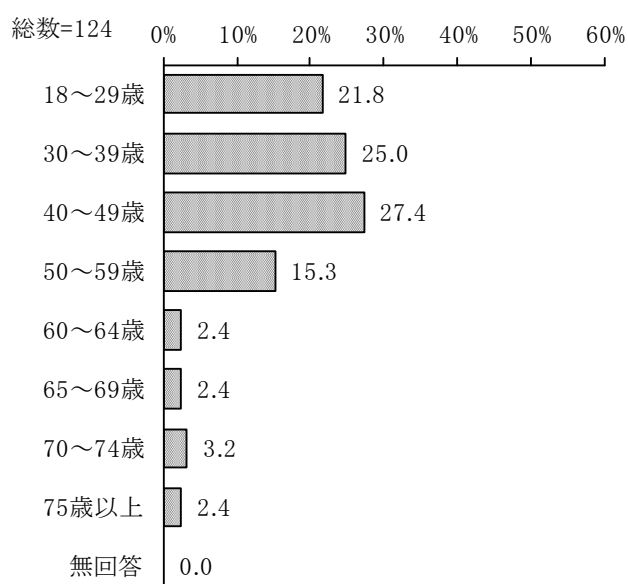
全体



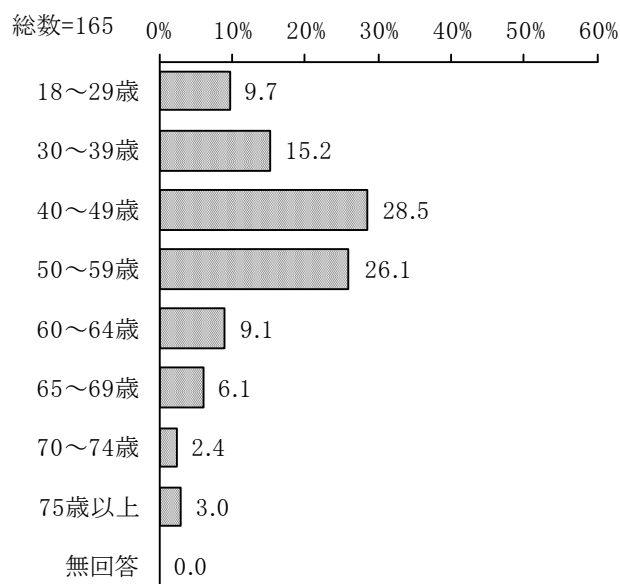
身体障害



知的障害



精神障害



疾患や障害の有無別に見ると、難病、慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）では75歳以上が、統合失調症、気分障害（うつ病・躁うつ病）では40代、50代が、知的障害、発達障害では40代以下が多くなっています。

●年齢（疾患や障害の有無別）

		1 8 2 9 歳	3 0 3 9 歳	4 0 4 9 歳	5 0 5 9 歳	6 0 6 4 歳	6 5 6 9 歳	7 0 7 4 歳	7 5 歳 以上	無 回 答
	全体	860 100.0	44 5.1	61 7.1	106 12.3	100 11.6	59 6.9	79 9.2	106 12.3	305 35.5
疾患 や 障 害 の 有 無	難病	68 100.0	- -	3 4.4	9 13.2	6 8.8	5 7.4	8 11.8	12 17.6	25 36.8
	慢性疾患（糖尿病・ 心臓疾患・脳血管疾患等）	198 100.0	2 1.0	2 1.0	8 4.0	13 6.6	15 7.6	17 8.6	33 16.7	108 54.5
	統合失調症	79 100.0	4 5.1	12 15.2	23 29.1	19 24.1	6 7.6	9 11.4	2 2.5	4 5.1
	気分障害（うつ病・ 躁うつ病）	80 100.0	7 8.8	12 15.0	22 27.5	19 23.8	9 11.3	4 5.0	3 3.8	4 5.0
	神経症	25 100.0	2 8.0	4 16.0	6 24.0	5 20.0	1 4.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0
	依存症（アルコール・ 薬物等）	6 100.0	- -	- -	3 50.0	1 16.7	1 16.7	- -	1 16.7	- -
	知的障害	113 100.0	26 23.0	29 25.7	28 24.8	16 14.2	3 2.7	2 1.8	5 4.4	4 3.5
	発達障害	59 100.0	21 35.6	9 15.3	16 27.1	10 16.9	1 1.7	1 1.7	- -	1 1.7
	高次脳機能障害	26 100.0	2 7.7	2 7.7	2 7.7	4 15.4	- -	5 19.2	3 11.5	8 30.8
	その他	96 100.0	5 5.2	3 3.1	13 13.5	9 9.4	7 7.3	3 3.1	11 11.5	45 46.9
	特になし	173 100.0	2 1.2	2 1.2	10 5.8	16 9.2	19 11.0	29 16.8	32 18.5	63 36.4
	無回答	98 100.0	1 1.0	2 2.0	6 6.1	7 7.1	4 4.1	7 7.1	11 11.2	60 61.2

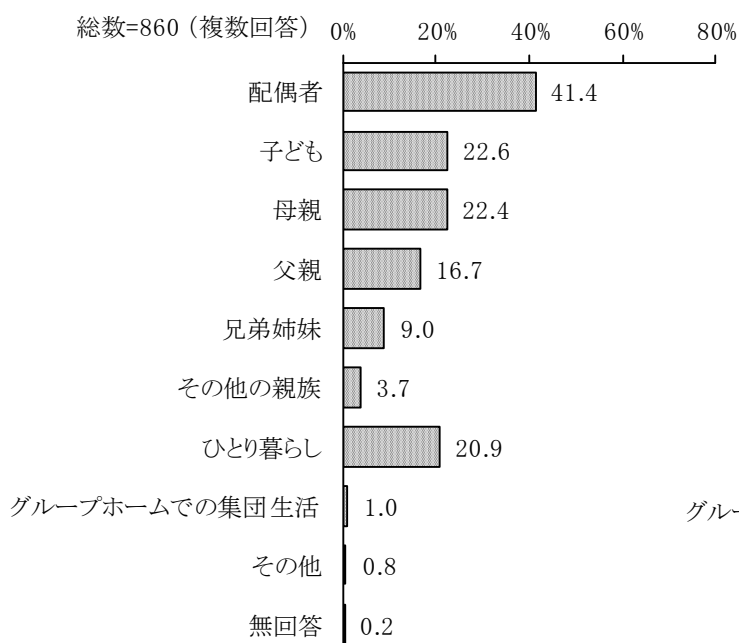
(3) 同居家族

問4 あなたと一緒に暮らしている方は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

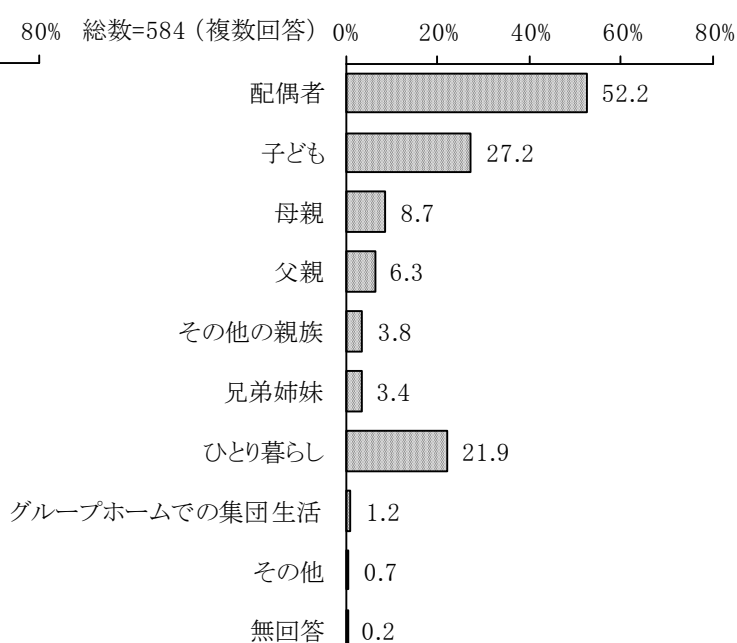
全体では、「配偶者」が41.4%と最も多く、次いで「子ども」が22.6%、「母親」が22.4%、「ひとり暮らし」が20.9%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「母親」「父親」が多く、精神障害でも「母親」が最も多くなっています。

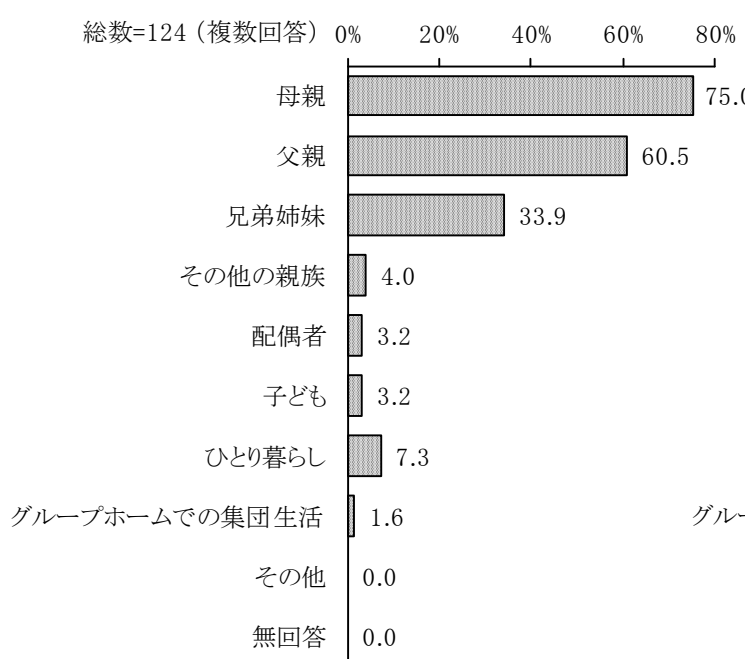
全体



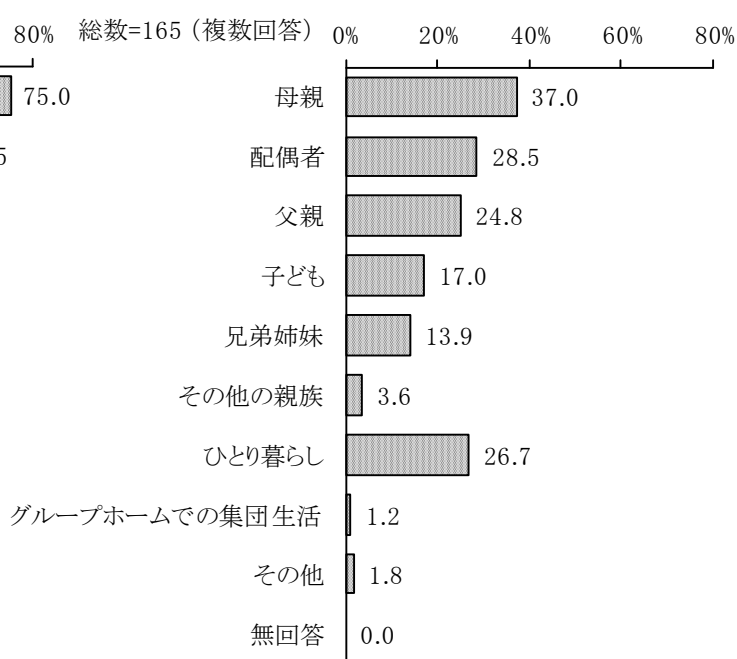
身体障害



知的障害



精神障害



年齢別に見ると、三障害とも、「母親」「父親」は年齢が若いほうが多くなっています。身体障害、精神障害では、「配偶者」「子ども」は年齢が高いほうが多くなっています。

●同居家族（年齢別）

		全 体	父 親	母 親	配 偶 者	子 ど も	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	ひ と り 暮 ら し	グ ル ー プ ホ ー ム で の 集 団 生 活	そ の 他	無 回 答
全体		860 100.0	144 16.7	193 22.4	356 41.4	194 22.6	77 9.0	32 3.7	180 20.9	9 1.0	7 0.8	2 0.2
年 齢 別	身体障害・18～39歳	12 100.0	7 58.3	8 66.7	3 25.0	2 16.7	4 33.3	1 8.3	－ －	1 8.3	－ －	－ －
	身体障害・40～64歳	114 100.0	26 22.8	37 32.5	42 36.8	23 20.2	10 8.8	4 3.5	26 22.8	－ －	－ －	－ －
	身体障害・65歳以上	458 100.0	4 0.9	6 1.3	260 56.8	134 29.3	6 1.3	17 3.7	102 22.3	6 1.3	4 0.9	1 0.2
	知的障害・18～39歳	58 100.0	46 79.3	51 87.9	1 1.7	1 1.7	18 31.0	3 5.2	2 3.4	－ －	－ －	－ －
	知的障害・40～64歳	56 100.0	29 51.8	41 73.2	2 3.6	－ －	21 37.5	2 3.6	6 10.7	－ －	－ －	－ －
	知的障害・65歳以上	10 100.0	－ －	1 10.0	1 10.0	3 30.0	3 30.0	－ －	1 10.0	2 20.0	－ －	－ －
	精神障害・18～39歳	41 100.0	22 53.7	26 63.4	9 22.0	5 12.2	16 39.0	4 9.8	3 7.3	1 2.4	1 2.4	－ －
	精神障害・40～64歳	105 100.0	18 17.1	33 31.4	29 27.6	18 17.1	7 6.7	1 1.0	33 31.4	1 1.0	2 1.9	－ －
	精神障害・65歳以上	19 100.0	1 5.3	2 10.5	9 47.4	5 26.3	－ －	1 5.3	8 42.1	－ －	－ －	－ －
	無回答	10 100.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	－ －	－ －	2 20.0	－ －	－ －	1 10.0

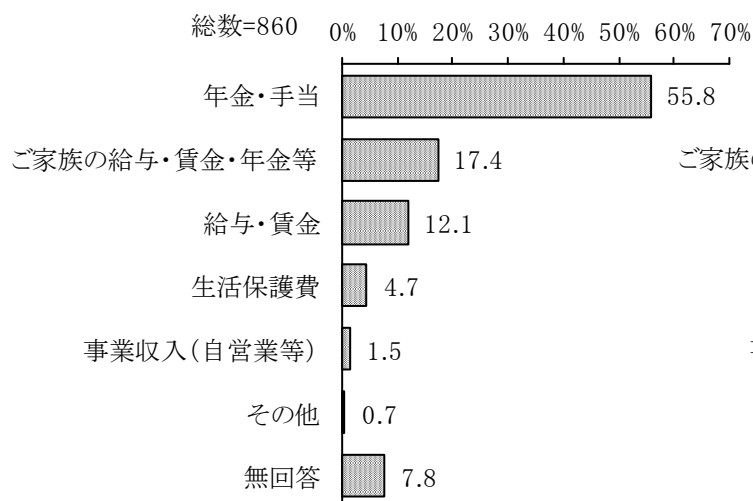
(4) 主な収入

問5 あなたの生活を支える主な収入は何ですか。(〇は1つ)

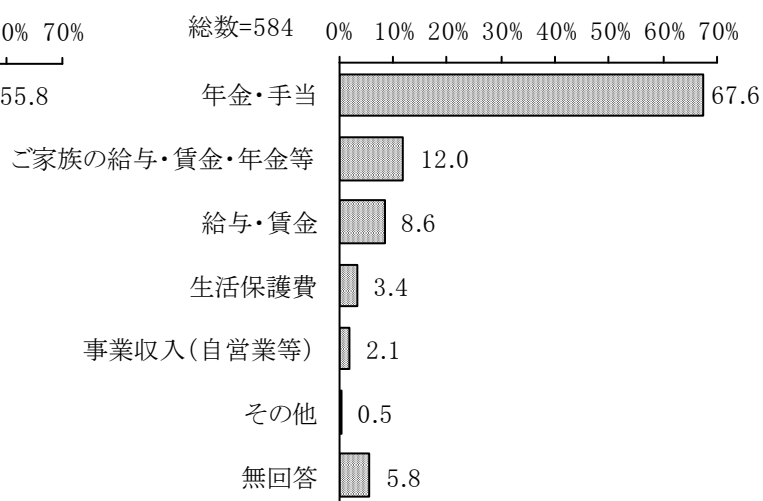
全体では、「年金・手当」が55.8%と最も多く、次いで「ご家族の給与・賃金・年金等」が17.4%、「給与・賃金」が12.1%、「生活保護費」が4.7%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「ご家族の給与・賃金・年金等」が最も多くなっています。

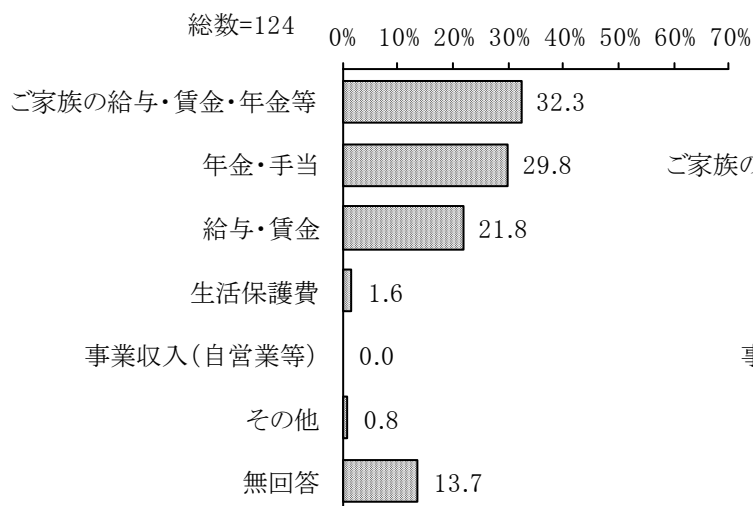
全体



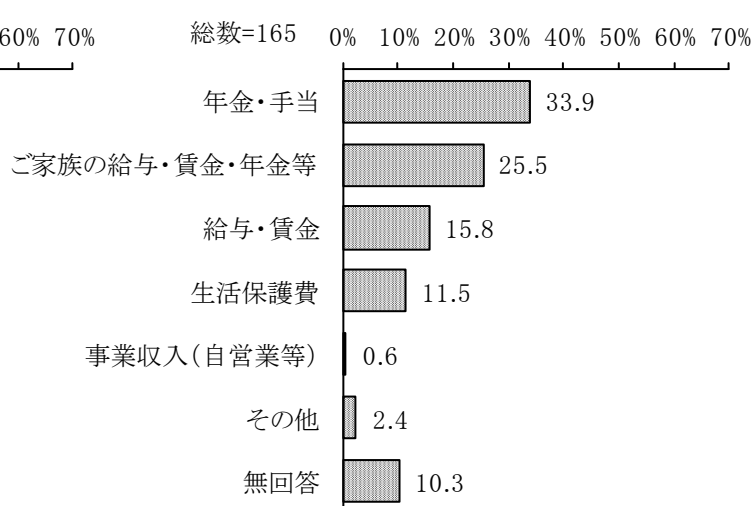
身体障害



知的障害



精神障害



同居家族別に見ると、身体障害では、ひとり暮らしの方で「年金・手当」が多くなっています。精神障害では、家族と同居の方で「ご家族の給与・賃金・年金等」が、ひとり暮らしの方で「生活保護費」がやや多くなっています。

●主な収入（同居家族別）

		全 体	給 与 ・ 賃 金	事 業 収 入 （ 自 営 業 等 ）	年 金 ・ 手 当	生 活 保 護 費	ご 家 族 の 給 与 ・ 賃 金 ・ 年 金 等	そ の 他	無 回 答
	全体	860 100.0	104 12.1	13 1.5	480 55.8	40 4.7	150 17.4	6 0.7	67 7.8
同居家族別	身体障害・家族と同居	445 100.0	40 9.0	11 2.5	291 65.4	9 2.0	68 15.3	1 0.2	25 5.6
	身体障害・ひとり暮らし	128 100.0	10 7.8	1 0.8	96 75.0	11 8.6	1 0.8	1 0.8	8 6.3
	身体障害・グループホームでの集団生活	7 100.0	- -	- -	4 57.1	- -	1 14.3	1 14.3	1 14.3
	知的障害・家族と同居	113 100.0	26 23.0	- -	33 29.2	- -	40 35.4	1 0.9	13 11.5
	知的障害・ひとり暮らし	9 100.0	1 11.1	- -	2 22.2	2 22.2	- -	- -	4 44.4
	知的障害・グループホームでの集団生活	2 100.0	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -
	精神障害・家族と同居	116 100.0	20 17.2	1 0.9	36 31.0	6 5.2	39 33.6	1 0.9	13 11.2
	精神障害・ひとり暮らし	44 100.0	6 13.6	- -	17 38.6	13 29.5	2 4.5	2 4.5	4 9.1
	精神障害・グループホームでの集団生活	2 100.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -	1 50.0	- -
	無回答	17 100.0	1 5.9	- -	11 64.7	1 5.9	4 23.5	- -	- -

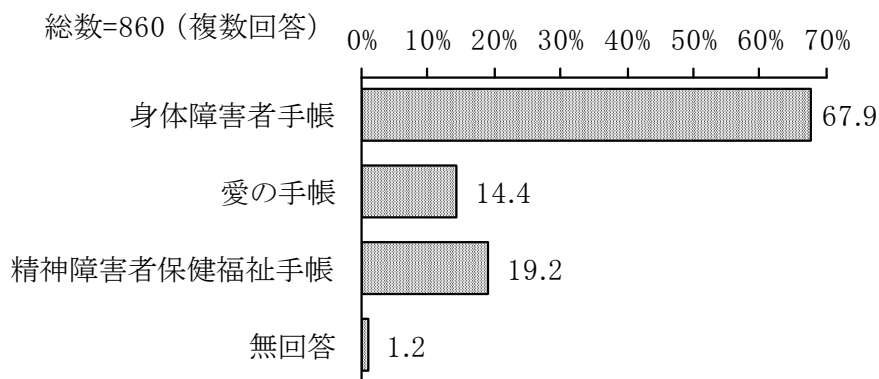
3. 障害の状況について

(1) 障害者手帳の種類

問6 あなたが持っている障害者手帳の種類をお聞きます。等級・程度にも○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

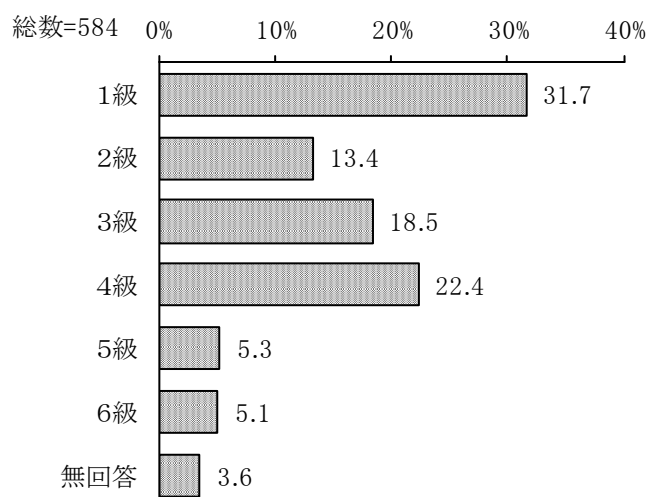
①障害者手帳の種類

「身体障害者手帳」が 67.9%と最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が 19.2%、「愛の手帳」が 14.4%となっています。



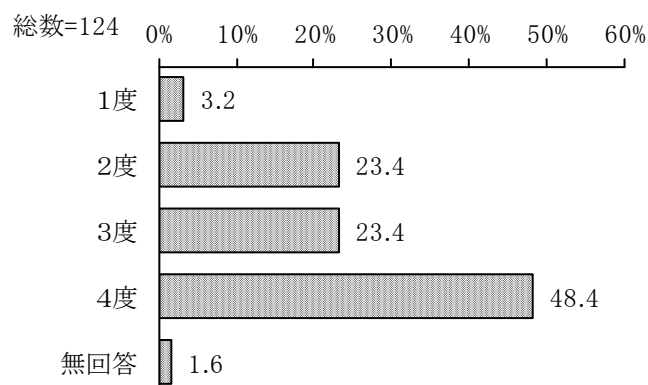
②身体障害者手帳の等級

「1級」が 31.7%と最も多く、次いで「4級」が 22.4%、「3級」が 18.5%、「2級」が 13.4%となっています。



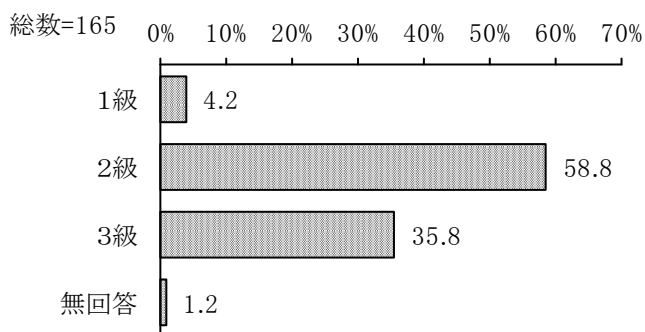
③愛の手帳の程度

「4度」が 48.4%と最も多く、次いで「2度」「3度」がそれぞれ 23.4%、「1度」が 3.2%となっています。



④精神障害者保健福祉手帳の等級

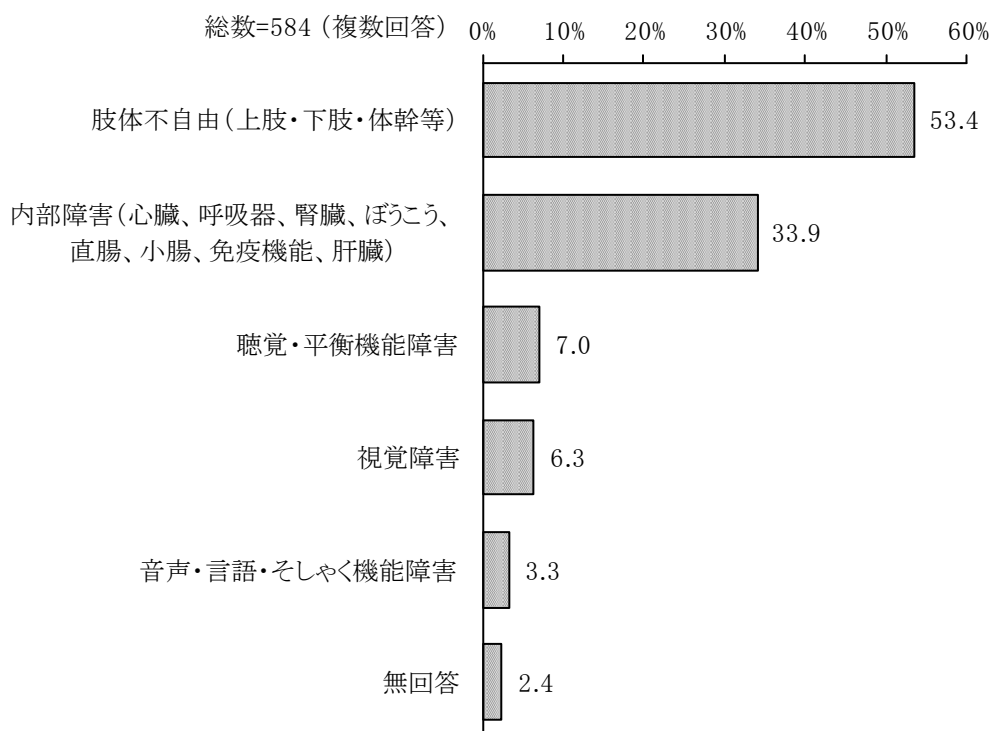
「2級」が58.8%と最も多く、次いで「3級」が35.8%、「1級」が4.2%となっています。



(2) 身体障害の種類

問7 問6で「身体障害者手帳」を所持していると回答された方にお聞きします。障害の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が53.4%と最も多く、次いで「内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」が33.9%、「聴覚・平衡機能障害」が7.0%、「視覚障害」が6.3%となっています。



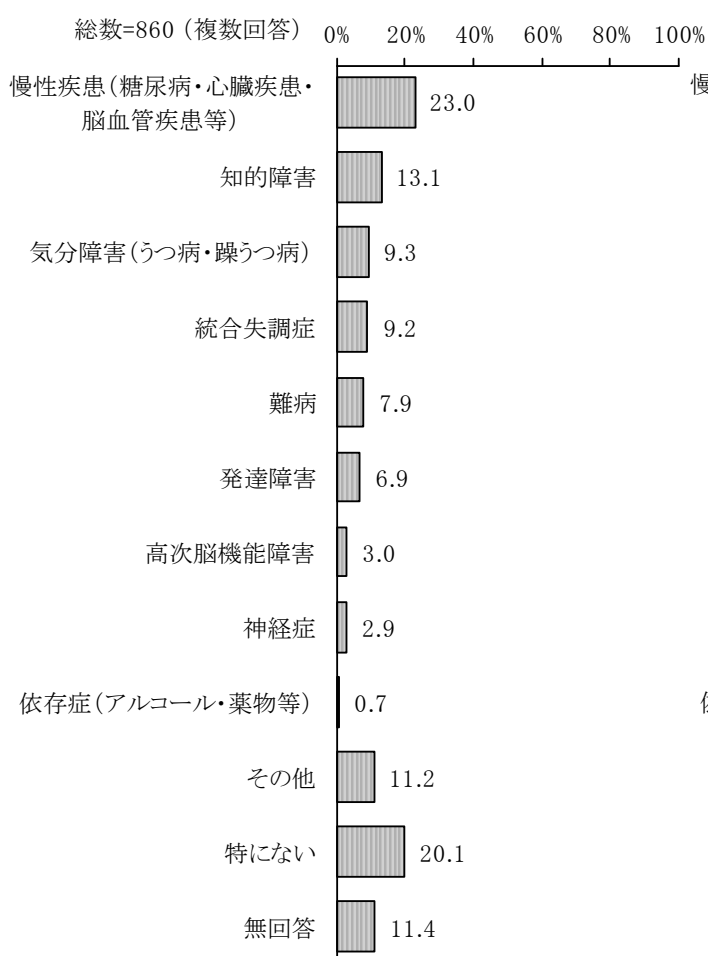
(3) 疾患や障害の有無

問8 あなたは、次の疾患や障害がありますか。(あてはまるものすべてに○)

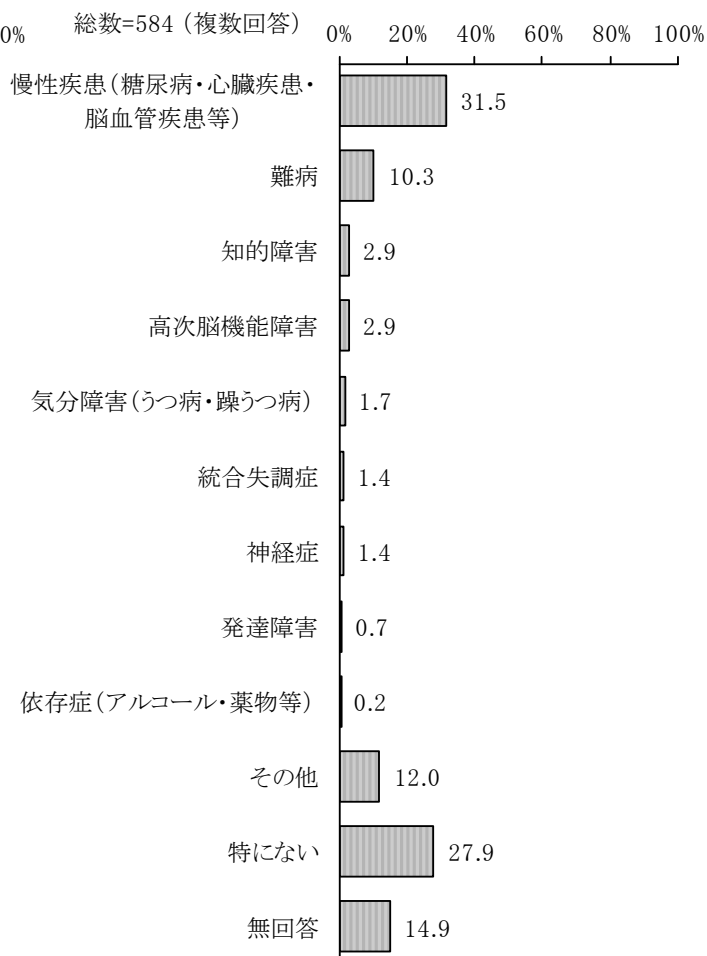
全体では、「慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）」が 23.0%と最も多く、次いで「知的障害」が 13.1%、「気分障害（うつ病・躁うつ病）」が 9.3%、「統合失調症」が 9.2%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「統合失調症」「気分障害（うつ病・躁うつ病）」が多くなっています。

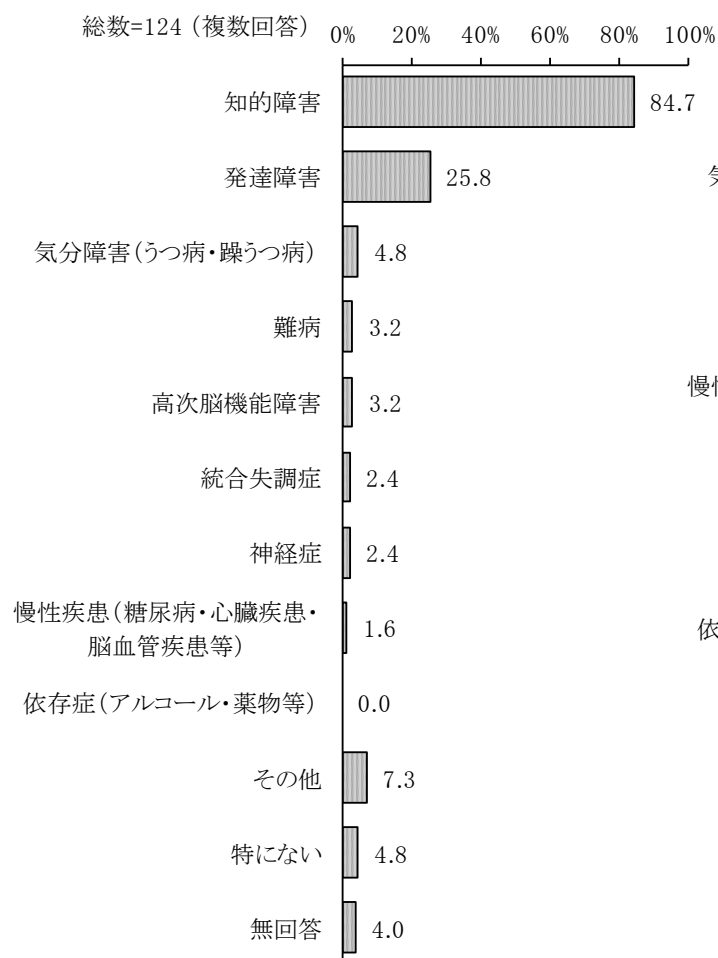
全体



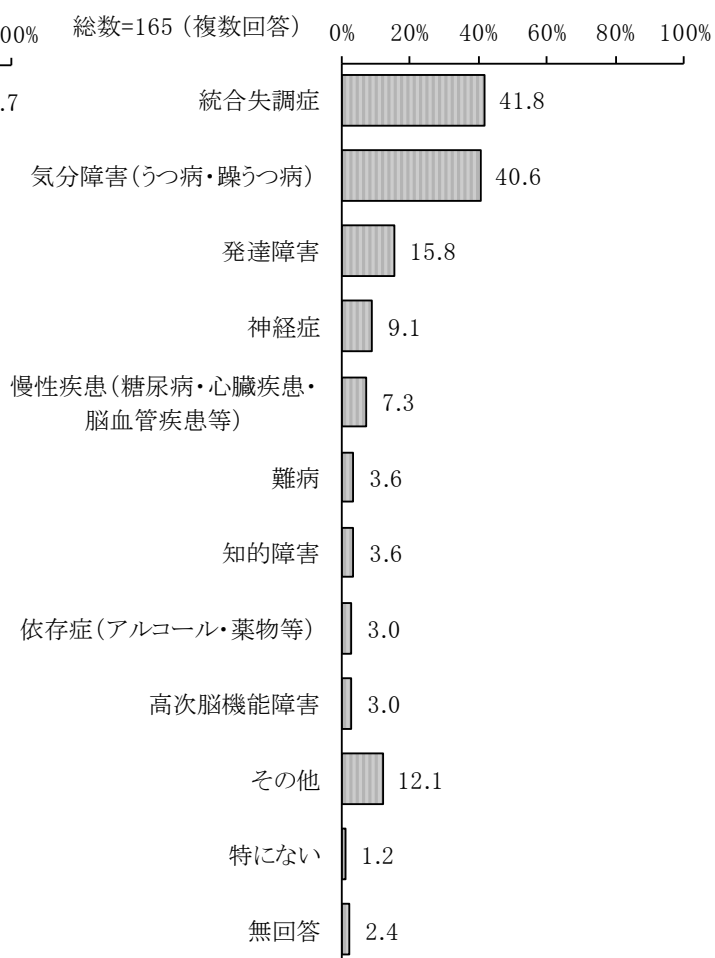
身体障害



知的障害



精神障害



※発達障害とは、自閉症スペクトラム障害（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害）、学習障害、注意欠陥多動性障害等を言います。

※高次脳機能障害とは、一般に外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受け、その後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害等の認知障害等を言います。

4. 医療や介助の状況について

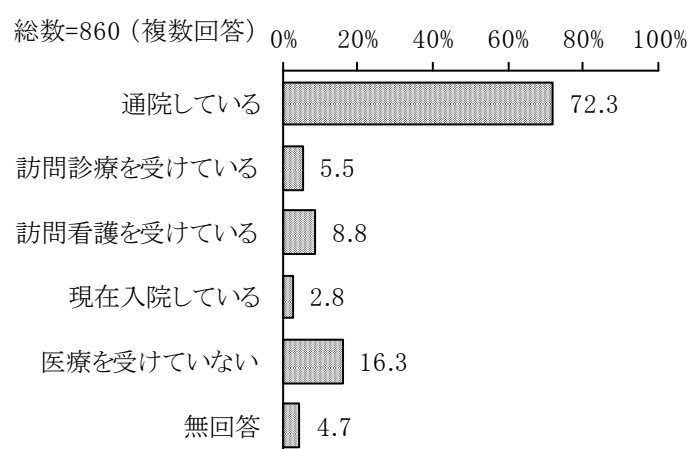
(1) 医療機関の受診状況

問9 現在、あなたはご自身の疾患や障害のために医療（リハビリを含む）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

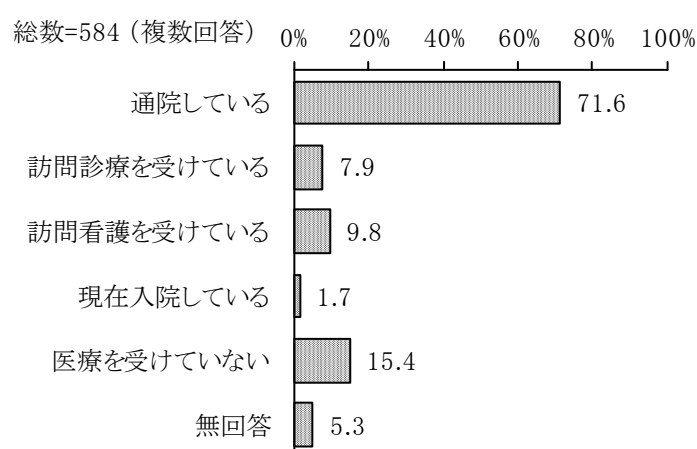
全体では、「通院している」が72.3%と最も多く、次いで「医療を受けていない」が16.3%、「訪問看護を受けている」が8.8%、「訪問診療を受けている」が5.5%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「通院している」が特に多くなっています。

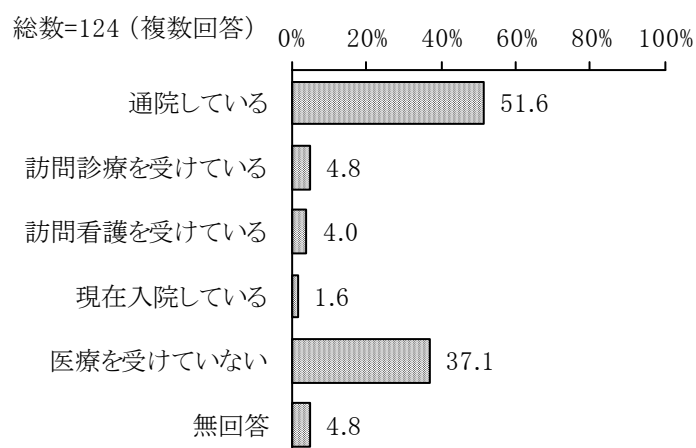
全体



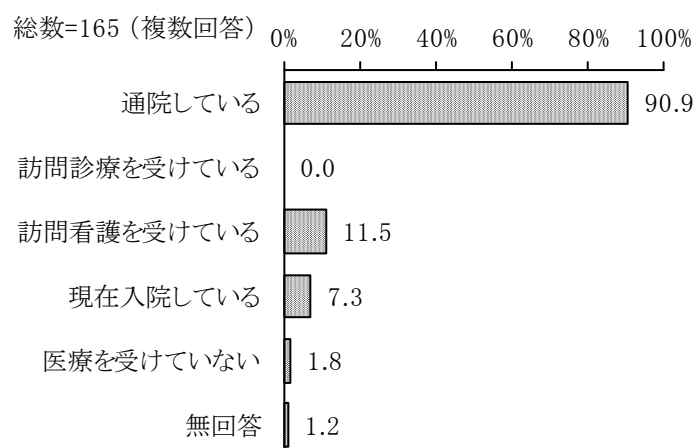
身体障害



知的障害



精神障害



(2) 医療を受ける際に困ること

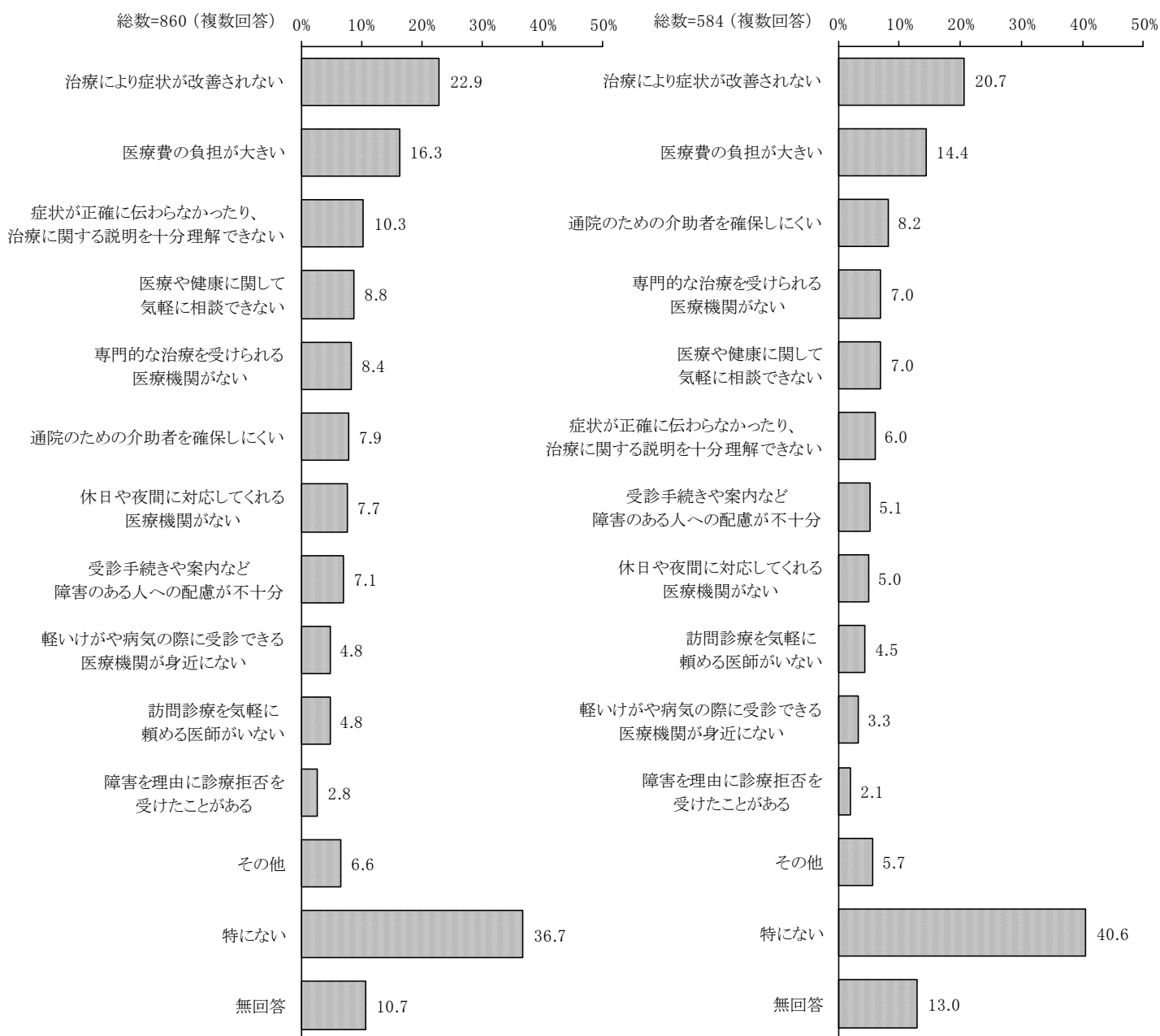
問 10 あなたが、医療を受ける際に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「治療により症状が改善されない」が22.9%と最も多く、次いで「医療費の負担が大きい」が16.3%、「症状が正確に伝わらなかったり、治療に関する説明を十分理解できない」が10.3%、「医療や健康に関して気軽に相談できない」が8.8%となっています。「特にない」が36.7%とやや多くなっています。

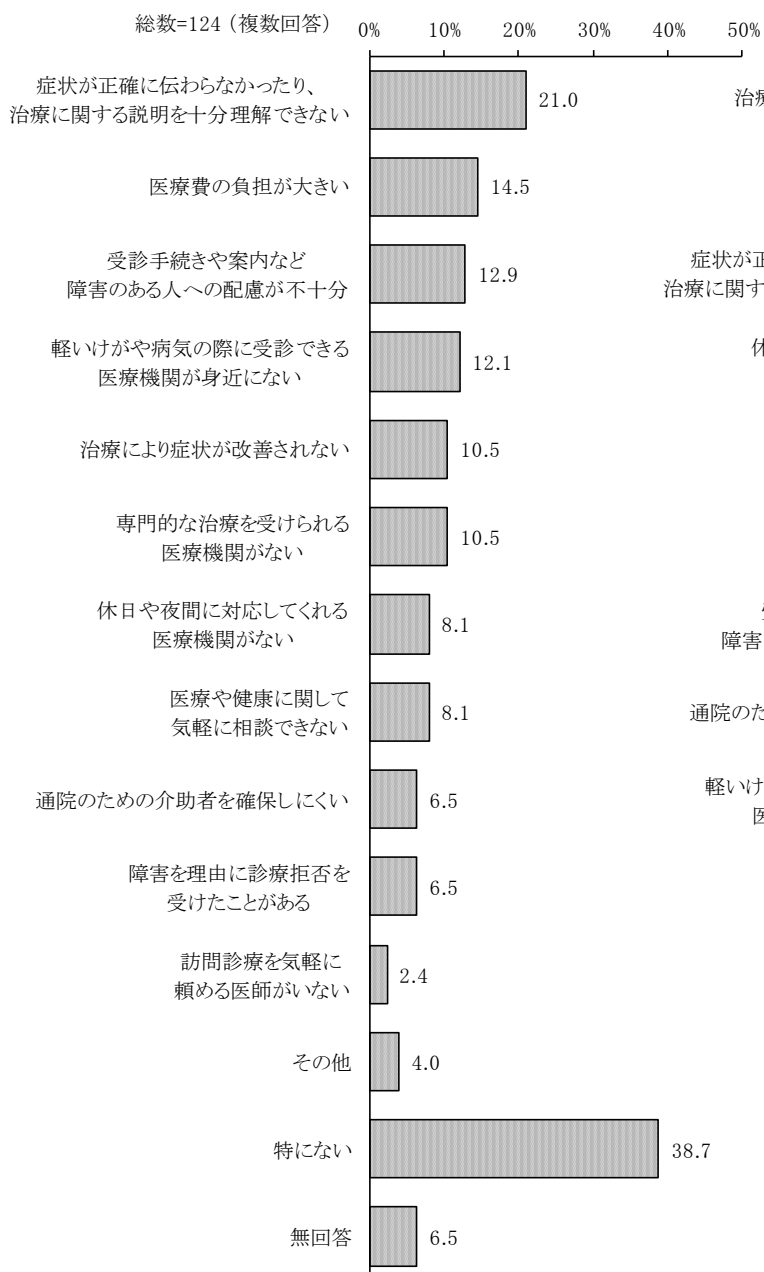
障害別に見ると、知的障害では「症状が正確に伝わらなかったり、治療に関する説明を十分理解できない」が最も多くなっています。

全体

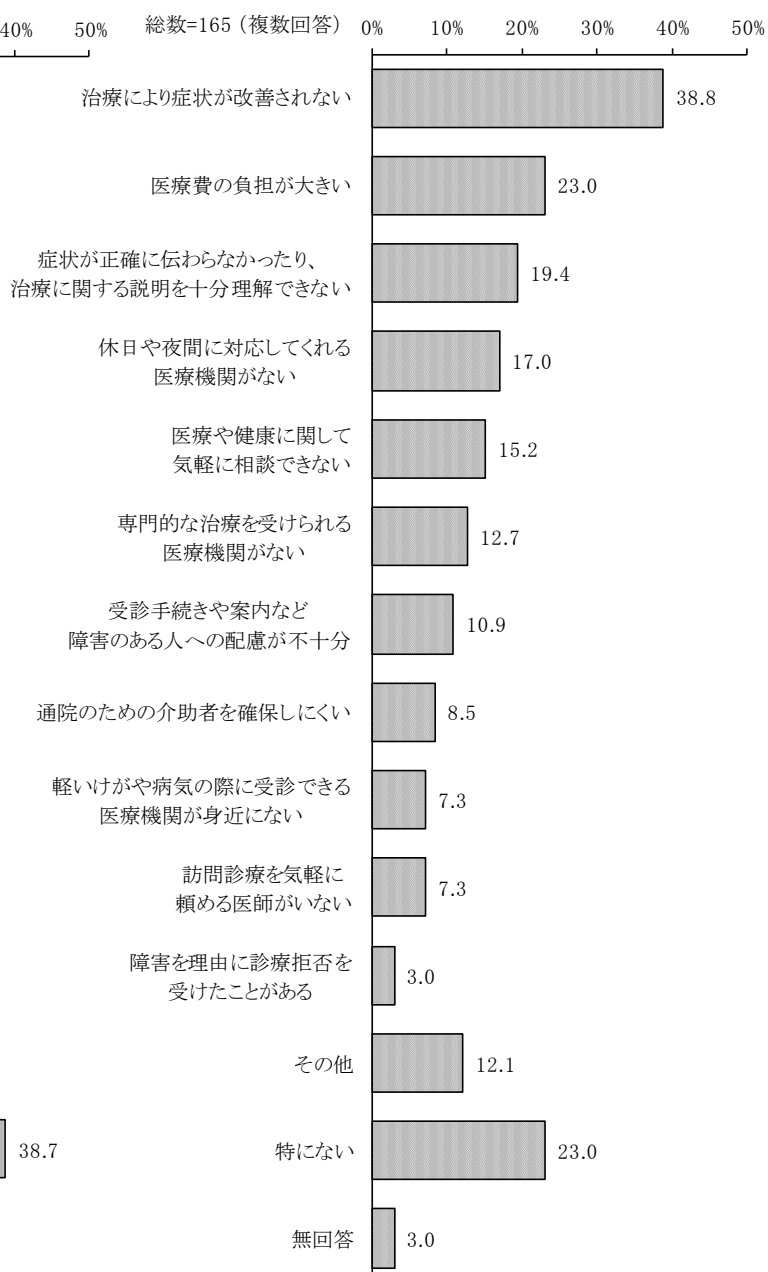
身体障害



知的障害



精神障害



疾患や障害の有無別にみると、「治療により症状が改善されない」では気分障害(うつ病・躁うつ病)、神経症が多くなっています。

●医療を受ける際に困ること（疾患や障害の有無別）

		全体	治療により症状が改善されない	受診しにくい医療機関が身近にない	専門的な治療を受けられない医療機関がない	休日や夜間に医療機関に対応してくれない医療機関がない	介助者や通院のためののきく確保しにくい	訪問診療を気軽に頼める医師がいない	受診手続きや案内など障害のある人への配慮が不十分
	全体	860 100.0	197 22.9	41 4.8	72 8.4	66 7.7	68 7.9	41 4.8	61 7.1
疾患や障害の有無	難病	68 100.0	21 30.9	5 7.4	7 10.3	8 11.8	11 16.2	7 10.3	3 4.4
	慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）	198 100.0	53 26.8	5 2.5	17 8.6	14 7.1	16 8.1	8 4.0	14 7.1
	統合失調症	79 100.0	25 31.6	4 5.1	7 8.9	9 11.4	7 8.9	4 5.1	5 6.3
	気分障害（うつ病・躁うつ病）	80 100.0	37 46.3	6 7.5	14 17.5	21 26.3	8 10.0	7 8.8	13 16.3
	神経症	25 100.0	12 48.0	1 4.0	6 24.0	3 12.0	6 24.0	3 12.0	3 12.0
	依存症（アルコール・薬物等）	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	- -	- -	- -	- -
	知的障害	113 100.0	17 15.0	16 14.2	12 10.6	10 8.8	9 8.0	4 3.5	16 14.2
	発達障害	59 100.0	17 28.8	8 13.6	14 23.7	5 8.5	3 5.1	3 5.1	12 20.3
	高次脳機能障害	26 100.0	9 34.6	3 11.5	5 19.2	2 7.7	5 19.2	2 7.7	5 19.2
	その他	96 100.0	29 30.2	3 3.1	8 8.3	8 8.3	9 9.4	5 5.2	7 7.3
	特にない	173 100.0	26 15.0	9 5.2	6 3.5	6 3.5	8 4.6	7 4.0	9 5.2
	無回答	98 100.0	19 19.4	3 3.1	10 10.2	6 6.1	10 10.2	6 6.1	6 6.1

		医療や健康に相談できない	症状が正確に伝わらなかったり、治療に関する説明を十分理解できない	医療費の負担が大きい	障害を理由に診療拒否を受けたことがある	その他	特にない	無回答
	全体	76 8.8	89 10.3	140 16.3	24 2.8	57 6.6	316 36.7	92 10.7
疾患や障害の有無	難病	4 5.9	7 10.3	13 19.1	2 2.9	7 10.3	17 25.0	8 11.8
	慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）	21 10.6	20 10.1	45 22.7	7 3.5	11 5.6	65 32.8	23 11.6
	統合失調症	10 12.7	9 11.4	13 16.5	2 2.5	5 6.3	26 32.9	6 7.6
	気分障害（うつ病・躁うつ病）	17 21.3	24 30.0	26 32.5	4 5.0	12 15.0	11 13.8	2 2.5
	神経症	3 12.0	9 36.0	7 28.0	- -	7 28.0	4 16.0	- -
	依存症（アルコール・薬物等）	2 33.3	1 16.7	1 16.7	- -	1 16.7	- -	1 16.7
	知的障害	11 9.7	25 22.1	19 16.8	8 7.1	6 5.3	38 33.6	7 6.2
	発達障害	8 13.6	12 20.3	18 30.5	3 5.1	11 18.6	13 22.0	2 3.4
	高次脳機能障害	6 23.1	6 23.1	8 30.8	1 3.8	3 11.5	7 26.9	2 7.7
	その他	9 9.4	16 16.7	14 14.6	4 4.2	7 7.3	31 32.3	11 11.5
	特にない	7 4.0	5 2.9	18 10.4	- -	6 3.5	98 56.6	11 6.4
	無回答	12 12.2	6 6.1	10 10.2	2 2.0	4 4.1	31 31.6	24 24.5

(3) 介助や支援が必要なこと

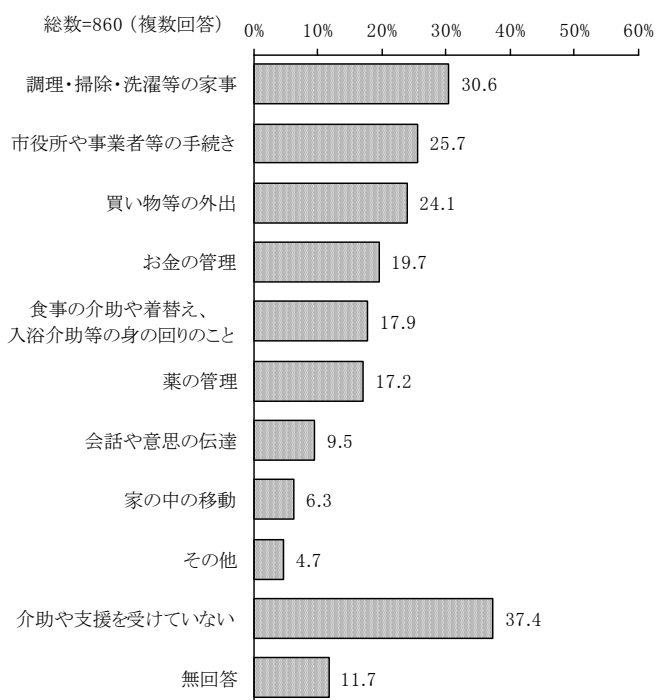
問 11 あなたは日常生活でどのような介助や支援を受けていますか。

(あてはまるものすべてに○)

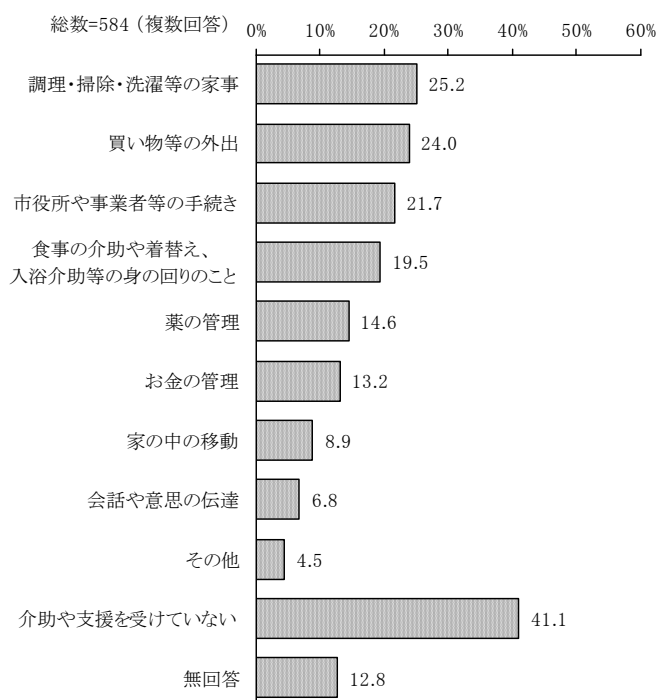
全体では、「調理・掃除・洗濯等の家事」が30.6%と最も多く、次いで「市役所や事業者等の手続き」が25.7%、「買い物等の外出」が24.1%、「お金の管理」が19.7%となっています。「介助や支援を受けていない」が37.4%とやや多くなっています。

障害別に見ると、知的障害では「お金の管理」が最も多く、全体的に回答が多くなっています。

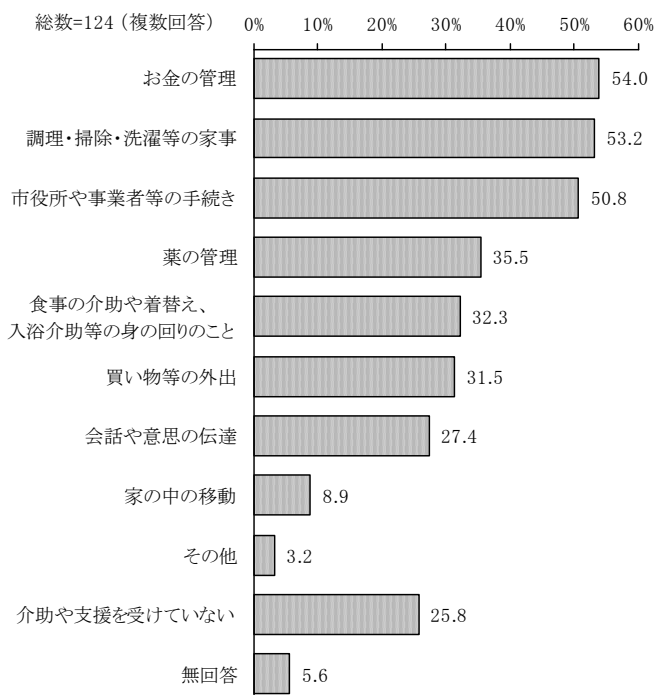
全体



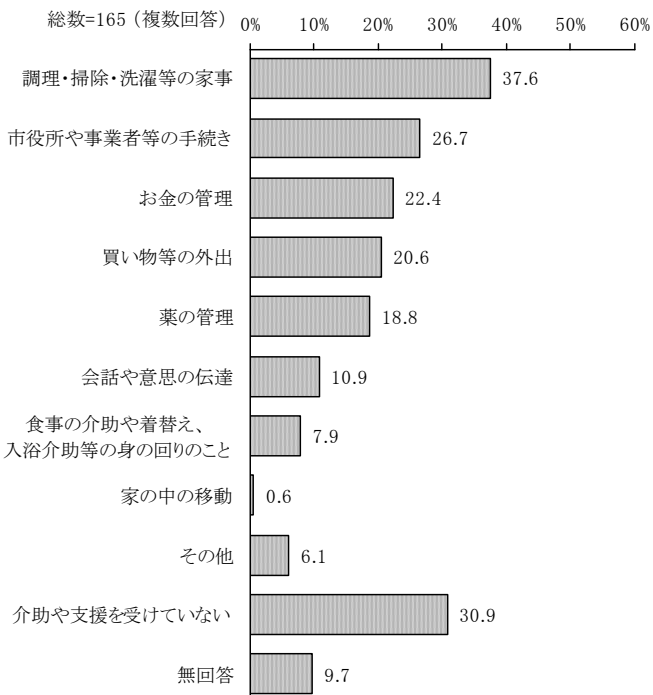
身体障害



知的障害



精神障害



年齢別に見ると、知的障害では、18～39歳で回答の多い項目が多くなっています。

●介助や支援が必要なこと（年齢別）

		全体	食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと	調理・掃除・洗濯等の家事	会話や意思の伝達	家の中の移動	買い物等の外出	薬の管理	お金の管理	市役所や事業者等の手続き	その他	介助や支援を受けていない	無回答
	全体	860 100.0	154 17.9	263 30.6	82 9.5	54 6.3	207 24.1	148 17.2	169 19.7	221 25.7	40 4.7	322 37.4	101 11.7
年齢別	身体障害・18～39歳	12 100.0	6 50.0	5 41.7	4 33.3	5 41.7	5 41.7	5 41.7	6 50.0	6 50.0	- -	5 41.7	- -
	身体障害・40～64歳	114 100.0	19 16.7	26 22.8	10 8.8	9 7.9	22 19.3	11 9.6	9 7.9	19 16.7	5 4.4	53 46.5	14 12.3
	身体障害・65歳以上	458 100.0	89 19.4	116 25.3	26 5.7	38 8.3	113 24.7	69 15.1	62 13.5	102 22.3	21 4.6	182 39.7	61 13.3
	知的障害・18～39歳	58 100.0	21 36.2	34 58.6	18 31.0	6 10.3	27 46.6	26 44.8	38 65.5	35 60.3	4 6.9	15 25.9	1 1.7
	知的障害・40～64歳	56 100.0	17 30.4	27 48.2	13 23.2	4 7.1	10 17.9	15 26.8	24 42.9	25 44.6	- -	16 28.6	3 5.4
	知的障害・65歳以上	10 100.0	2 20.0	5 50.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	3 30.0	5 50.0	3 30.0	- -	1 10.0	3 30.0
	精神障害・18～39歳	41 100.0	3 7.3	17 41.5	7 17.1	- -	8 19.5	10 24.4	10 24.4	14 34.1	3 7.3	11 26.8	7 17.1
	精神障害・40～64歳	105 100.0	7 6.7	37 35.2	9 8.6	1 1.0	19 18.1	15 14.3	22 21.0	23 21.9	7 6.7	36 34.3	8 7.6
	精神障害・65歳以上	19 100.0	3 15.8	8 42.1	2 10.5	- -	7 36.8	6 31.6	5 26.3	7 36.8	- -	4 21.1	1 5.3
	無回答	10 100.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	- -	2 20.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0

身体障害の種類別に見ると、「買い物等の外出」「市役所や事業者等の手続き」では視覚障害が多くなっています。

●介助や支援が必要なこと（身体障害の種類別）

		全体	食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと	調理・掃除・洗濯等の家事	会話や意思の伝達	家の中の移動	買い物等の外出	薬の管理	お金の管理	市役所や事業者等の手続き	その他	介助や支援を受けていない	無回答
	全体	584 100.0	114 19.5	147 25.2	40 6.8	52 8.9	140 24.0	85 14.6	77 13.2	127 21.7	26 4.5	240 41.1	75 12.8
身体障害の種類別	視覚障害	37 100.0	5 13.5	7 18.9	1 2.7	3 8.1	14 37.8	4 10.8	9 24.3	15 40.5	4 10.8	8 21.6	5 13.5
	聴覚・平衡機能障害	41 100.0	6 14.6	14 34.1	9 22.0	3 7.3	7 17.1	9 22.0	6 14.6	10 24.4	1 2.4	14 34.1	3 7.3
	音声・言語・そしゃく機能障害	19 100.0	6 31.6	8 42.1	5 26.3	4 21.1	8 42.1	7 36.8	9 47.4	8 42.1	3 15.8	4 21.1	4 21.1
	肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）	312 100.0	89 28.5	106 34.0	29 9.3	44 14.1	93 29.8	60 19.2	56 17.9	83 26.6	15 4.8	113 36.2	32 10.3
	内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）	198 100.0	21 10.6	27 13.6	5 2.5	8 4.0	30 15.2	17 8.6	8 4.0	28 14.1	10 5.1	102 51.5	28 14.1
	無回答	14 100.0	3 21.4	3 21.4	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	- -	1 7.1	1 7.1	2 14.3	6 42.9

疾患や障害の有無別に見ると、「調理・掃除・洗濯等の家事」では神経症、知的障害、発達障害が、「薬の管理」では高次脳機能障害が、「お金の管理」「市役所や事業者等の手続き」では知的障害、高次脳機能障害が多くなっています。

● 介助や支援が必要なこと（疾患や障害の有無別）

		全体	食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと	調理・掃除・洗濯等の家事	会話や意思の伝達	家の中の移動	買い物等の外出	薬の管理	お金の管理	市役所や事業者等の手続き	その他	介助や支援を受けていない	無回答
全体		860 100.0	154 17.9	263 30.6	82 9.5	54 6.3	207 24.1	148 17.2	169 19.7	221 25.7	40 4.7	322 37.4	101 11.7
疾患や障害の有無	難病	68 100.0	19 27.9	19 27.9	5 7.4	7 10.3	21 30.9	13 19.1	9 13.2	18 26.5	4 5.9	22 32.4	11 16.2
	慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）	198 100.0	44 22.2	65 32.8	16 8.1	19 9.6	54 27.3	33 16.7	29 14.6	57 28.8	15 7.6	65 32.8	19 9.6
	統合失調症	79 100.0	8 10.1	33 41.8	7 8.9	1 1.3	18 22.8	19 24.1	19 24.1	22 27.8	4 5.1	19 24.1	9 11.4
	気分障害（うつ病・躁うつ病）	80 100.0	6 7.5	28 35.0	12 15.0	-	19 23.8	13 16.3	18 22.5	20 25.0	8 10.0	25 31.3	7 8.8
	神経症	25 100.0	5 20.0	13 52.0	4 16.0	2 8.0	9 36.0	3 12.0	5 20.0	9 36.0	2 8.0	5 20.0	2 8.0
	依存症（アルコール・薬物等）	6 100.0	-	4 66.7	-	-	2 33.3	-	-	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7
	知的障害	113 100.0	39 34.5	63 55.8	36 31.9	12 10.6	41 36.3	47 41.6	68 60.2	63 55.8	4 3.5	26 23.0	2 1.8
	発達障害	59 100.0	14 23.7	32 54.2	15 25.4	1 1.7	17 28.8	19 32.2	28 47.5	27 45.8	6 10.2	13 22.0	4 6.8
	高次脳機能障害	26 100.0	12 46.2	10 38.5	6 23.1	5 19.2	10 38.5	14 53.8	16 61.5	15 57.7	1 3.8	4 15.4	-
	その他	96 100.0	22 22.9	37 38.5	8 8.3	12 12.5	27 28.1	24 25.0	28 29.2	29 30.2	9 9.4	31 32.3	10 10.4
	特にない	173 100.0	11 6.4	25 14.5	4 2.3	4 2.3	29 16.8	8 4.6	8 4.6	16 9.2	4 2.3	103 59.5	19 11.0
	無回答	98 100.0	14 14.3	19 19.4	7 7.1	5 5.1	20 20.4	11 11.2	8 8.2	16 16.3	-	34 34.7	27 27.6

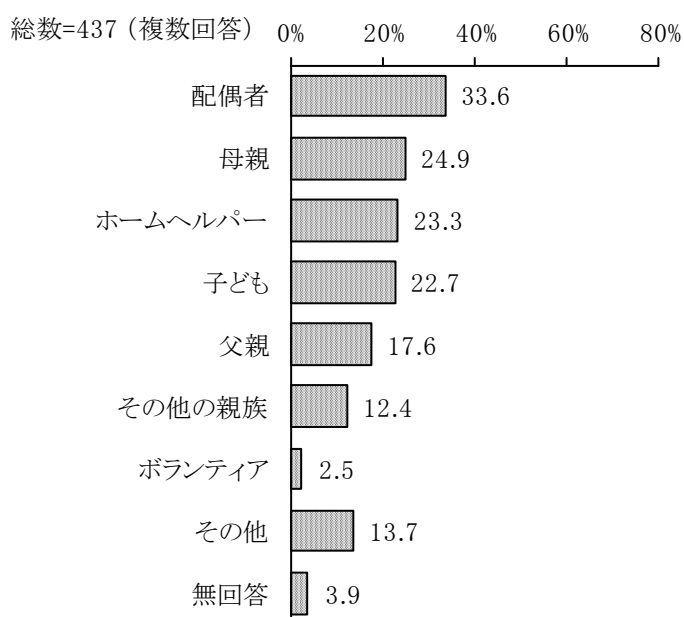
(4) 主な介助者

問 12 問 11 で「介助や支援を受けている（1～9）」と回答した方にお聞きします。あなたを介助や支援している人は誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

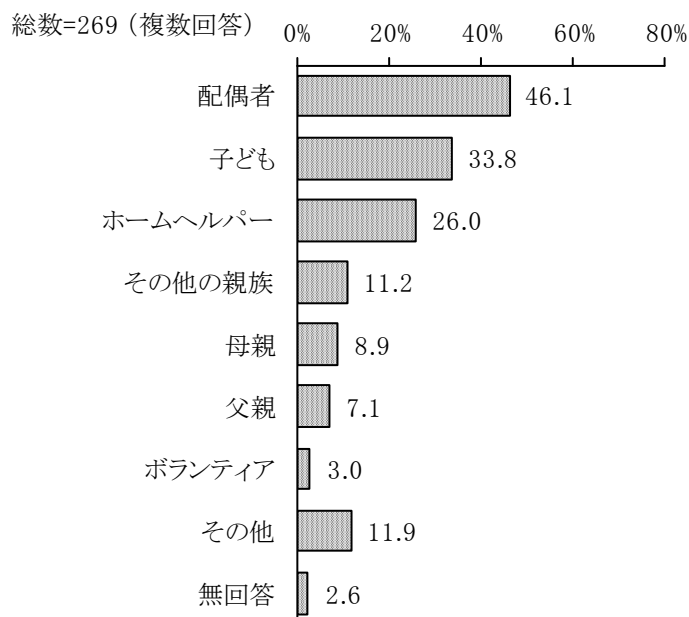
全体では、「配偶者」が 33.6%と最も多く、次いで「母親」が 24.9%、「ホームヘルパー」が 23.3%、「子ども」が 22.7%となっています。

障害別に見ると、知的障害や精神障害では「母親」が最も多く、知的障害で特に多くなっています。

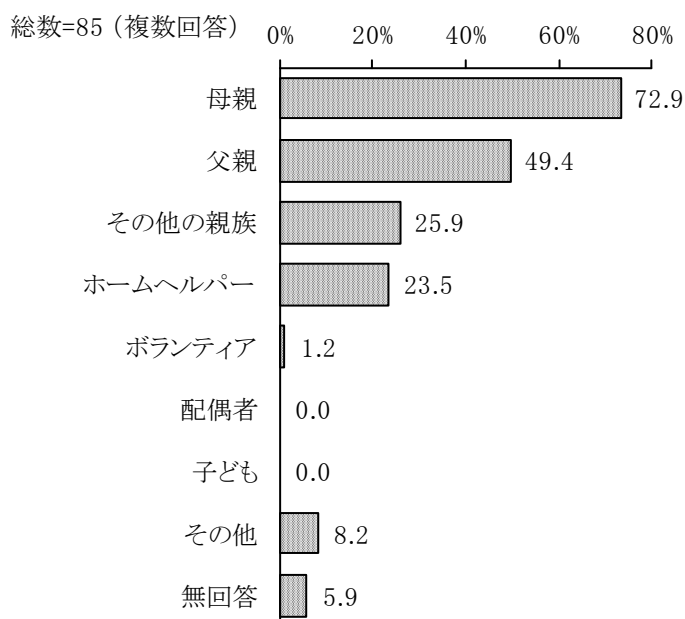
全体



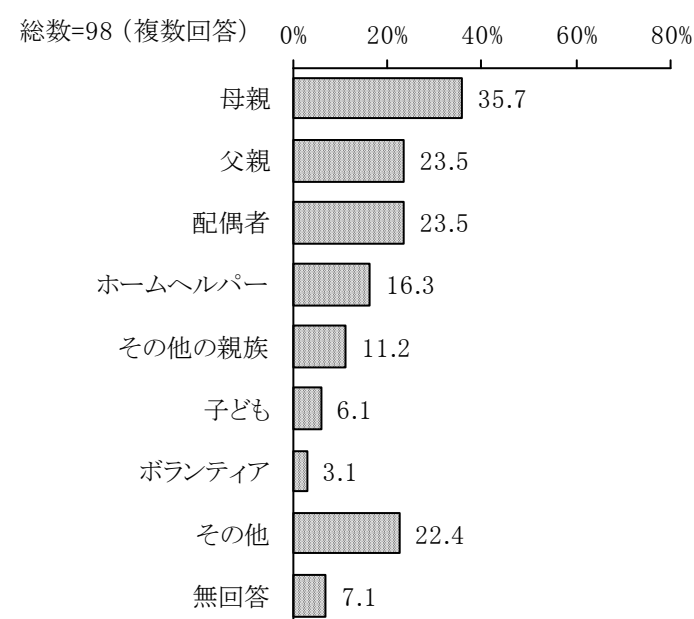
身体障害



知的障害



精神障害



男女別に見ると、身体障害では、「配偶者」は男性のほうが、「子ども」「ホームヘルパー」は女性のほうが多くなっています。「母親」「父親」は、知的障害では男性のほうが、精神障害では女性のほうが多くなっています。

●主な介助者（男女別）

		全体	父親	母親	配偶者	子ども	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
全体		437 100.0	77 17.6	109 24.9	147 33.6	99 22.7	54 12.4	102 23.3	11 2.5	60 13.7	17 3.9
男女別	身体障害・男性	125 100.0	13 10.4	15 12.0	69 55.2	26 20.8	14 11.2	26 20.8	4 3.2	14 11.2	2 1.6
	身体障害・女性	143 100.0	6 4.2	9 6.3	55 38.5	65 45.5	16 11.2	44 30.8	4 2.8	18 12.6	4 2.8
	知的障害・男性	54 100.0	30 55.6	44 81.5	-	-	13 24.1	12 22.2	1 1.9	3 5.6	2 3.7
	知的障害・女性	31 100.0	12 38.7	18 58.1	-	-	9 29.0	8 25.8	-	4 12.9	3 9.7
	精神障害・男性	44 100.0	8 18.2	12 27.3	12 27.3	3 6.8	4 9.1	8 18.2	3 6.8	10 22.7	3 6.8
	精神障害・女性	54 100.0	15 27.8	23 42.6	11 20.4	3 5.6	7 13.0	8 14.8	-	12 22.2	4 7.4
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0	-	-	-	2 40.0	1 20.0

同居家族別に見ると、身体障害では、家族と同居の方で「配偶者」が、ひとり暮らしの方で「ホームヘルパー」が多くなっています。精神障害では、家族と同居の方で「母親」が、ひとり暮らしの方で「ホームヘルパー」が多くなっています。

●主な介助者（同居家族別）

		全体	父親	母親	配偶者	子ども	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
全体		437 100.0	77 17.6	109 24.9	147 33.6	99 22.7	54 12.4	102 23.3	11 2.5	60 13.7	17 3.9
同居家族別	身体障害・家族と同居	214 100.0	18 8.4	24 11.2	124 57.9	76 35.5	23 10.7	37 17.3	4 1.9	22 10.3	4 1.9
	身体障害・ひとり暮らし	47 100.0	-	-	-	13 27.7	7 14.9	29 61.7	4 8.5	9 19.1	1 2.1
	身体障害・グループホームでの集団生活	5 100.0	-	-	-	1 20.0	-	2 40.0	-	1 20.0	2 40.0
	知的障害・家族と同居	76 100.0	42 55.3	61 80.3	-	-	21 27.6	14 18.4	1 1.3	4 5.3	4 5.3
	知的障害・ひとり暮らし	7 100.0	-	1 14.3	-	-	1 14.3	5 71.4	-	3 42.9	-
	知的障害・グループホームでの集団生活	2 100.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0
	精神障害・家族と同居	71 100.0	22 31.0	34 47.9	23 32.4	5 7.0	8 11.3	5 7.0	1 1.4	13 18.3	4 5.6
	精神障害・ひとり暮らし	23 100.0	-	1 4.3	-	1 4.3	3 13.0	10 43.5	2 8.7	7 30.4	3 13.0
	精神障害・グループホームでの集団生活	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-
	無回答	10 100.0	3 30.0	1 10.0	-	3 30.0	-	2 20.0	-	4 40.0	-

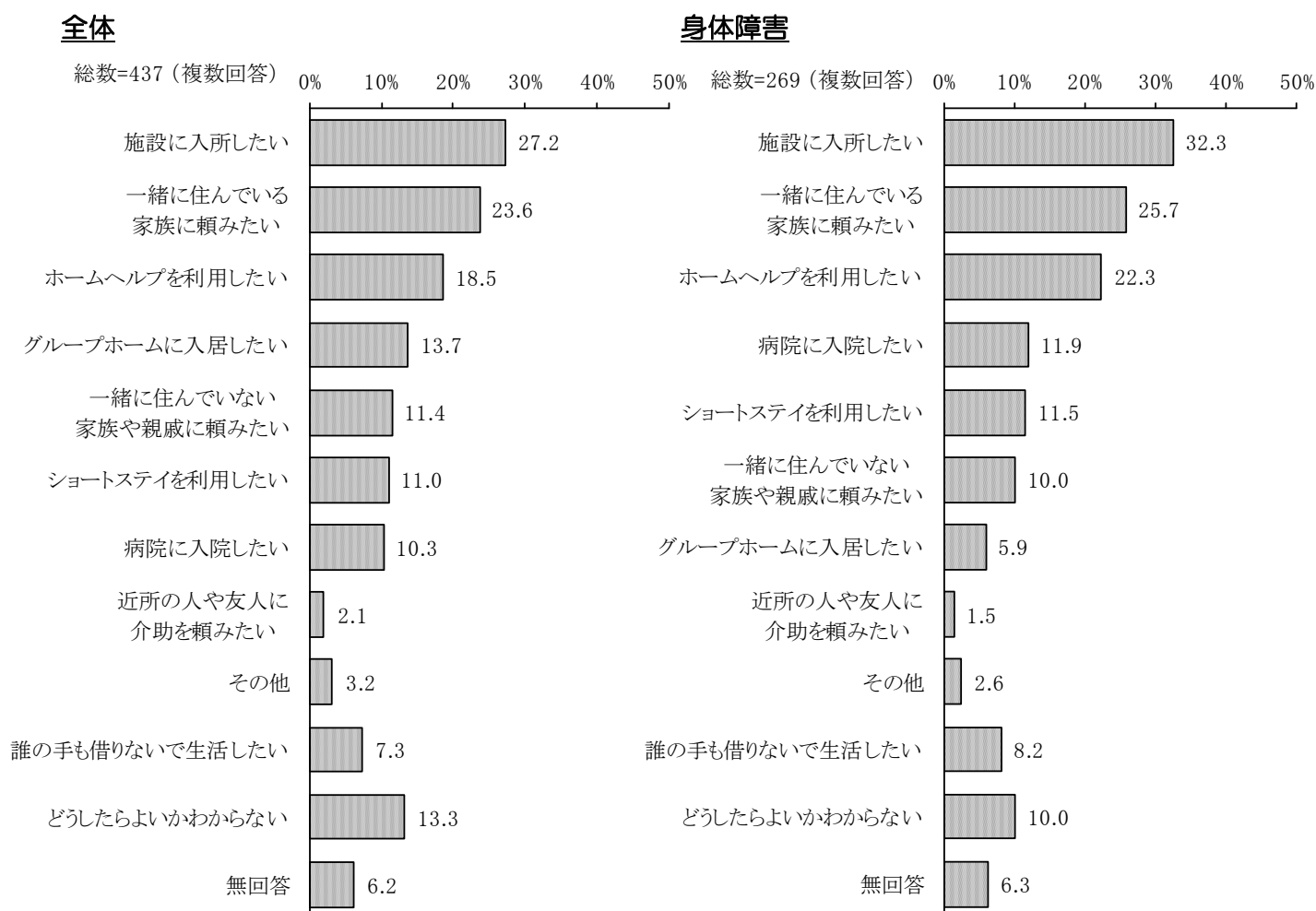
（５）主な介助者が介助できなくなった場合の希望

問 13 問 11 で「介助や支援を受けている（１～９）」と回答した方にお聞きます。介助者があなたを介助や支援できなくなった場合は、あなたはどうしたいですか。

（あてはまるものすべてに○）

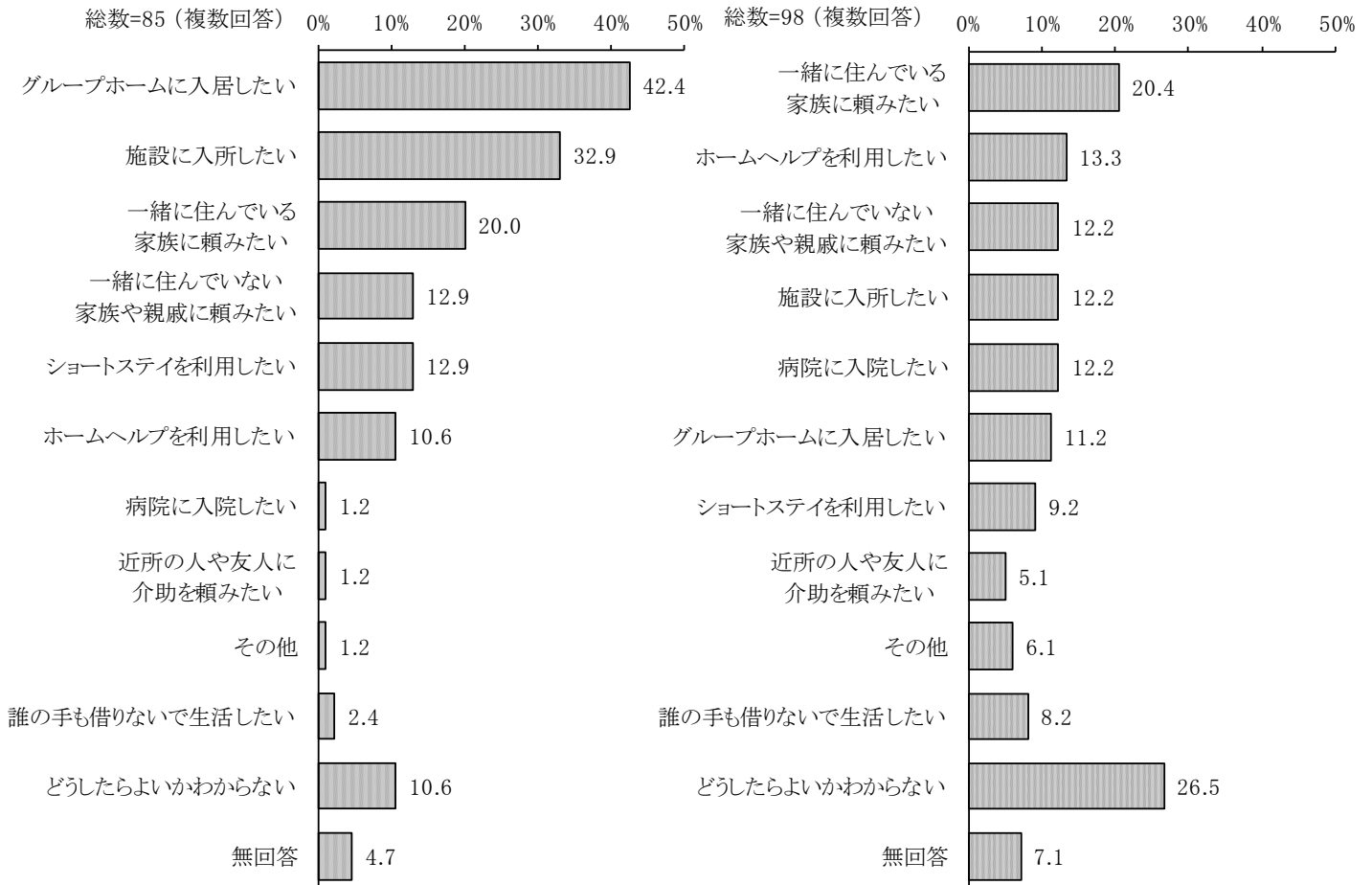
全体では、「施設に入所したい」が 27.2%と最も多く、次いで「一緒に住んでいる家族に頼みたい」が 23.6%、「ホームヘルプを利用したい」が 18.5%、「グループホームに入居したい」が 13.7%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「グループホームに入居したい」が、精神障害では「一緒に住んでいる家族に頼みたい」が最も多くなっています。



知的障害

精神障害



同居家族別に見ると、身体障害では、家族と同居の方で「一緒に住んでいる家族に頼みたい」が、ひとり暮らしの方で「ホームヘルプを利用したい」が多くなっています。

●主な介助者が介助できなくなった場合の希望（同居家族別）

		全体	一緒に住んでいる 家族に頼みたい	一緒に住んでいない 家族や親戚に頼みたい	ホームヘルプを 利用したい	ショートステイを 利用したい	施設に入所したい	グループホームに 入居したい	病院に入院したい	近所の人や友人に 介助を頼みたい	その他	誰の手も借りないで 生活したい	どうしたらよいか わからない	無回答
全体		437 100.0	103 23.6	50 11.4	81 18.5	48 11.0	119 27.2	60 13.7	45 10.3	9 2.1	14 3.2	32 7.3	58 13.3	27 6.2
同居家族別	身体障害・家族と同居	214 100.0	69 32.2	23 10.7	43 20.1	28 13.1	68 31.8	13 6.1	23 10.7	3 1.4	5 2.3	18 8.4	20 9.3	12 5.6
	身体障害・ ひとり暮らし	47 100.0	-	4 8.5	16 34.0	2 4.3	15 31.9	3 6.4	9 19.1	1 2.1	2 4.3	4 8.5	7 14.9	3 6.4
	身体障害・グループ ホームでの集団生活	5 100.0	-	-	-	1 20.0	3 60.0	-	-	-	-	-	-	1 20.0
	知的障害・家族と同居	76 100.0	17 22.4	11 14.5	8 10.5	11 14.5	27 35.5	36 47.4	1 1.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3	5 6.6	2 2.6
	知的障害・ ひとり暮らし	7 100.0	-	-	1 14.3	-	-	-	-	-	-	1 14.3	4 57.1	1 14.3
	知的障害・グループ ホームでの集団生活	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0
	精神障害・家族と同居	71 100.0	20 28.2	10 14.1	9 12.7	8 11.3	8 11.3	9 12.7	7 9.9	3 4.2	3 4.2	6 8.5	20 28.2	3 4.2
	精神障害・ ひとり暮らし	23 100.0	-	2 8.7	4 17.4	1 4.3	4 17.4	2 8.7	4 17.4	2 8.7	3 13.0	1 4.3	6 26.1	2 8.7
	精神障害・グループ ホームでの集団生活	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	無回答	10 100.0	-	-	2 20.0	1 10.0	3 30.0	-	1 10.0	-	-	1 10.0	-	4 40.0

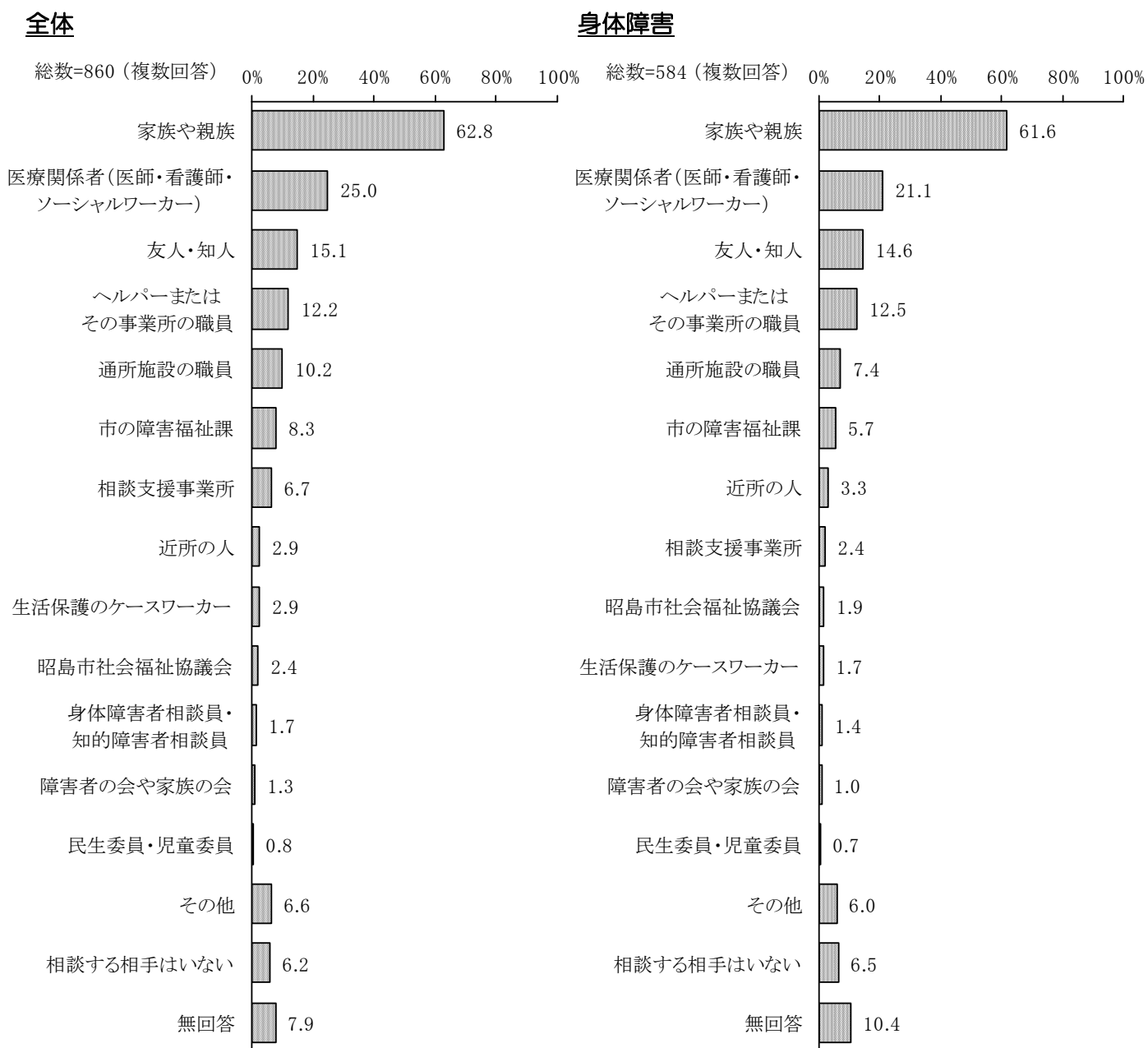
5. 相談や福祉情報について

(1) 困ったときに相談できる人や場所

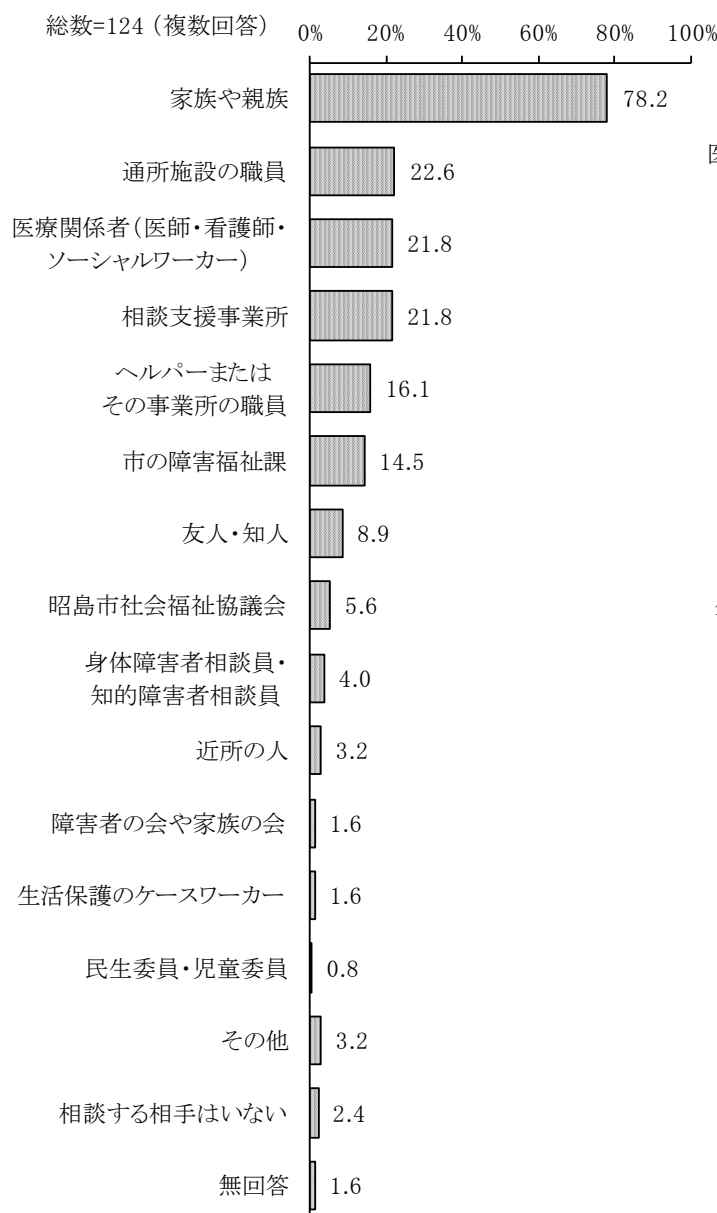
問 14 あなたは、日常生活で困ったことや悩み事について相談している人や場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「家族や親族」が62.8%と最も多く、次いで「医療関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)」が25.0%、「友人・知人」が15.1%、「ヘルパーまたはその事業所の職員」が12.2%となっています。

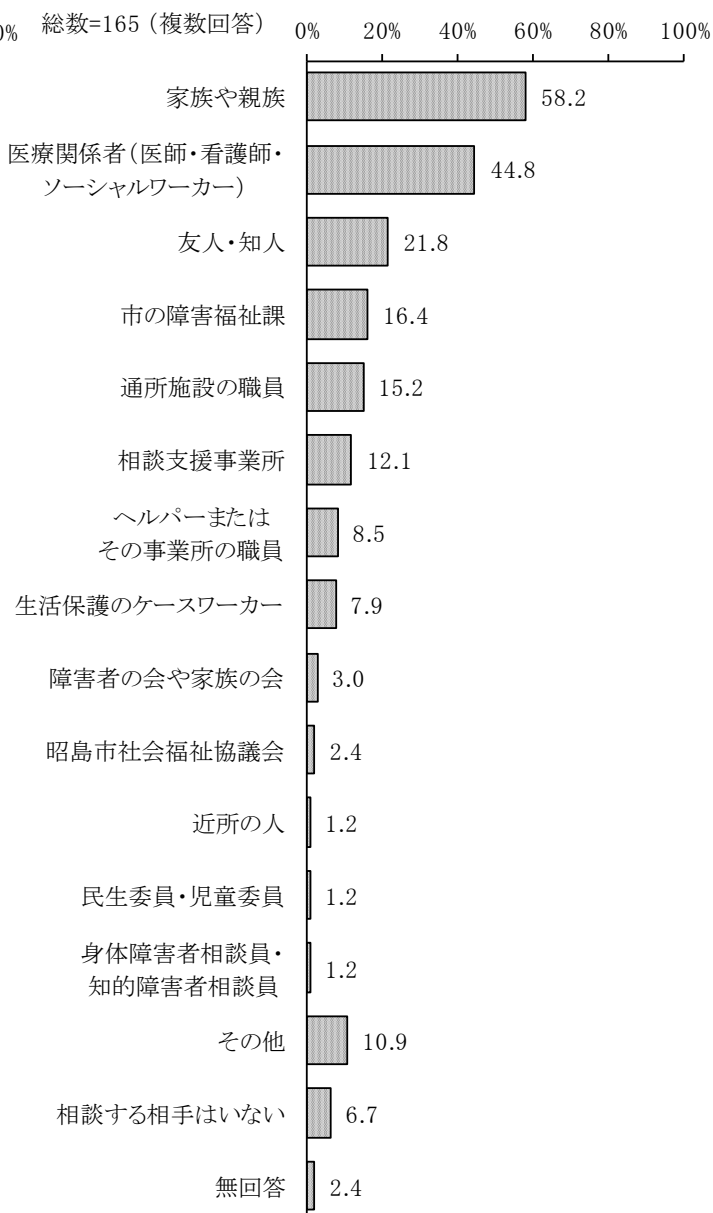
障害別に見ると、「家族や親族」以外では、精神障害で「医療関係者(医師・看護師・ソーシャルワーカー)」が多くなっています。



知的障害



精神障害



(2) 相談場所等の認知状況

問 15 あなたは、次の相談場所等を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

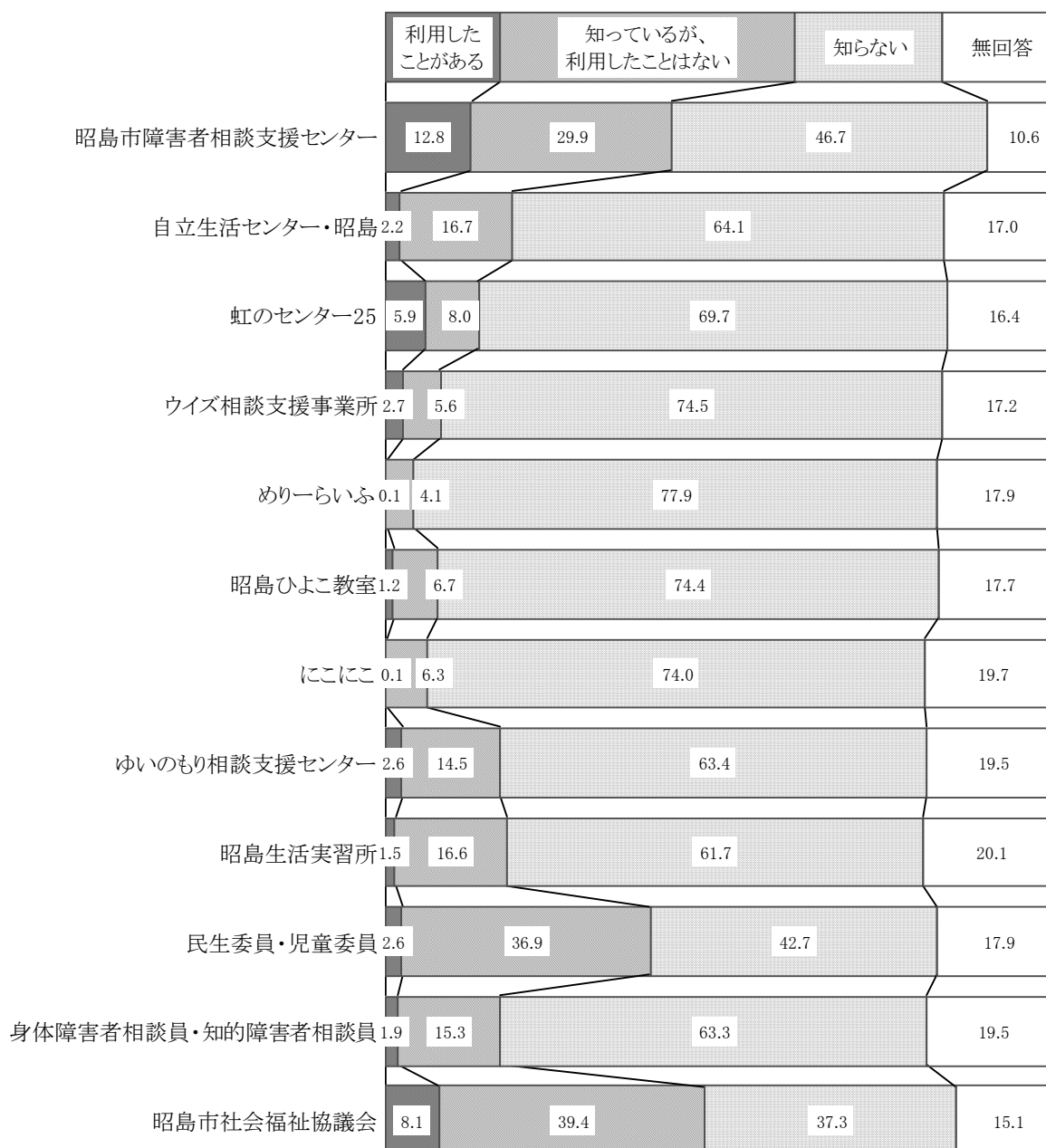
市内の相談支援機関等のうち、9つの機関等で「知らない」が6割以上を占めています。

『知っている』(「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」を合わせた割合)は、「昭島市社会福祉協議会」が47.6%と最も多く、次いで「昭島市障害者相談支援センター」が42.7%、「民生委員・児童委員」が39.4%、「自立生活センター・昭島」が19.0%となっています(実数から再計算しているため、四捨五入の関係で、「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の割合の合計とは数値が若干異なっている場合があります)。

「利用したことがある」は、「昭島市障害者相談支援センター」が12.8%と最も多く、次いで「昭島市社会福祉協議会」が8.1%、「虹のセンター25」が5.9%、「ウイズ相談支援事業所」が2.7%となっています。

総数=860

単位:%

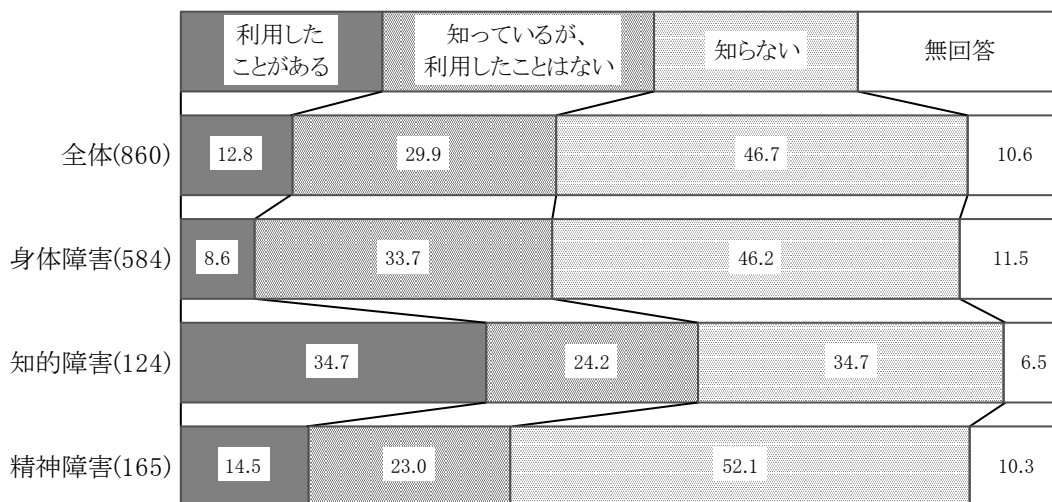


①昭島市障害者相談支援センター

全体では、「利用したことがある」が 12.8%、「知っているが、利用したことはない」が 29.9%、「知らない」が 46.7%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「利用したことがある」が多くなっています。

単位:%

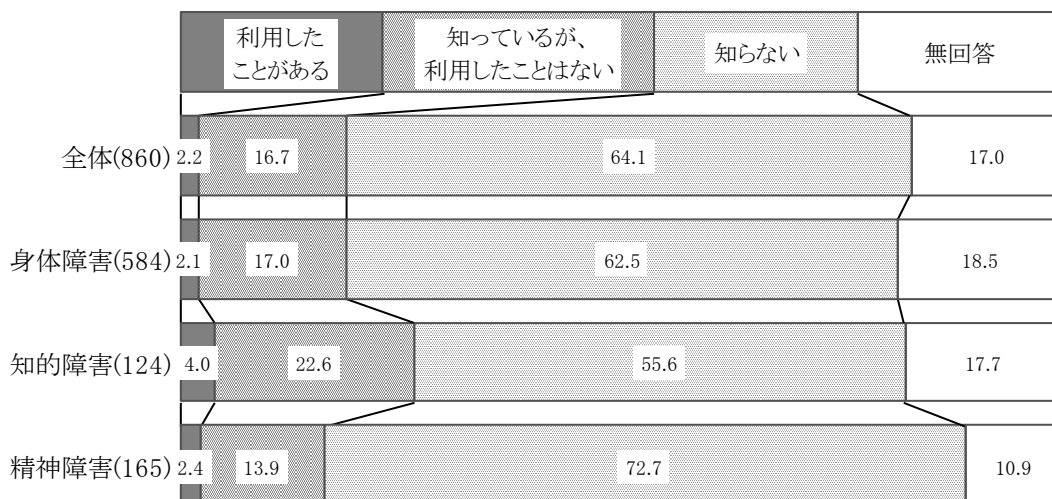


②自立生活センター・昭島

全体では、「利用したことがある」が 2.2%、「知っているが、利用したことはない」が 16.7%、「知らない」が 64.1%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

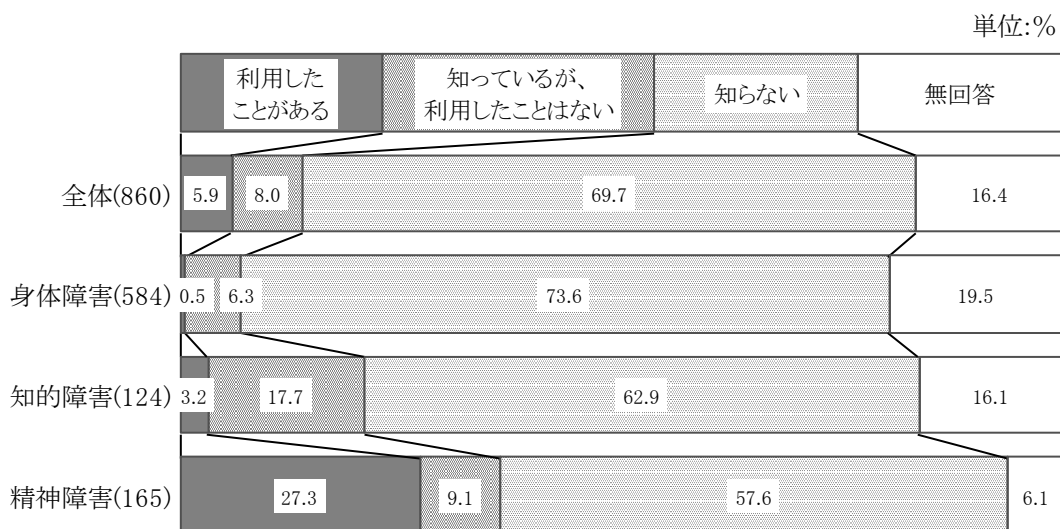
単位:%



③虹のセンター25

全体では、「利用したことがある」が5.9%、「知っているが、利用したことはない」が8.0%、「知らない」が69.7%となっています。

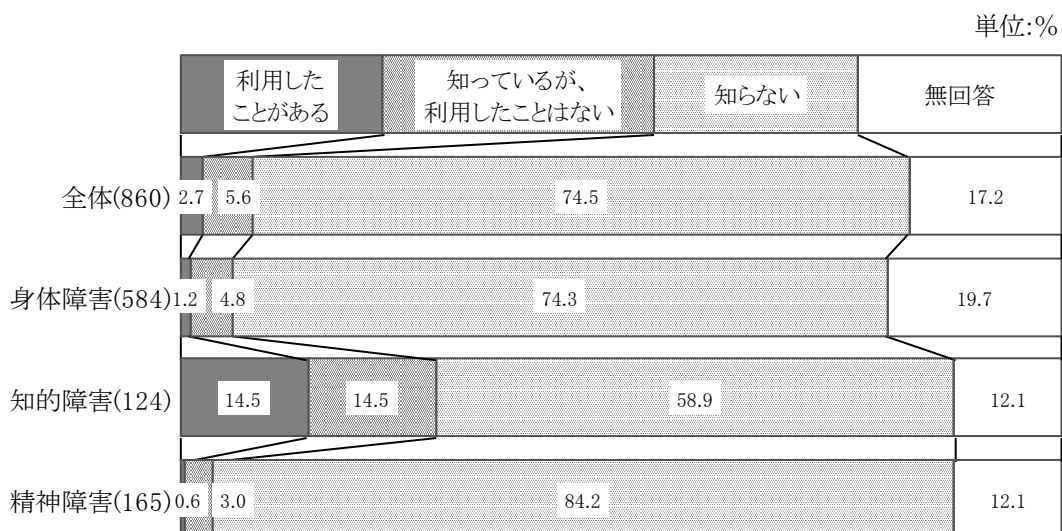
障害別に見ると、精神障害では「利用したことがある」が多くなっています。



④ウイズ相談支援事業所

全体では、「利用したことがある」が2.7%、「知っているが、利用したことはない」が5.6%、「知らない」が74.5%となっています。

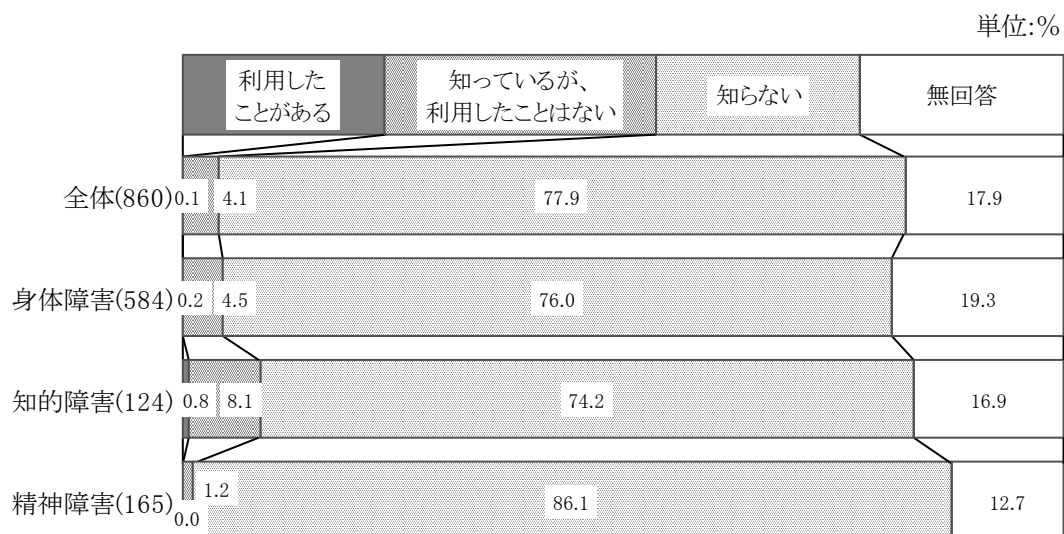
障害別に見ると、知的障害では「利用したことがある」がやや多くなっています。



⑤めりーらいふ

全体では、「利用したことがある」が0.1%、「知っているが、利用したことはない」が4.1%、「知らない」が77.9%となっています。

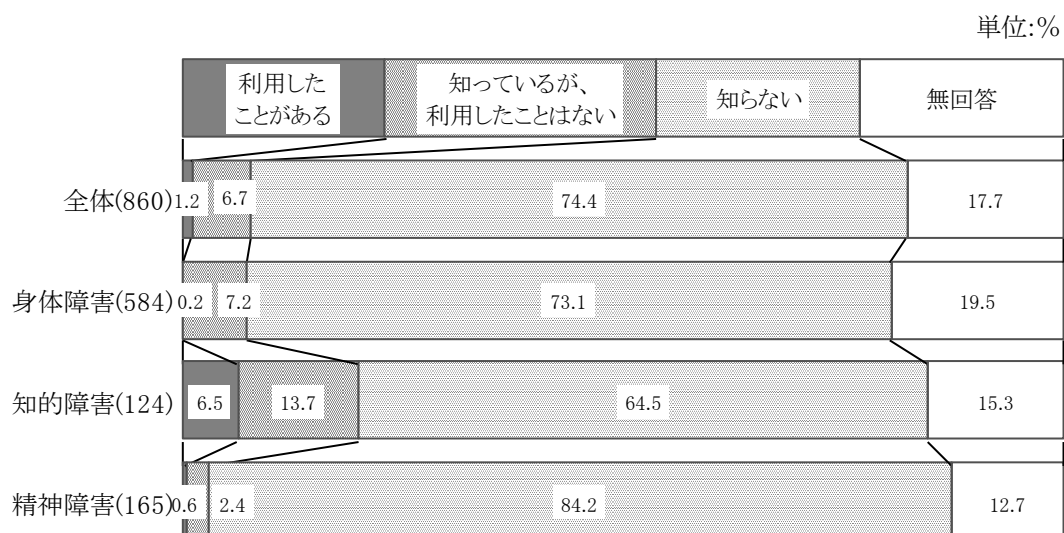
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑥昭島ひよこ教室

全体では、「利用したことがある」が1.2%、「知っているが、利用したことはない」が6.7%、「知らない」が74.4%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「利用したことがある」がやや多くなっています。

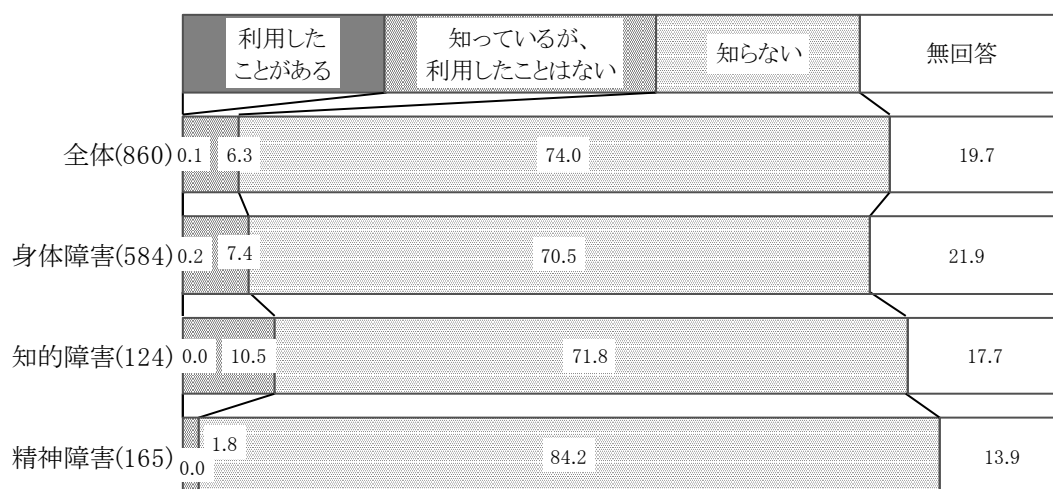


⑦にここ

全体では、「利用したことがある」が0.1%、「知っているが、利用したことはない」が6.3%、「知らない」が74.0%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

単位:%

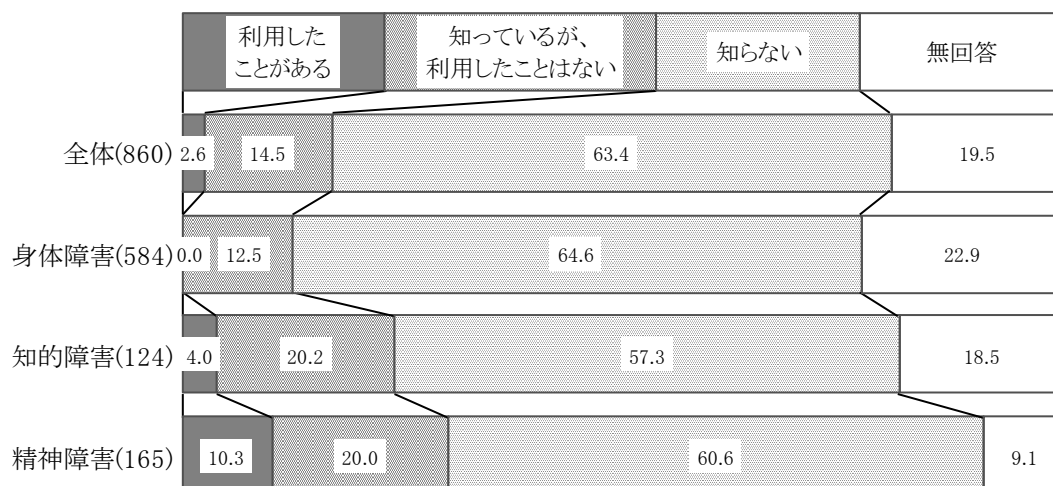


⑧ゆいのもり相談支援センター

全体では、「利用したことがある」が2.6%、「知っているが、利用したことはない」が14.5%、「知らない」が63.4%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「利用したことがある」がやや多くなっています。

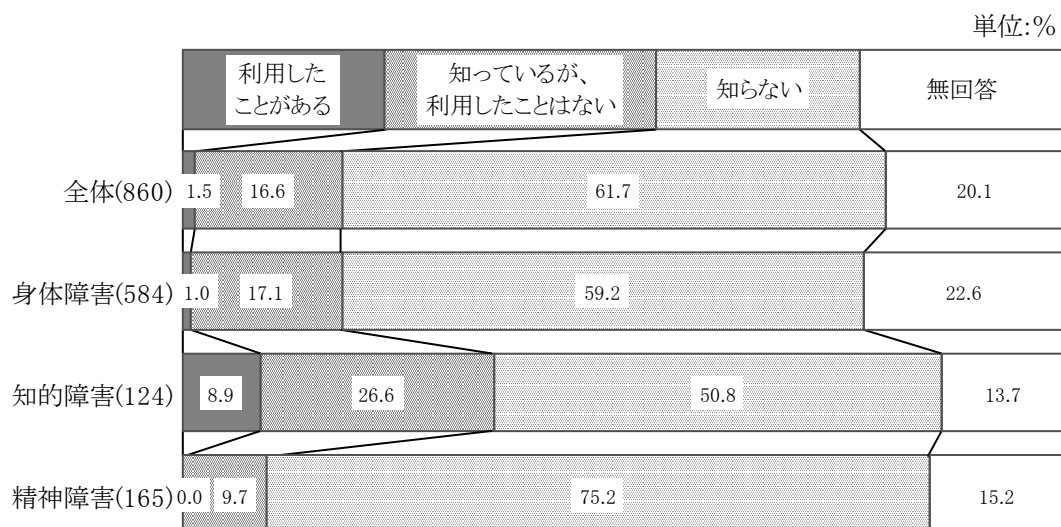
単位:%



⑨昭島生活実習所

全体では、「利用したことがある」が1.5%、「知っているが、利用したことはない」が16.6%、「知らない」が61.7%となっています。

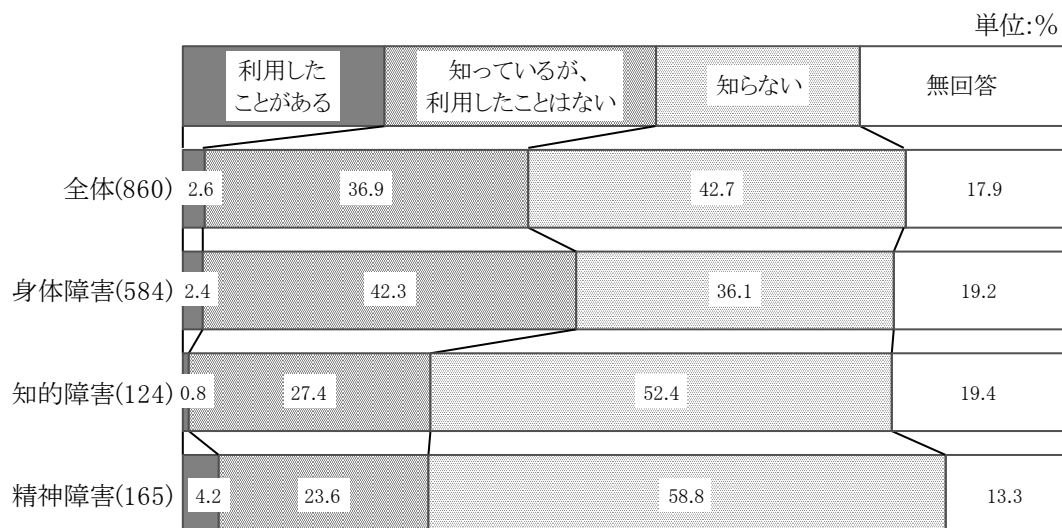
障害別に見ると、知的障害では「利用したことがある」がやや多くなっています。



⑩民生委員・児童委員

全体では、「利用したことがある」が2.6%、「知っているが、利用したことはない」が36.9%、「知らない」が42.7%となっています。

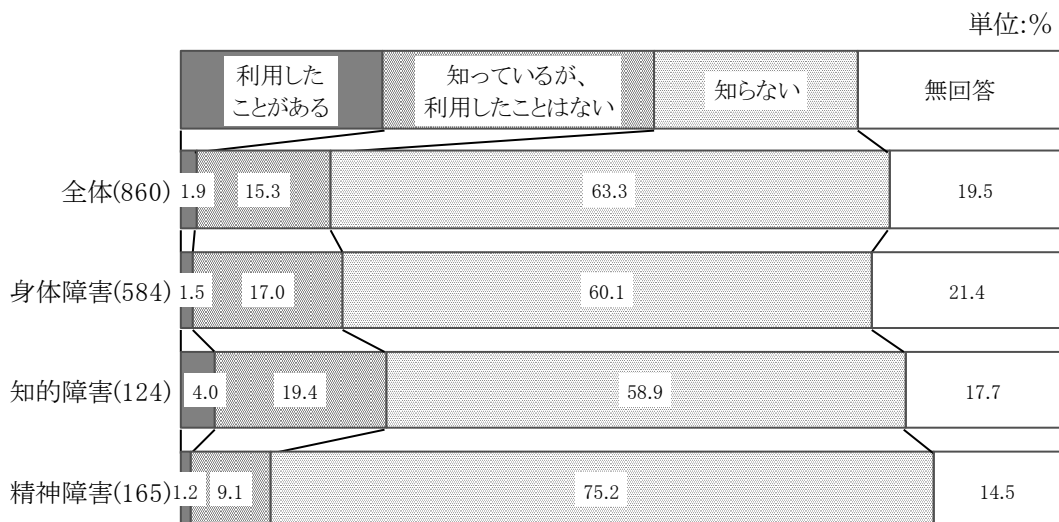
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑪身体障害者相談員・知的障害者相談員

全体では、「利用したことがある」が1.9%、「知っているが、利用したことはない」が15.3%、「知らない」が63.3%となっています。

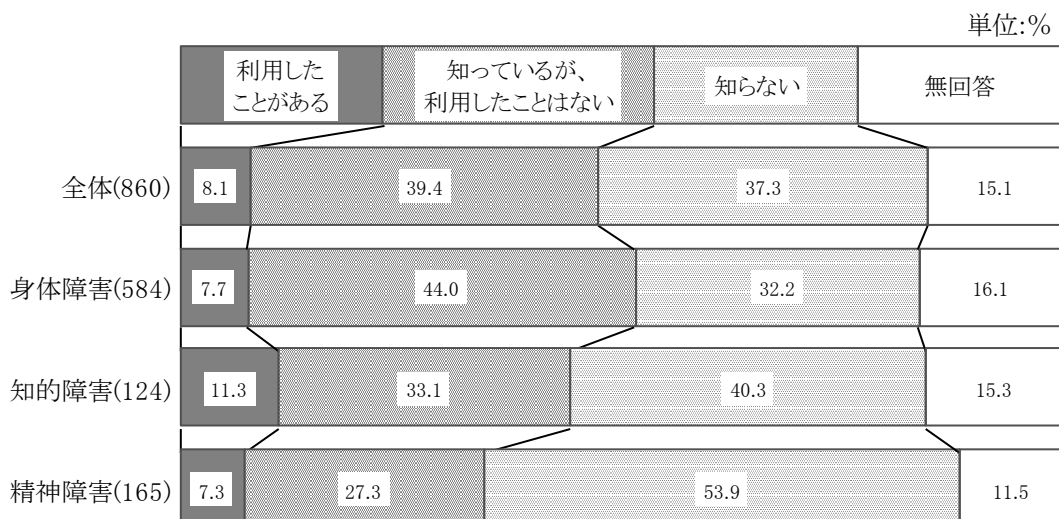
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑫昭島市社会福祉協議会

全体では、「利用したことがある」が8.1%、「知っているが、利用したことはない」が39.4%、「知らない」が37.3%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



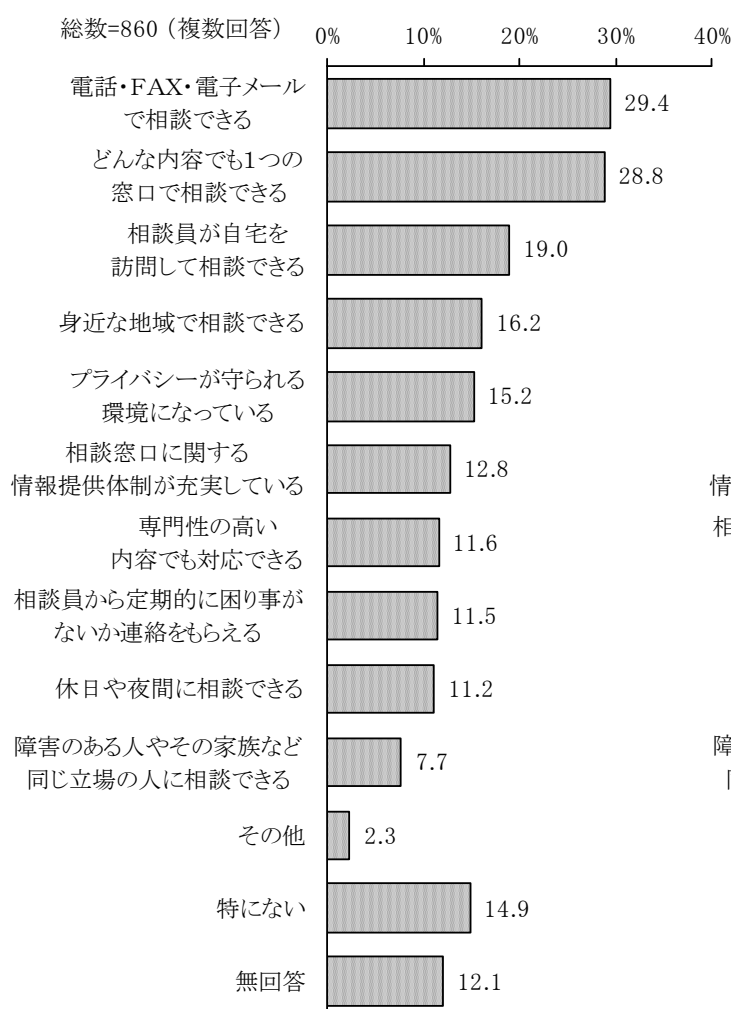
(3) 気軽に相談するために必要なこと

問 16 あなたは、市役所等の公的な相談窓口気軽に相談するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

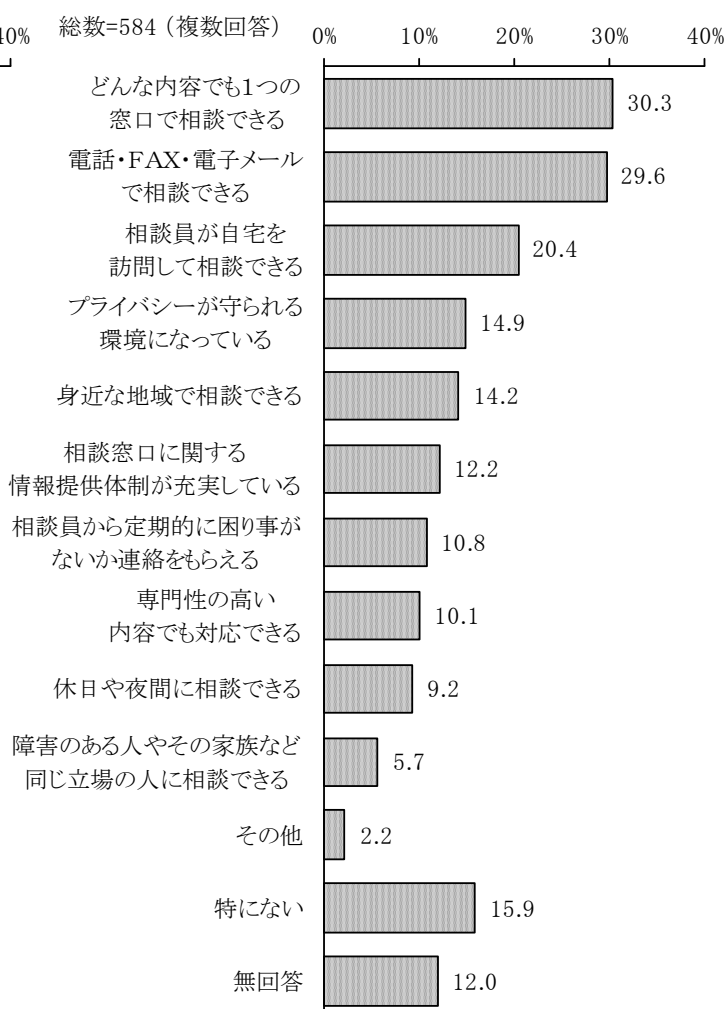
全体では、「電話・FAX・電子メールで相談できる」が29.4%と最も多く、次いで「どんな内容でも1つの窓口で相談できる」が28.8%、「相談員が自宅を訪問して相談できる」が19.0%、「身近な地域で相談できる」が16.2%となっています。

障害別に見ると、身体障害や知的障害では「どんな内容でも1つの窓口で相談できる」が最も多くなっています。

全体

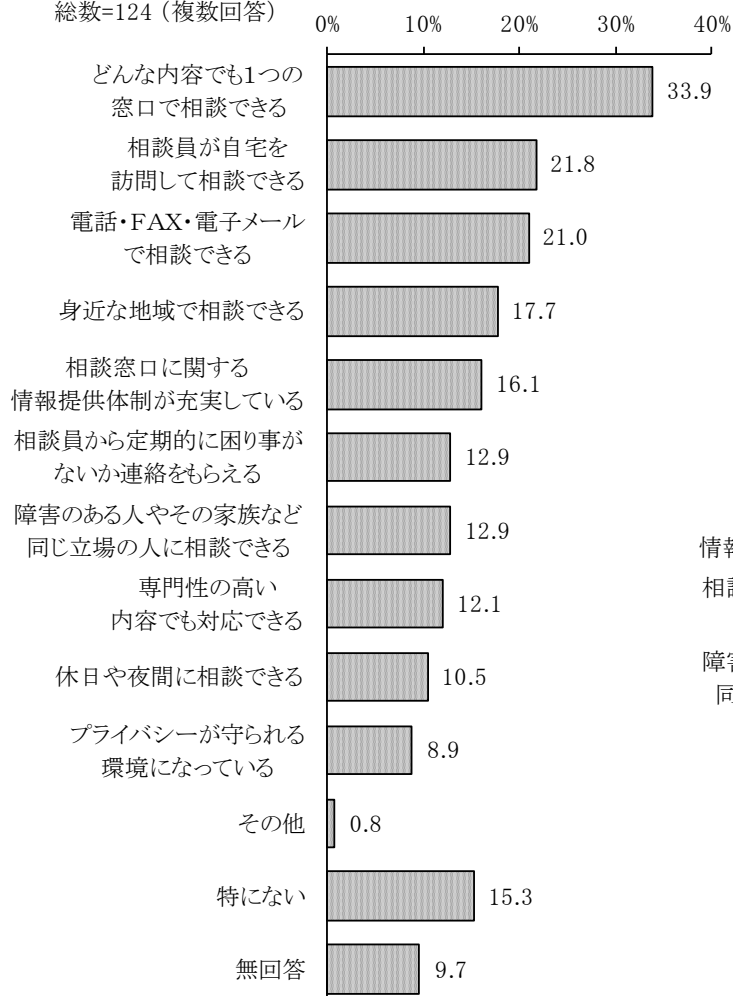


身体障害



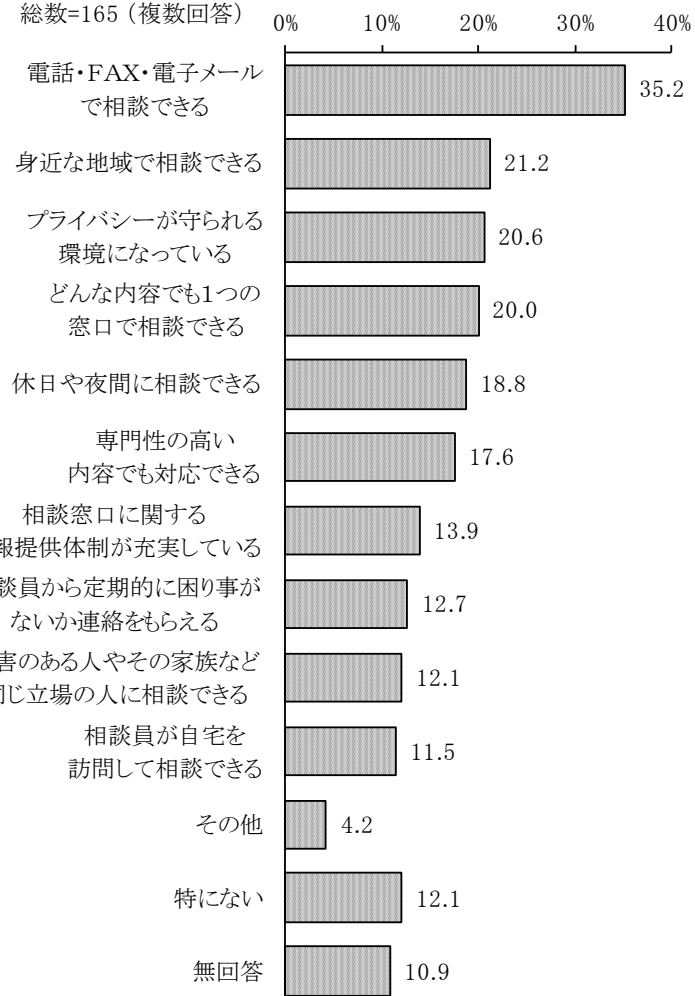
知的障害

総数=124（複数回答）



精神障害

総数=165（複数回答）



（４）福祉に関する情報の入手方法

問 17 あなたは、障害のある人のための福祉に関する情報をどこから得ていますか。

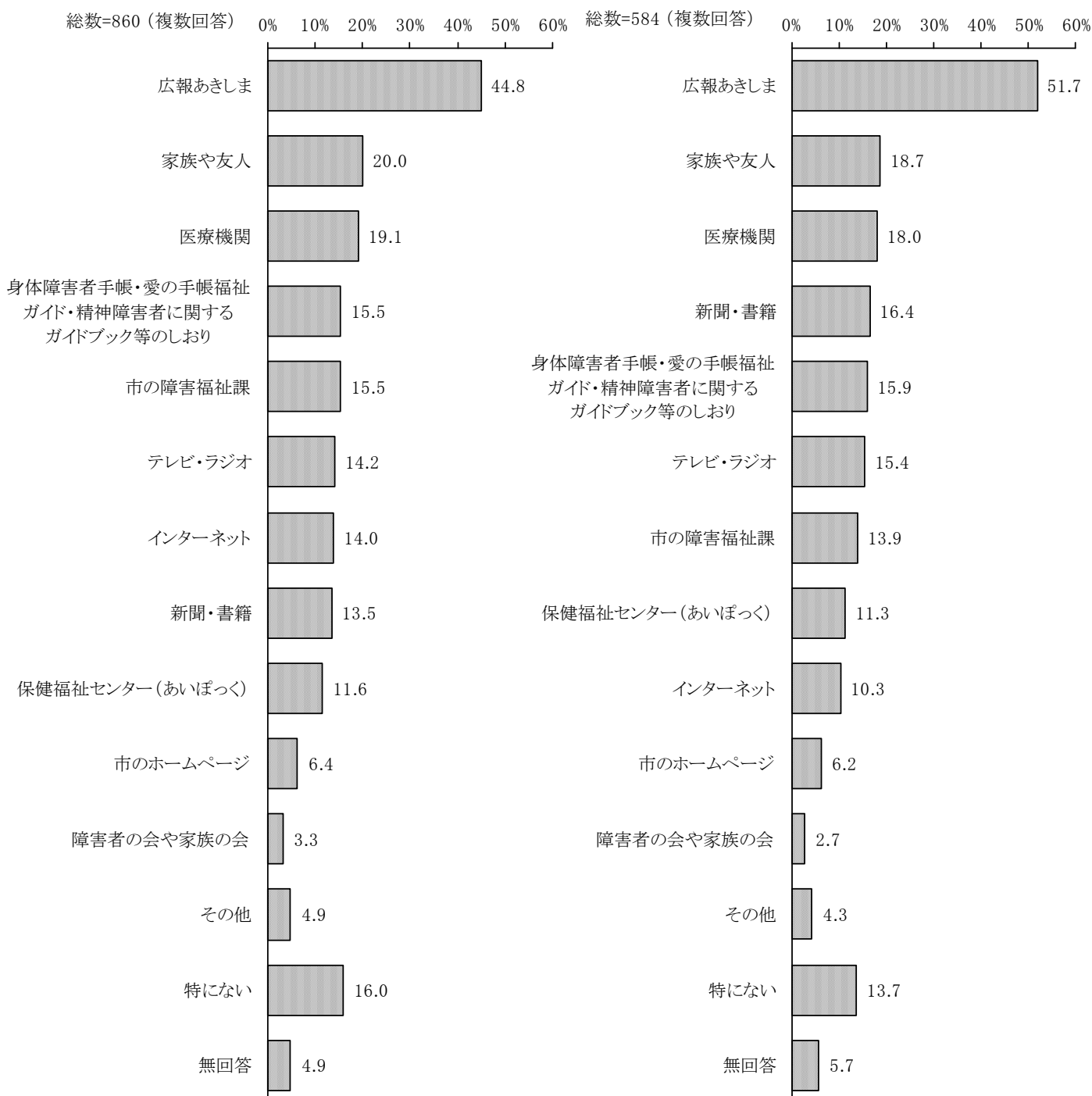
（あてはまるものすべてに○）

全体では、「広報あきしま」が 44.8%と最も多く、次いで「家族や友人」が 20.0%、「医療機関」が 19.1%、「身体障害者手帳・愛の手帳福祉ガイド・精神障害者に関するガイドブック等のしおり」「市の障害福祉課」がそれぞれ 15.5%となっています。

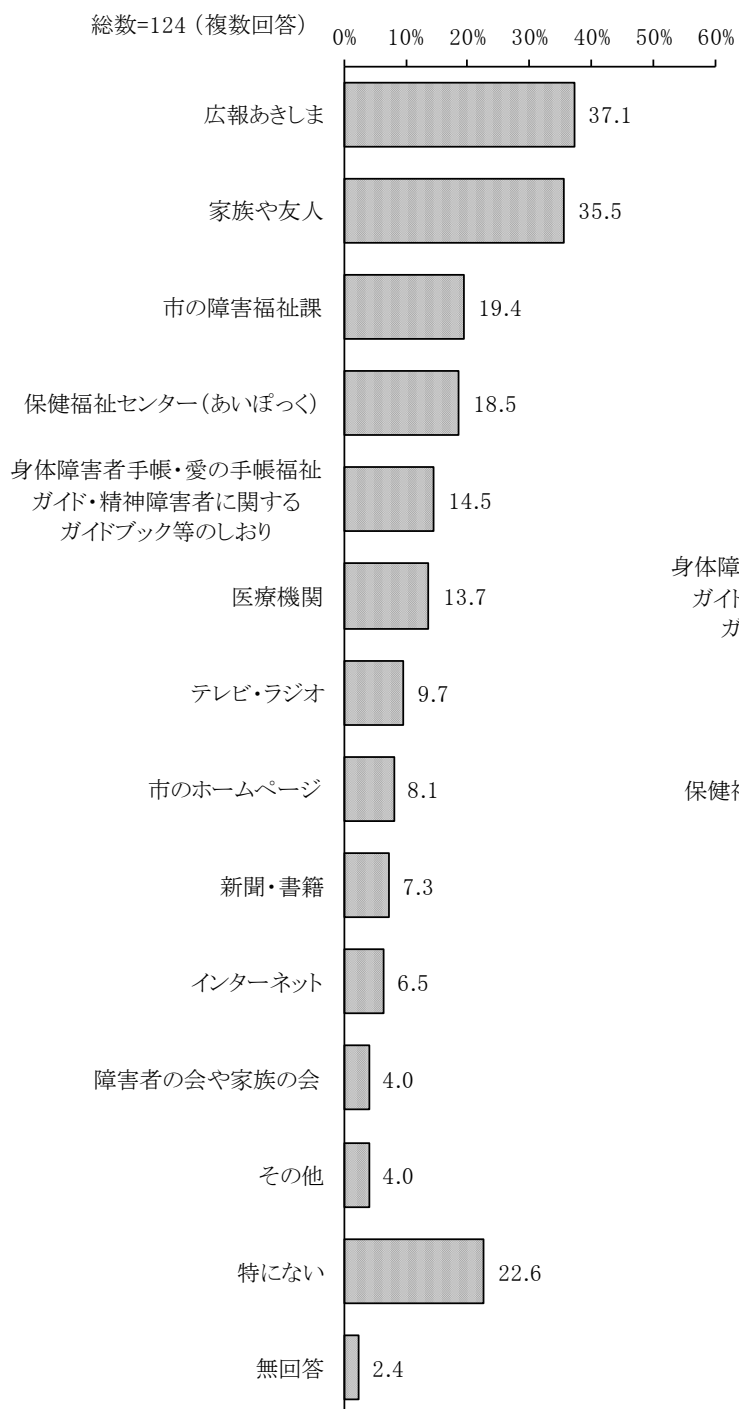
障害別に見ると、精神障害では「インターネット」「医療機関」が多くなっています。

全体

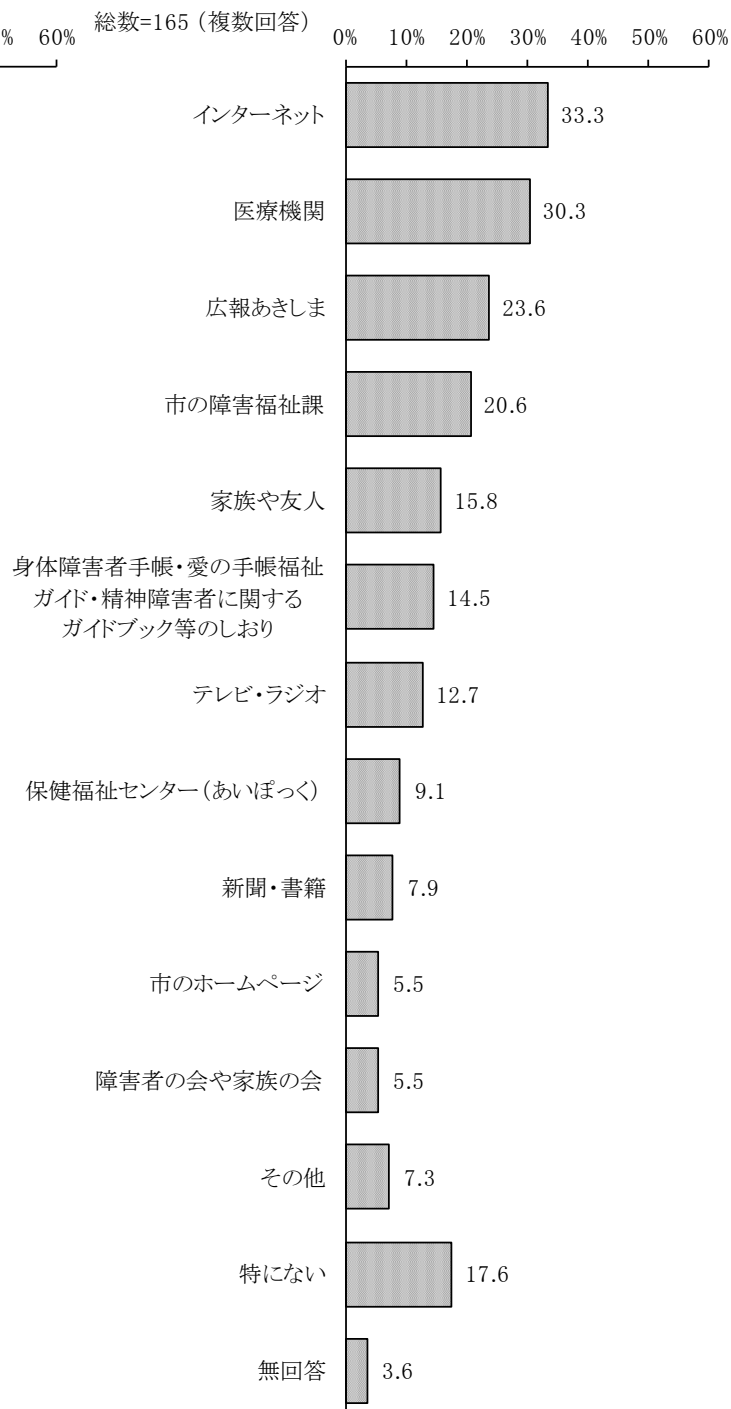
身体障害



知的障害



精神障害



6. 日中活動や仕事について

18 歳以上の方にお聞きしました。

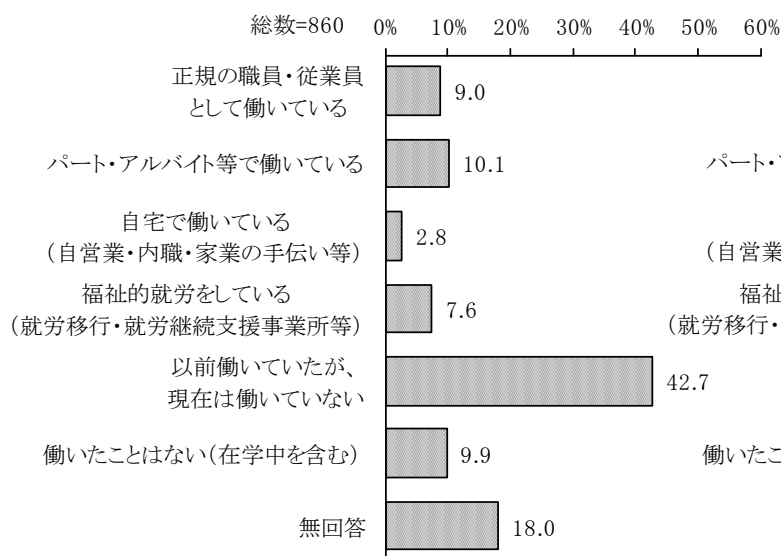
(1) 就労状況

問 18 あなたは現在、仕事をしていますか。仕事をしている方は働き方についてもお答えください。
(○は1つ)

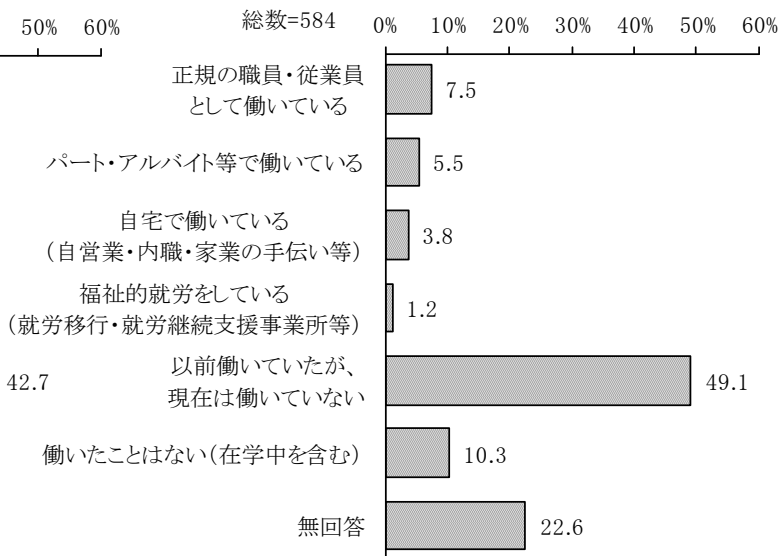
全体では、「以前働いていたが、現在は働いていない」が42.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で働いている」が10.1%、「働いたことはない(在学中を含む)」が9.9%、「正規の職員・従業員として働いている」が9.0%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「福祉的就労をしている(就労移行・就労継続支援事業所等)」が最も多くなっています。

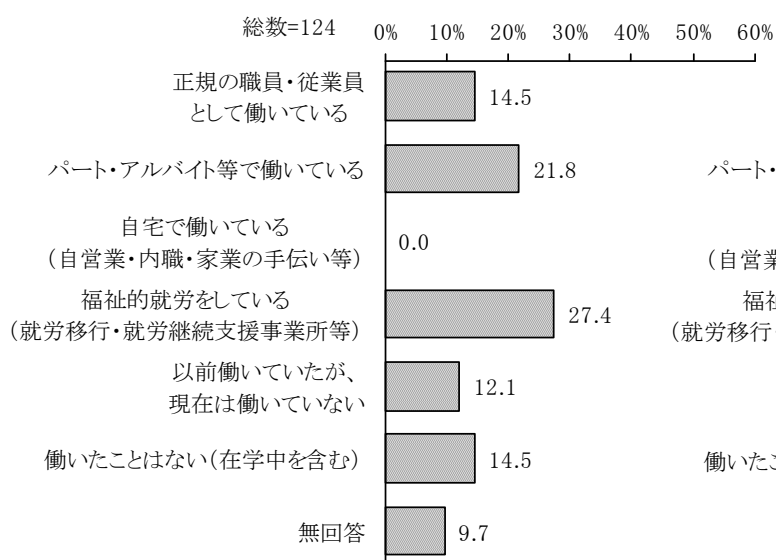
全体



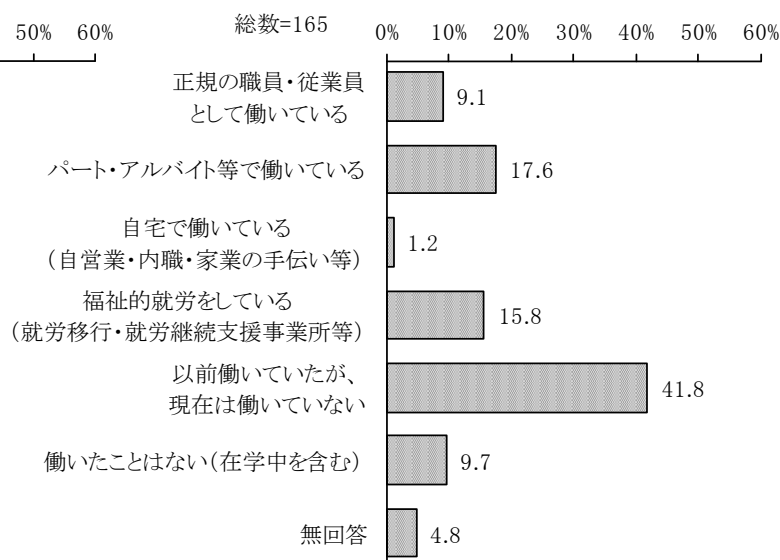
身体障害



知的障害



精神障害



男女別に見ると、身体障害、知的障害では、「正規の職員・従業員として働いている」は男性のほうが多くなっています。知的障害、精神障害では「福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所等）」は男性のほうが多くなっています。

●就労状況（男女別）

		全体	正規の職員・従業員として働いている	パート・アルバイト等で働いている	自宅で働いている（自営業・内職・家業の手伝い等）	福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所等）	以前働いていたが、現在は働いていない	働いたことは無い（在学中を含む）	無回答
全体		860 100.0	77 9.0	87 10.1	24 2.8	65 7.6	367 42.7	85 9.9	155 18.0
男女別	身体障害・男性	297 100.0	35 11.8	18 6.1	15 5.1	5 1.7	151 50.8	20 6.7	53 17.8
	身体障害・女性	286 100.0	9 3.1	14 4.9	7 2.4	2 0.7	136 47.6	40 14.0	78 27.3
	知的障害・男性	79 100.0	15 19.0	16 20.3	-	24 30.4	6 7.6	11 13.9	7 8.9
	知的障害・女性	45 100.0	3 6.7	11 24.4	-	10 22.2	9 20.0	7 15.6	5 11.1
	精神障害・男性	78 100.0	8 10.3	13 16.7	-	17 21.8	30 38.5	7 9.0	3 3.8
	精神障害・女性	87 100.0	7 8.0	16 18.4	2 2.3	9 10.3	39 44.8	9 10.3	5 5.7
	無回答	11 100.0	-	1 9.1	-	-	3 27.3	1 9.1	6 54.5

年齢別に見ると、身体障害、知的障害では、40～64歳で「正規の職員・従業員として働いている」が多くなっており、知的障害では、18～39歳で「パート・アルバイト等で働いている」「福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所等）」が多くなっています。

●就労状況（年齢別）

		全体	正規の職員・従業員として働いている	パート・アルバイト等で働いている	自宅で働いている（自営業・内職・家業の手伝い等）	福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所等）	以前働いていたが、現在は働いていない	働いたことは無い（在学中を含む）	無回答
全体		860 100.0	77 9.0	87 10.1	24 2.8	65 7.6	367 42.7	85 9.9	155 18.0
年齢別	身体障害・18～39歳	12 100.0	2 16.7	1 8.3	-	-	2 16.7	6 50.0	1 8.3
	身体障害・40～64歳	114 100.0	33 28.9	8 7.0	5 4.4	5 4.4	50 43.9	12 10.5	1 0.9
	身体障害・65歳以上	458 100.0	9 2.0	23 5.0	17 3.7	2 0.4	235 51.3	42 9.2	130 28.4
	知的障害・18～39歳	58 100.0	6 10.3	18 31.0	-	19 32.8	2 3.4	9 15.5	4 6.9
	知的障害・40～64歳	56 100.0	12 21.4	9 16.1	-	13 23.2	10 17.9	7 12.5	5 8.9
	知的障害・65歳以上	10 100.0	-	-	-	2 20.0	3 30.0	2 20.0	3 30.0
	精神障害・18～39歳	41 100.0	5 12.2	9 22.0	-	6 14.6	12 29.3	6 14.6	3 7.3
	精神障害・40～64歳	105 100.0	10 9.5	20 19.0	2 1.9	19 18.1	41 39.0	10 9.5	3 2.9
	精神障害・65歳以上	19 100.0	-	-	-	1 5.3	16 84.2	-	2 10.5
	無回答	10 100.0	-	1 10.0	-	-	3 30.0	1 10.0	5 50.0

(2) 仕事をする上で困っていること

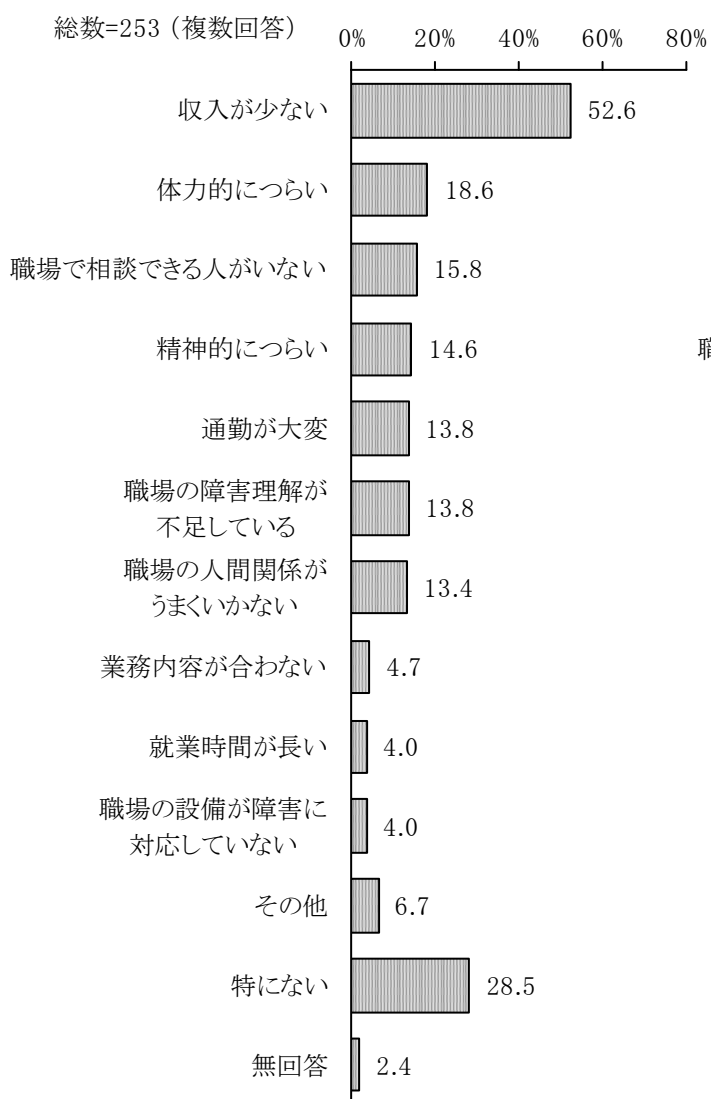
問 19 問 18で「働いている(1~4)」と回答した方にお聞きします。あなたが仕事をする上で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「収入が少ない」が52.6%と最も多く、次いで「体力的につらい」が18.6%、「職場で相談できる人がいない」が15.8%、「精神的につらい」が14.6%となっています。

障害別に見ると、「収入が少ない」以外では、精神障害で「精神的につらい」が多くなっています。

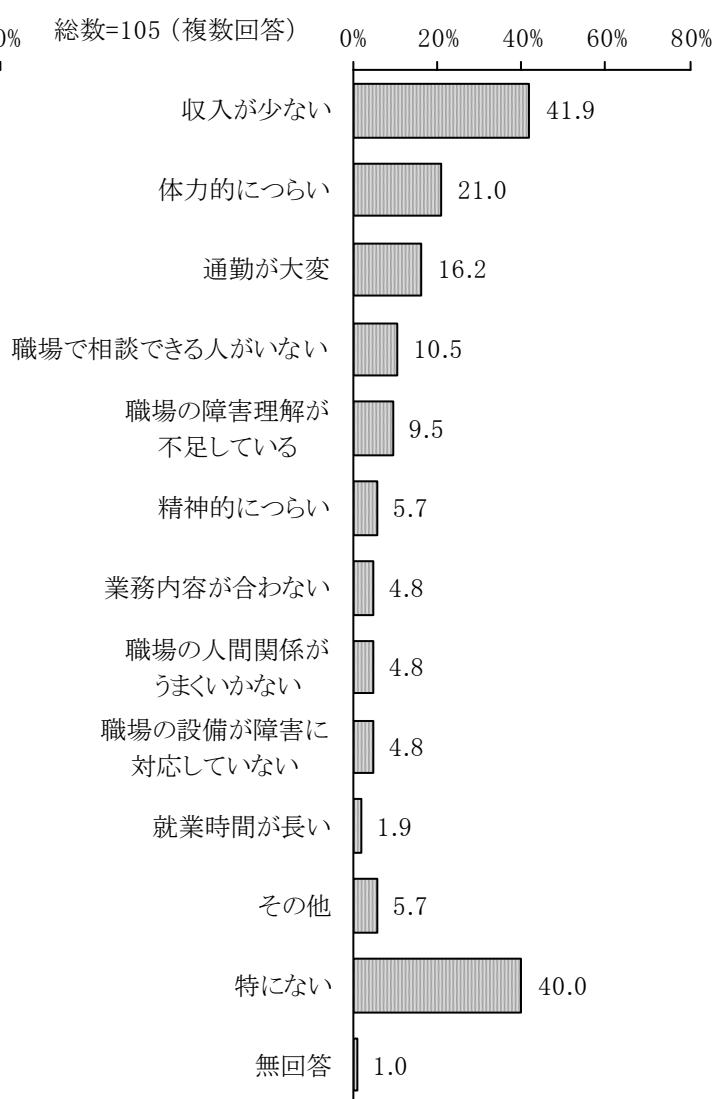
全体

総数=253 (複数回答)



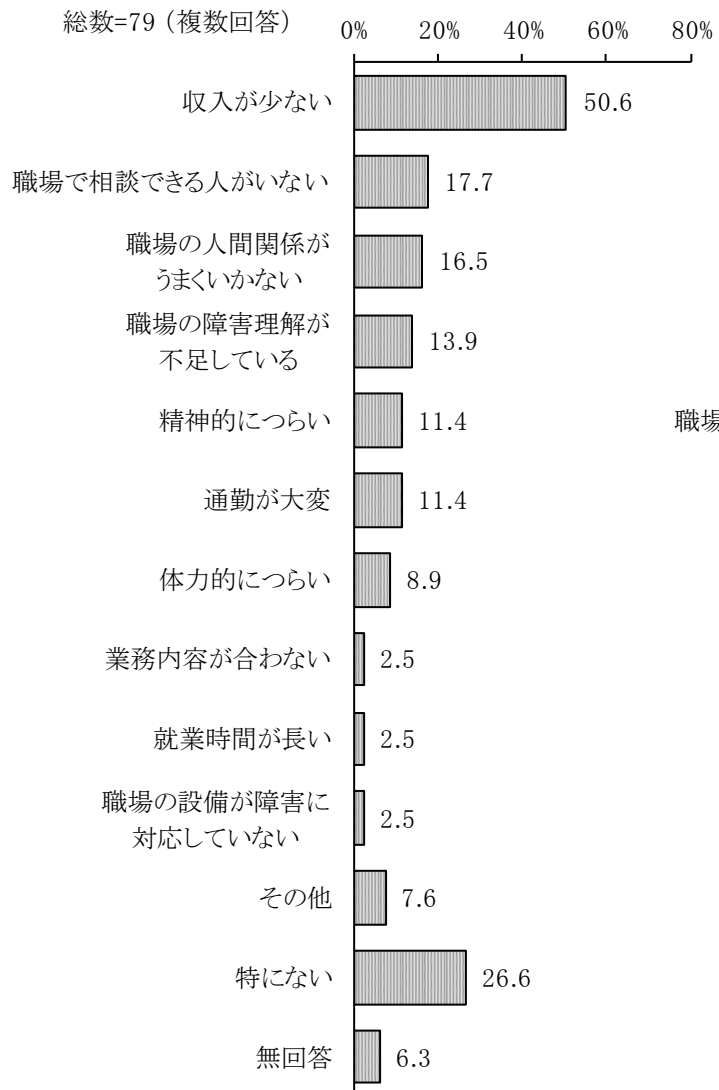
身体障害

総数=105 (複数回答)



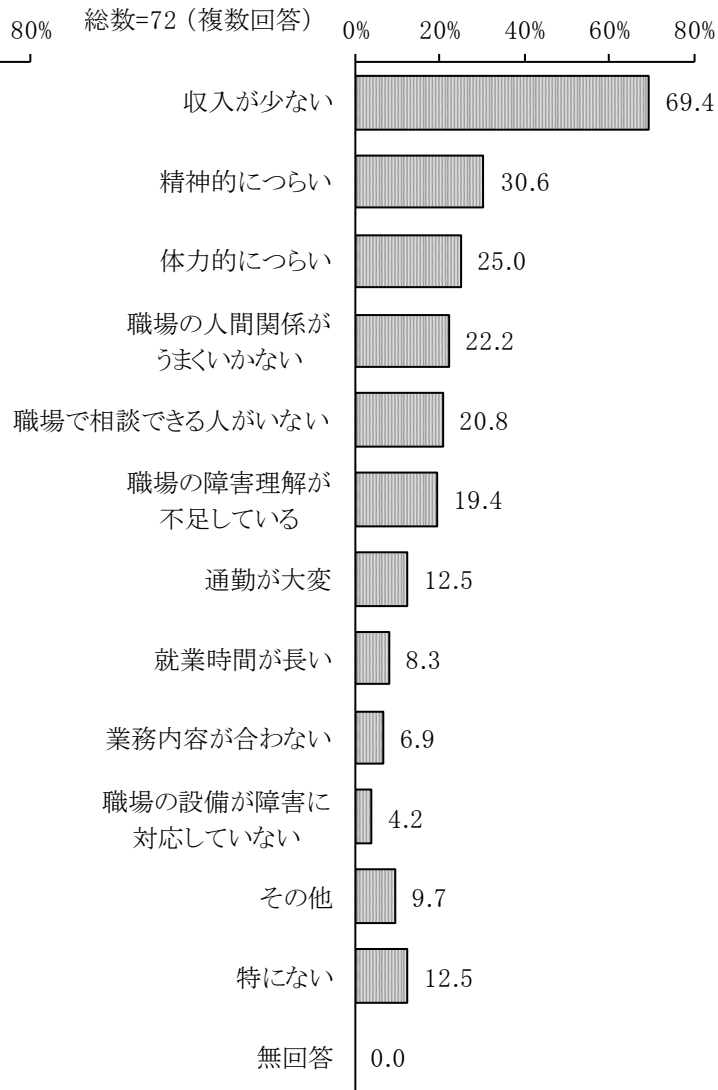
知的障害

総数=79 (複数回答)



精神障害

総数=72 (複数回答)



就労状況別に見ると、「収入が少ない」ではパート・アルバイト等で働いている方、福祉的就労をしている方（就労移行・就労継続支援事業所等）が特に多くなっています。

●仕事をする上で困っていること（就労状況別）

		全体	収入が少ない	体力的につらい	精神的につらい	業務内容が合わない	就業時間が長い	通勤が大変
全体		253 100.0	133 52.6	47 18.6	37 14.6	12 4.7	10 4.0	35 13.8
就労状況	正規の職員・従業員として働いている	77 100.0	34 44.2	11 14.3	11 14.3	7 9.1	5 6.5	19 24.7
	パート・アルバイト等で働いている	87 100.0	49 56.3	24 27.6	11 12.6	2 2.3	5 5.7	10 11.5
	自宅で働いている（自営業・内職・家業の手伝い等）	24 100.0	8 33.3	3 12.5	1 4.2	－ －	－ －	－ －
	福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所等）	65 100.0	42 64.6	9 13.8	14 21.5	3 4.6	－ －	6 9.2

		職場の人間関係がうまくいかない	職場で相談できる人がいない	職場の障害理解が不足している	職場の設備が障害に対応していない	その他	特にない	無回答
全体		34 13.4	40 15.8	35 13.8	10 4.0	17 6.7	72 28.5	6 2.4
就労状況	正規の職員・従業員として働いている	12 15.6	19 24.7	15 19.5	3 3.9	7 9.1	20 26.0	2 2.6
	パート・アルバイト等で働いている	9 10.3	17 19.5	12 13.8	3 3.4	6 6.9	24 27.6	1 1.1
	自宅で働いている（自営業・内職・家業の手伝い等）	－ －	－ －	－ －	－ －	1 4.2	14 58.3	－ －
	福祉的就労をしている（就労移行・就労継続支援事業所等）	13 20.0	4 6.2	8 12.3	4 6.2	3 4.6	14 21.5	3 4.6

(3) 仕事を探す際に相談した人や場所

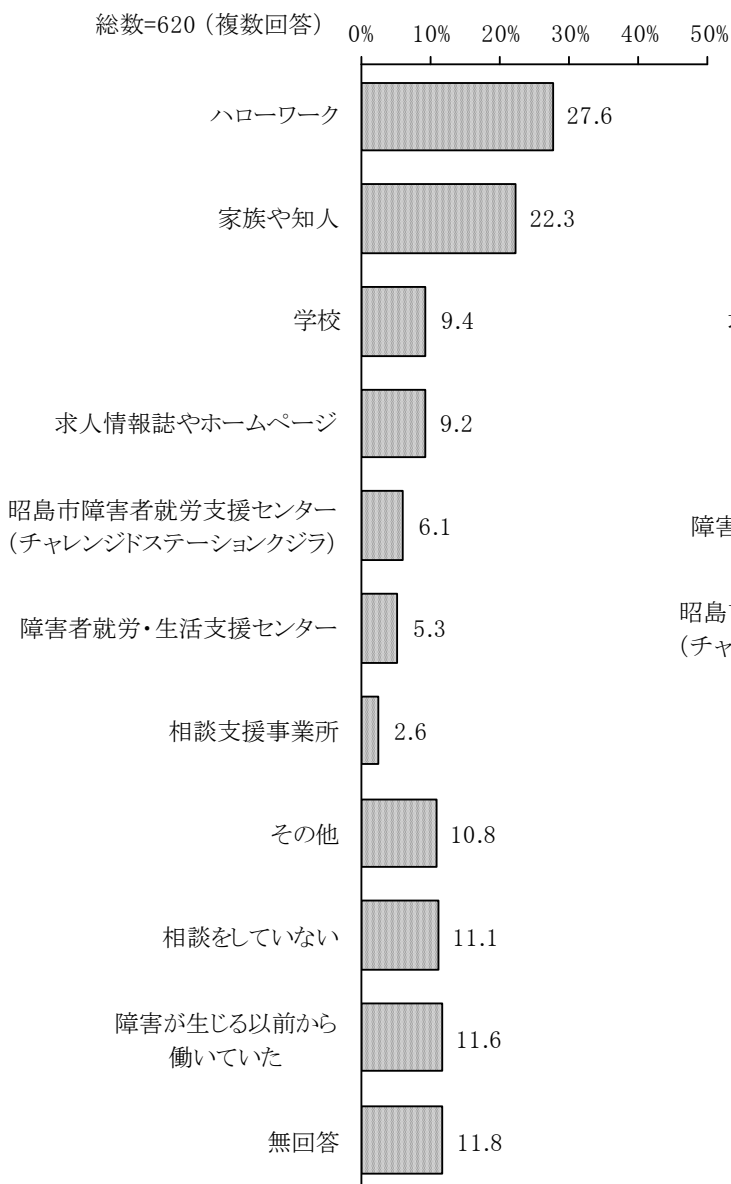
問 20 問 18 で「働いている、または、以前働いていた（１～５）」と回答した方にお聞きします。

あなたが仕事を探す際、どのような人や場所に相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

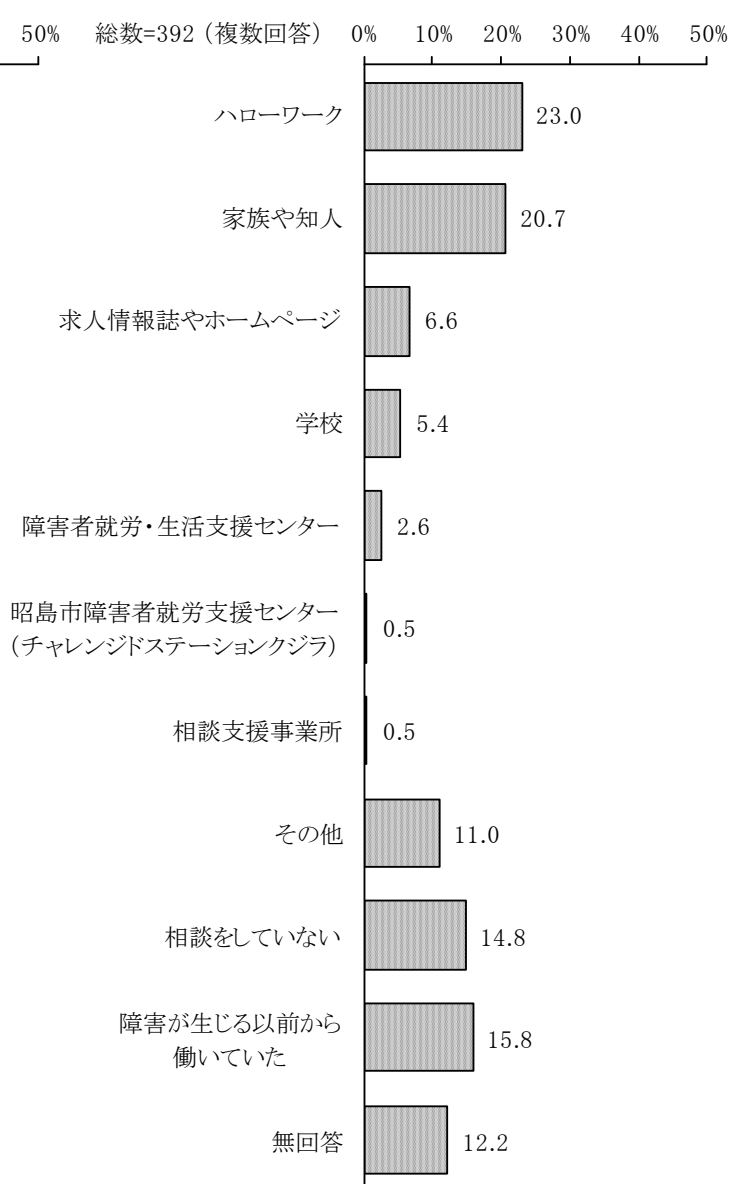
全体では、「ハローワーク」が 27.6%と最も多く、次いで「家族や知人」が 22.3%、「学校」が 9.4%、「求人情報誌やホームページ」が 9.2%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「学校」が最も多く、「昭島市障害者就労支援センター（チャレンジドステーションクジラ）」がやや多くなっています。

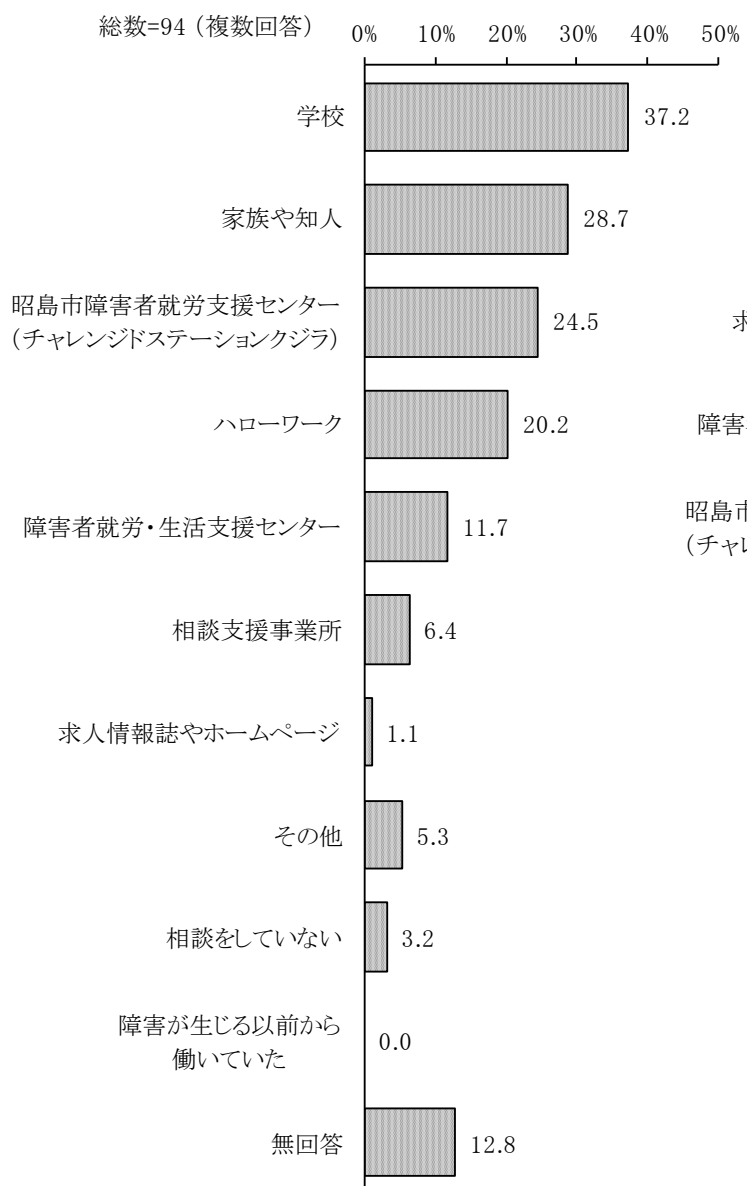
全体



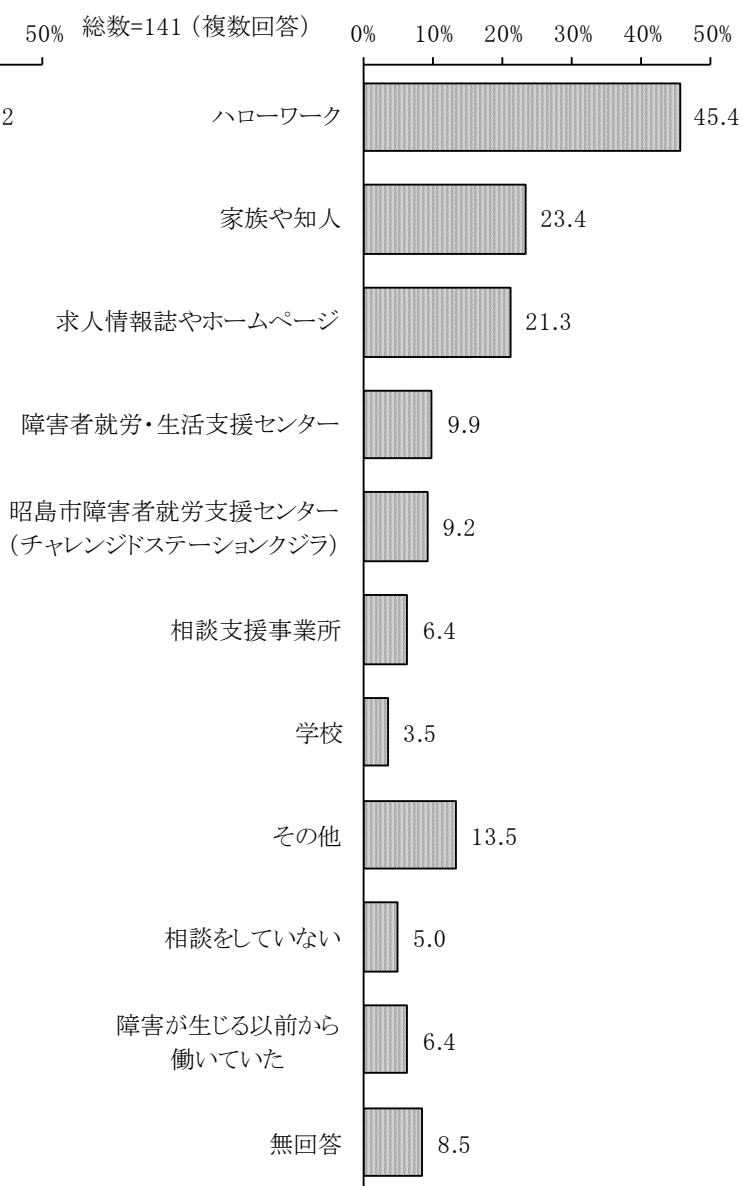
身体障害



知的障害



精神障害



（４）働くために必要な支援

問 21 あなたは、障害のある人が働くためにはどのような支援が必要だと思いますか。

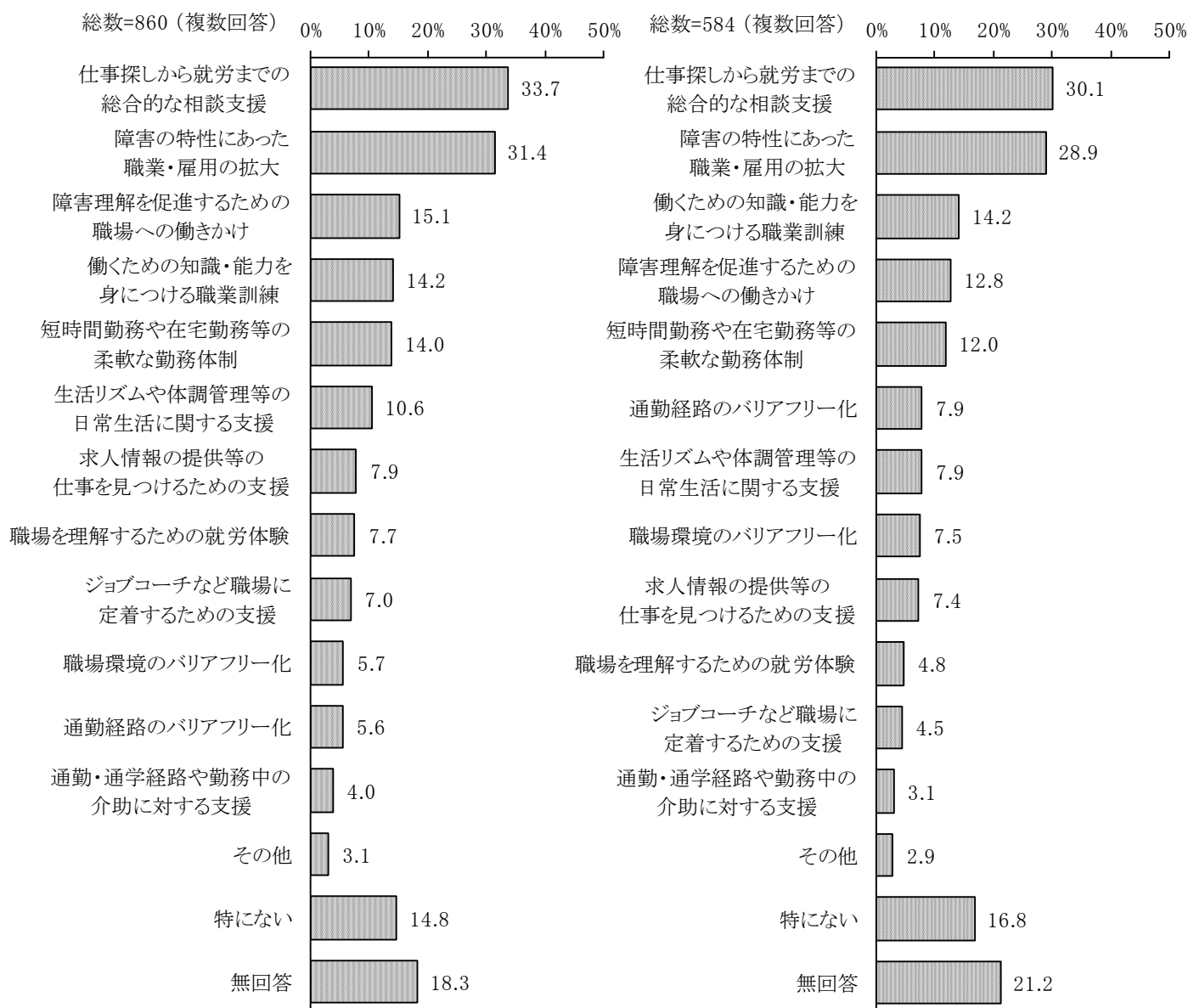
（○は3つまで）

全体では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が33.7%と最も多く、次いで「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が31.4%、「障害理解を促進するための職場への働きかけ」が15.1%、「働くための知識・能力を身につける職業訓練」が14.2%となっています。

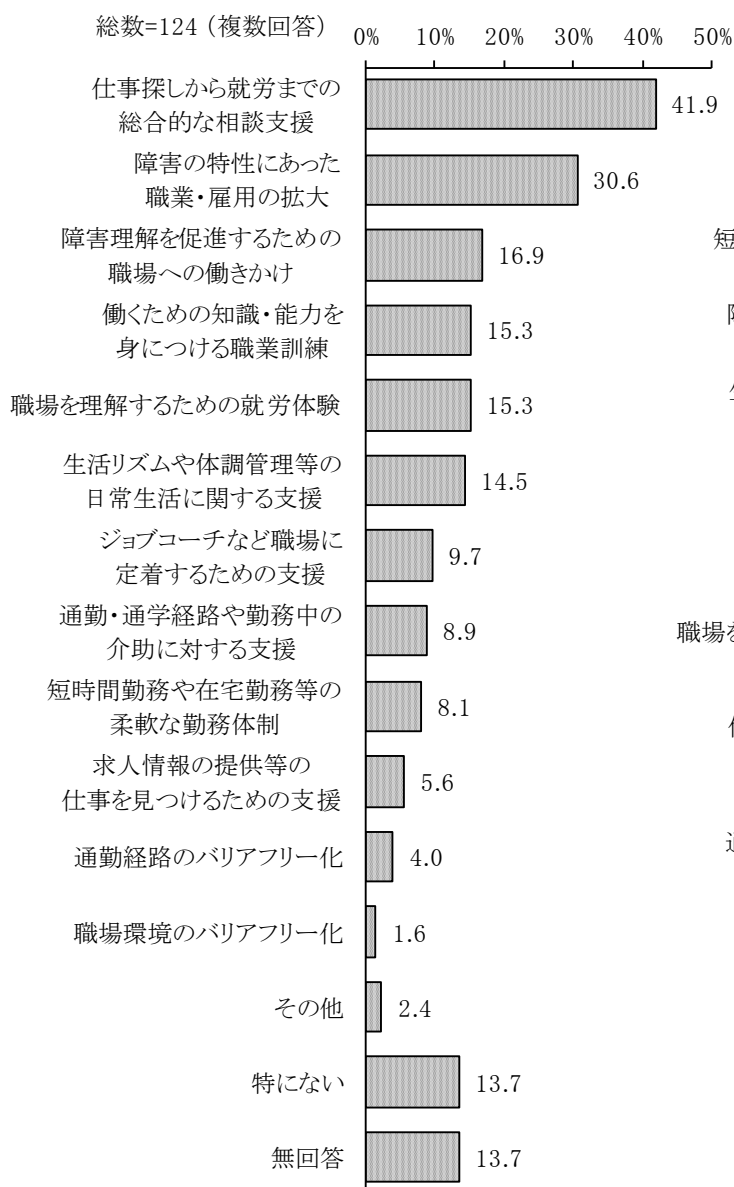
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

全体

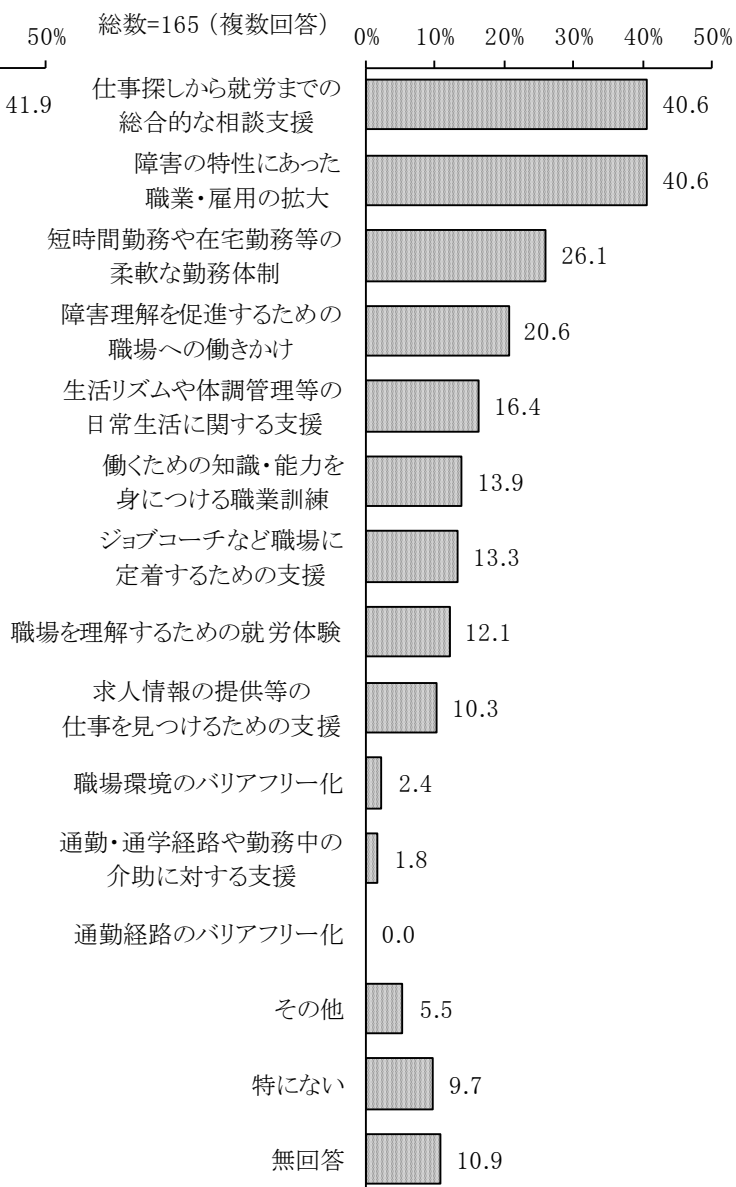
身体障害



知的障害



精神障害



※ジョブコーチとは、障害のある人が就職を目指して実習を行っている場や職場で、仕事に慣れるための支援や同僚への障害理解の促進等を行う人のことです。

(5) 余暇の過ごし方

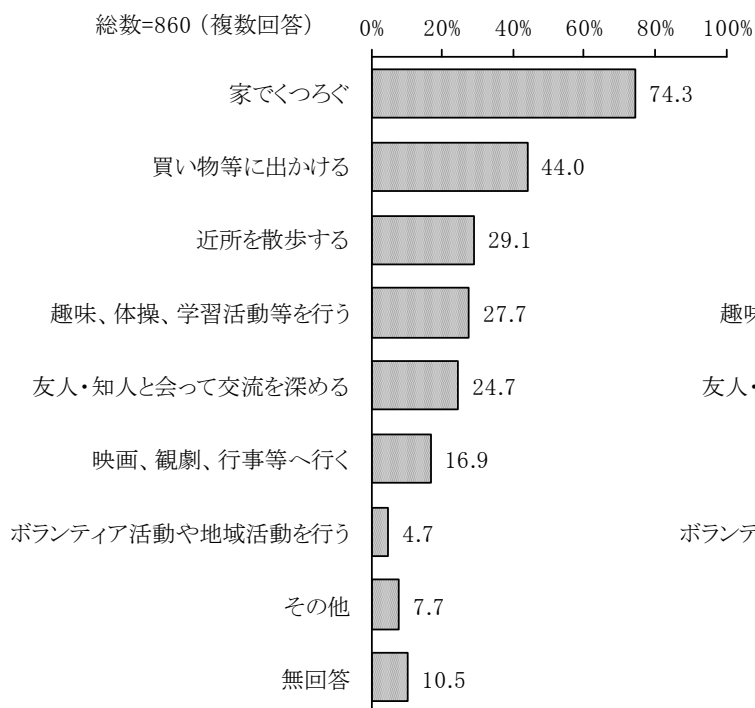
問 22 あなたは仕事や学校以外の自由な時間をどのように過ごしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

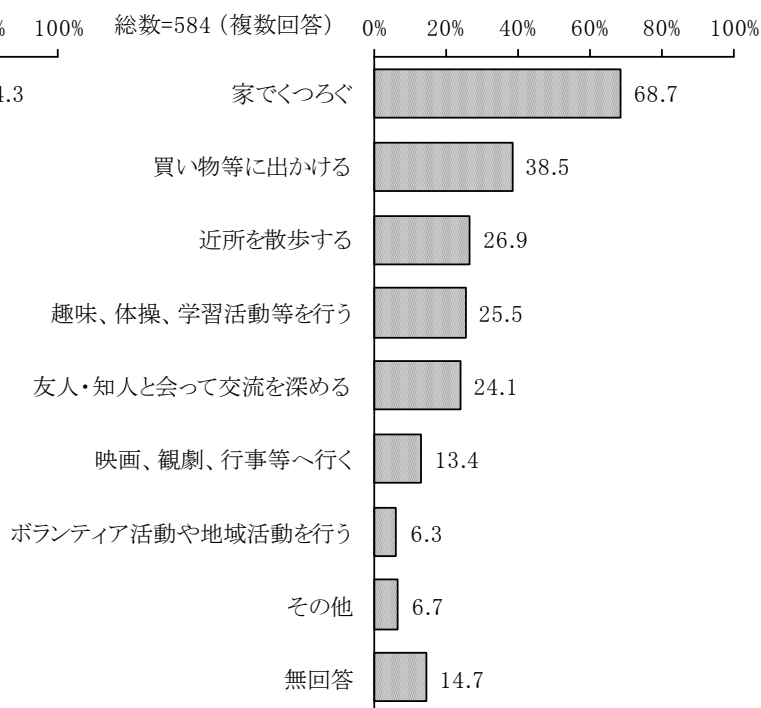
全体では、「家でくつろぐ」が74.3%と最も多く、次いで「買い物等に出かける」が44.0%、「近所を散歩する」が29.1%、「趣味、体操、学習活動等を行う」が27.7%となっています。

障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。

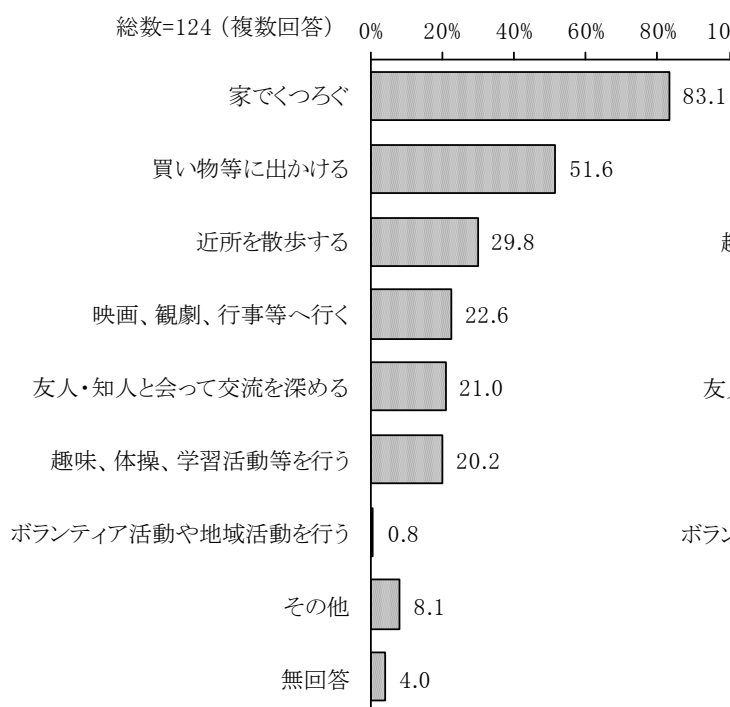
全体



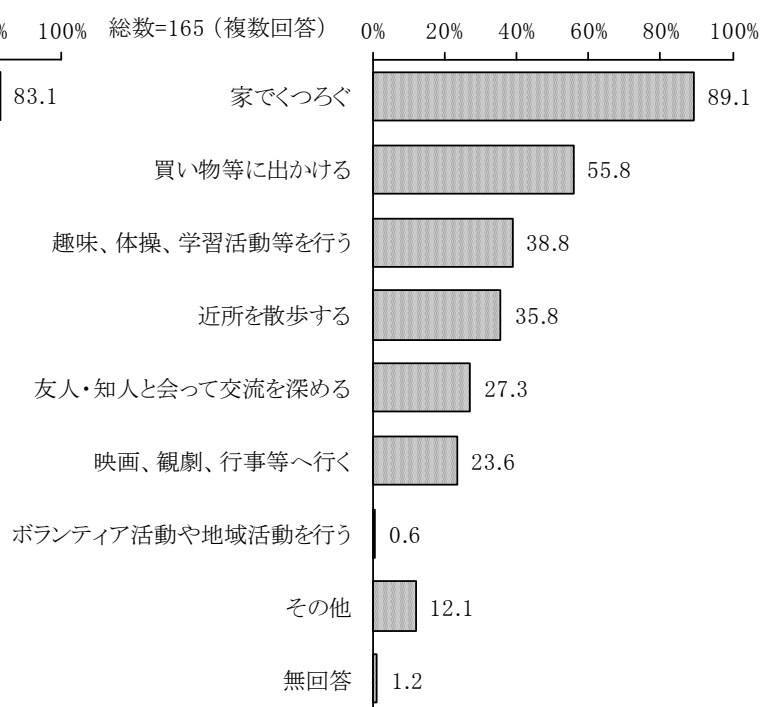
身体障害



知的障害



精神障害



(6) 日常生活の満足度

問 23 あなたは、次の日常生活のそれぞれの項目について、どの程度満足していますか。

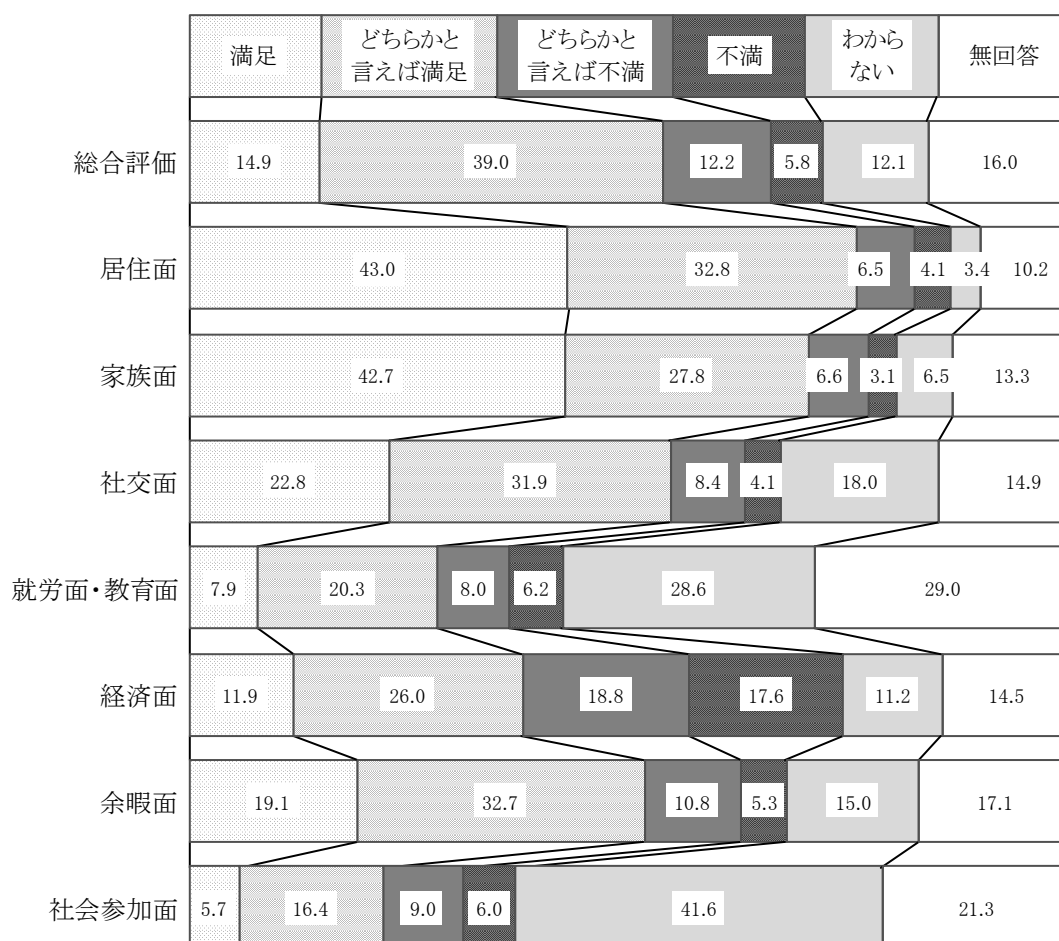
(それぞれあてはまるもの1つに○)

『満足』(「満足」「どちらかと言えば満足」を合わせた割合)と『不満』(「不満」「どちらかと言えば不満」を合わせた割合)を比較すると、総合評価を含めた全8項目で『満足』が『不満』を上回っていますが、「経済面」では両者の差はわずかとなっています。総合評価では『満足』が53.8%、『不満』が18.0%となっています(実数から再計算しているため、四捨五入の関係で、『満足』の割合と「満足」「どちらかと言えば満足」の割合の合計とは数値が異なります。以下も同様の場合があります)。

『満足』は「居住面」が75.8%と最も多く、次いで「家族面」が70.5%、「社交面」が54.7%、「余暇面」が51.7%となっています(「総合評価」は除きます)。

『不満』は「経済面」が36.4%と最も多く、次いで「余暇面」が16.2%、「社会参加面」が15.0%、「就労面・教育面」が14.2%となっています。

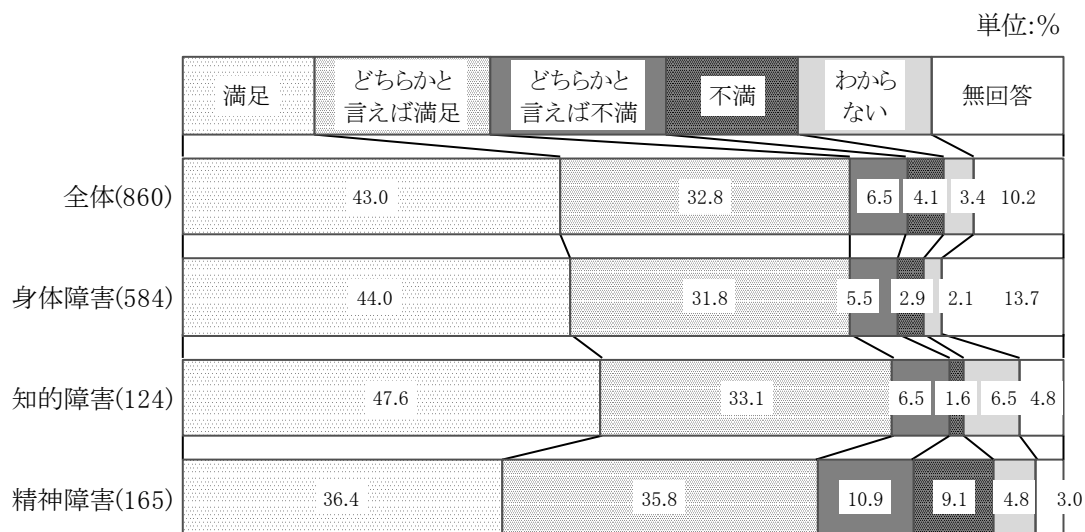
単位:%



①居住面（住んでいる家や自室について）

全体では、「満足」が43.0%と最も多く、次いで「どちらかと言えば満足」が32.8%、「どちらかと言えば不満」が6.5%、「不満」が4.1%となっています。

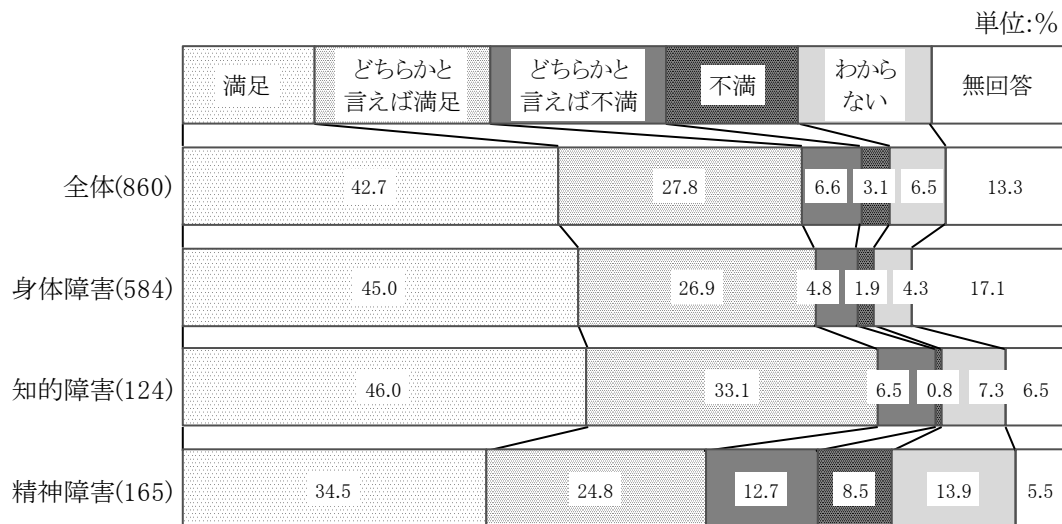
障害別に見ると、精神障害では「満足」がやや少なくなっています。



②家族面（家族との関係について）

全体では、「満足」が42.7%と最も多く、次いで「どちらかと言えば満足」が27.8%、「どちらかと言えば不満」が6.6%、「不満」が3.1%となっています。

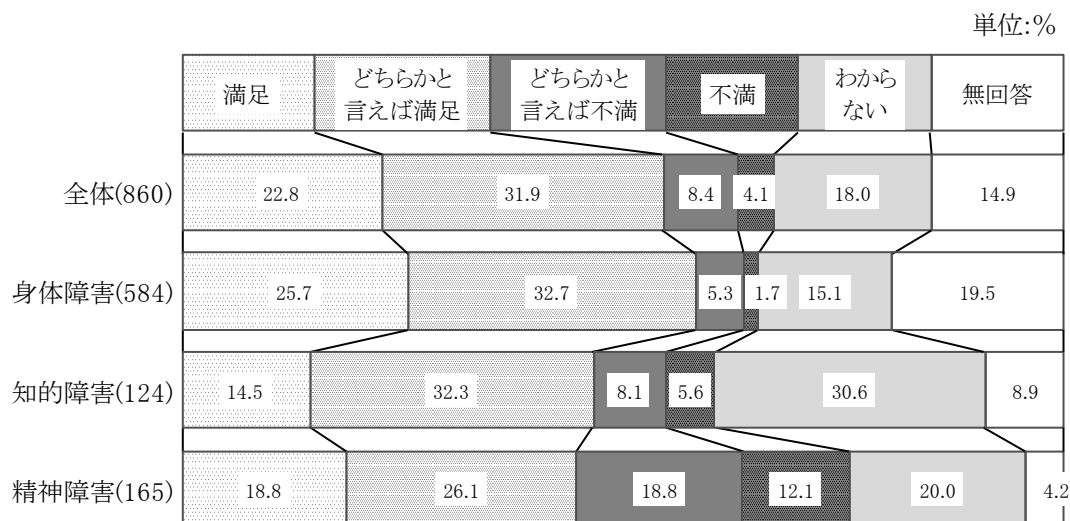
障害別に見ると、精神障害では「満足」がやや少なくなっています。



③社交面（友人等との関係について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が31.9%と最も多く、次いで「満足」が22.8%、「どちらかと言えば不満」が8.4%、「不満」が4.1%となっています。

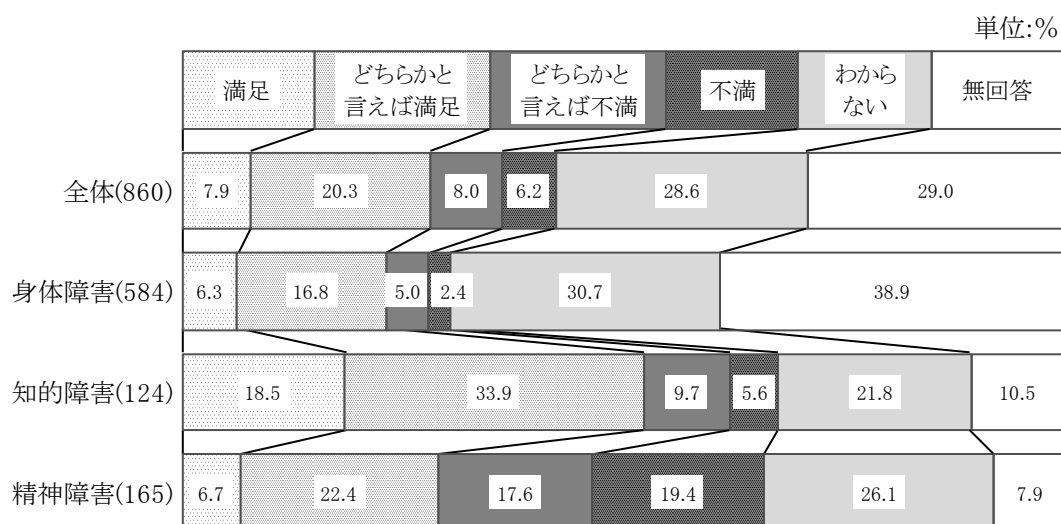
障害別に見ると、身体障害で「満足」がやや多くなっています。



④就労面・教育面（仕事や学校生活について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が20.3%と最も多く、次いで「どちらかと言えば不満」が8.0%、「満足」が7.9%、「不満」が6.2%となっています。「わからない」が28.6%とやや多くなっています。

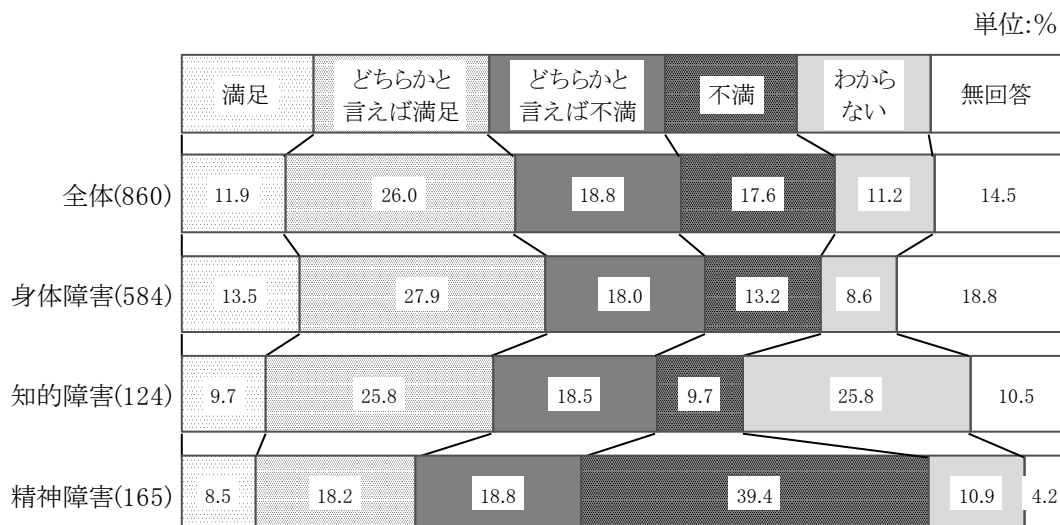
障害別に見ると、知的障害では「満足」「どちらかと言えば満足」が多く、精神障害では「どちらかと言えば不満」「不満」がやや多くなっています。



⑤経済面（収入や生計について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が 26.0%と最も多く、次いで「どちらかと言えば不満」が 18.8%、「不満」が 17.6%、「満足」が 11.9%となっています。

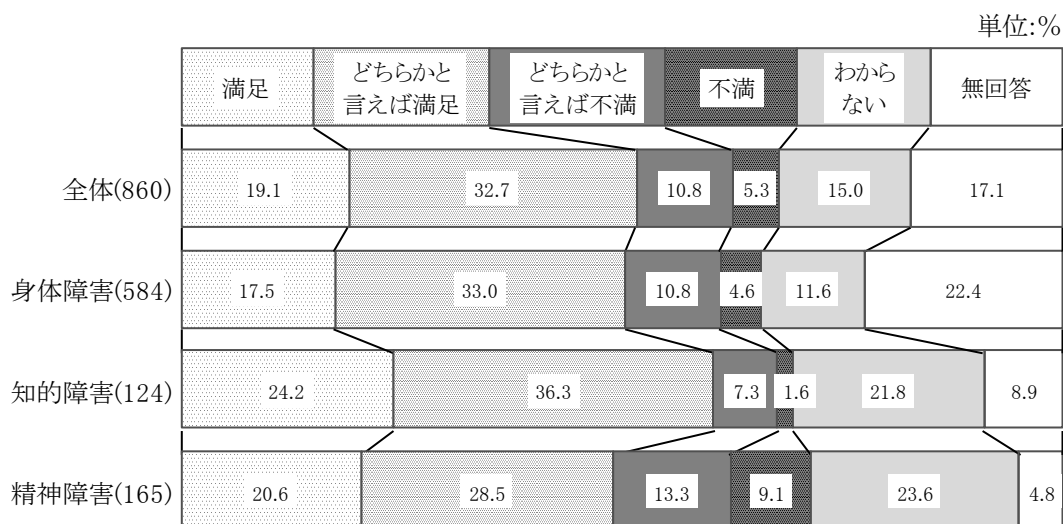
障害別に見ると、精神障害では「不満」が多くなっています。



⑥余暇面（余暇や趣味について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が 32.7%と最も多く、次いで「満足」が 19.1%、「どちらかと言えば不満」が 10.8%、「不満」が 5.3%となっています。

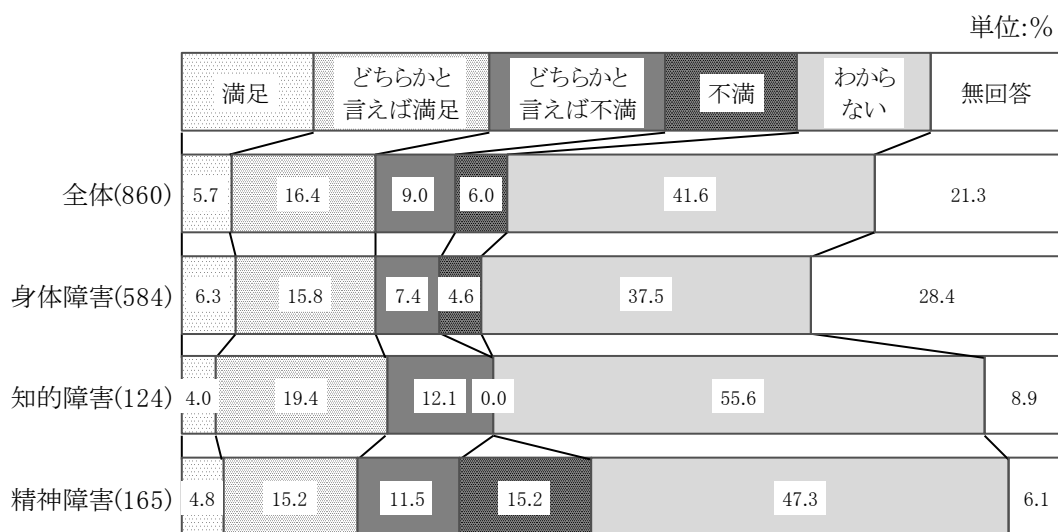
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



⑦社会参加面（社会活動への参加について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が 16.4%と最も多く、次いで「どちらかと言えば不満」が 9.0%、「不満」が 6.0%、「満足」が 5.7%となっています。「わからない」が 41.6%と多くなっています。

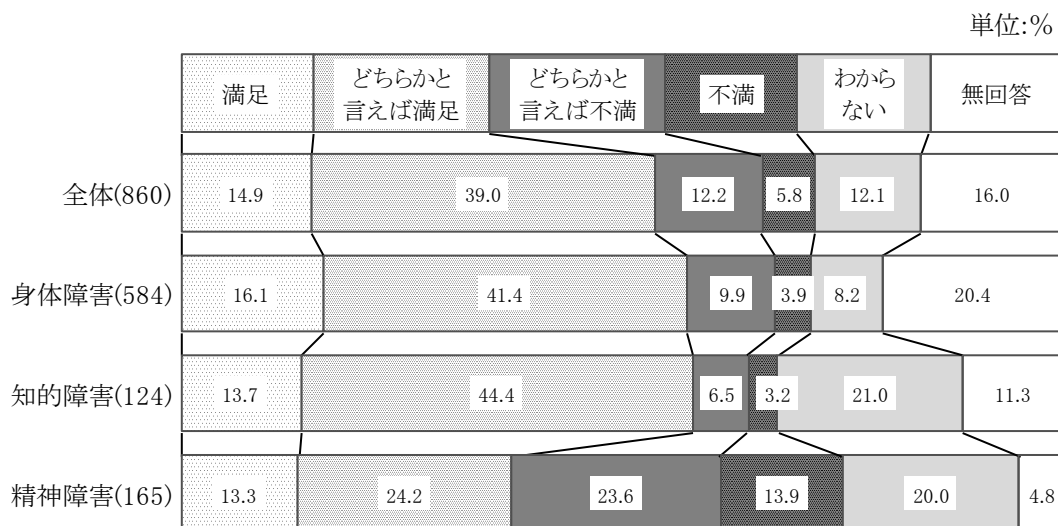
障害別に見ると、精神障害では「不満」がやや多くなっています。



⑧総合評価（生活全般について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が 39.0%と最も多く、次いで「満足」が 14.9%、「どちらかと言えば不満」が 12.2%、「不満」が 5.8%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「どちらかと言えば不満」「不満」がやや多くなっています。



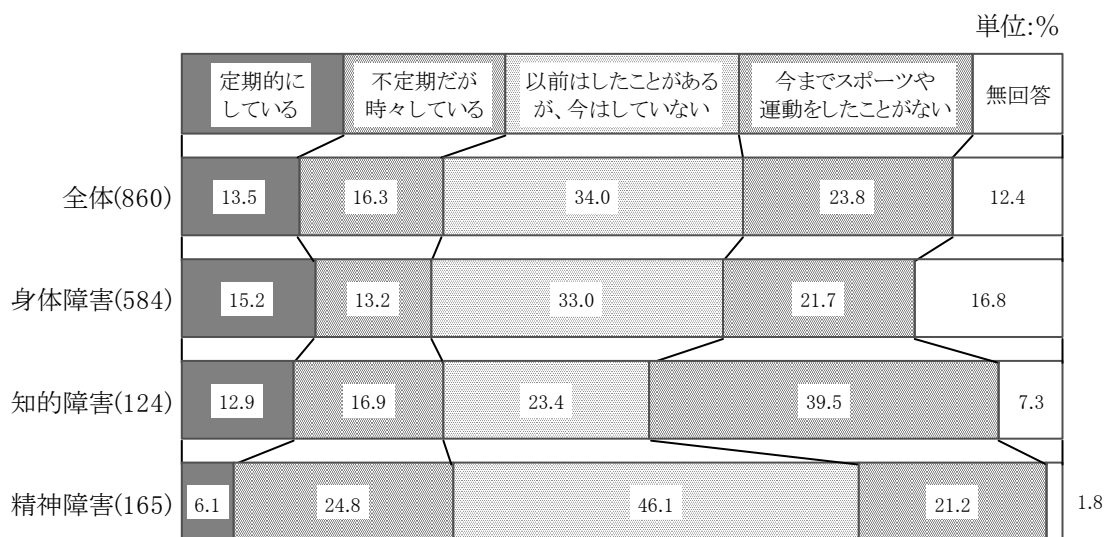
7. スポーツ・運動について

(1) スポーツや運動を行っているか

問 24 あなたは日頃、(学校等での授業を除き) スポーツや運動を行っていますか。
(○は1つ)

全体では、「以前はしたことがあるが、今はしていない」が34.0%と最も多く、次いで「今までスポーツや運動をしたことがない」が23.8%、「不定期だが時々している」が16.3%、「定期的に行っている」が13.5%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「今までスポーツや運動をしたことがない」が最も多くなっています。精神障害では「以前はしたことがあるが、今はしていない」が特に多く、「定期的に行っている」が少なくなっています。



(2) スポーツや運動を行っている場所

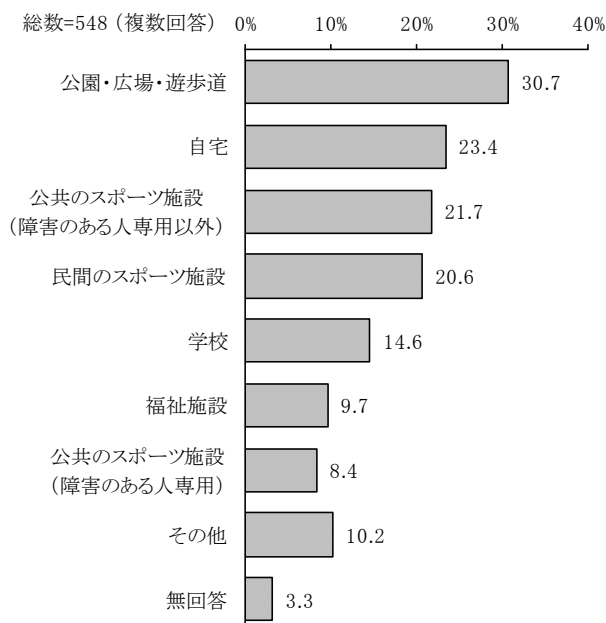
問 25 問 24 で「スポーツや運動をしている、または、したことがある（１～３）」と回答した方にお聞きします。あなたが、スポーツや運動を行った場所はどこですか。

（あてはまるものすべてに○）

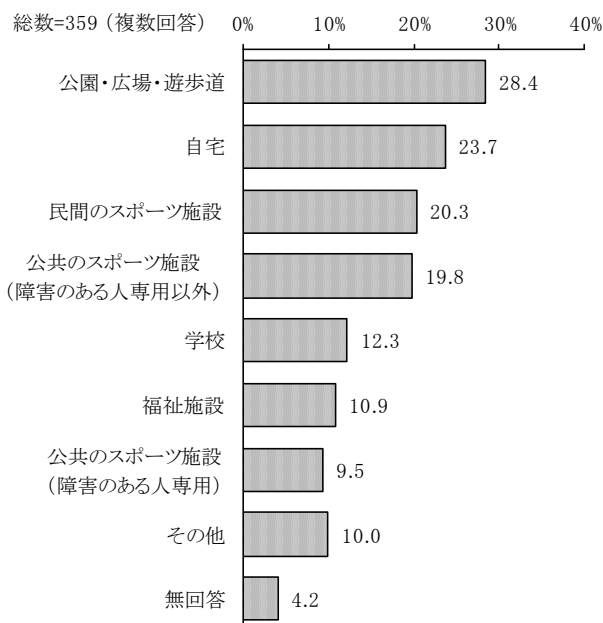
全体では、「公園・広場・遊歩道」が 30.7%と最も多く、次いで「自宅」が 23.4%、「公共のスポーツ施設（障害のある人専用以外）」が 21.7%、「民間のスポーツ施設」が 20.6%となっています。

障害別に見ると、「公園・広場・遊歩道」以外では、知的障害では「学校」が、精神障害では「公共のスポーツ施設（障害のある人専用以外）」が多くなっています。

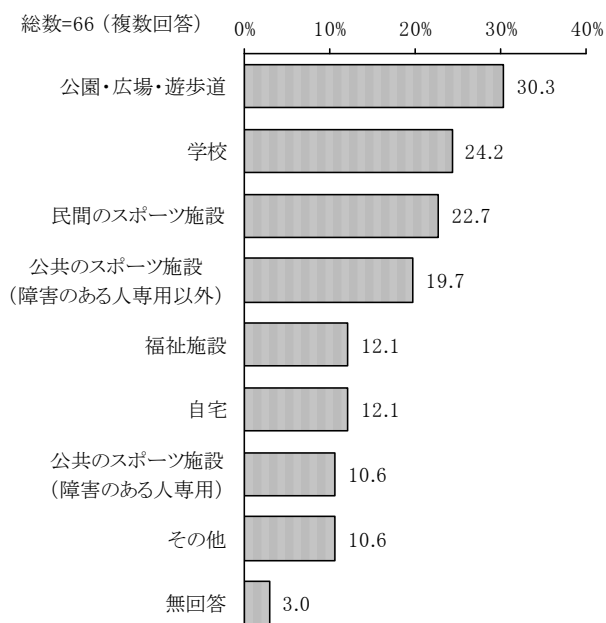
全体



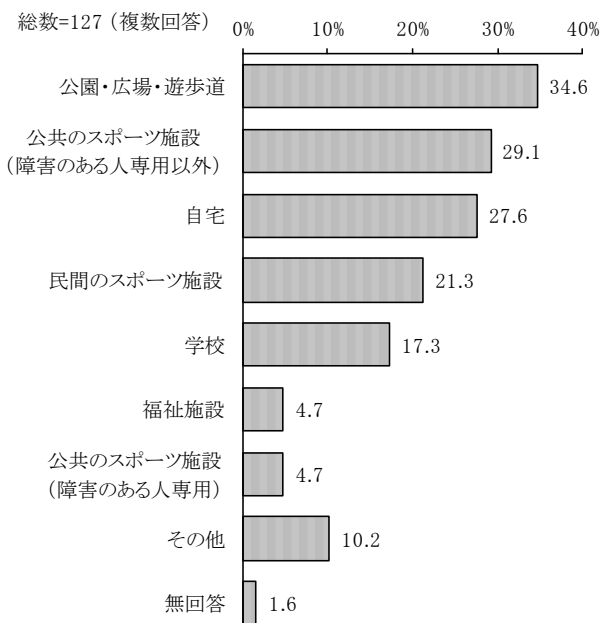
身体障害



知的障害



精神障害



※「公共のスポーツ施設（障害のある人専用）」は、東京都多摩障害者スポーツセンター（国立市）等の障害のある人の健康増進と社会参加を促進するための障害のある人専用のスポーツ施設のことです。

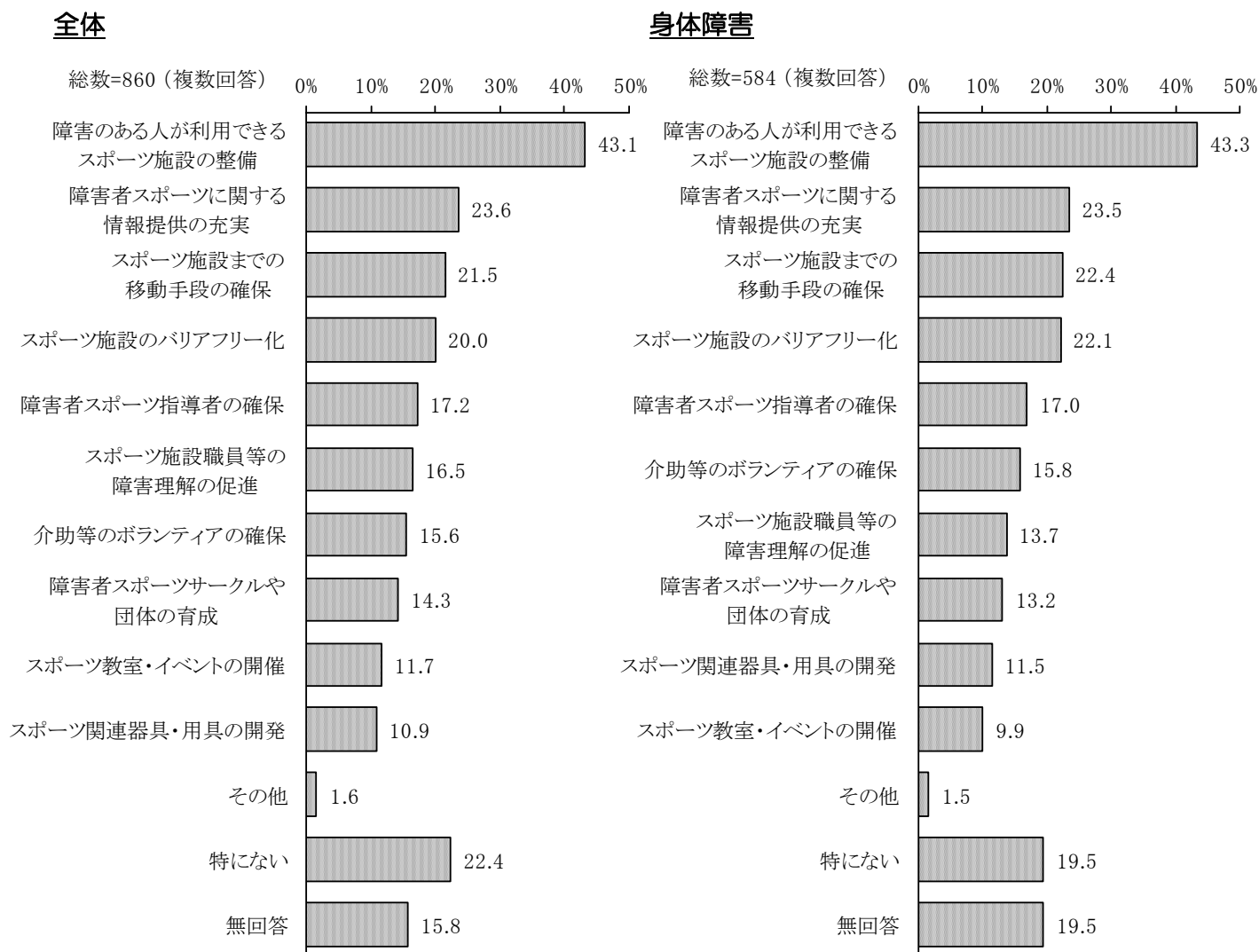
※「公共のスポーツ施設（障害のある人専用以外）」は、昭島市総合スポーツセンター等の市民の心身の健全な発達に寄与することを目的としたスポーツ施設のことです。

(3) スポーツや運動を行う上で必要なこと

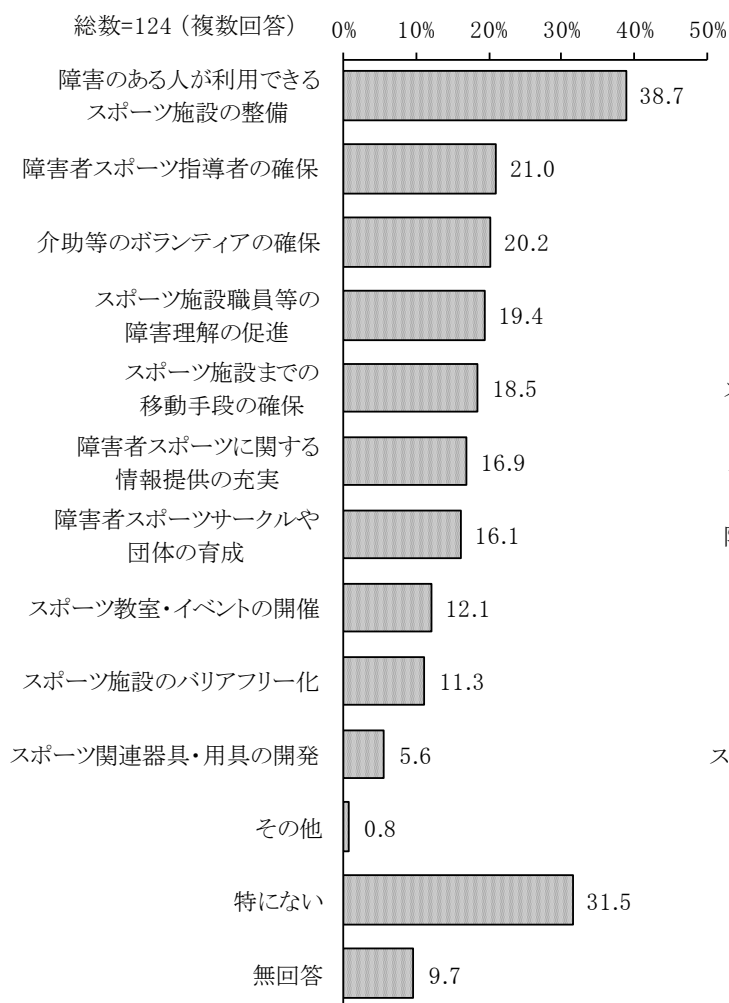
問 26 あなたは、障害のある人がスポーツや運動を行う上でどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「障害のある人が利用できるスポーツ施設の整備」が43.1%と最も多く、次いで「障害者スポーツに関する情報提供の充実」が23.6%、「スポーツ施設までの移動手段の確保」が21.5%、「スポーツ施設のバリアフリー化」が20.0%となっています。

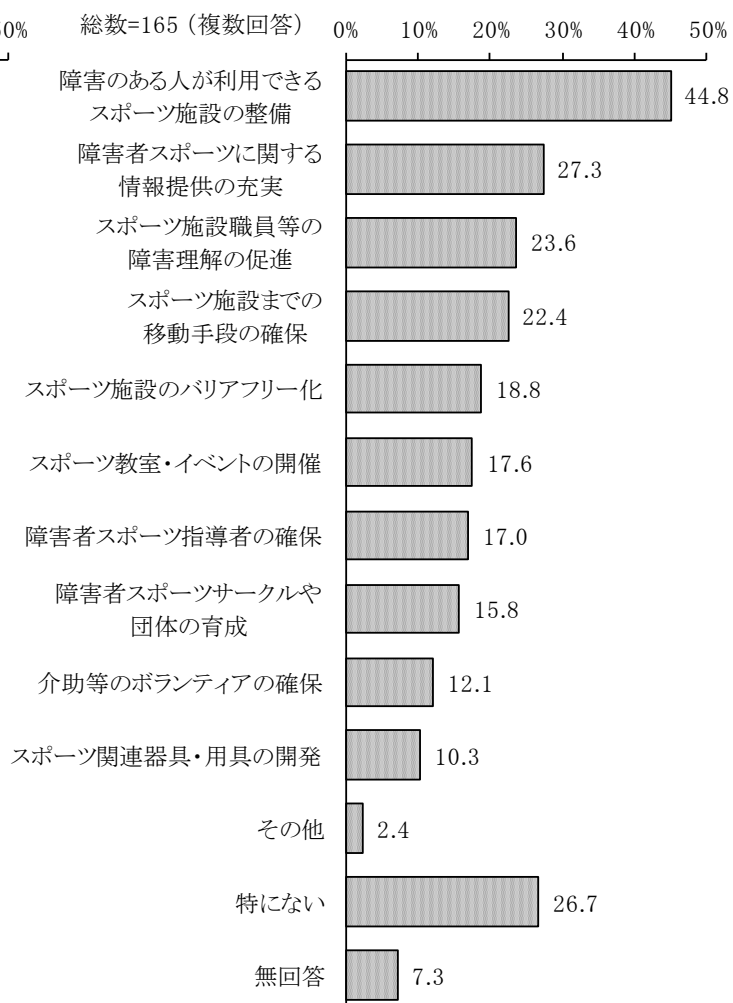
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



知的障害



精神障害



8. 住まいについて

(1) 住まいの種類

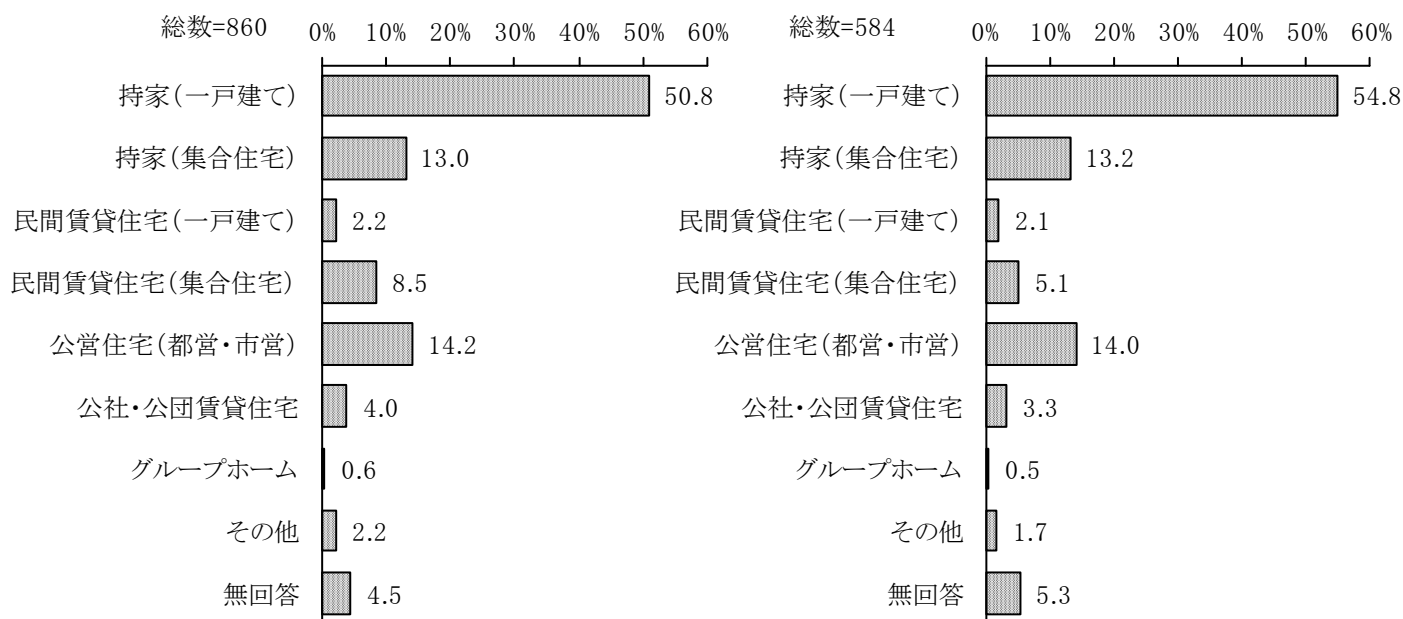
問 31 現在、あなたはどのようなところにお住まいですか。(〇は1つ)

全体では、「持家（一戸建て）」が50.8%と最も多く、次いで「公営住宅（都営・市営）」が14.2%、「持家（集合住宅）」が13.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が8.5%となっています。

障害別に見ると、「持家（一戸建て）」以外では、精神障害で「民間賃貸住宅（集合住宅）」が多くなっています。

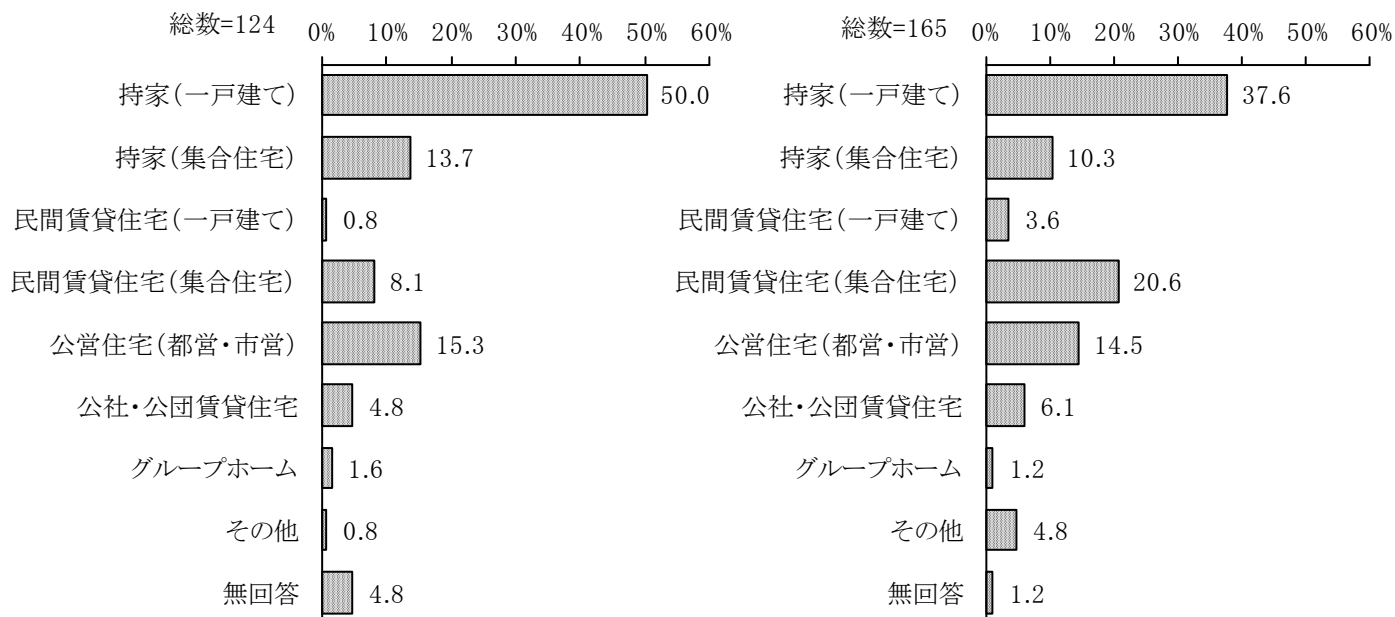
全体

身体障害



知的障害

精神障害



同居家族別に見ると、身体障害では、ひとり暮らしの方で「持家（一戸建て）」を除くと、「公営住宅（都営・市営）」が多くなっています。精神障害では、ひとり暮らしの方で「民間賃貸住宅（集合住宅）」が多くなっています。

●住まいの種類（同居家族別）

		全体	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	（都営・市営）公営住宅	公社・公団賃貸住宅	グループホーム	その他	無回答
全体		860 100.0	437 50.8	112 13.0	19 2.2	73 8.5	122 14.2	34 4.0	5 0.6	19 2.2	39 4.5
同居家族別	身体障害・家族と同居	445 100.0	276 62.0	62 13.9	9 2.0	15 3.4	47 10.6	11 2.5	- -	4 0.9	21 4.7
	身体障害・ひとり暮らし	128 100.0	43 33.6	14 10.9	3 2.3	14 10.9	35 27.3	8 6.3	- -	3 2.3	8 6.3
	身体障害・グループホームでの集団生活	7 100.0	- -	- -	- -	1 14.3	- -	- -	3 42.9	2 28.6	1 14.3
	知的障害・家族と同居	113 100.0	61 54.0	17 15.0	- -	6 5.3	18 15.9	6 5.3	- -	- -	5 4.4
	知的障害・ひとり暮らし	9 100.0	1 11.1	- -	1 11.1	4 44.4	1 11.1	- -	- -	1 11.1	1 11.1
	知的障害・グループホームでの集団生活	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -
	精神障害・家族と同居	116 100.0	58 50.0	15 12.9	4 3.4	12 10.3	15 12.9	7 6.0	- -	3 2.6	2 1.7
	精神障害・ひとり暮らし	44 100.0	4 9.1	2 4.5	2 4.5	22 50.0	9 20.5	3 6.8	- -	2 4.5	- -
	精神障害・グループホームでの集団生活	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -
	無回答	17 100.0	6 35.3	2 11.8	- -	1 5.9	3 17.6	- -	- -	4 23.5	1 5.9

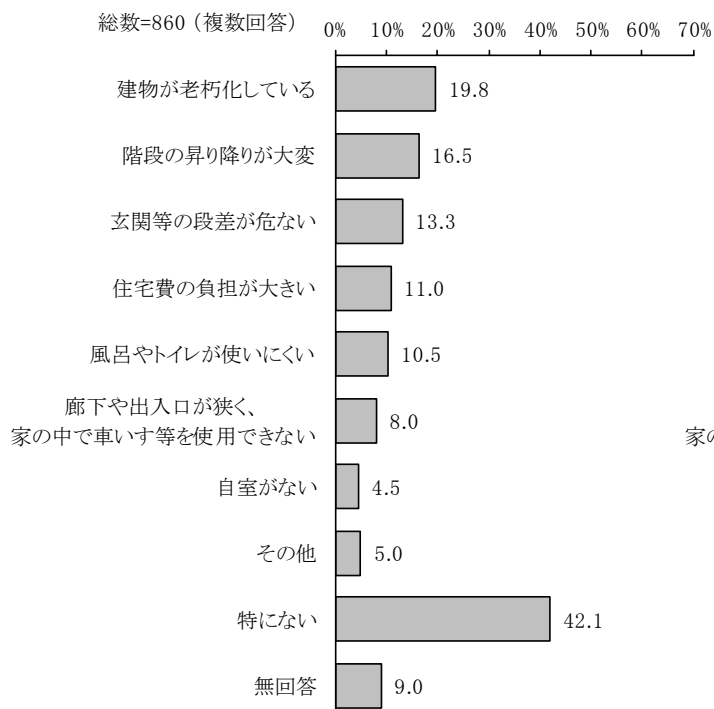
(2) 住まいで困っていること

問 32 あなたが現在の住まいで困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

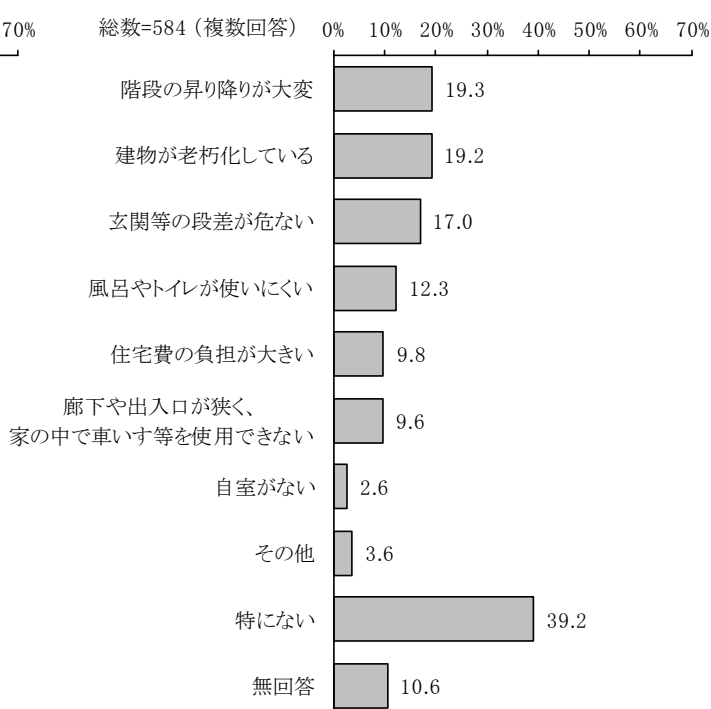
全体では、「建物が老朽化している」が 19.8%と最も多く、次いで「階段の昇り降りが大変」が 16.5%、「玄関等の段差が危ない」が 13.3%、「住宅費の負担が大きい」が 11.0%となっています。「特にない」が 42.1%と多くなっています。

障害別に見ると、身体障害では「階段の昇り降りが大変」が最も多くなっています。

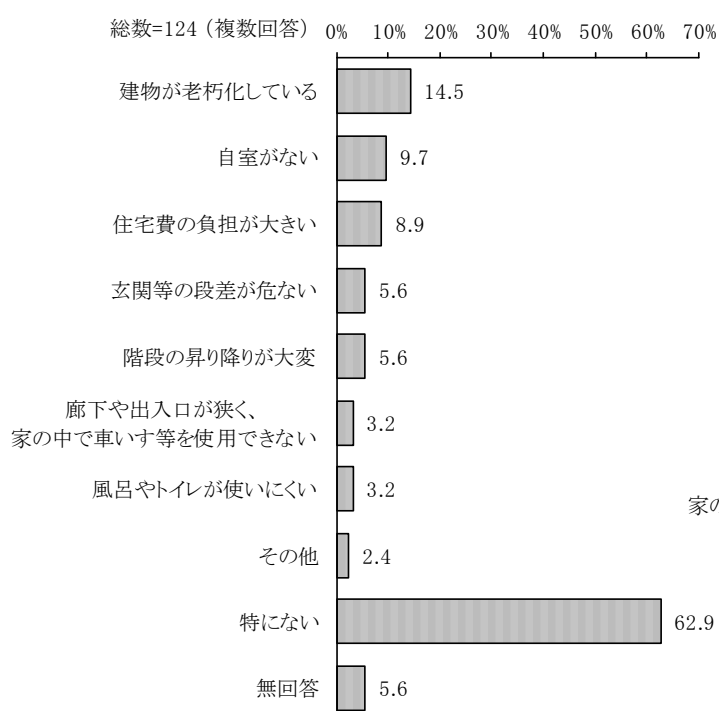
全体



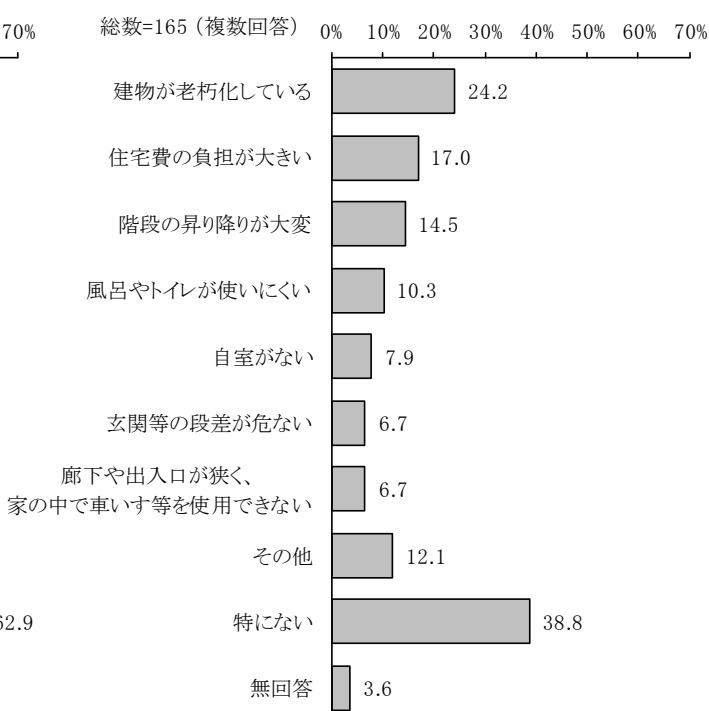
身体障害



知的障害



精神障害



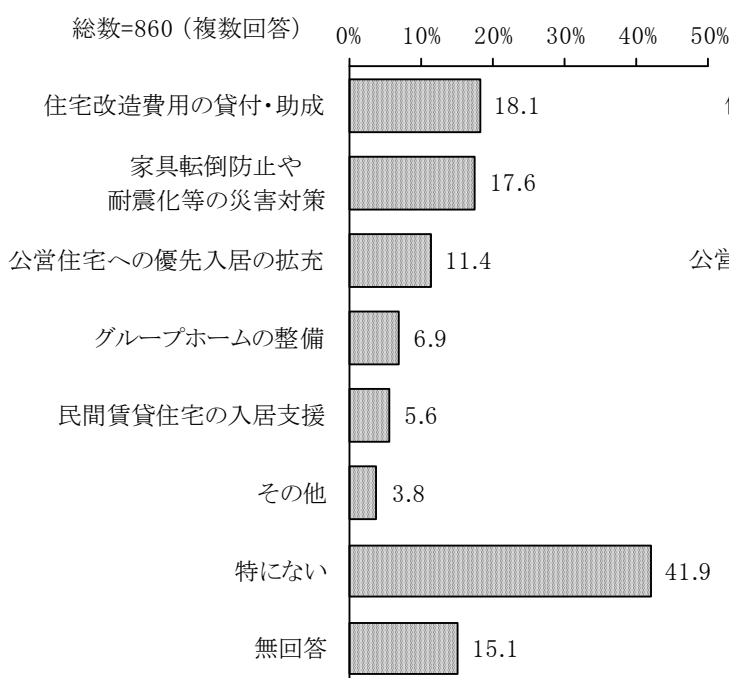
(3) 住まいについて必要な支援

問 33 あなたは、住まいについてどのような支援が必要ですか。(〇は3つまで)

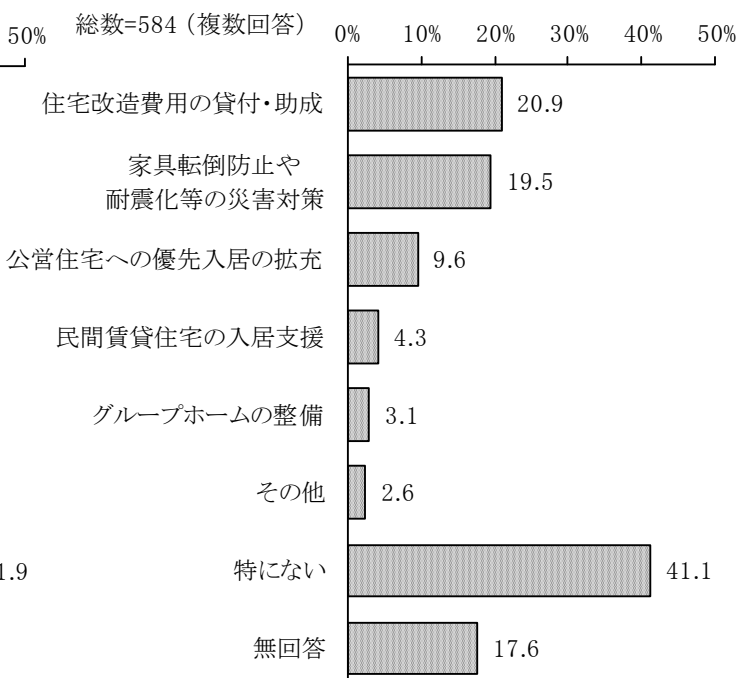
全体では、「住宅改造費用の貸付・助成」が18.1%と最も多く、次いで「家具転倒防止や耐震化等の災害対策」が17.6%、「公営住宅への優先入居の拡充」が11.4%、「グループホームの整備」が6.9%となっています。「特にない」が41.9%と多くなっています。

障害別に見ると、知的障害では「グループホームの整備」が最も多くなっています。精神障害では「住宅改造費用の貸付・助成」とならんで「公営住宅への優先入居の拡充」が最も多くなっています。

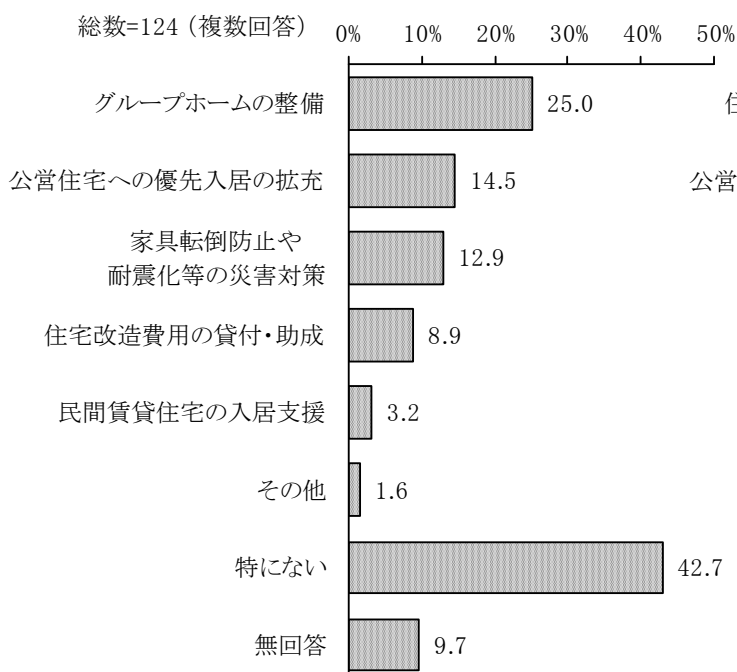
全体



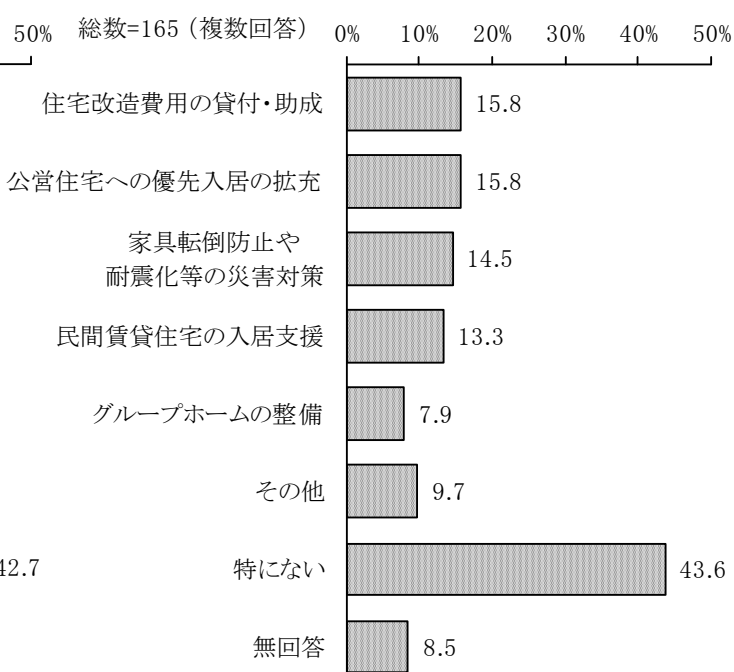
身体障害



知的障害



精神障害

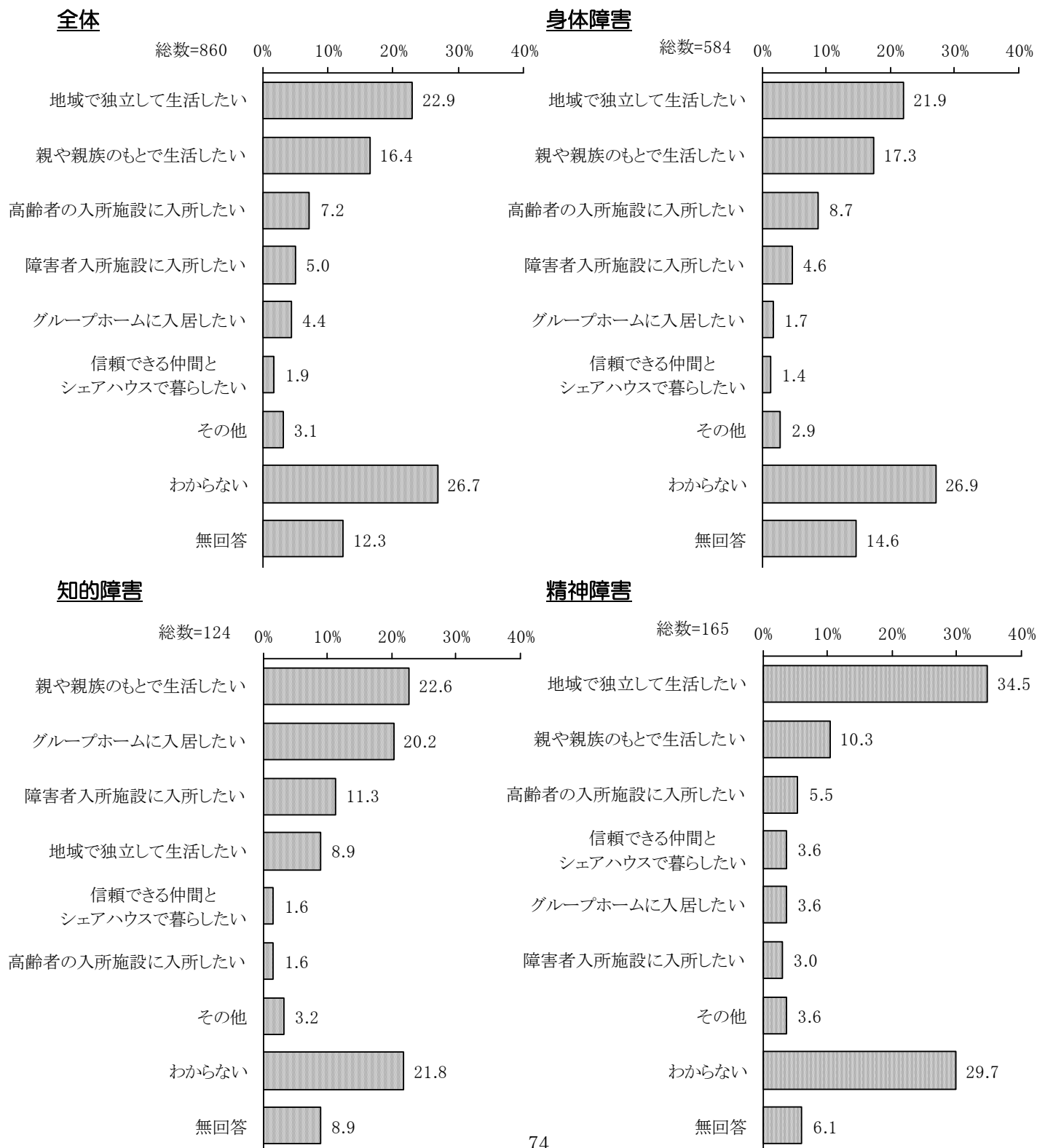


（４）将来の暮らし方の希望

問 34 将来、あなたはどのように暮らしたいですか。（〇は１つ）

全体では、「地域で独立して生活したい」が22.9%と最も多く、次いで「親や親族のもとで生活したい」が16.4%、「高齢者の入所施設に入所したい」が7.2%、「障害者入所施設に入所したい」が5.0%となっています。「わからない」が26.7%とやや多くなっています。

障害別に見ると、知的障害では「親や親族のもとで生活したい」「グループホームに入居したい」が多くなっています。



年齢別に見ると、18～39 歳では、知的障害で「グループホームに入居したい」が、精神障害で「地域で独立して生活したい」が多くなっています。

●将来の暮らし方の希望（年齢別）

		全体	地域で独立して生活したい	親や親族のもとで生活したい	信頼できる仲間とシェアハウスで暮らしたい	グループホームに入居したい	障害者入所施設に入所したい	高齢者の入所施設に入所したい	その他	わからない	無回答
全体		860 100.0	197 22.9	141 16.4	16 1.9	38 4.4	43 5.0	62 7.2	27 3.1	230 26.7	106 12.3
年齢別	身体障害・18～39歳	12 100.0	4 33.3	3 25.0	— —	1 8.3	1 8.3	— —	— —	2 16.7	1 8.3
	身体障害・40～64歳	114 100.0	36 31.6	22 19.3	3 2.6	2 1.8	7 6.1	5 4.4	— —	34 29.8	5 4.4
	身体障害・65歳以上	458 100.0	88 19.2	76 16.6	5 1.1	7 1.5	19 4.1	46 10.0	17 3.7	121 26.4	79 17.2
	知的障害・18～39歳	58 100.0	7 12.1	12 20.7	1 1.7	18 31.0	4 6.9	— —	— —	14 24.1	2 3.4
	知的障害・40～64歳	56 100.0	3 5.4	12 21.4	1 1.8	7 12.5	10 17.9	1 1.8	4 7.1	12 21.4	6 10.7
	知的障害・65歳以上	10 100.0	1 10.0	4 40.0	— —	— —	— —	1 10.0	— —	1 10.0	3 30.0
	精神障害・18～39歳	41 100.0	22 53.7	4 9.8	1 2.4	3 7.3	1 2.4	— —	3 7.3	5 12.2	2 4.9
	精神障害・40～64歳	105 100.0	32 30.5	13 12.4	4 3.8	3 2.9	4 3.8	5 4.8	3 2.9	35 33.3	6 5.7
	精神障害・65歳以上	19 100.0	3 15.8	— —	1 5.3	— —	— —	4 21.1	— —	9 47.4	2 10.5
	無回答	10 100.0	3 30.0	— —	— —	— —	1 10.0	— —	— —	3 30.0	3 30.0

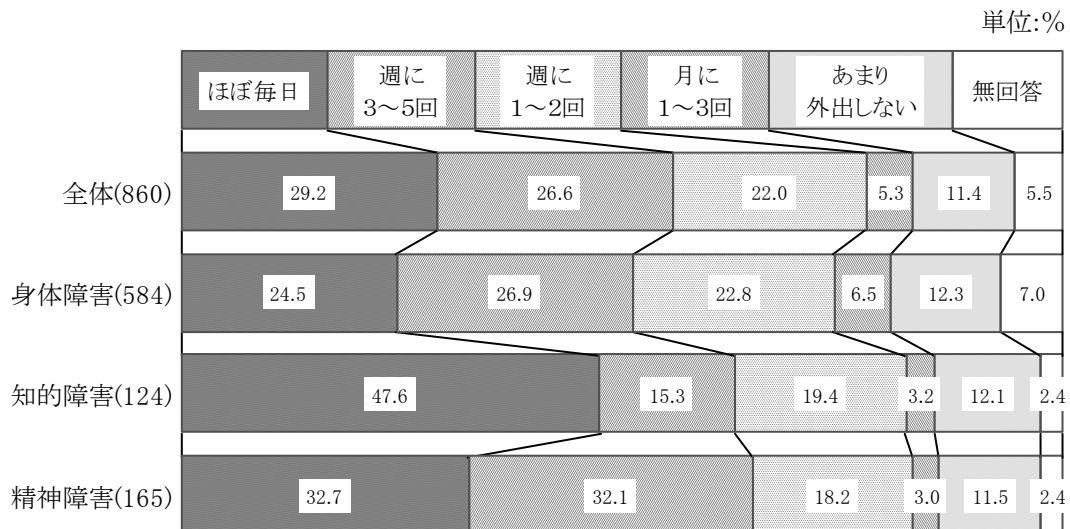
9. 外出について

(1) 外出の頻度

問 35 普段、あなたはどのくらいの頻度で外出しますか。(〇は1つ)

全体では、「ほぼ毎日」が29.2%と最も多く、次いで「週に3～5回」が26.6%、「週に1～2回」が22.0%、「あまり外出しない」が11.4%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「ほぼ毎日」が特に多くなっています。



年齢別に見ると、三障害とも、「ほぼ毎日」は年齢が若いほうが多くなっています。

●外出の頻度（年齢別）

		全体	ほぼ毎日	週に3～5回	週に1～2回	月に1～3回	あまり外出しない	無回答
全体		860	251	229	189	46	98	47
		100.0	29.2	26.6	22.0	5.3	11.4	5.5
年齢別	身体障害・18～39歳	12	6	3	2	-	1	-
		100.0	50.0	25.0	16.7	-	8.3	-
	身体障害・40～64歳	114	50	21	22	7	11	3
		100.0	43.9	18.4	19.3	6.1	9.6	2.6
	身体障害・65歳以上	458	87	133	109	31	60	38
		100.0	19.0	29.0	23.8	6.8	13.1	8.3
	知的障害・18～39歳	58	33	7	10	3	5	-
		100.0	56.9	12.1	17.2	5.2	8.6	-
	知的障害・40～64歳	56	23	11	11	1	8	2
		100.0	41.1	19.6	19.6	1.8	14.3	3.6
	知的障害・65歳以上	10	3	1	3	-	2	1
		100.0	30.0	10.0	30.0	-	20.0	10.0
	精神障害・18～39歳	41	17	14	6	1	3	-
		100.0	41.5	34.1	14.6	2.4	7.3	-
	精神障害・40～64歳	105	33	35	19	3	12	3
		100.0	31.4	33.3	18.1	2.9	11.4	2.9
	精神障害・65歳以上	19	4	4	5	1	4	1
		100.0	21.1	21.1	26.3	5.3	21.1	5.3
無回答		10	2	4	4	-	-	-
		100.0	20.0	40.0	40.0	-	-	-

(2) 外出する際困っていること

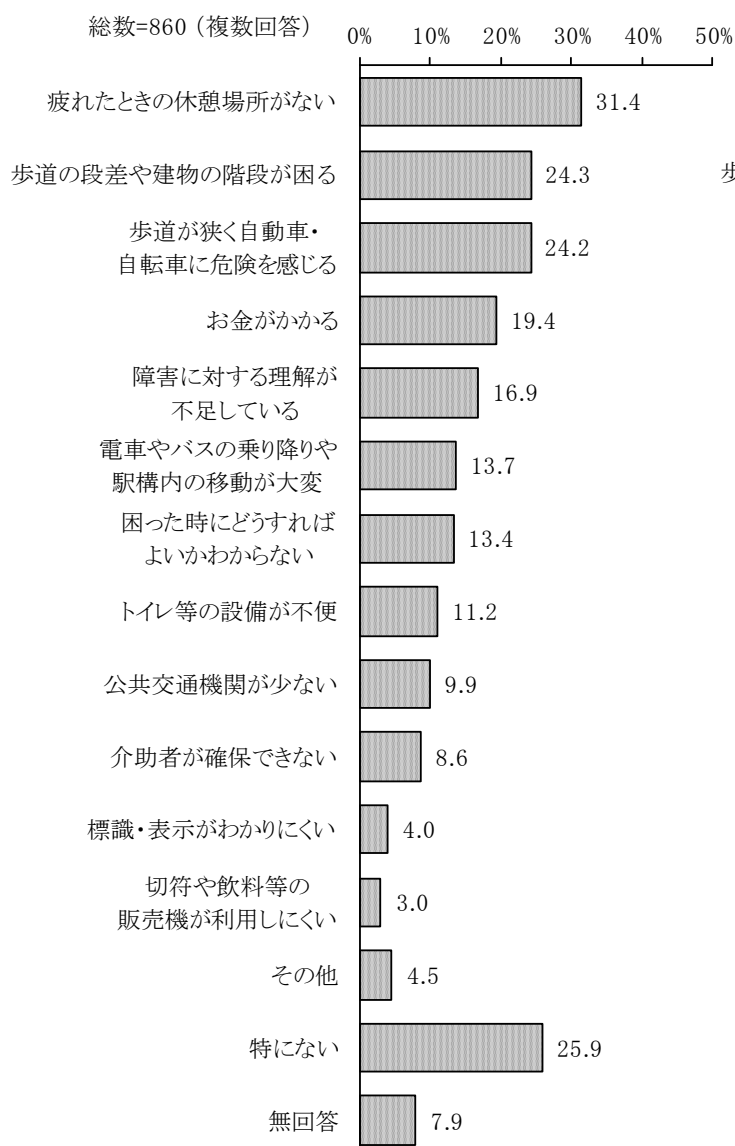
問 36 あなたが外出する際、困ったり不便に思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「疲れたときの休憩場所がない」が31.4%と最も多く、次いで「歩道の段差や建物の階段が困る」が24.3%、「歩道が狭く自動車・自転車に危険を感じる」が24.2%、「お金がかかる」が19.4%となっています。「特にない」が25.9%とやや多くなっています。

障害別に見ると、知的障害では「障害に対する理解が不足している」が最も多く、「困った時にどうすればよいかわからない」がやや多くなっています。精神障害では「お金がかかる」が最も多くなっています。

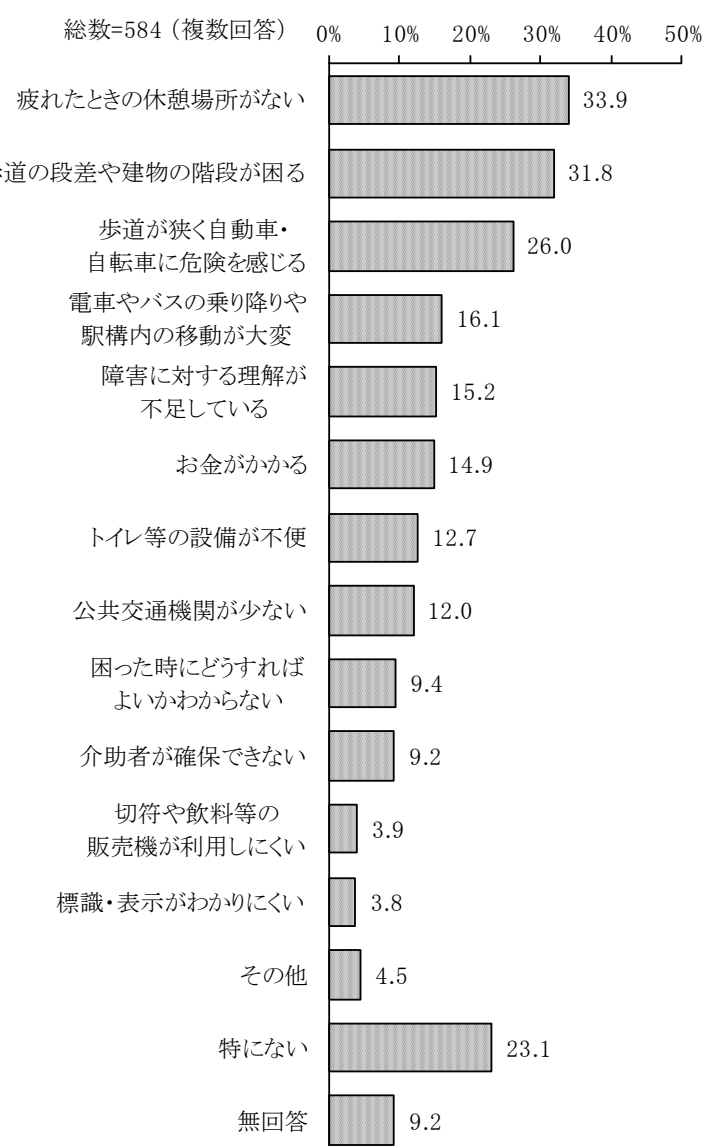
全体

総数=860 (複数回答)

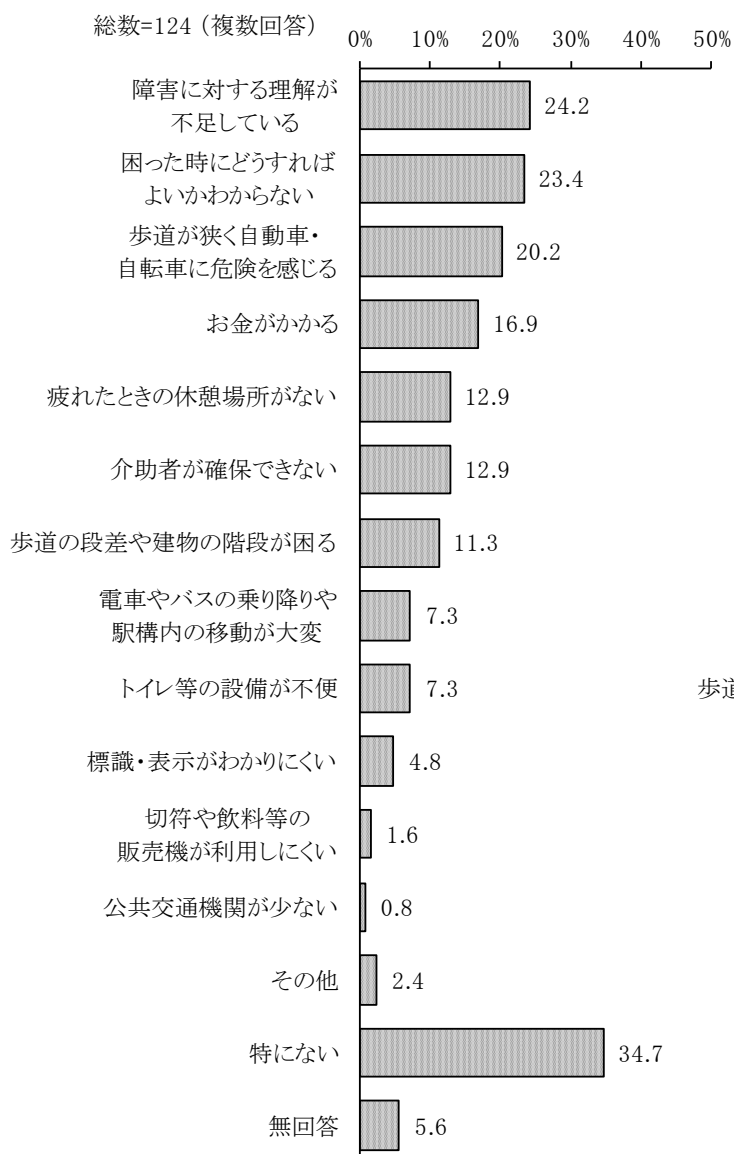


身体障害

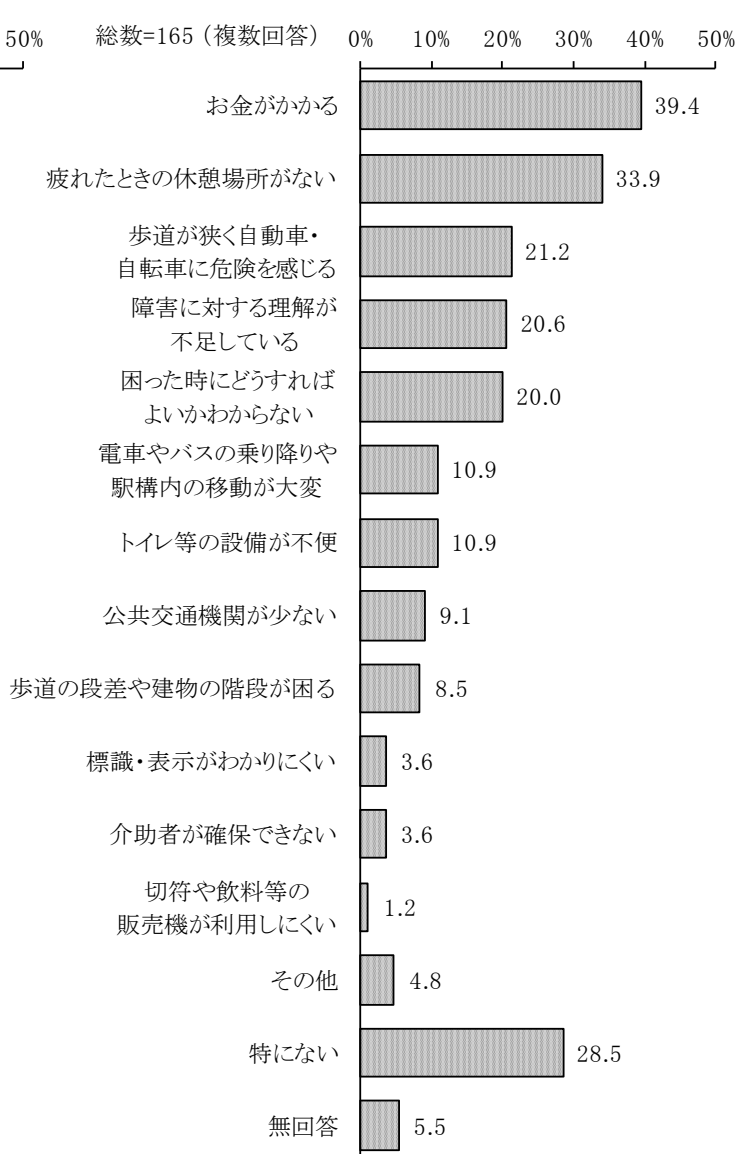
総数=584 (複数回答)



知的障害



精神障害



身体障害の種類別に見ると、「歩道の段差や建物の階段が困る」では視覚障害、肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）が多くなっています。

●外出する際困っていること（身体障害の種類別）

		全体	建物の階段が困る 歩道の段差や	歩道が狭く自動車・ 自転車に危険を感じる	公共交通機関が少ない	乗り降りや駅構内の 移動が大変	販売機が利用しにくい 切符や飲料等の	トイレ等の設備が不便	わかりにくい 標識・表示が
	全体	584 100.0	186 31.8	152 26.0	70 12.0	94 16.1	23 3.9	74 12.7	22 3.8
身体障害の種類	視覚障害	37 100.0	14 37.8	10 27.0	8 21.6	10 27.0	3 8.1	4 10.8	4 10.8
	聴覚・平衡機能障害	41 100.0	9 22.0	11 26.8	6 14.6	5 12.2	1 2.4	3 7.3	2 4.9
	音声・言語・そしゃく 機能障害	19 100.0	2 10.5	5 26.3	4 21.1	3 15.8	－ －	3 15.8	－ －
	肢体不自由（上肢・ 下肢・体幹等）	312 100.0	121 38.8	87 27.9	41 13.1	59 18.9	12 3.8	51 16.3	11 3.5
	内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼう こう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）	198 100.0	55 27.8	45 22.7	22 11.1	24 12.1	9 4.5	23 11.6	5 2.5
	無回答	14 100.0	2 14.3	3 21.4	1 7.1	－ －	1 7.1	－ －	1 7.1

		休憩場所がない 疲れたときの	障害に対する理解が 不足している	お金がかかる	介助者が確保できない	困った時にどうすれば いいかわからない	その他	特にない	無回答
	全体	198 33.9	89 15.2	87 14.9	54 9.2	55 9.4	26 4.5	135 23.1	54 9.2
身体障害の種類	視覚障害	9 24.3	4 10.8	5 13.5	5 13.5	5 13.5	4 10.8	4 10.8	5 13.5
	聴覚・平衡機能障害	16 39.0	6 14.6	4 9.8	4 9.8	6 14.6	1 2.4	8 19.5	4 9.8
	音声・言語・そしゃく 機能障害	4 21.1	1 5.3	3 15.8	1 5.3	1 5.3	－ －	6 31.6	1 5.3
	肢体不自由（上肢・ 下肢・体幹等）	109 34.9	59 18.9	51 16.3	37 11.9	32 10.3	15 4.8	63 20.2	25 8.0
	内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼう こう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）	66 33.3	24 12.1	28 14.1	11 5.6	17 8.6	5 2.5	58 29.3	19 9.6
	無回答	4 28.6	1 7.1	5 35.7	1 7.1	1 7.1	2 14.3	4 28.6	4 28.6

10. 福祉サービスの利用について

問 37 あなたは、次のサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと
 思いますか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に○をつけてください。
 （それぞれあてはまるものすべてに○）

「利用状況」は「現在利用している」、「利用意向」は「今後利用したい」という回答の結果です。

（１）訪問系サービス

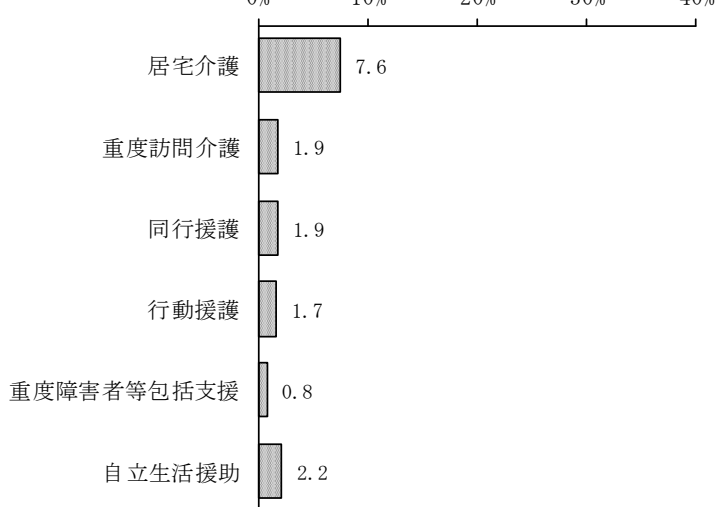
①訪問系サービスの利用状況

全体では、「居宅介護」が 7.6%と最も多く、次いで「自立生活援助」が 2.2%、「重度訪問介護」
 「同行援護」がそれぞれ 1.9%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「自立生活援助」が最も多くなっています。知的障害では「行動援護」
 がやや多くなっています。

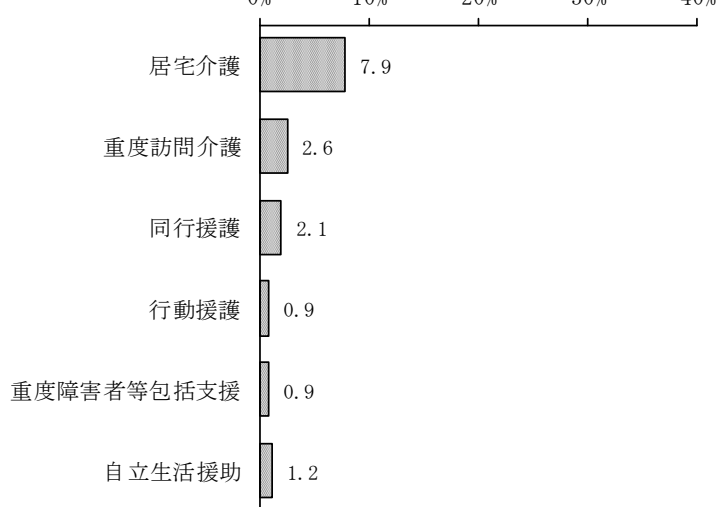
全体

総数=860（複数回答）



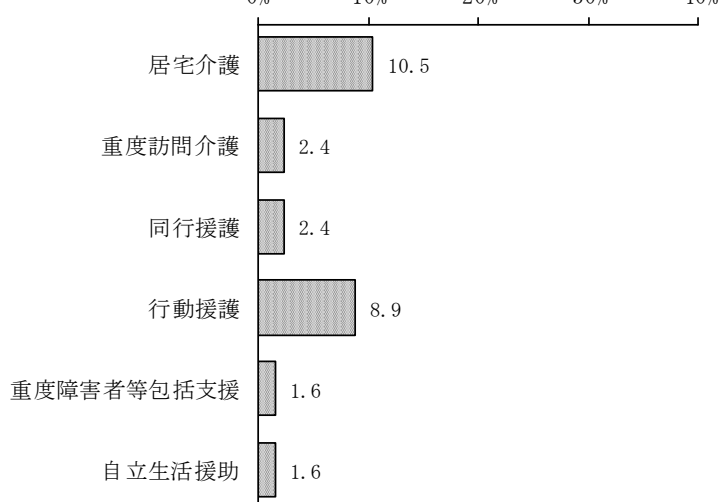
身体障害

総数=584（複数回答）



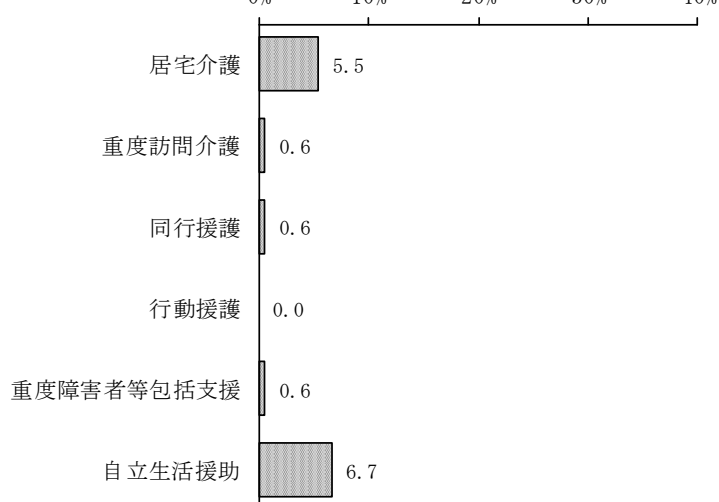
知的障害

総数=124（複数回答）



精神障害

総数=165（複数回答）

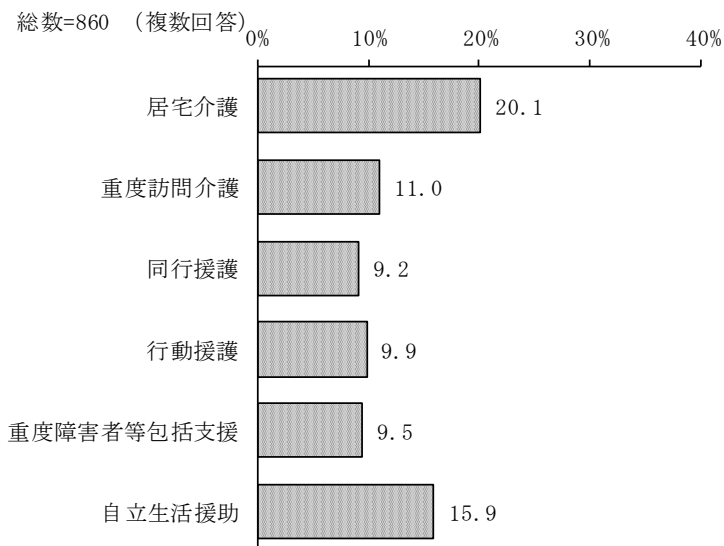


②訪問系サービスの利用意向

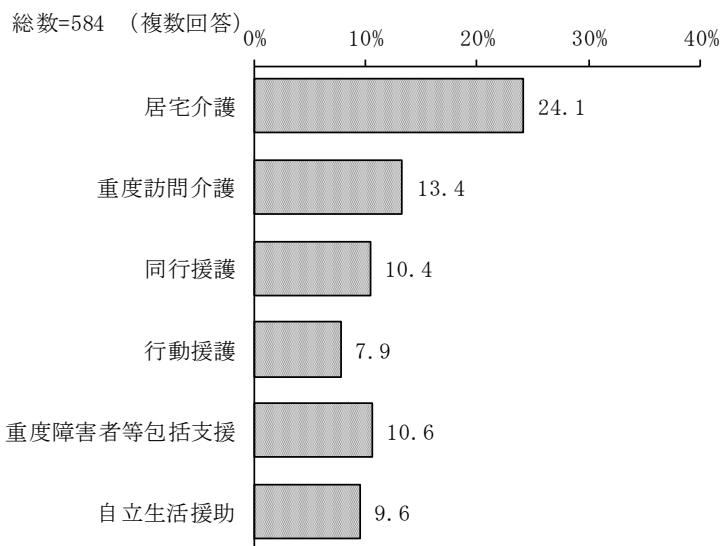
全体では、「居宅介護」が20.1%と最も多く、次いで「自立生活援助」が15.9%、「重度訪問介護」が11.0%、「行動援護」が9.9%となっています。

障害別に見ると、知的障害や精神障害では「自立生活援助」「行動援護」が多くなっています。

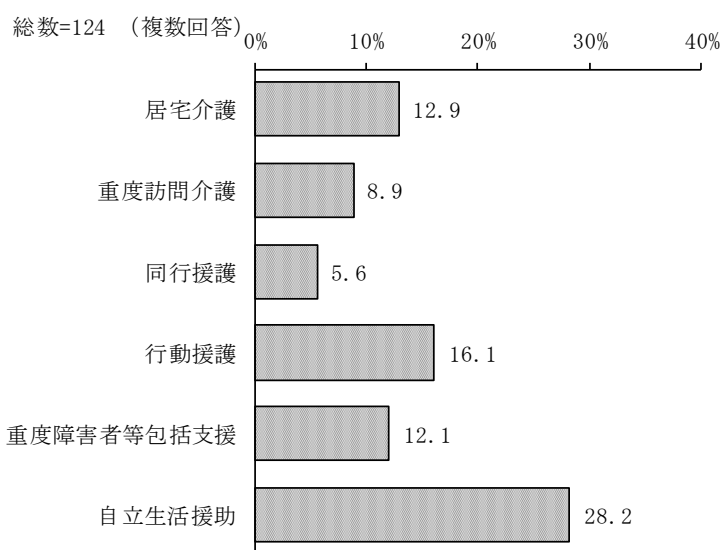
全体



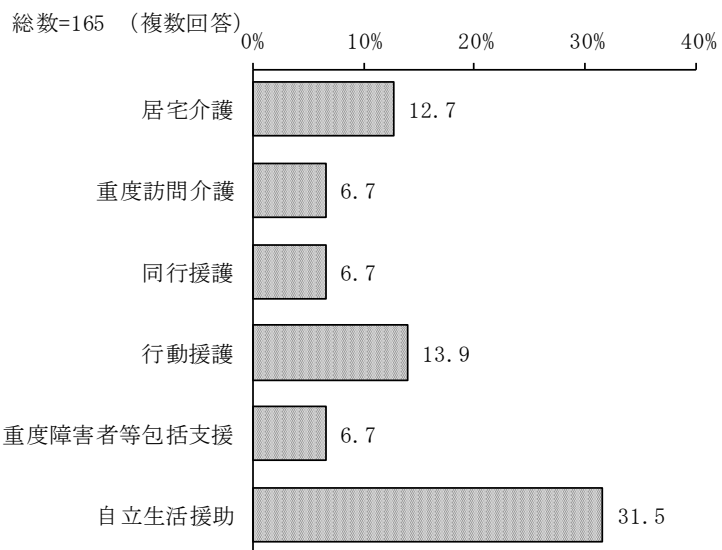
身体障害



知的障害



精神障害



サービス名	サービスの内容
①居宅介護 (ホームヘルプ)	障害のある人を対象に、居宅における入浴、排せつ、食事などの介護サービスの提供を行います。
②重度訪問介護	常時介護を必要とする重度障害のある人を対象に、居宅における入浴、排せつ、食事などの介護サービス及び外出時の移動介護サービスを行います。平成 30 年度からヘルパーによる訪問先が居宅だけではなく、医療機関にも拡大されました。
③同行援護	移動に著しい困難のある視覚に障害のある人を対象に、外出時における移動の援護や移動に必要な情報提供を行います。
④行動援護	行動に著しい困難がある知的障害、精神障害のある人を対象に、危険回避のための援護や移動介護サービスを提供します。
⑤重度障害者等包括支援	常時介護を必要とし、その介護の必要度が著しく高い障害のある人を対象に、居宅介護等複数の障害福祉サービスを包括的に提供します。
⑥自立生活援助	障害者支援施設やグループホーム等から地域で一人暮らしを始めた知的障害、精神障害のある人等の居宅を定期的に訪問し、生活に関する助言や医療機関等との連絡調整を行うほか、利用者からの相談に対応します。

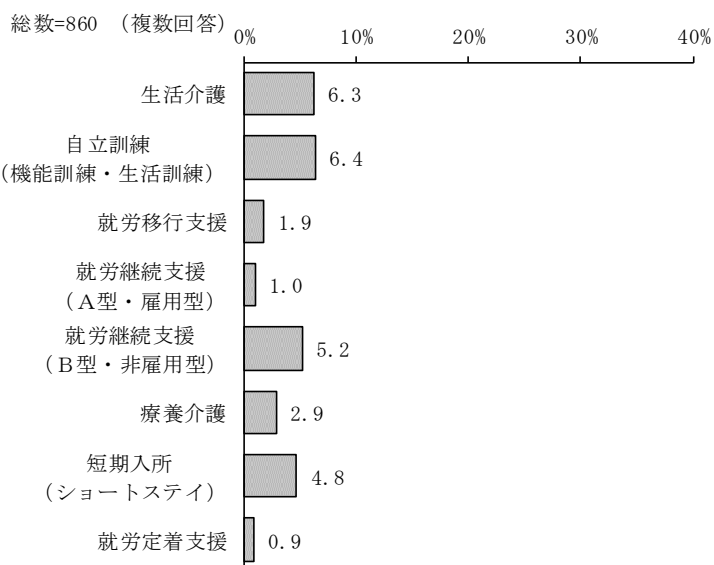
(2) 日中活動系サービス

③日中活動系サービスの利用状況

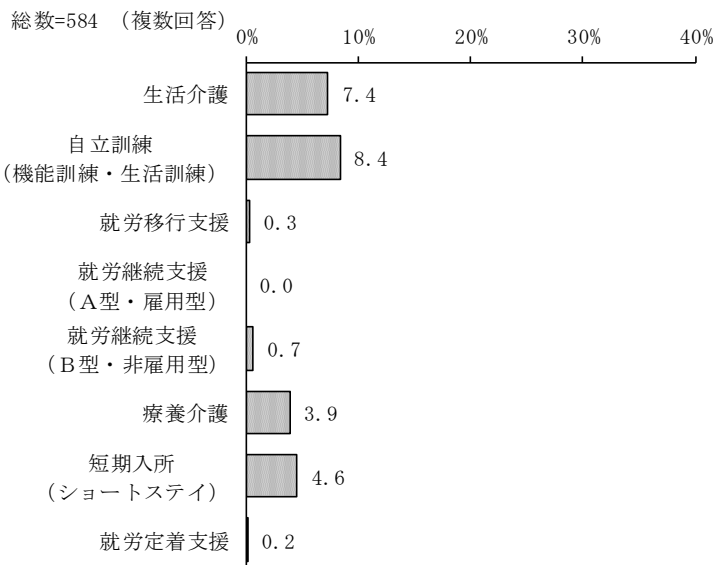
全体では、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が6.4%と最も多く、次いで「生活介護」が6.3%、「就労継続支援（B型・非雇用型）」が5.2%、「短期入所（ショートステイ）」が4.8%となっています。

障害別に見ると、知的障害や精神障害では「就労継続支援（B型・非雇用型）」が最も多くなっています。知的障害では「短期入所（ショートステイ）」「生活介護」もやや多くなっています。

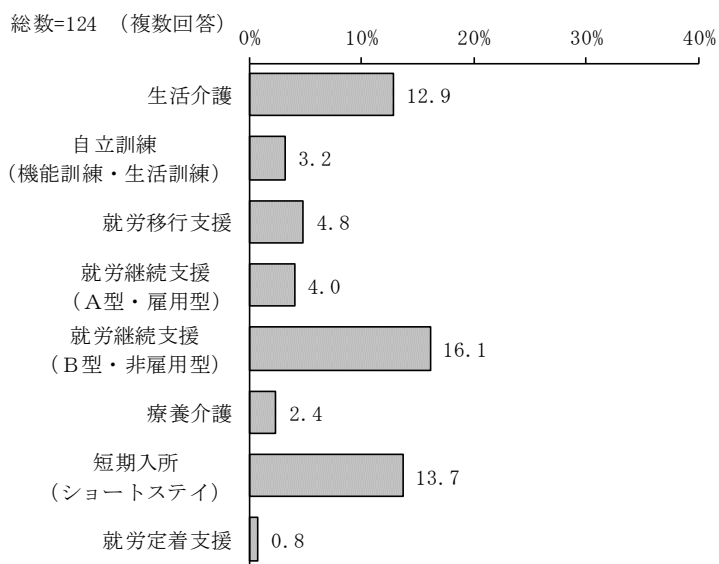
全体



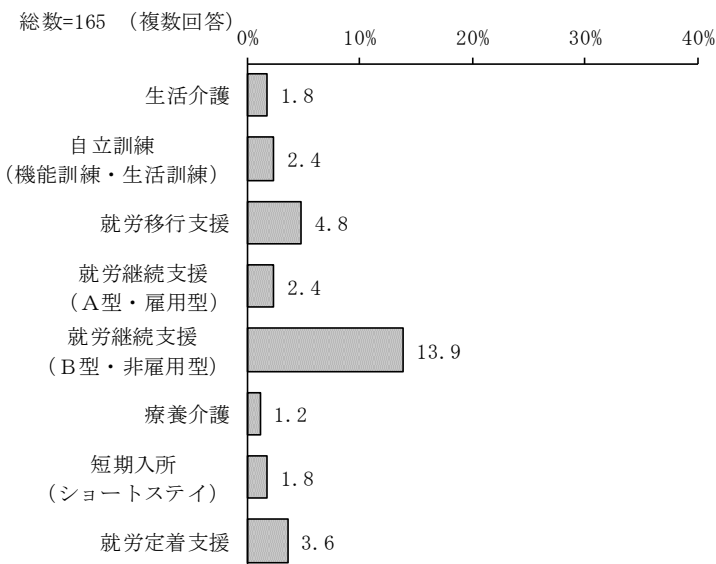
身体障害



知的障害



精神障害

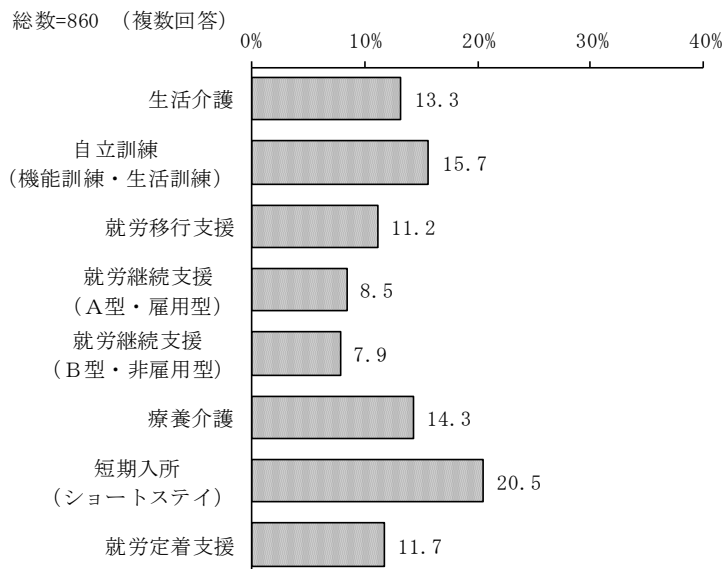


④日中活動系サービスの利用意向

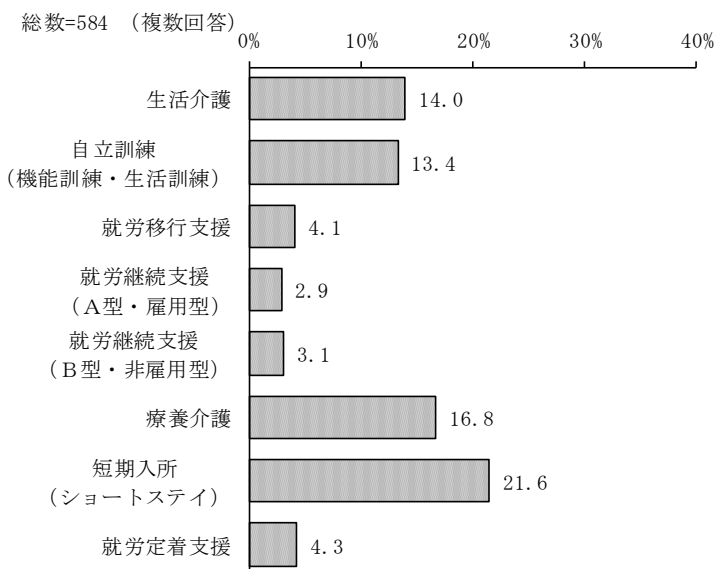
全体では、「短期入所（ショートステイ）」が 20.5%と最も多く、次いで「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が 15.7%、「療養介護」が 14.3%、「生活介護」が 13.3%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「就労移行支援」「就労定着支援」が多くなっています。

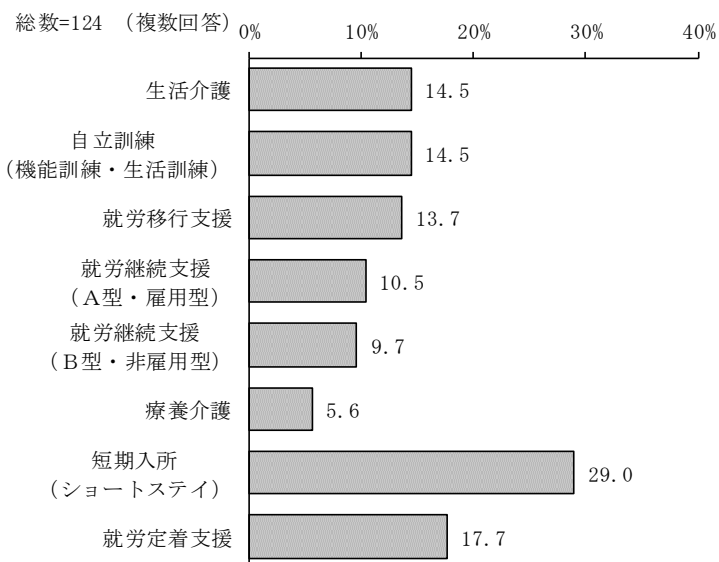
全体



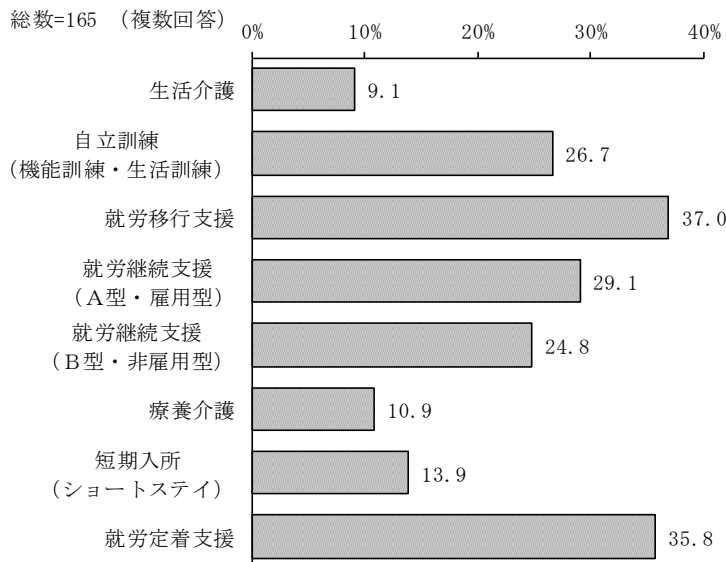
身体障害



知的障害



精神障害



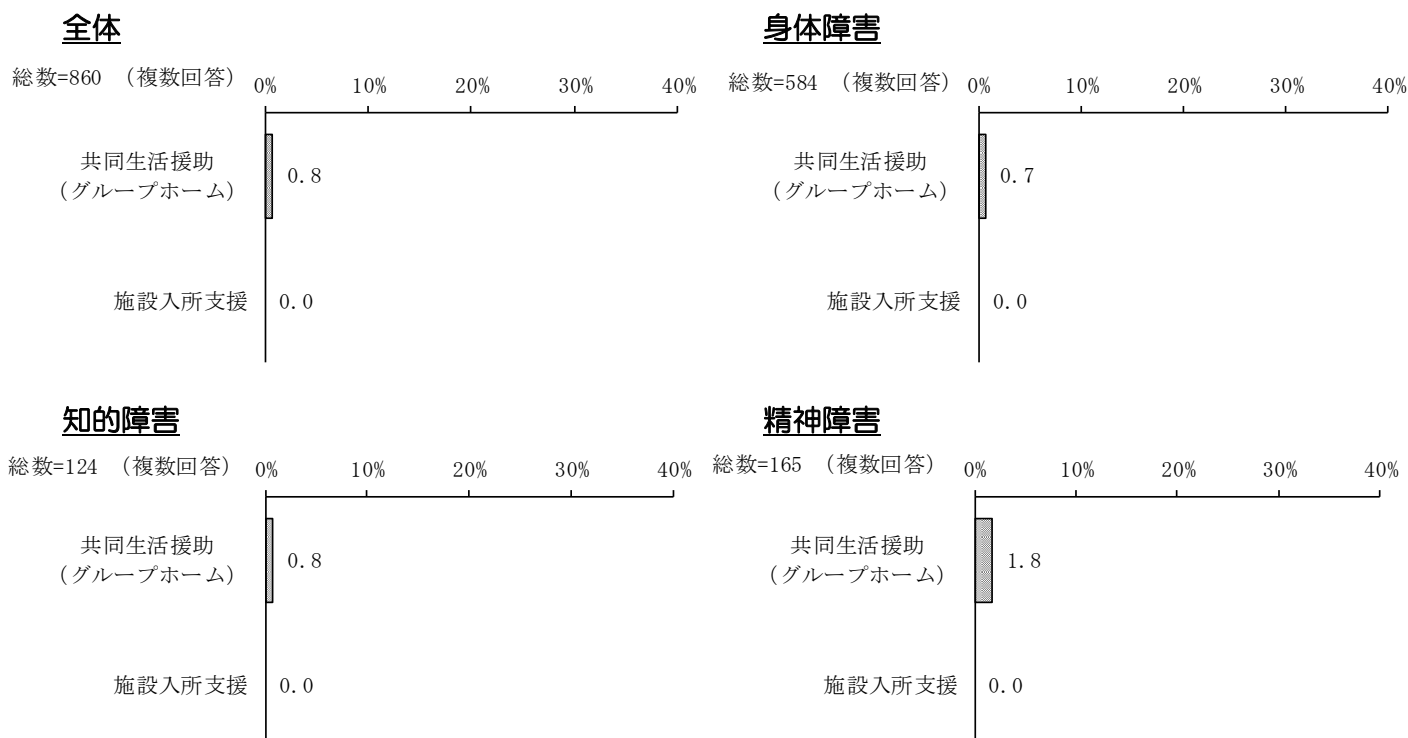
サービス名	サービスの内容
①生活介護	常に介護を必要とする障害のある人を対象に、通所により、食事や入浴、排せつなどの介護や日常生活上の支援、生産活動などの機会を提供します。
②自立訓練（機能訓練・生活訓練）	障害のある人に対して、自立した生活を営むことができるように、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。
③就労移行支援	一般企業等への就労を希望する障害のある人に対して、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための必要な訓練、求職活動に関する支援など、就職後の職場への定着のために必要な相談などの支援を行います。
④就労継続支援 （A型・雇用型）	一般企業等への就労が困難な障害のある人に対して、雇用契約に基づき、生産活動などの機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練などの支援を行います。
⑤就労継続支援 （B型・非雇用型）	一般企業等への就労が困難な障害のある人に対して、継続的な生産活動などの機会を提供し、就労に必要な知識及び能力の向上や維持のために必要な訓練などの支援を行います。
⑥療養介護	医療と常時の介護が必要な障害のある人を対象に、医療機関などで機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活上の支援を行います。
⑦短期入所 （ショートステイ）	介護者が病気などで介護が困難になった場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事などのサービスを提供します。
⑧就労定着支援	就労移行支援等の利用を経て、一般企業等への就労をした障害のある人が、就労に伴う環境変化により、生活リズムの調整や家計の管理などの問題が生じた際に、必要な連絡調整や指導・助言等の支援を行います。

(3) 居住系サービス

⑤ 居住系サービスの利用状況

全体では、「共同生活援助（グループホーム）」が0.8%で、「施設入所支援」という回答はありませんでした。

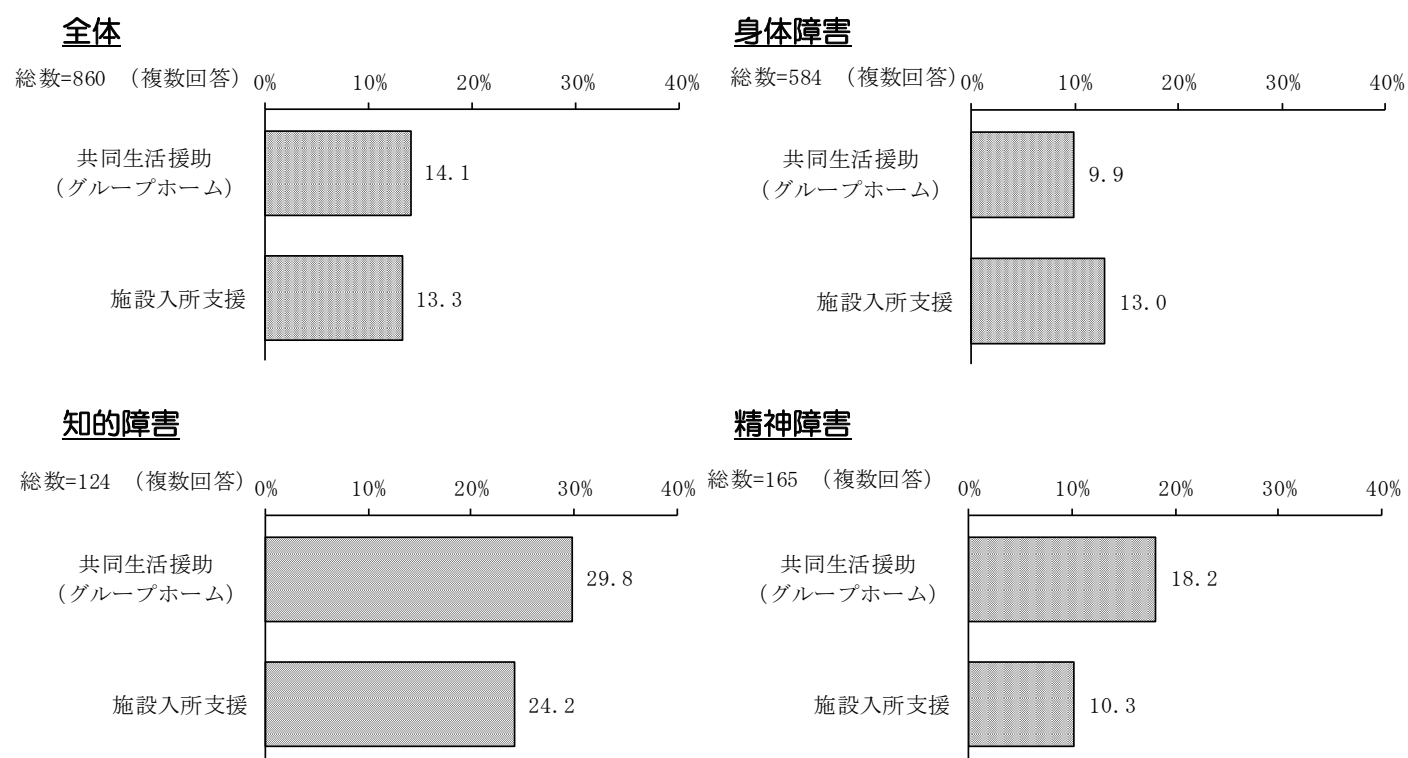
障害別に見ると、精神障害では「共同生活援助（グループホーム）」がやや多くなっています。



⑥ 居住系サービスの利用意向

全体では、「共同生活援助（グループホーム）」が14.1%、「施設入所支援」が13.3%となっています。

障害別に見ると、知的障害ではいずれのサービスも回答が多くなっています。



サービス名	サービスの内容
①共同生活援助 (グループホーム)	地域で共同生活を行うことに支障のない障害のある人を対象に、夜間や休日、共同生活を行う住居において、相談、入浴、排せつ、食事の介護などの日常生活上の援助を行います。
②施設入所支援	施設に入所している障害のある人を対象に、入浴、排せつ、食事の介護、生活に関する相談・助言などの日常生活上の支援を行います。

(4) 地域生活支援事業

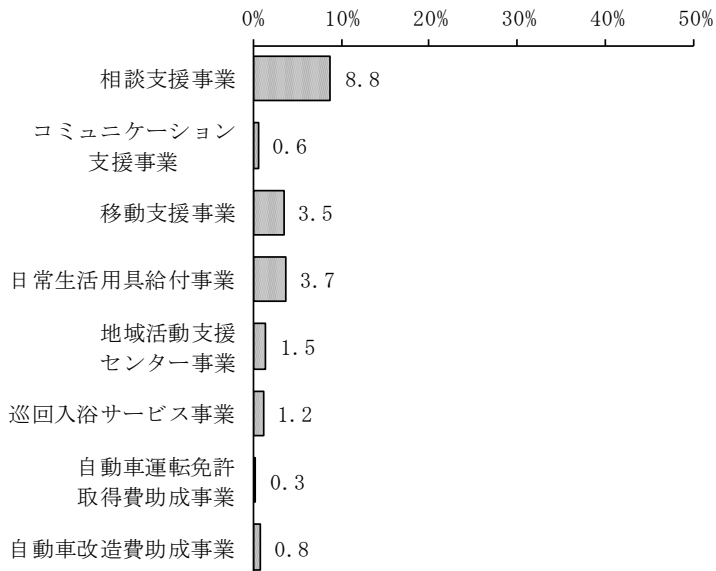
⑦地域生活支援事業の利用状況

全体では、「相談支援事業」が8.8%と最も多く、次いで「日常生活用具給付事業」が3.7%、「移動支援事業」が3.5%、「地域活動支援センター事業」が1.5%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「相談支援事業」「移動支援事業」が特に多くなっています。

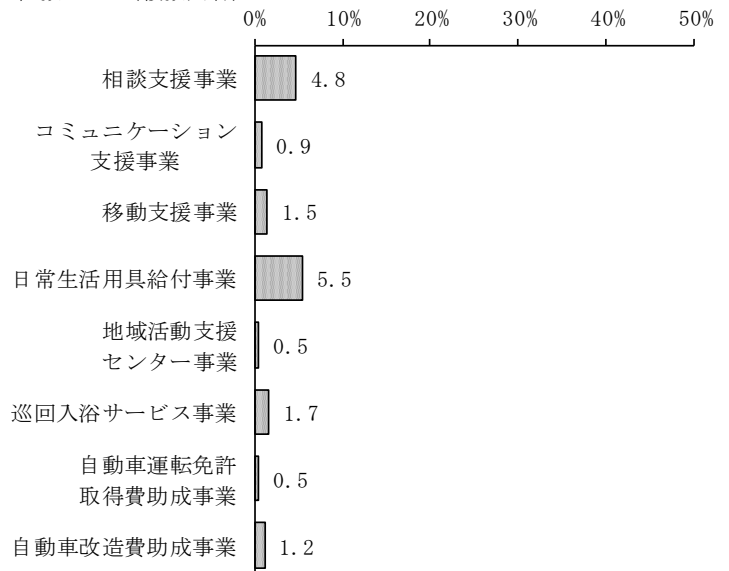
全体

総数=860 (複数回答)



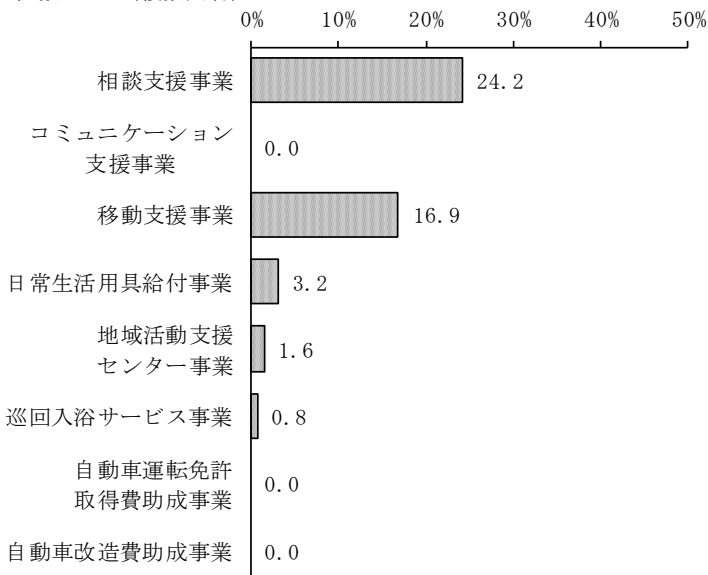
身体障害

総数=584 (複数回答)



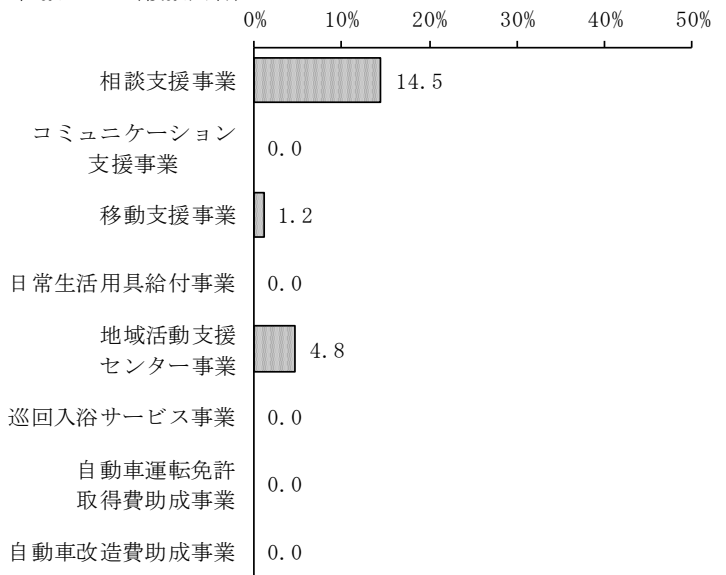
知的障害

総数=124 (複数回答)



精神障害

総数=165 (複数回答)



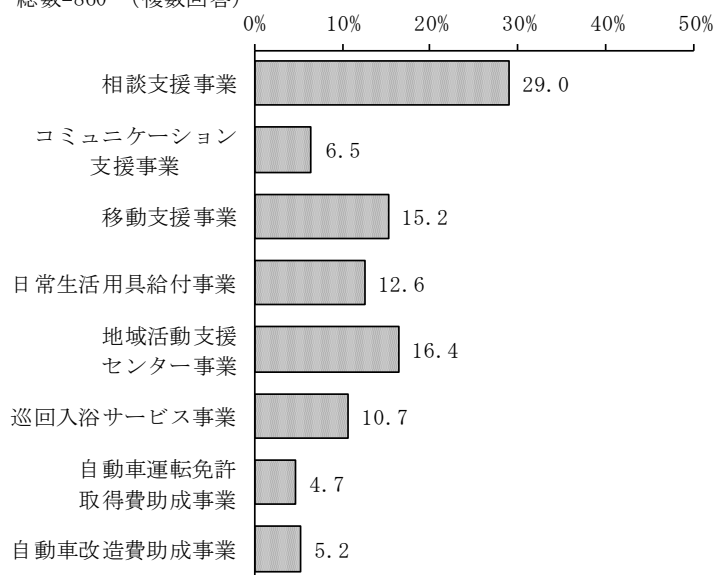
⑧地域生活支援事業の利用意向

全体では、「相談支援事業」が29.0%と最も多く、次いで「地域活動支援センター事業」が16.4%、「移動支援事業」が15.2%、「日常生活用具給付事業」が12.6%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「相談支援事業」「地域活動支援センター事業」が特に多くなっています。

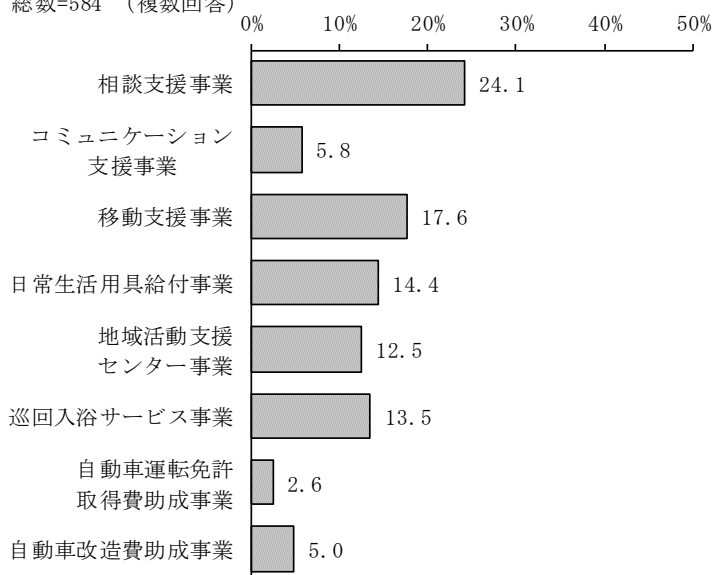
全体

総数=860 (複数回答)



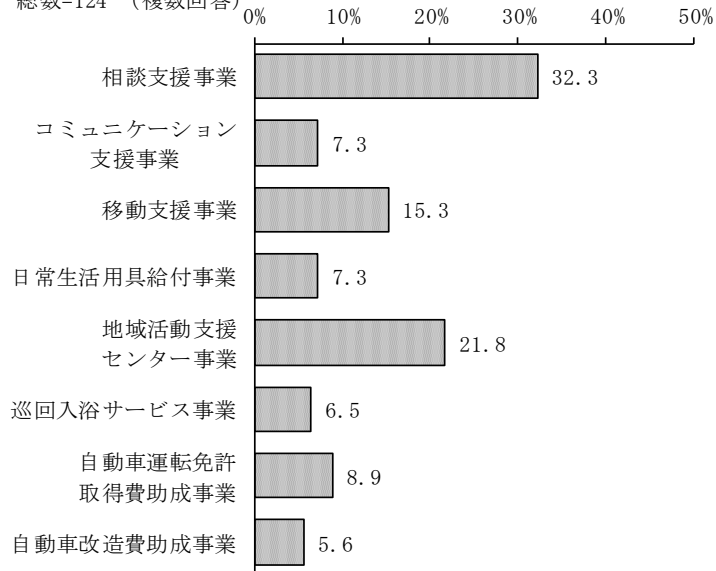
身体障害

総数=584 (複数回答)



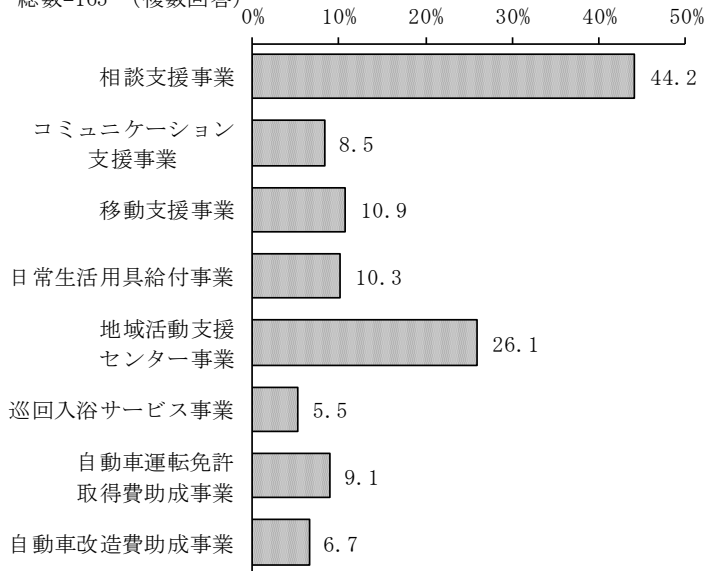
知的障害

総数=124 (複数回答)



精神障害

総数=165 (複数回答)



サービス名	サービスの内容
①相談支援事業	障害のある人が地域において自立した日常生活・社会生活を送れるように、障害のある人やその家族からの相談に応じるとともに、情報提供や権利擁護など必要な支援を行います。
②コミュニケーション支援事業	聴覚、言語機能などの障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害のある人を対象に、コミュニケーションの支援を図る手話通訳者や要約筆記者の派遣を行います。
③移動支援事業	屋外での移動が困難な障害のある人を対象に、外出時の支援を行うため、ガイドヘルパーを派遣します。
④日常生活用具給付事業	重度の障害のある人や難病患者等を対象に、日常生活における自立を支援するため、必要な日常生活用具の給付を行います。
⑤地域活動支援センター事業	創作活動、生産活動及び交流活動などができるオープンスペースを開設し、地域社会と交流できる機会を提供します。
⑥巡回入浴サービス事業	家庭での入浴が困難な心身に重度障害のある人を対象に、身体の清潔保持と心身機能の維持などを図るため、自宅に入浴車を派遣し、入浴サービスを提供します。
⑦自動車運転免許取得費助成事業	身体・知的障害のある人を対象に、日常生活の利便及び生活圏の拡大を図るため、自動車運転免許の取得費用の一部を助成します。
⑧自動車改造費助成事業	重度の身体障害のある人を対象に、就労などのため、自動車を購入する際の改造費用の一部を助成します。

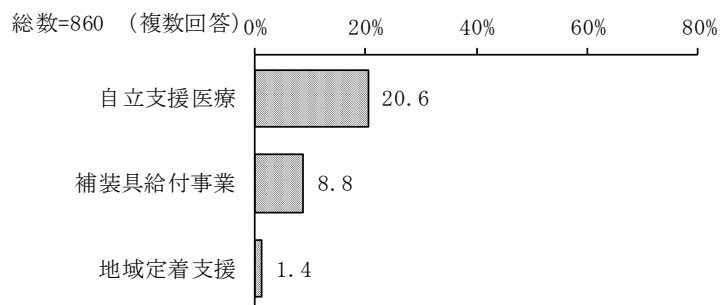
（５）その他のサービス

⑨その他のサービスの利用状況

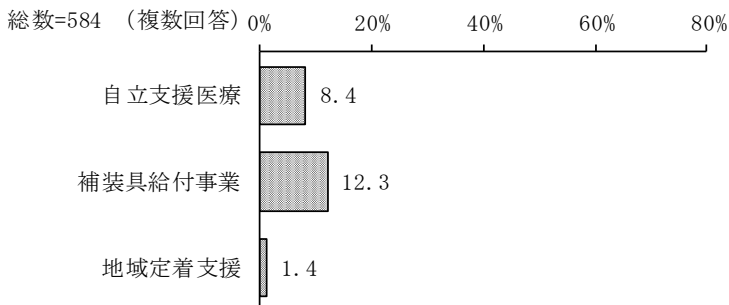
全体では、「自立支援医療」が 20.6%と最も多く、次いで「補装具給付事業」が 8.8%、「地域定着支援」が 1.4%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「補装具給付事業」が最も多くなっています。精神障害では「自立支援医療」が特に多くなっています。

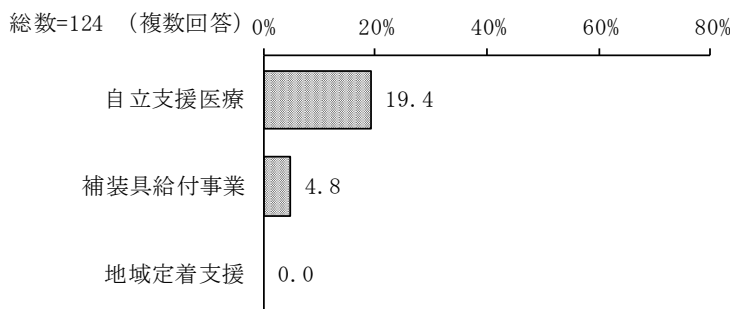
全体



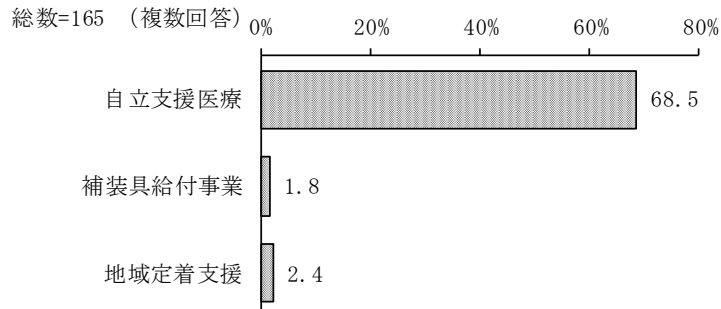
身体障害



知的障害



精神障害

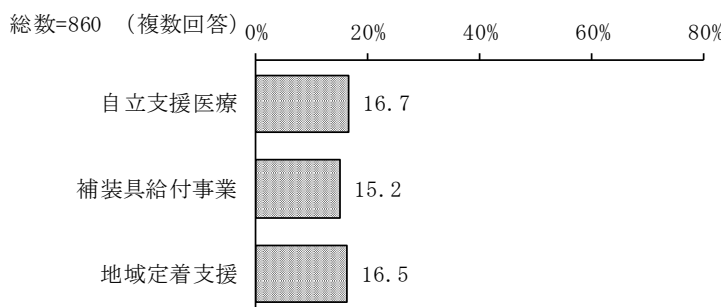


⑩その他のサービスの利用意向

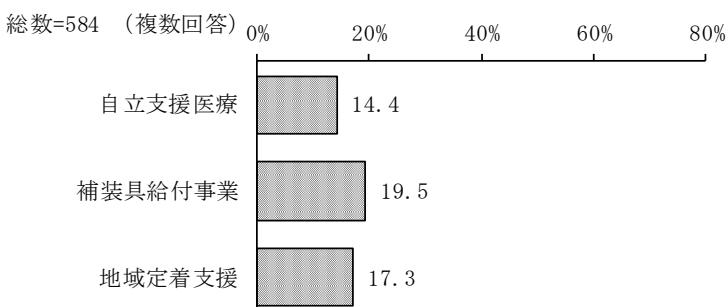
全体では、「自立支援医療」が 16.7%と最も多く、次いで「地域定着支援」が 16.5%、「補装具給付事業」が 15.2%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「自立支援医療」が特に多くなっています。

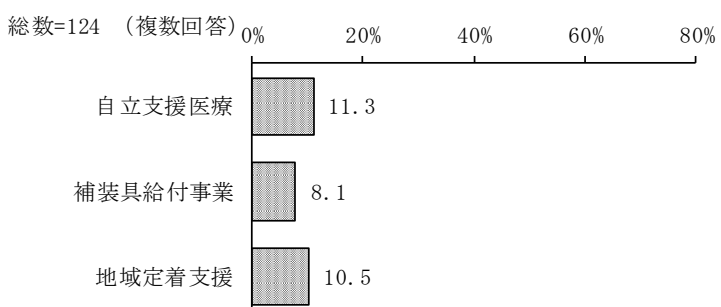
全体



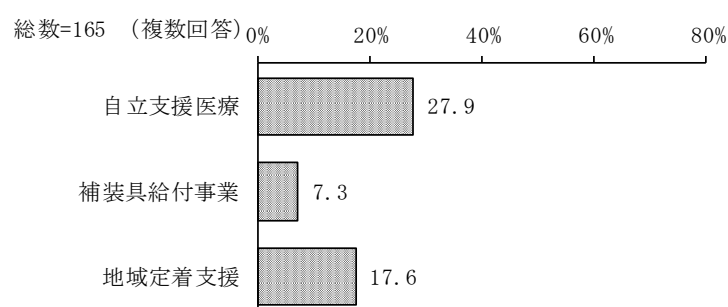
身体障害



知的障害



精神障害



サービス名	サービスの内容
①自立支援医療	心身の障害を軽減するための医療について、医療費の一部を助成します。（更生医療・育成医療・精神通院医療）
②補装具給付事業	補装具を必要とする障害のある人や難病患者等を対象に、職業の能率向上やその他日常生活を容易にするため、必要な補装具の給付や修理を行います。
③地域定着支援	施設や病院に長期入所等していた人が、地域生活に移行後、安心して地域生活を継続できるよう連絡、相談等の支援を行います。

(6) サービス利用で困っていること

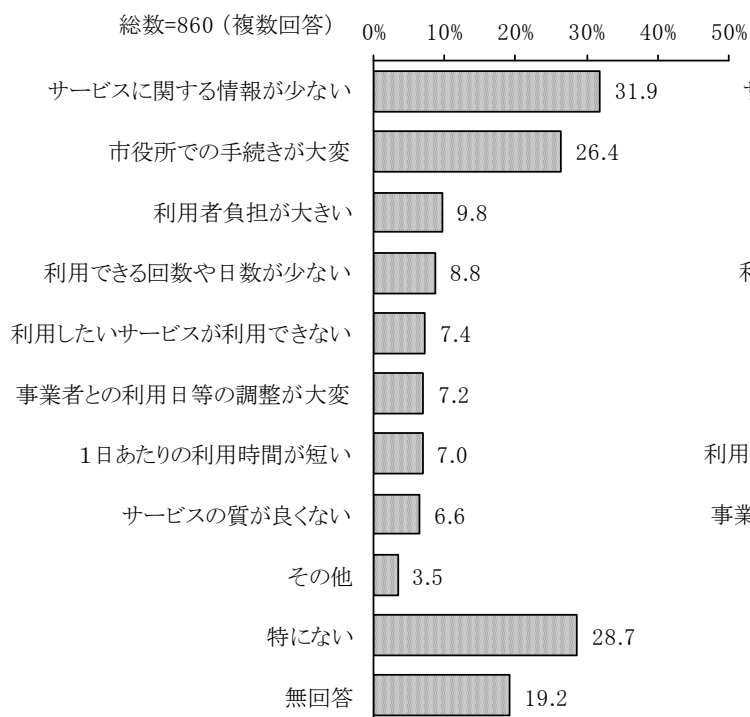
問 38 あなたが、サービスを利用するにあたって、困っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

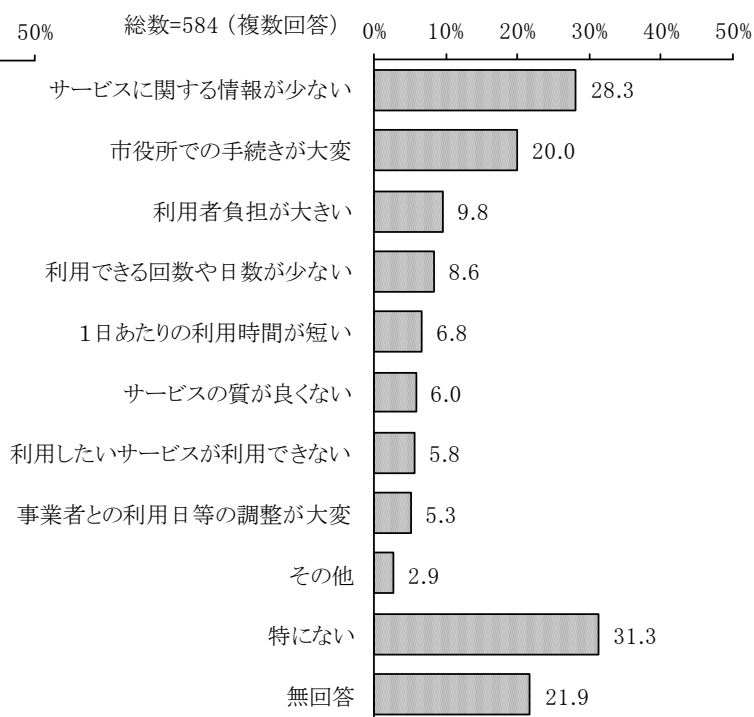
全体では、「サービスに関する情報が少ない」が31.9%と最も多く、次いで「市役所での手続きが大変」が26.4%、「利用者負担が大きい」が9.8%、「利用できる回数や日数が少ない」が8.8%となっています。「特にない」が28.7%とやや多くなっています。

障害別に見ると、知的障害では「市役所での手続きが大変」が最も多くなっています。

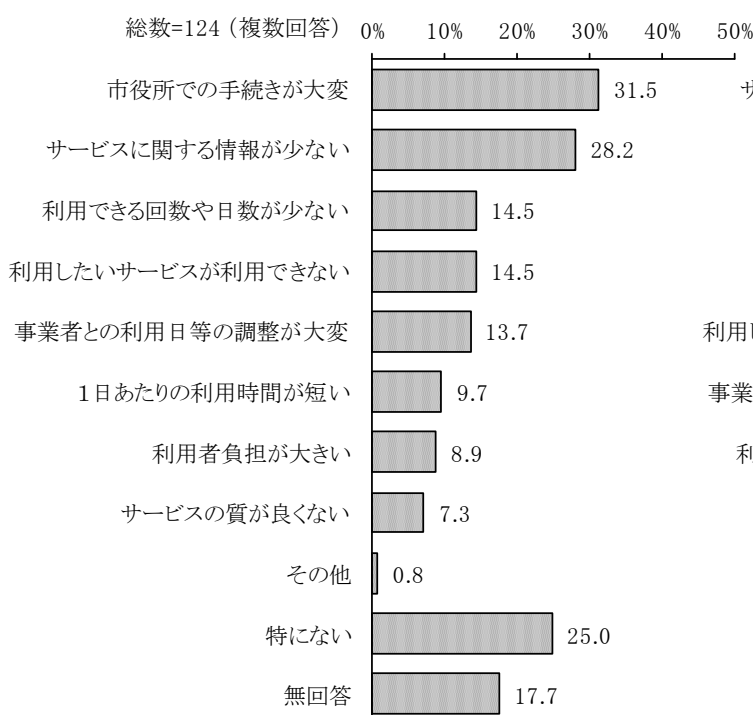
全体



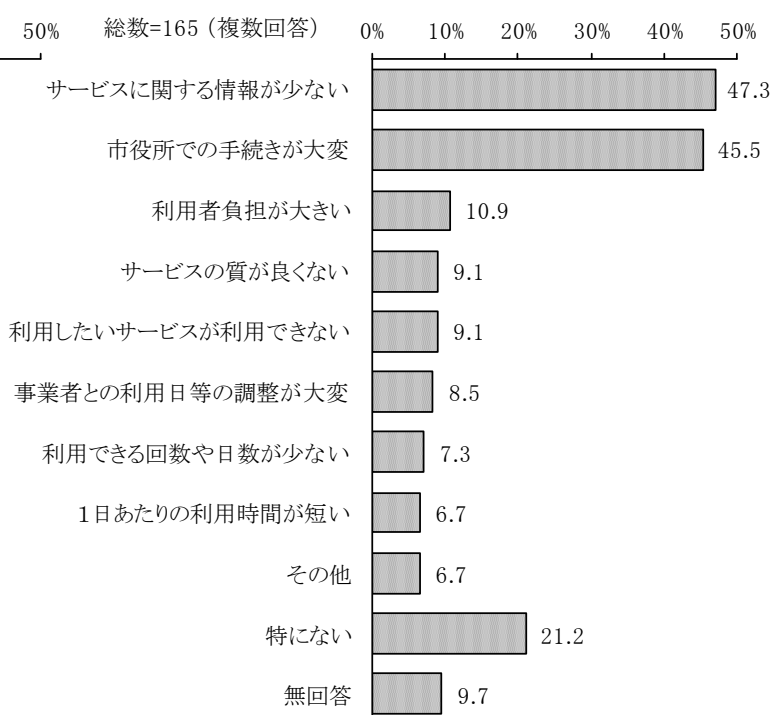
身体障害



知的障害



精神障害



男女別に見ると、三障害とも、「サービスに関する情報が少ない」は女性のほうが多くなっています。
精神障害では、「市役所での手続きが大変」は女性のほうが多くなっています。

●サービス利用で困っていること（男女別）

		全体	サービスに関する 情報が少ない	市役所での 手続きが大変	利用できる回数や 日数が少ない	1日あたりの 利用時間が短い	事業者との利用日等の 調整が大変	サービスの質が 良くない	利用したいサービスが 利用できない	利用者負担が大きい	その他	特 に ない	無 回 答
全体		860 100.0	274 31.9	227 26.4	76 8.8	60 7.0	62 7.2	57 6.6	64 7.4	84 9.8	30 3.5	247 28.7	165 19.2
男女別	身体障害・男性	297 100.0	76 25.6	53 17.8	25 8.4	20 6.7	16 5.4	14 4.7	15 5.1	27 9.1	8 2.7	97 32.7	68 22.9
	身体障害・女性	286 100.0	89 31.1	64 22.4	25 8.7	20 7.0	15 5.2	21 7.3	19 6.6	30 10.5	9 3.1	85 29.7	60 21.0
	知的障害・男性	79 100.0	18 22.8	25 31.6	15 19.0	7 8.9	10 12.7	3 3.8	12 15.2	8 10.1	— —	25 31.6	12 15.2
	知的障害・女性	45 100.0	17 37.8	14 31.1	3 6.7	5 11.1	7 15.6	6 13.3	6 13.3	3 6.7	1 2.2	6 13.3	10 22.2
	精神障害・男性	78 100.0	33 42.3	30 38.5	5 6.4	3 3.8	5 6.4	4 5.1	3 3.8	4 5.1	6 7.7	20 25.6	8 10.3
	精神障害・女性	87 100.0	45 51.7	45 51.7	7 8.0	8 9.2	9 10.3	11 12.6	12 13.8	14 16.1	5 5.7	15 17.2	8 9.2
	無回答	11 100.0	3 27.3	1 9.1	— —	— —	1 9.1	— —	1 9.1	1 9.1	1 9.1	2 18.2	5 45.5

11. 権利擁護・障害理解について

(1) 権利擁護の取組の認知状況

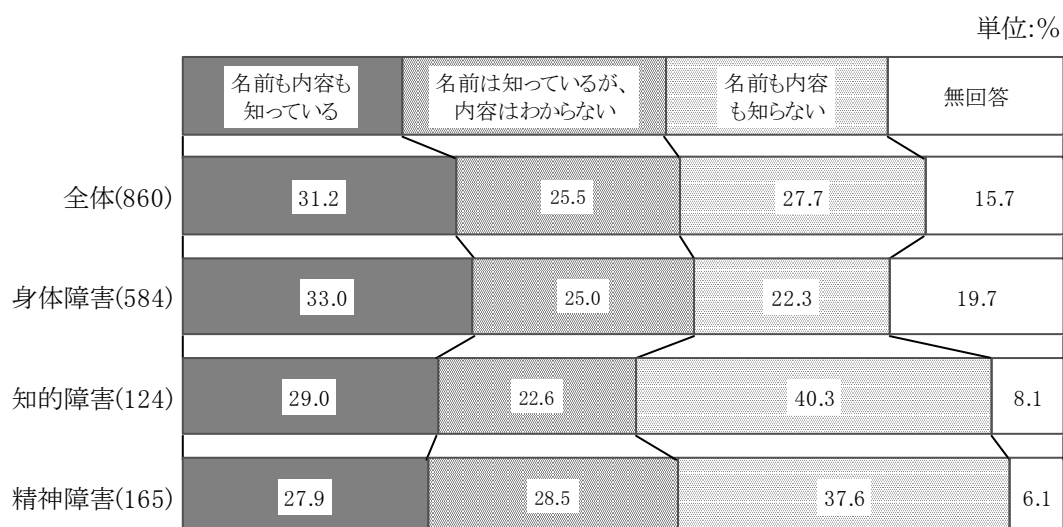
問 39 あなたは、次の権利が守られるための取組について知っていますか。

(それぞれあてはまるもの1つに○)

①成年後見制度

全体では、「名前も内容も知っている」が31.2%、「名前は知っているが、内容はわからない」が25.5%、「名前も内容も知らない」が27.7%となっています。

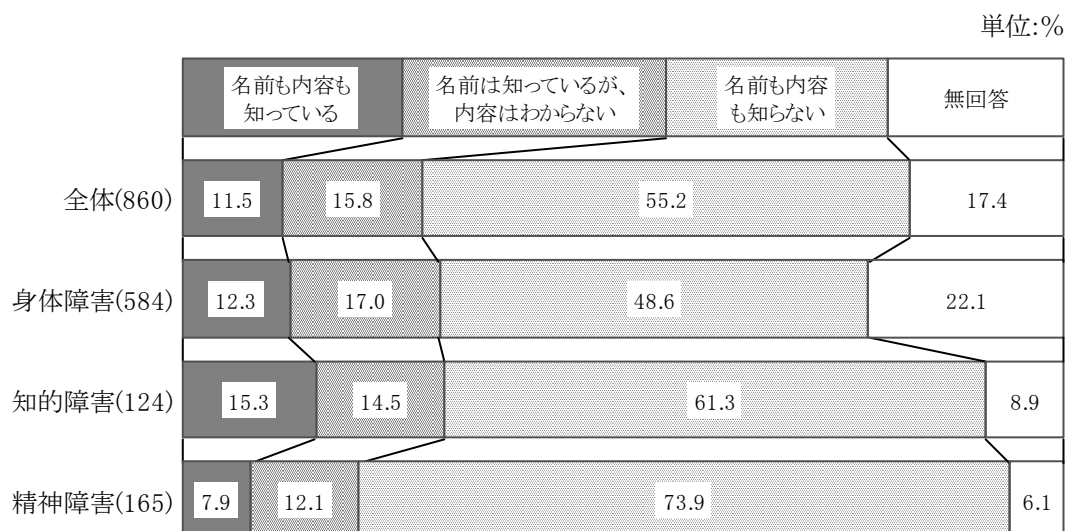
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



②昭島市障害者虐待防止センター

全体では、「名前も内容も知っている」が11.5%、「名前は知っているが、内容はわからない」が15.8%、「名前も内容も知らない」が55.2%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「名前も内容も知っている」がやや少なくなっています。



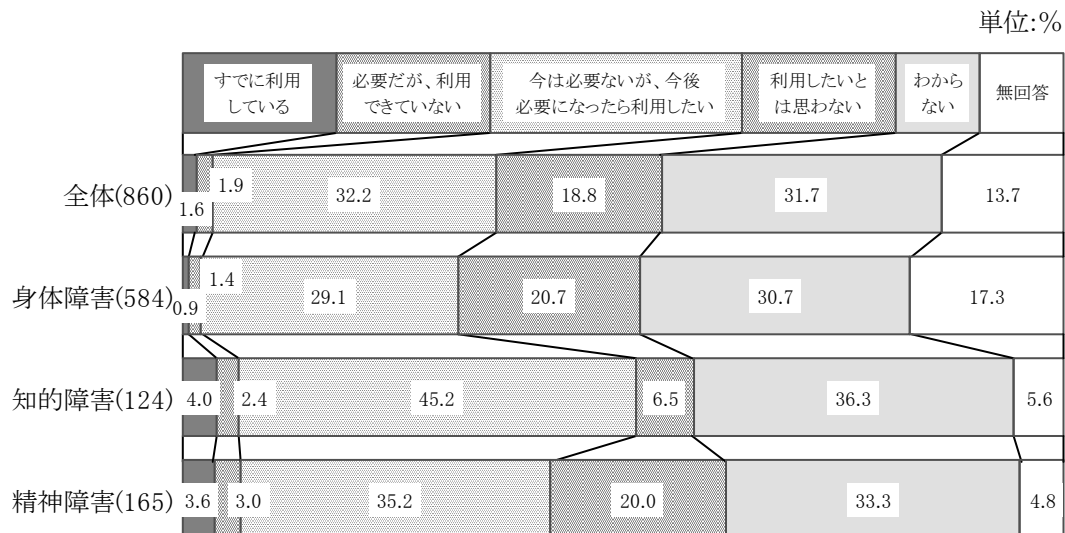
名称と内容
①成年後見制度 認知症、知的障害、精神障害等により、判断能力が十分ではない人の権利を守る制度です。成年後見人等が障害のある方に代わって契約手続きを行ったり、誤って結んだ契約の取消等を行います。
②昭島市障害者虐待防止センター 障害のある方が家族や福祉施設の職員、会社の上司等から、叩かれたり、仲間はずれや無視等の嫌がらせを受けた場合に相談できる窓口です。

(2) 成年後見制度の利用意向

問 40 あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

全体では、「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」が32.2%と最も多く、次いで「利用したいとは思わない」が18.8%、「必要だが、利用できていない」が1.9%、「すでに利用している」が1.6%となっています。「わからない」が31.7%とやや多くなっています。

障害別に見ると、知的障害では「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」が特に多くなっています。

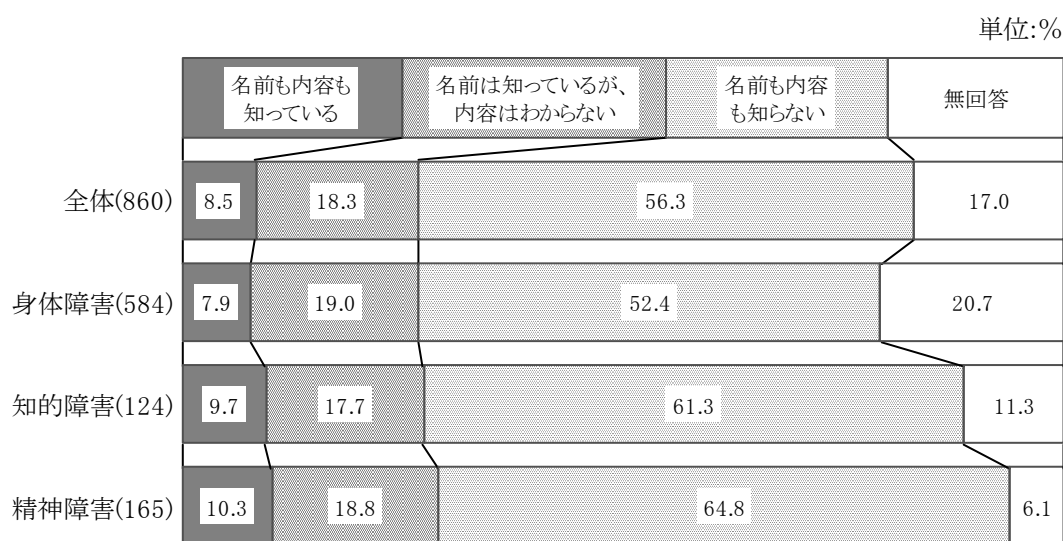


(3) 障害者差別解消法の認知状況

問 41 平成 28 年 4 月から、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）が施行され、障害を理由とした不当な差別的取扱いが禁止されるとともに、合理的配慮の提供について定められました。あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。（○は 1 つ）

全体では、「名前も内容も知っている」が 8.5%、「名前は知っているが、内容はわからない」が 18.3%、「名前も内容も知らない」が 56.3%となっています。

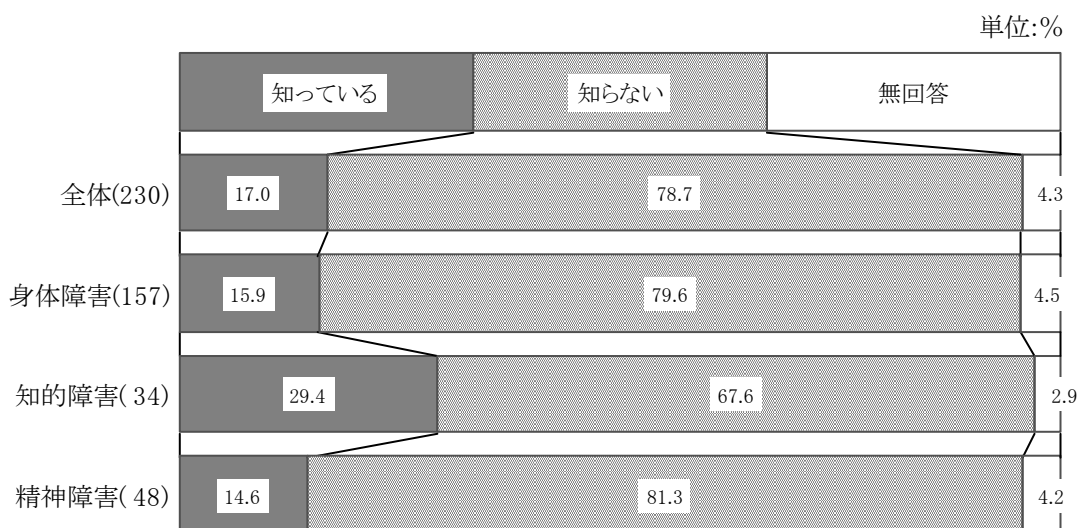
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



(4) 差別を受けたときの相談窓口の認知状況

問 41-2 問 41 で「名前も内容も知っている」、「名前は知っているが、内容はわからない」と答えた方にうかがいます。あなたやまわりの方が差別を受けたときの相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

全体では、「知っている」が 17.0%、「知らない」が 78.7%となっています。
障害別に見ると、知的障害では「知っている」がやや多くなっています。



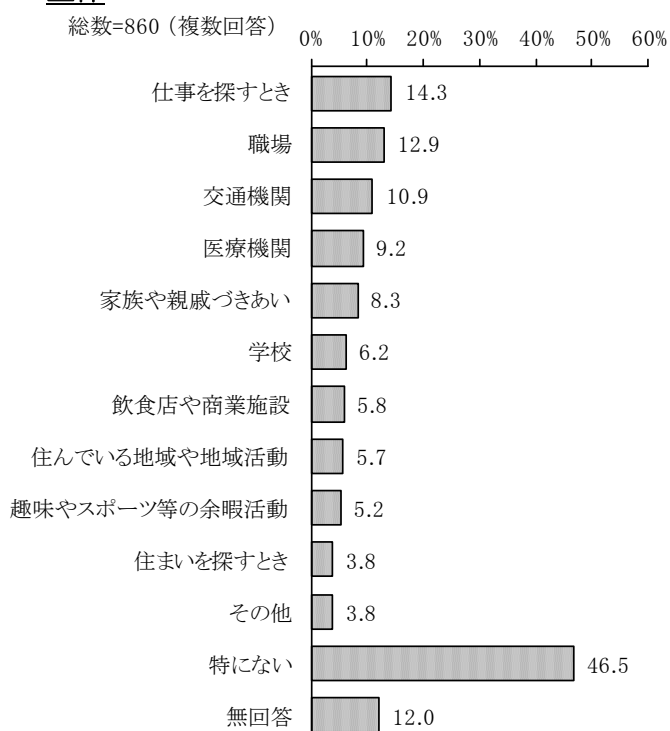
(5) 差別を受けた経験

問 42 あなたは、障害があることによりどのような場面で差別を受けていると感じたり、嫌な思いをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

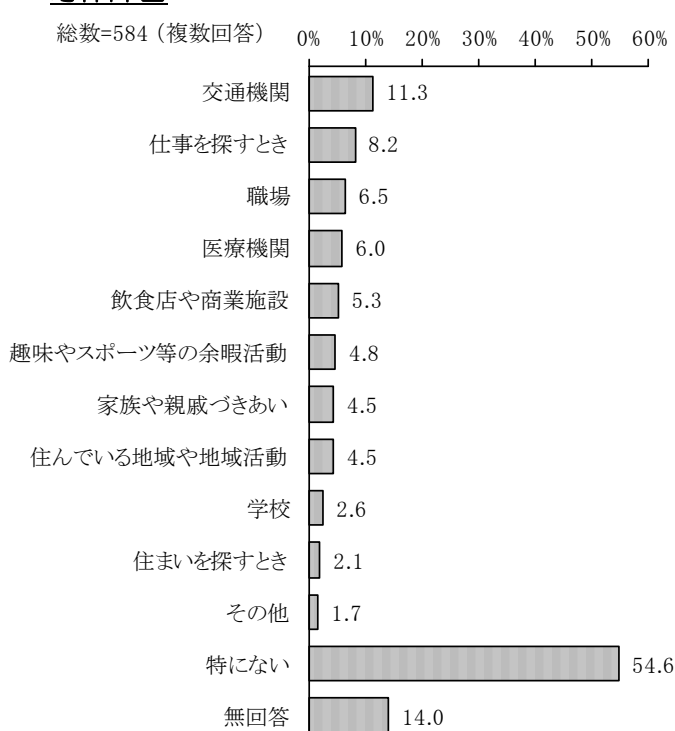
全体では、「仕事を探すとき」が14.3%と最も多く、次いで「職場」が12.9%、「交通機関」が10.9%、「医療機関」が9.2%となっています。「特にない」が46.5%と多くなっています。

障害別に見ると、身体障害では「交通機関」が最も多くなっています。知的障害では「学校」「職場」「仕事を探すとき」が最も多くなっています。精神障害では「職場」「仕事を探すとき」が特に多くなっています。

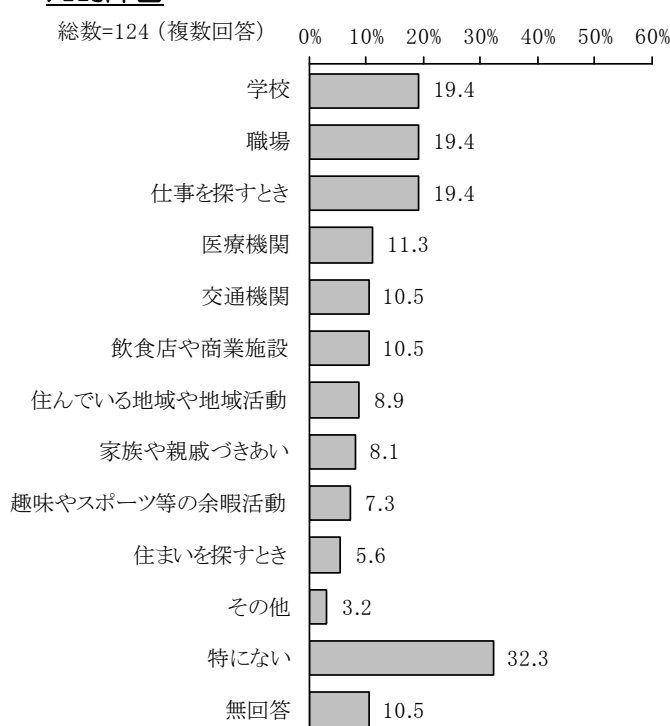
全体



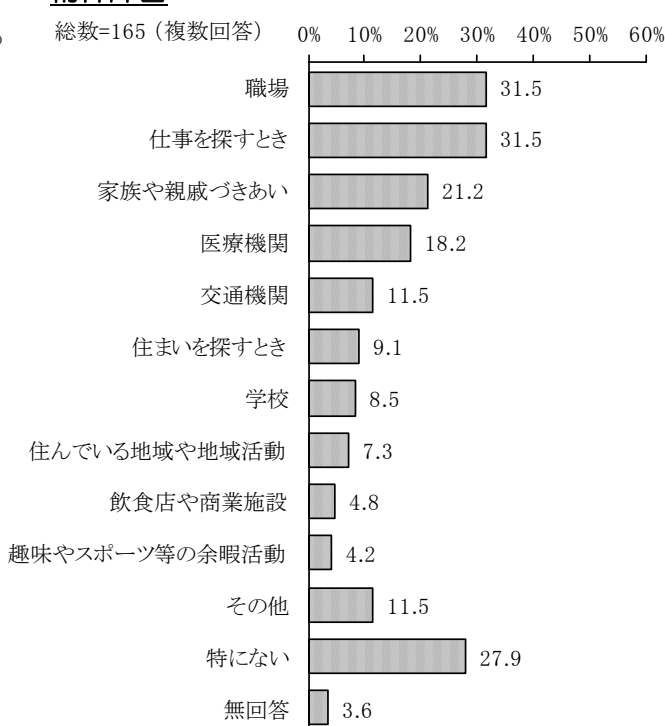
身体障害



知的障害



精神障害



疾患や障害の有無別に見ると、「職場」では気分障害（うつ病・躁うつ病）が、「仕事を探すとき」では気分障害（うつ病・躁うつ病）、発達障害が多くなっています。

●差別を受けた経験（疾患や障害の有無別）

		全体	家族や親戚つきあい	学校	職場	住まいを探すとき	仕事を探すとき	医療機関
	全体	860 100.0	71 8.3	53 6.2	111 12.9	33 3.8	123 14.3	79 9.2
疾患や障害の有無	難病	68 100.0	7 10.3	2 2.9	7 10.3	3 4.4	10 14.7	7 10.3
	慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）	198 100.0	15 7.6	1 0.5	14 7.1	6 3.0	17 8.6	21 10.6
	統合失調症	79 100.0	12 15.2	9 11.4	18 22.8	9 11.4	18 22.8	14 17.7
	気分障害（うつ病・躁うつ病）	80 100.0	23 28.8	8 10.0	28 35.0	7 8.8	31 38.8	17 21.3
	神経症	25 100.0	3 12.0	4 16.0	8 32.0	4 16.0	7 28.0	7 28.0
	依存症（アルコール・薬物等）	6 100.0	2 33.3	-	1 16.7	-	1 16.7	3 50.0
	知的障害	113 100.0	10 8.8	25 22.1	24 21.2	7 6.2	23 20.4	15 13.3
	発達障害	59 100.0	6 10.2	14 23.7	13 22.0	2 3.4	19 32.2	14 23.7
	高次脳機能障害	26 100.0	1 3.8	-	4 15.4	1 3.8	7 26.9	4 15.4
	その他	96 100.0	7 7.3	6 6.3	9 9.4	1 1.0	7 7.3	5 5.2
	特にない	173 100.0	5 2.9	3 1.7	12 6.9	3 1.7	17 9.8	5 2.9
	無回答	98 100.0	10 10.2	5 5.1	11 11.2	2 2.0	9 9.2	7 7.1

		交通機関	飲食店や商業施設	趣味やスポーツ等の余暇活動	住んでいる地域や地域活動	その他	特にない	無回答
	全体	94 10.9	50 5.8	45 5.2	49 5.7	33 3.8	400 46.5	103 12.0
疾患や障害の有無	難病	9 13.2	9 13.2	4 5.9	4 5.9	2 2.9	32 47.1	8 11.8
	慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）	29 14.6	10 5.1	7 3.5	8 4.0	7 3.5	102 51.5	28 14.1
	統合失調症	6 7.6	3 3.8	4 5.1	7 8.9	6 7.6	26 32.9	6 7.6
	気分障害（うつ病・躁うつ病）	14 17.5	5 6.3	4 5.0	4 5.0	13 16.3	17 21.3	1 1.3
	神経症	7 28.0	4 16.0	4 16.0	1 4.0	5 20.0	5 20.0	1 4.0
	依存症（アルコール・薬物等）	1 16.7	-	-	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7
	知的障害	15 13.3	14 12.4	11 9.7	12 10.6	5 4.4	32 28.3	11 9.7
	発達障害	10 16.9	7 11.9	8 13.6	5 8.5	7 11.9	17 28.8	3 5.1
	高次脳機能障害	3 11.5	3 11.5	2 7.7	2 7.7	2 7.7	10 38.5	4 15.4
	その他	9 9.4	5 5.2	4 4.2	3 3.1	9 9.4	43 44.8	17 17.7
	特にない	17 9.8	8 4.6	8 4.6	9 5.2	-	115 66.5	13 7.5
	無回答	7 7.1	3 3.1	6 6.1	6 6.1	2 2.0	42 42.9	23 23.5

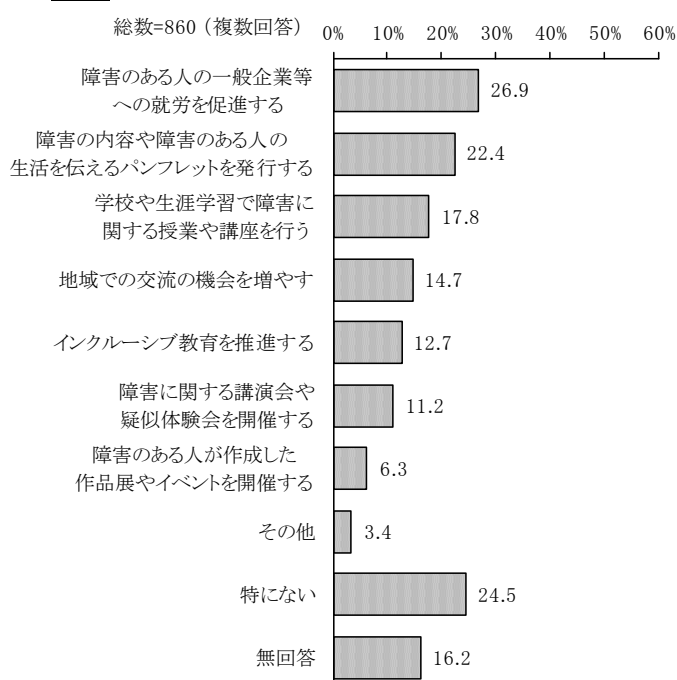
(6) 障害理解を進めるために力を入れるべきこと

問 43 あなたは、障害への理解を進めるために昭島市がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

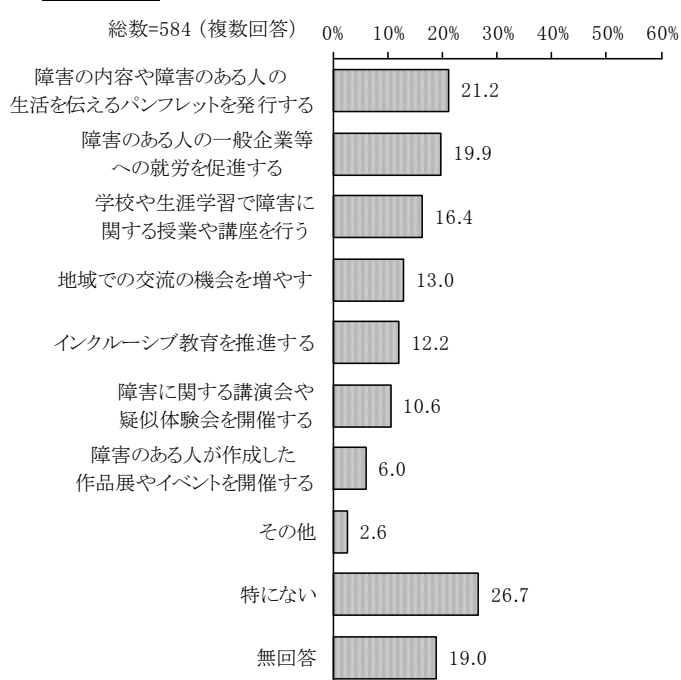
全体では、「障害のある人の一般企業等への就労を促進する」が26.9%と最も多く、次いで「障害の内容や障害のある人の生活を伝えるパンフレットを発行する」が22.4%、「学校や生涯学習で障害に関する授業や講座を行う」が17.8%、「地域での交流の機会を増やす」が14.7%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「障害の内容や障害のある人の生活を伝えるパンフレットを発行する」が最も多くなっています。

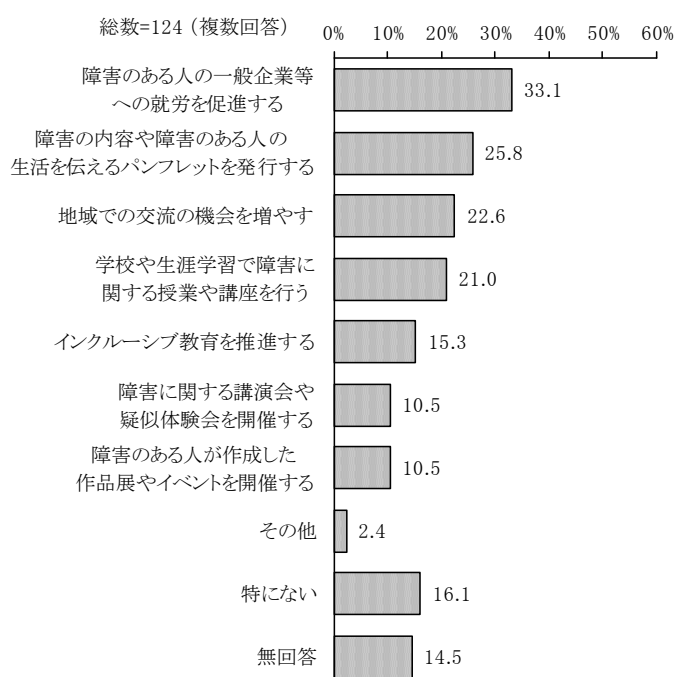
全体



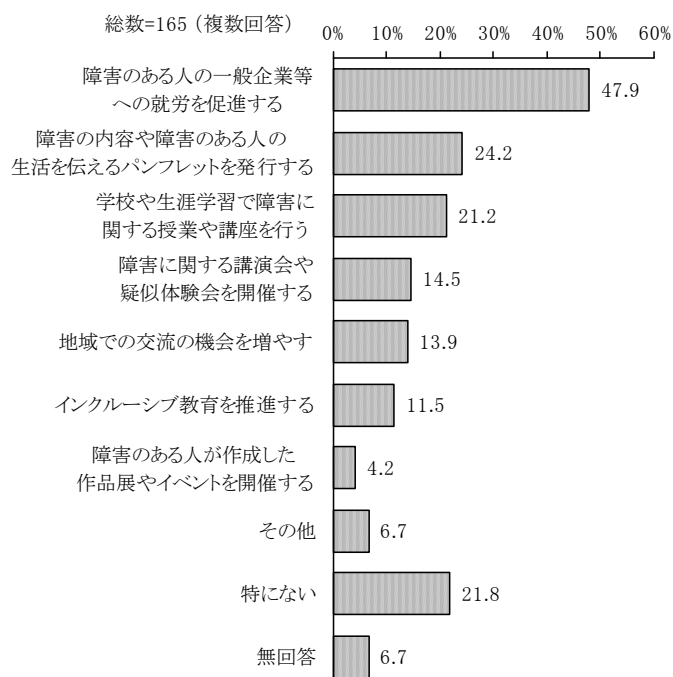
身体障害



知的障害



精神障害



※インクルーシブ教育とは、障害のある子どもが通常学級において、障害のない子どもと共に学ぶ教育のことです。

(7) ヘルプカード・ヘルプマークの所持状況

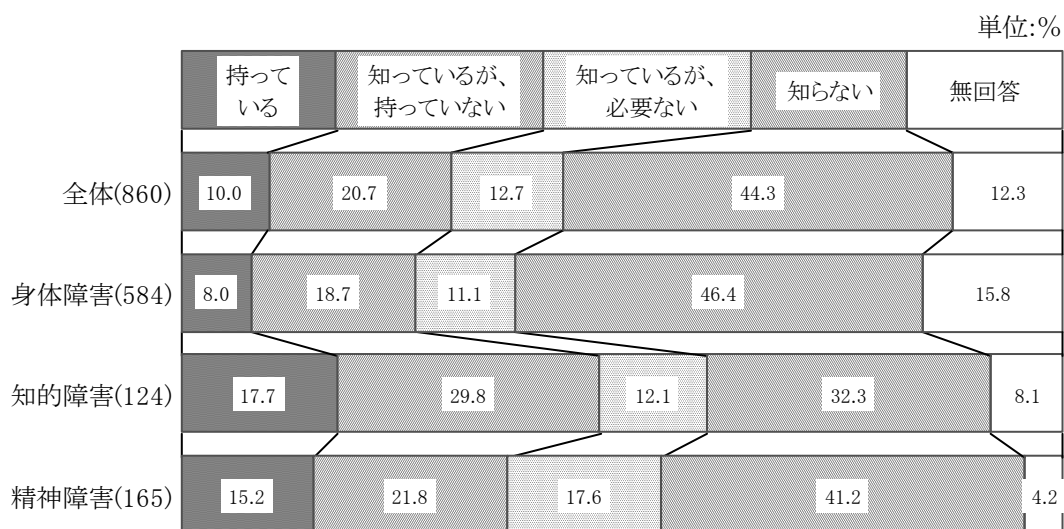
問 44 あなたは、ヘルプカード・ヘルプマークを持っていますか。

(それぞれあてはまるもの1つに○)

①ヘルプカード

全体では、「知らない」が44.3%と最も多く、次いで「知っているが、持っていない」が20.7%、「知っているが、必要ない」が12.7%、「持っている」が10.0%となっています。

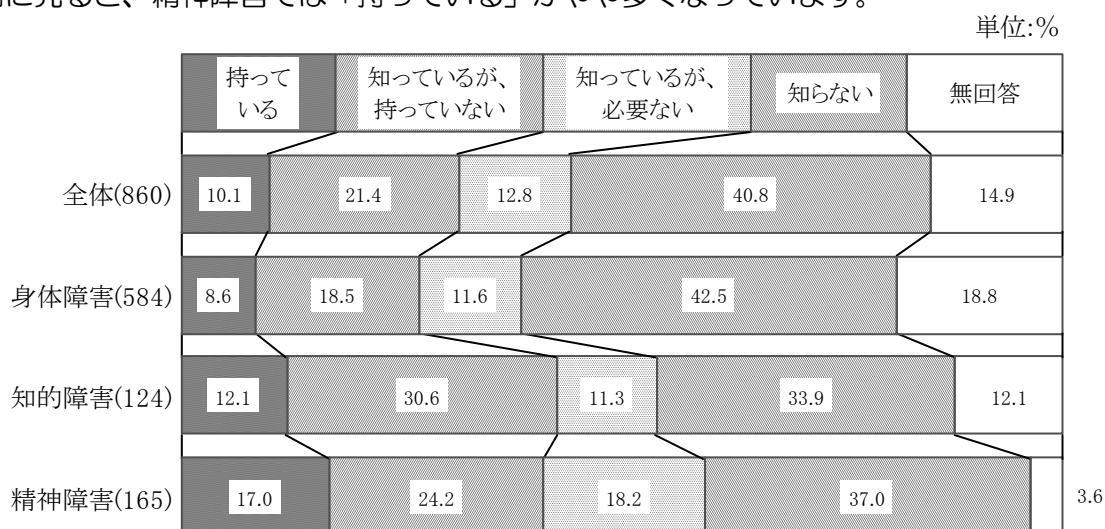
障害別に見ると、知的障害や精神障害では「持っている」がやや多くなっています。



②ヘルプマーク

全体では、「知らない」が40.8%と最も多く、次いで「知っているが、持っていない」が21.4%、「知っているが、必要ない」が12.8%、「持っている」が10.1%となっています。

障害別に見ると、精神障害では「持っている」がやや多くなっています。



(昭島市)



(東京都)

※ヘルプカード・ヘルプマークは、障害のある人が緊急時や災害時など困ったときに周囲の配慮や手助けをお願いするものです。市役所等で無料で配布しています。

12. 災害対策について

(1) 災害時に困ることや不安なこと

問 45 あなたが、地震等の災害が発生した時に困ることや不安なことは何ですか。

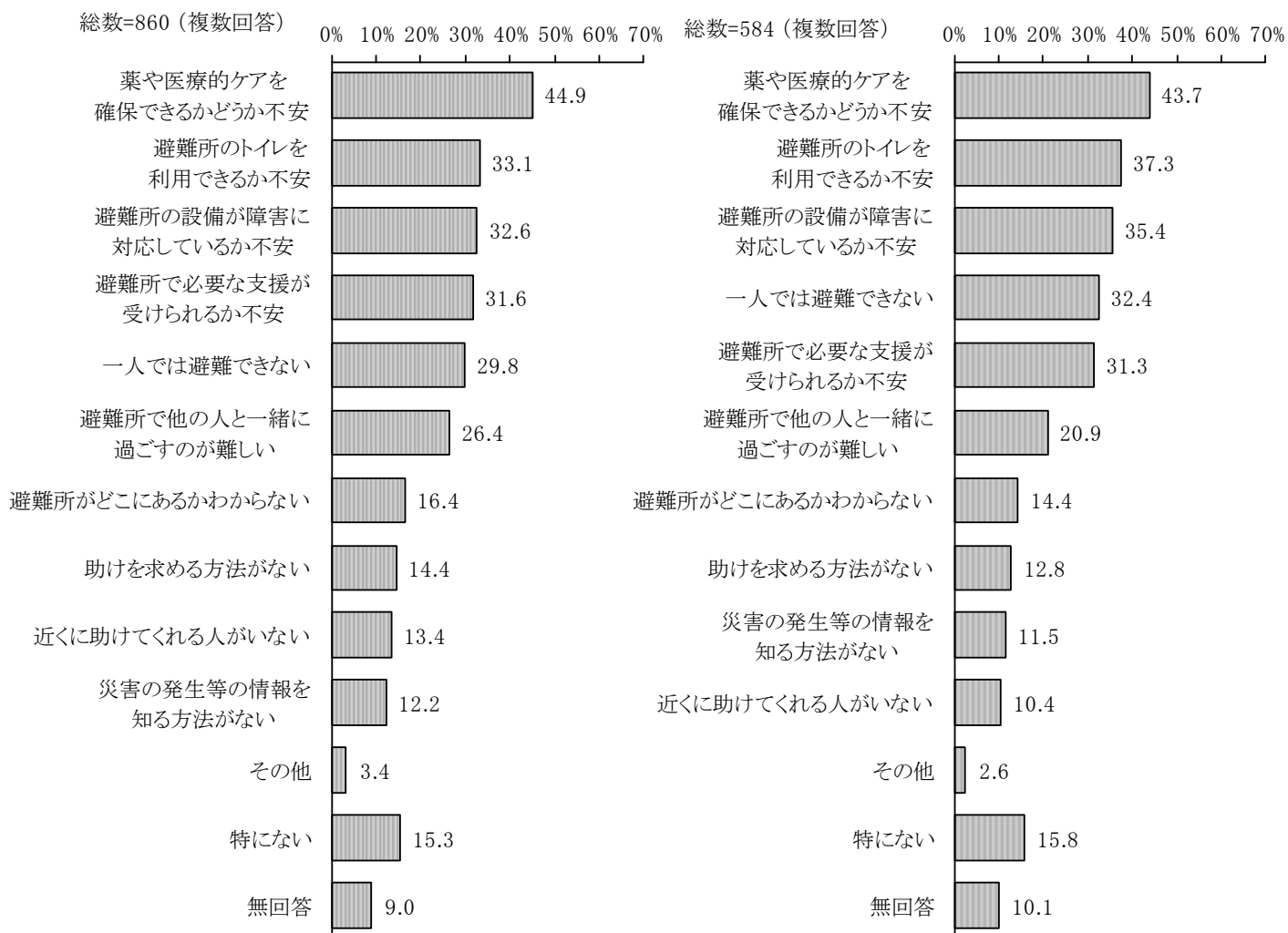
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が44.9%と最も多く、次いで「避難所のトイレを利用できるか不安」が33.1%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が32.6%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が31.6%となっています。

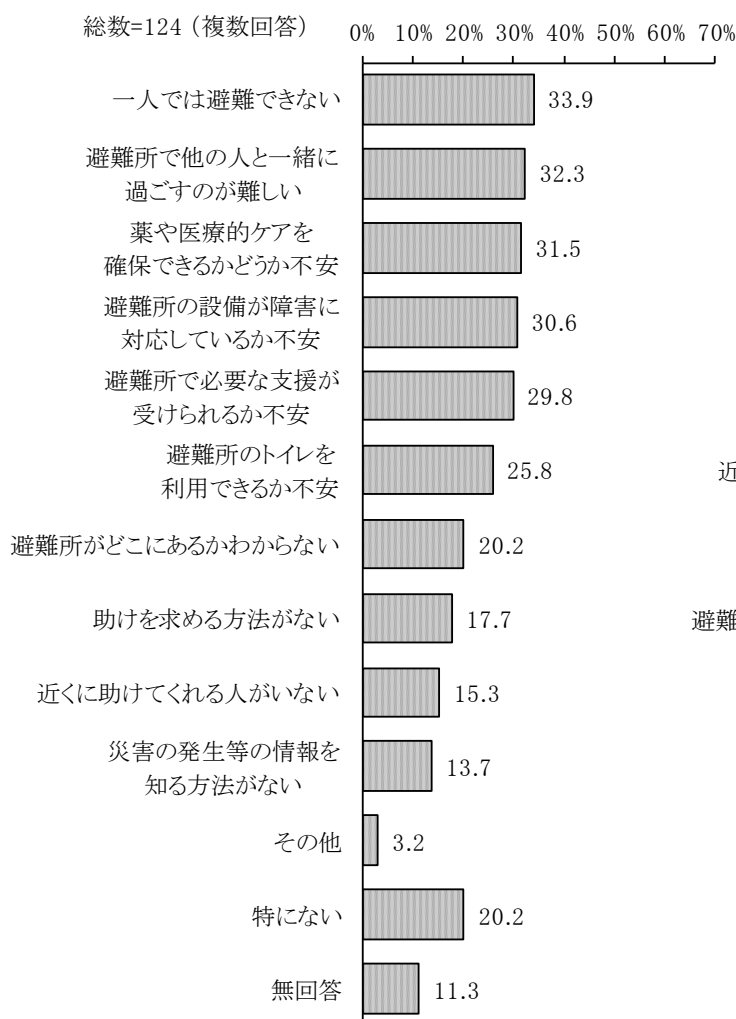
障害別に見ると、知的障害では「一人では避難できない」が最も多くなっています。知的障害や精神障害では「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」がやや多くなっています。

全体

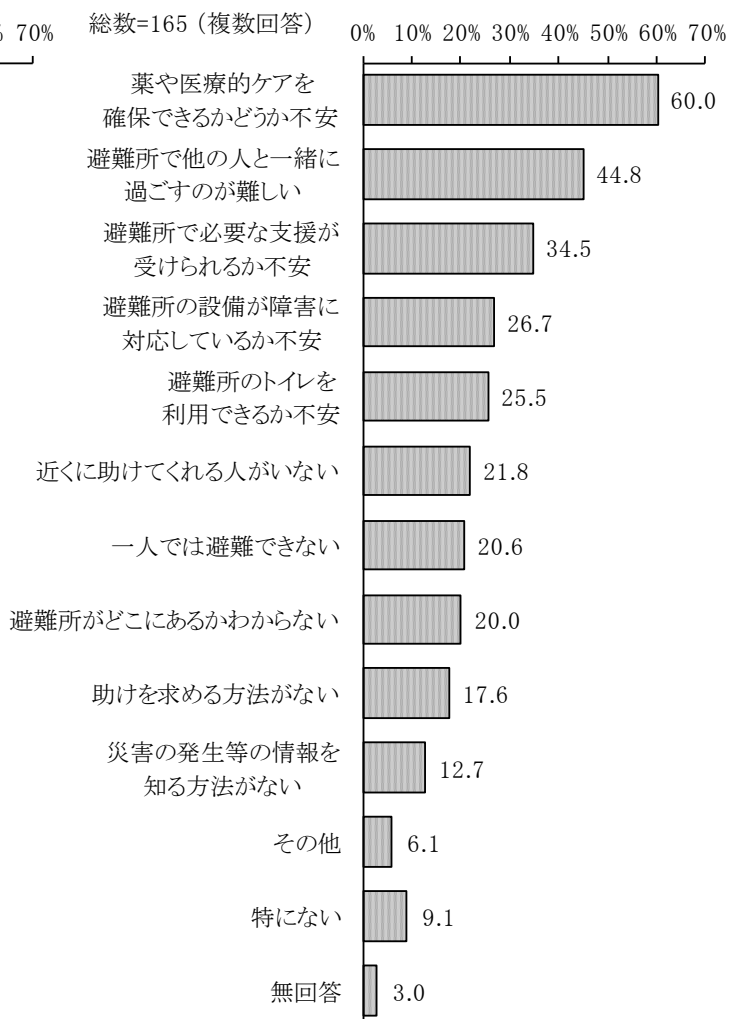
身体障害



知的障害



精神障害



男女別に見ると、「一人では避難できない」は身体障害、精神障害とも女性のほうが、知的障害では男性のほうが多くなっています。「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」は知的障害では男性のほうが、精神障害では女性のほうが多くなっています。「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」は身体障害、精神障害とも女性のほうが多くなっています。「避難所のトイレを利用できるか不安」は身体障害では女性のほうが、知的障害では男性のほうが多くなっています。

●災害時に困ることや不安なこと（男女別）

		全体	情報 災害の発生等 を知る方法がない	助けを 求める 方法がない	近く に助けて くれる 人がいない	一人 では避難 できない	避難 所がどこ にあるか わからない	避難 所の設備 が障害に 対応して いるか不安
全体		860 100.0	105 12.2	124 14.4	115 13.4	256 29.8	141 16.4	280 32.6
男女別	身体障害・男性	297 100.0	29 9.8	37 12.5	33 11.1	77 25.9	44 14.8	93 31.3
	身体障害・女性	286 100.0	38 13.3	38 13.3	28 9.8	112 39.2	40 14.0	114 39.9
	知的障害・男性	79 100.0	9 11.4	16 20.3	13 16.5	30 38.0	14 17.7	24 30.4
	知的障害・女性	45 100.0	8 17.8	6 13.3	6 13.3	12 26.7	11 24.4	14 31.1
	精神障害・男性	78 100.0	5 6.4	10 12.8	14 17.9	8 10.3	14 17.9	18 23.1
	精神障害・女性	87 100.0	16 18.4	19 21.8	22 25.3	26 29.9	19 21.8	26 29.9
	無回答	11 100.0	1 9.1	2 18.2	2 18.2	3 27.3	2 18.2	2 18.2

		利用 避難所 できる トイレ 不安を	避難 所での 必要な 支援が	避難 所で 他の人 がと 難しい	薬や 医療的 ケアを 確保 できる か不安	その他	特 に ない	無 回 答
全体		285 33.1	272 31.6	227 26.4	386 44.9	29 3.4	132 15.3	77 9.0
男女別	身体障害・男性	100 33.7	91 30.6	45 15.2	130 43.8	7 2.4	58 19.5	25 8.4
	身体障害・女性	118 41.3	92 32.2	77 26.9	125 43.7	8 2.8	34 11.9	33 11.5
	知的障害・男性	25 31.6	23 29.1	25 31.6	29 36.7	3 3.8	19 24.1	6 7.6
	知的障害・女性	7 15.6	14 31.1	15 33.3	10 22.2	1 2.2	6 13.3	8 17.8
	精神障害・男性	22 28.2	25 32.1	30 38.5	40 51.3	5 6.4	11 14.1	3 3.8
	精神障害・女性	20 23.0	32 36.8	44 50.6	59 67.8	5 5.7	4 4.6	2 2.3
	無回答	1 9.1	3 27.3	2 18.2	2 18.2	— —	1 9.1	4 36.4

同居家族別に見ると、身体障害では、家族と同居の方で「避難所の設備が障害に対応しているか不安」「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が多くなっています。精神障害では、ひとり暮らしの方で「近くに助けてくれる人がいない」「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が多くなっています。

●災害時に困ることや不安なこと（同居家族別）

		全体	災害の発生等の 情報を知る方法がない	助けを求める 方法がない	近くに助けてくれる 人がいない	一人では避難できない	避難所がどこにあるか わからない	避難所の設備が障害に 対応しているか不安
	全体	860 100.0	105 12.2	124 14.4	115 13.4	256 29.8	141 16.4	280 32.6
同居家族別	身体障害・家族と同居	445 100.0	51 11.5	52 11.7	39 8.8	142 31.9	61 13.7	169 38.0
	身体障害・ひとり暮らし	128 100.0	15 11.7	21 16.4	21 16.4	42 32.8	21 16.4	35 27.3
	身体障害・グループ ホームでの集団生活	7 100.0	1 14.3	— —	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3
	知的障害・家族と同居	113 100.0	16 14.2	19 16.8	15 13.3	41 36.3	23 20.4	37 32.7
	知的障害・ひとり暮らし	9 100.0	1 11.1	3 33.3	4 44.4	1 11.1	2 22.2	1 11.1
	知的障害・グループ ホームでの集団生活	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	精神障害・家族と同居	116 100.0	16 13.8	19 16.4	17 14.7	27 23.3	24 20.7	34 29.3
	精神障害・ひとり暮らし	44 100.0	5 11.4	10 22.7	19 43.2	7 15.9	9 20.5	10 22.7
	精神障害・グループ ホームでの集団生活	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	無回答	17 100.0	1 5.9	4 23.5	2 11.8	5 29.4	3 17.6	4 23.5

		利用できないトイレ 不安を	避難所で必要な 支援が	避難所で他の人 がと	薬や医療的ケアを 確保できるか どうか不安	その他	特にな い	無回 答
	全体	285 33.1	272 31.6	227 26.4	386 44.9	29 3.4	132 15.3	77 9.0
同居家族別	身体障害・家族と同居	169 38.0	146 32.8	89 20.0	216 48.5	12 2.7	67 15.1	40 9.0
	身体障害・ひとり暮らし	45 35.2	35 27.3	29 22.7	36 28.1	2 1.6	25 19.5	16 12.5
	身体障害・グループ ホームでの集団生活	2 28.6	1 14.3	3 42.9	2 28.6	1 14.3	— —	2 28.6
	知的障害・家族と同居	30 26.5	35 31.0	37 32.7	36 31.9	3 2.7	22 19.5	11 9.7
	知的障害・ひとり暮らし	2 22.2	2 22.2	3 33.3	3 33.3	1 11.1	2 22.2	2 22.2
	知的障害・グループ ホームでの集団生活	— —	— —	— —	— —	— —	1 50.0	1 50.0
	精神障害・家族と同居	27 23.3	45 38.8	45 38.8	73 62.9	9 7.8	14 12.1	3 2.6
	精神障害・ひとり暮らし	14 31.8	11 25.0	26 59.1	23 52.3	1 2.3	1 2.3	1 2.3
	精神障害・グループ ホームでの集団生活	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	— —	— —	— —
	無回答	3 17.6	4 23.5	4 23.5	5 29.4	— —	1 5.9	5 29.4

疾患や障害の有無別に見ると、高次脳機能障害で「一人では避難できない」「避難所のトイレを利用できるか不安」が、気分障害（うつ病・躁うつ病）、発達障害で「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が多くなっています。

●災害時に困ることや不安なこと（疾患や障害の有無別）

		全体	情報を知 る方法が ない	助けを求 める方法 がない	近くに助 けてくれ る人がい ない	一人では 避難でき ない	避難所が どこにあ るか	避難所の 設備が障 害に
	全体	860 100.0	105 12.2	124 14.4	115 13.4	256 29.8	141 16.4	280 32.6
疾患 や障 害の 有無	難病	68 100.0	8 11.8	10 14.7	14 20.6	31 45.6	8 11.8	26 38.2
	慢性疾患（糖尿病・ 心臓疾患・脳血管疾患等）	198 100.0	33 16.7	35 17.7	24 12.1	73 36.9	27 13.6	69 34.8
	統合失調症	79 100.0	6 7.6	10 12.7	9 11.4	16 20.3	13 16.5	26 32.9
	気分障害（うつ病・ 躁うつ病）	80 100.0	9 11.3	13 16.3	24 30.0	18 22.5	17 21.3	17 21.3
	神経症	25 100.0	3 12.0	10 40.0	9 36.0	9 36.0	6 24.0	12 48.0
	依存症（アルコール・ 薬物等）	6 100.0	1 16.7	- -	2 33.3	- -	1 16.7	1 16.7
	知的障害	113 100.0	18 15.9	21 18.6	18 15.9	44 38.9	24 21.2	36 31.9
	発達障害	59 100.0	9 15.3	14 23.7	12 20.3	19 32.2	15 25.4	14 23.7
	高次脳機能障害	26 100.0	3 11.5	5 19.2	3 11.5	14 53.8	8 30.8	9 34.6
	その他	96 100.0	14 14.6	17 17.7	9 9.4	36 37.5	20 20.8	40 41.7
	特にな	173 100.0	18 10.4	17 9.8	17 9.8	34 19.7	26 15.0	56 32.4
	無回答	98 100.0	11 11.2	12 12.2	14 14.3	28 28.6	12 12.2	32 32.7

		利用し る不安 を	避難所 で必要 な支援 が	避難所 で他の 人と	薬や医 療的ケ アを 確保で きるか 不安	その他	特にな	無回 答
	全体	285 33.1	272 31.6	227 26.4	386 44.9	29 3.4	132 15.3	77 9.0
疾患 や障 害の 有無	難病	25 36.8	27 39.7	17 25.0	41 60.3	3 4.4	5 7.4	5 7.4
	慢性疾患（糖尿病・ 心臓疾患・脳血管疾患等）	75 37.9	79 39.9	49 24.7	119 60.1	5 2.5	19 9.6	14 7.1
	統合失調症	17 21.5	21 26.6	29 36.7	46 58.2	4 5.1	10 12.7	6 7.6
	気分障害（うつ病・ 躁うつ病）	24 30.0	38 47.5	42 52.5	53 66.3	6 7.5	5 6.3	1 1.3
	神経症	8 32.0	9 36.0	12 48.0	15 60.0	4 16.0	1 4.0	- -
	依存症（アルコール・ 薬物等）	1 16.7	2 33.3	2 33.3	4 66.7	- -	1 16.7	1 16.7
	知的障害	31 27.4	38 33.6	40 35.4	41 36.3	4 3.5	18 15.9	11 9.7
	発達障害	16 27.1	26 44.1	30 50.8	32 54.2	8 13.6	4 6.8	1 1.7
	高次脳機能障害	19 73.1	12 46.2	11 42.3	13 50.0	2 7.7	2 7.7	1 3.8
	その他	33 34.4	32 33.3	29 30.2	43 44.8	5 5.2	12 12.5	11 11.5
	特にな	61 35.3	47 27.2	26 15.0	50 28.9	1 0.6	46 26.6	13 7.5
	無回答	37 37.8	24 24.5	21 21.4	36 36.7	3 3.1	15 15.3	18 18.4

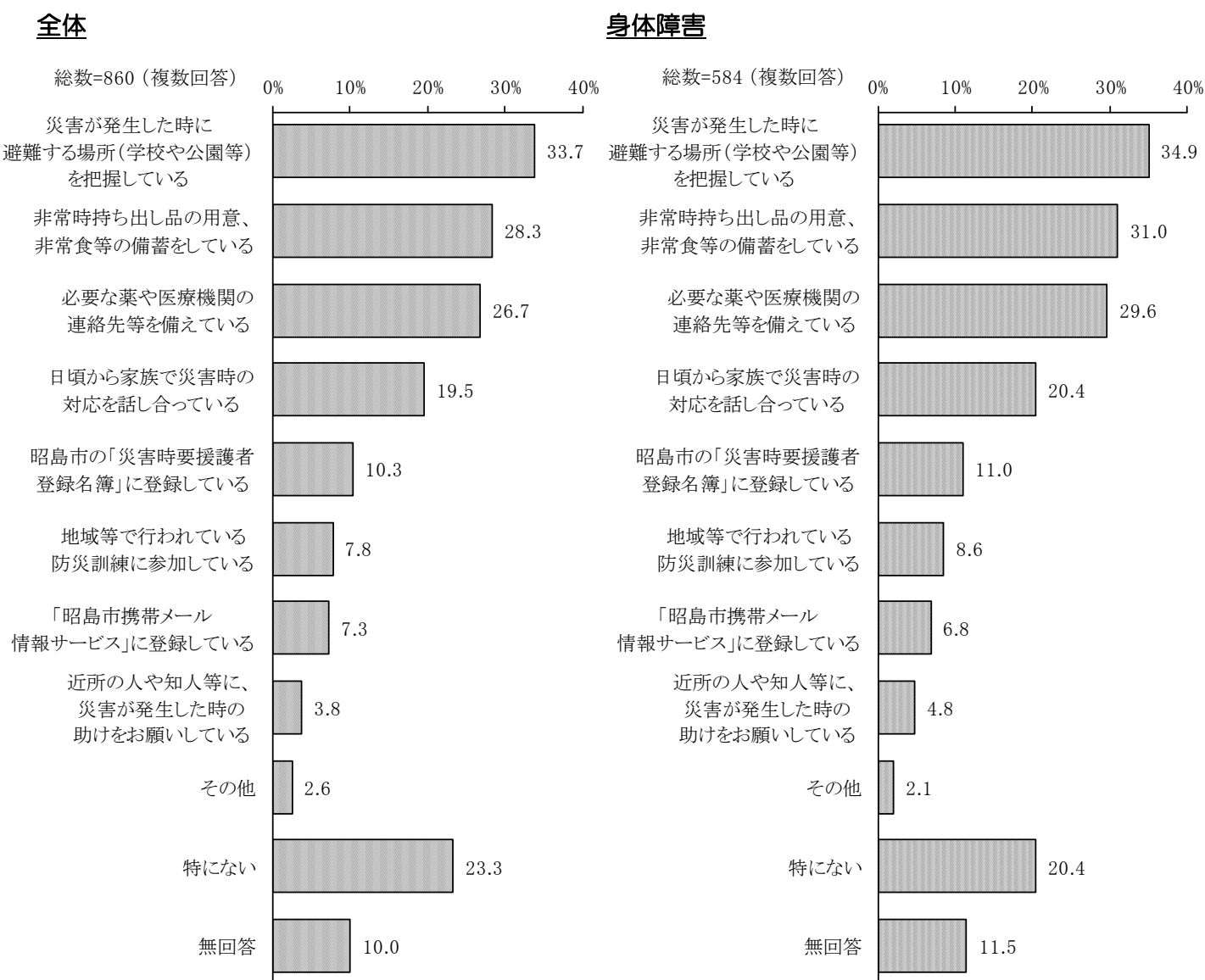
(2) 災害に対する備え

問 46 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。

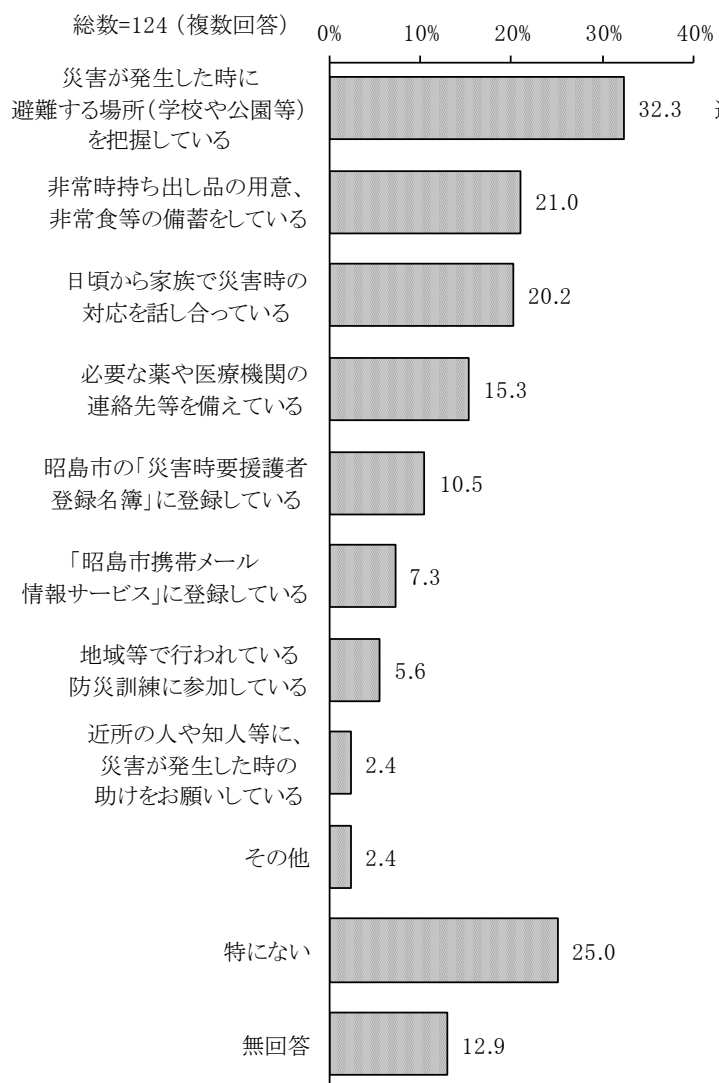
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「災害が発生した時に避難する場所（学校や公園等）を把握している」が33.7%と最も多く、次いで「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が28.3%、「必要な薬や医療機関の連絡先等を備えている」が26.7%、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が19.5%となっています。

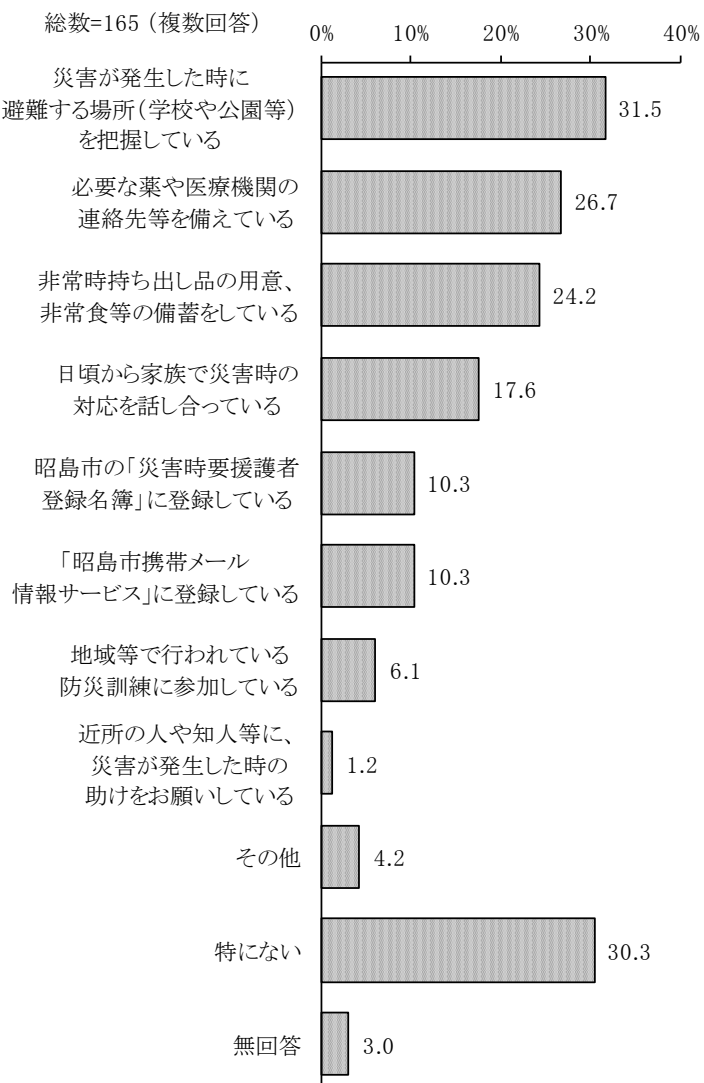
障害別の結果も、概ね同様の傾向となっています。



知的障害



精神障害



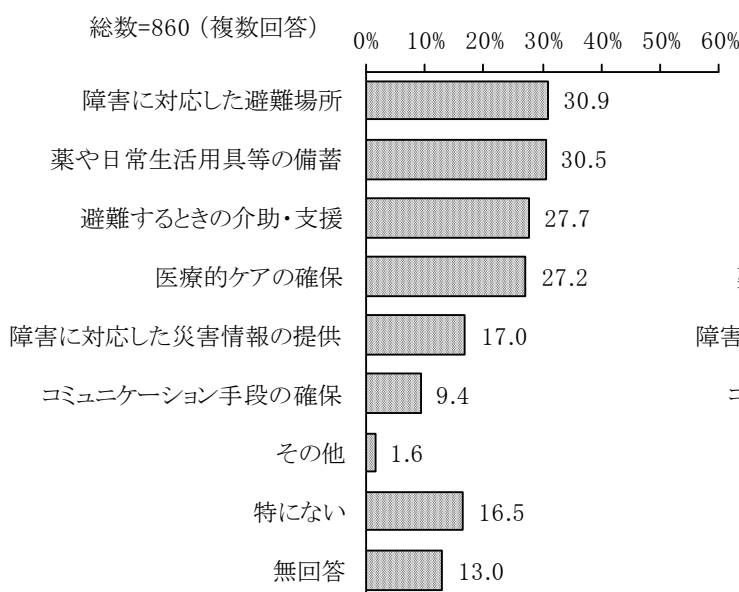
（３）災害時に必要な支援

問 47 あなたは、災害が発生した時にどのような支援が必要ですか。（〇は３つまで）

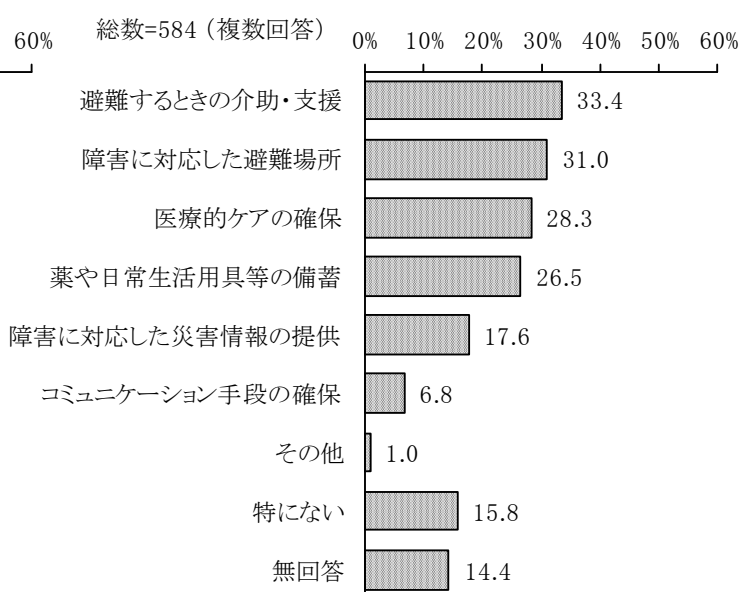
全体では、「障害に対応した避難場所」が 30.9%と最も多く、次いで「薬や日常生活用具等の備蓄」が 30.5%、「避難するときの介助・支援」が 27.7%、「医療的ケアの確保」が 27.2%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「避難するときの介助・支援」が、精神障害では「薬や日常生活用具等の備蓄」が最も多くなっています。

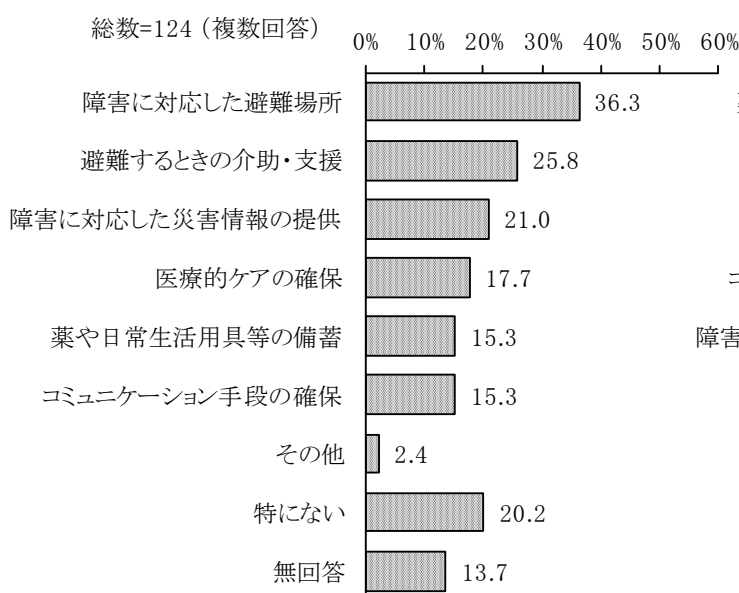
全体



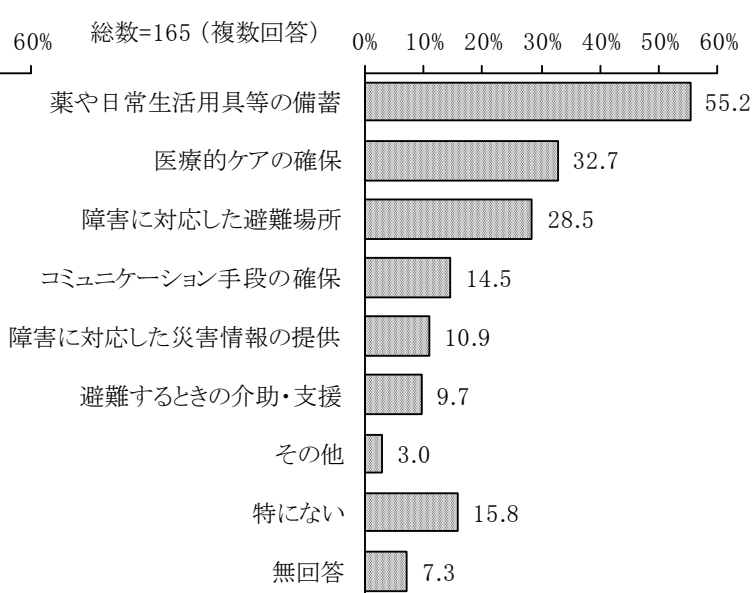
身体障害



知的障害



精神障害



身体障害の種類別に見ると、「避難するときの介助・支援」では視覚障害が、「障害に対応した災害情報の提供」では聴覚・平衡機能障害が、「医療的ケアの確保」では内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）が多くなっています。

●災害時に必要な支援（身体障害の種類別）

		全体	避難するときの 介助・支援	障害に対応した 避難場所	薬や日常生活用具等の 備蓄	医療的ケアの確保	障害に対応した 災害情報の提供	コミュニケーション 手段の確保	その他	特にない	無回答
	全体	584 100.0	195 33.4	181 31.0	155 26.5	165 28.3	103 17.6	40 6.8	6 1.0	92 15.8	84 14.4
身体障害の種類	視覚障害	37 100.0	20 54.1	15 40.5	6 16.2	10 27.0	9 24.3	3 8.1	1 2.7	3 8.1	4 10.8
	聴覚・平衡機能障害	41 100.0	15 36.6	8 19.5	8 19.5	6 14.6	14 34.1	10 24.4	2 4.9	4 9.8	6 14.6
	音声・言語・そしゃく 機能障害	19 100.0	8 42.1	7 36.8	8 42.1	5 26.3	5 26.3	1 5.3	－	3 15.8	2 10.5
	肢体不自由（上肢・ 下肢・体幹等）	312 100.0	134 42.9	117 37.5	66 21.2	75 24.0	56 17.9	23 7.4	2 0.6	45 14.4	43 13.8
	内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼう こう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）	198 100.0	42 21.2	47 23.7	71 35.9	85 42.9	27 13.6	4 2.0	1 0.5	34 17.2	27 13.6
	無回答	14 100.0	2 14.3	3 21.4	4 28.6	2 14.3	1 7.1	2 14.3	－	3 21.4	5 35.7

13. 昭島市の障害者施策について

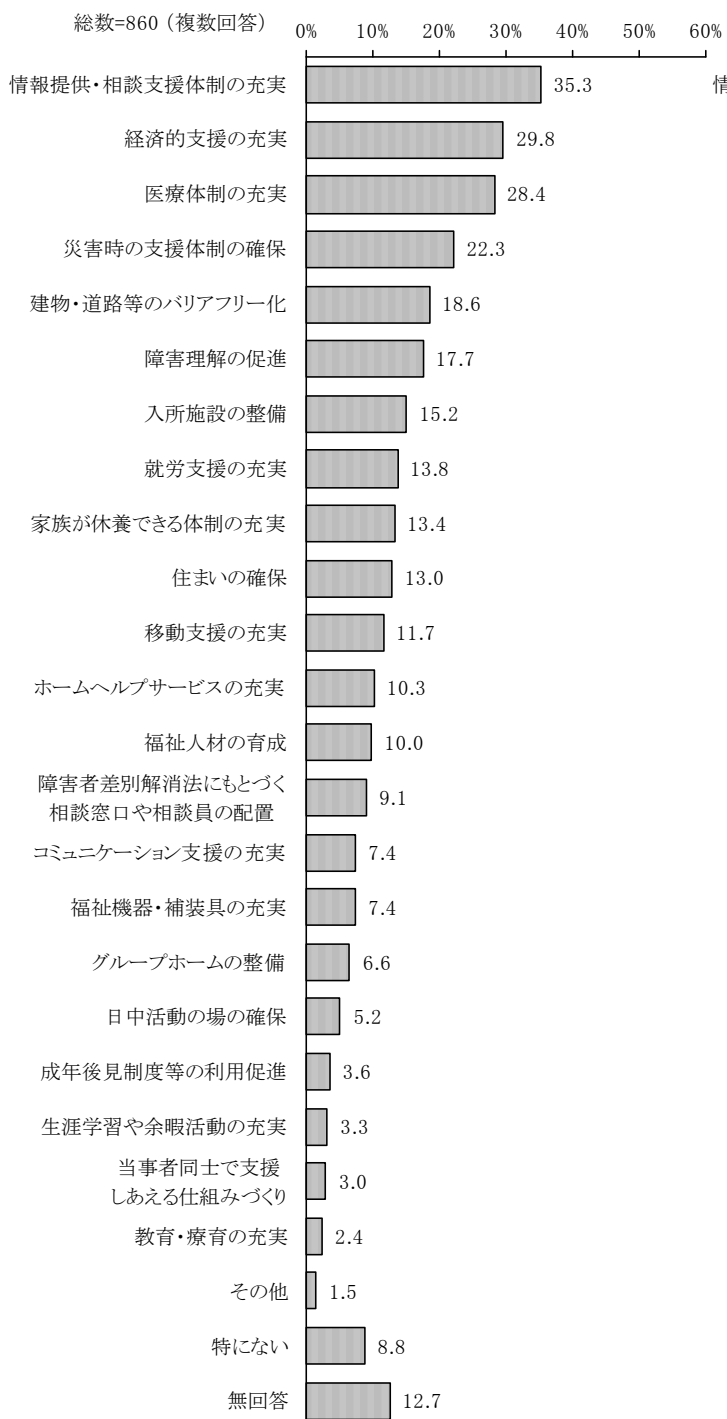
(1) 重点的に行うべき施策

問 48 あなたは障害のある人が地域で安心して暮らしていくために、昭島市がどのような施策を重点的に行うべきだと思いますか。(〇は5つまで)

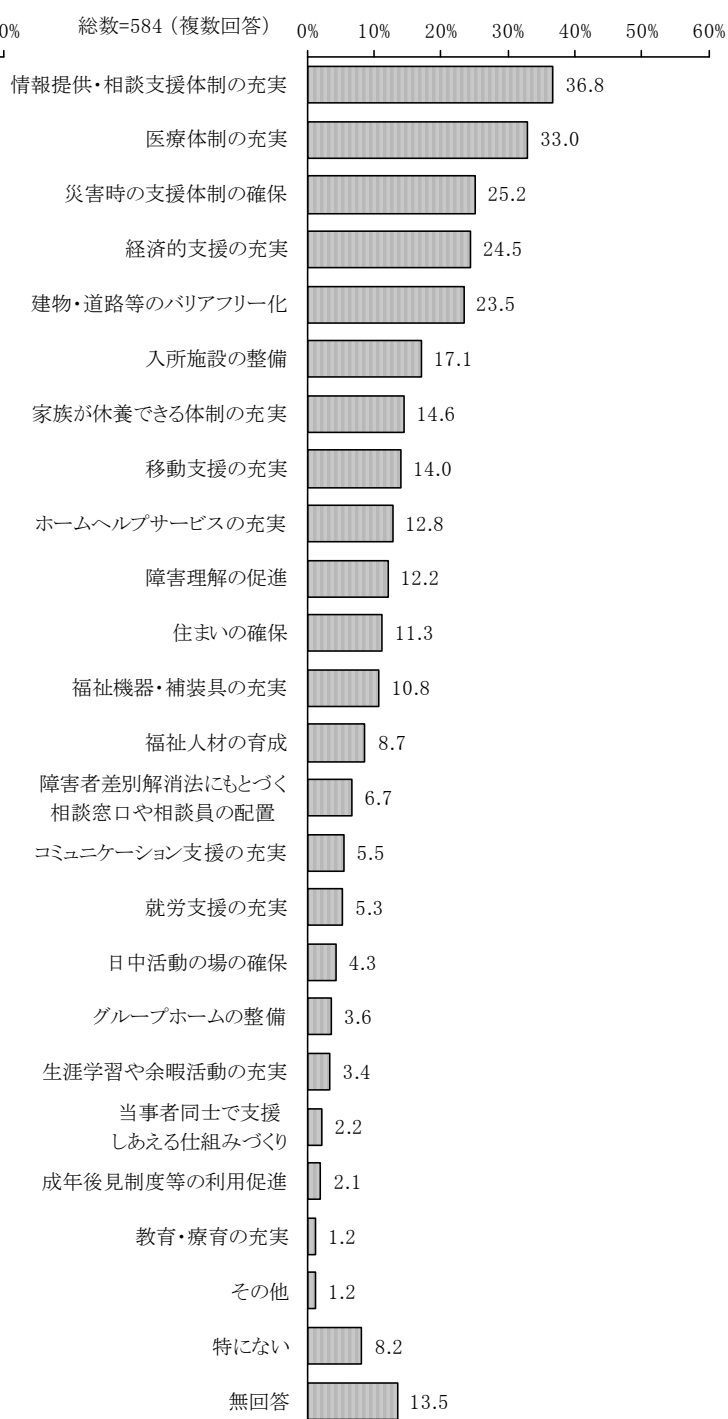
全体では、「情報提供・相談支援体制の充実」が 35.3%と最も多く、次いで「経済的支援の充実」が 29.8%、「医療体制の充実」が 28.4%、「災害時の支援体制の確保」が 22.3%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「就労支援の充実」が、精神障害では「経済的支援の充実」が最も多くなっています。身体障害では「医療体制の充実」がやや多くなっています。

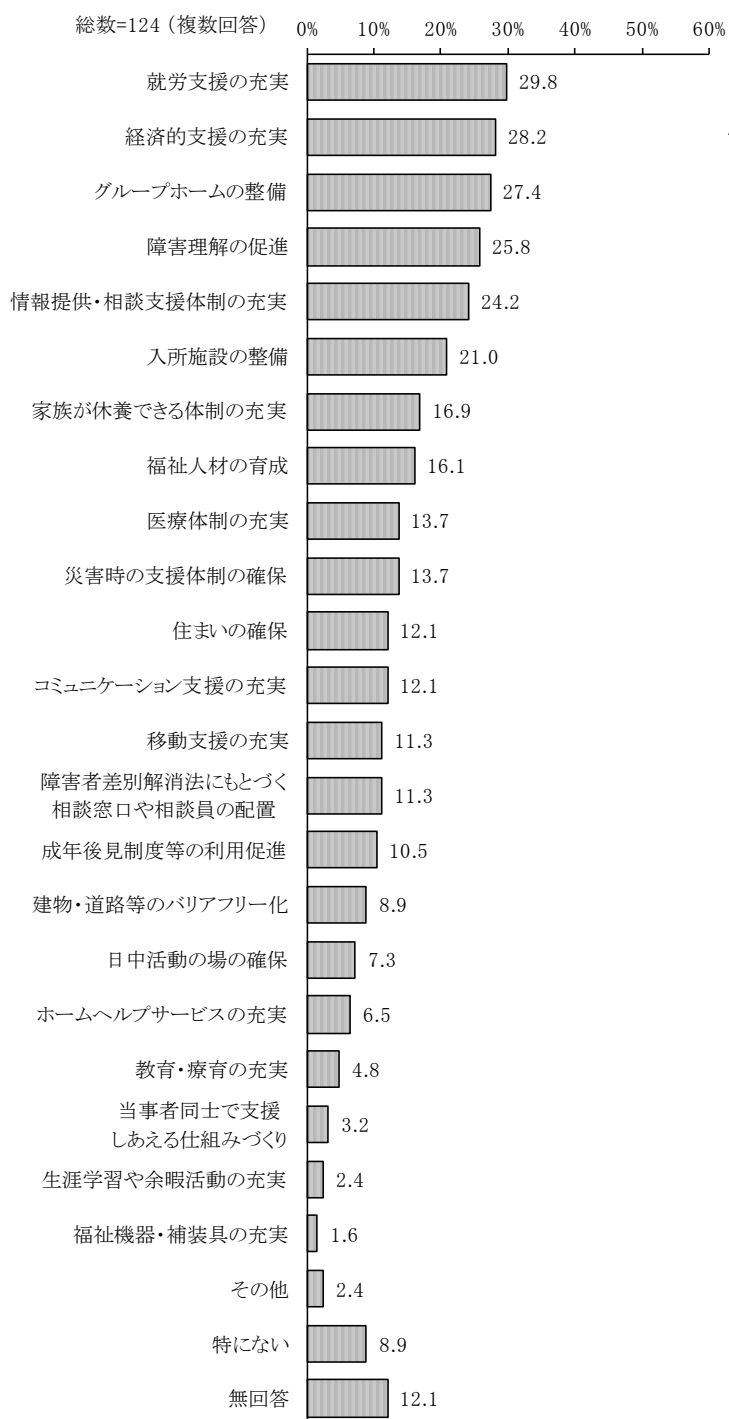
全体



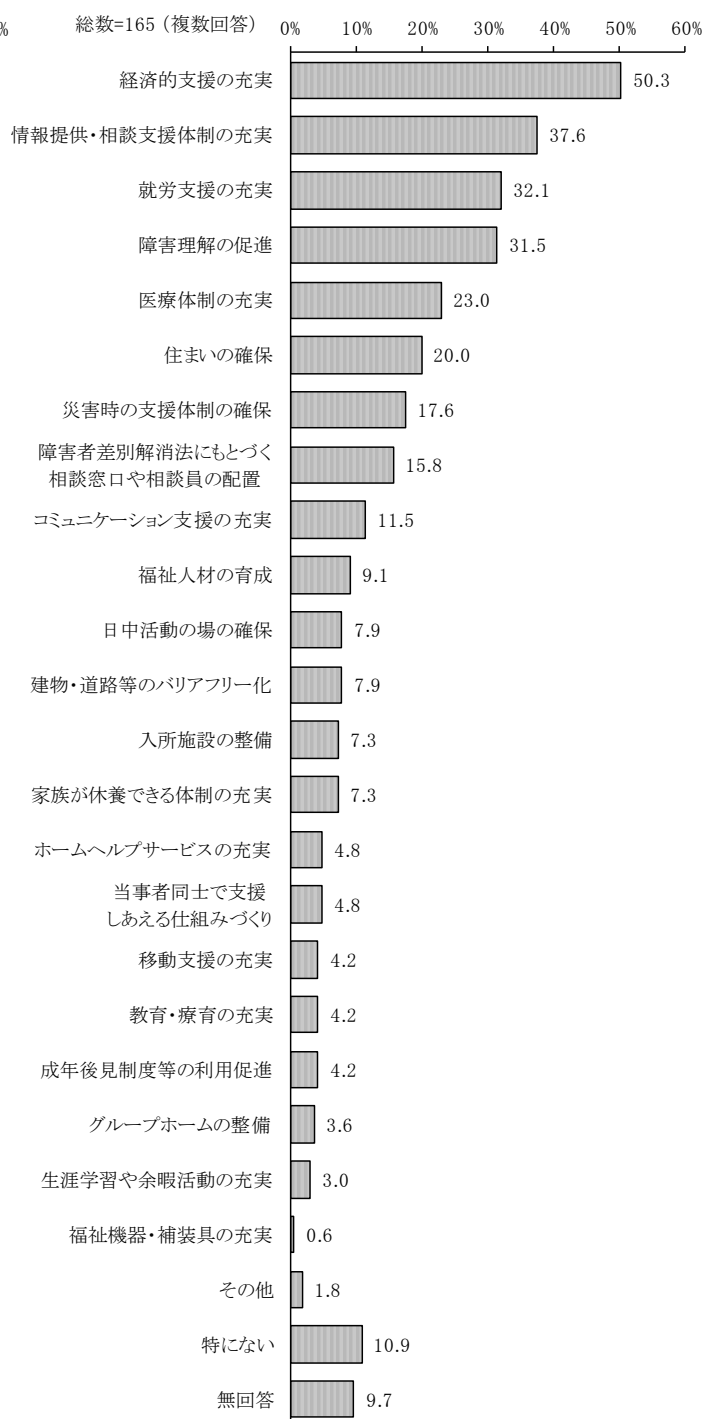
身体障害



知的障害



精神障害



身体障害の種類別に見ると、「情報提供・相談支援体制の充実」では視覚障害、聴覚・平衡機能障害が、「コミュニケーション支援の充実」「障害理解の促進」では聴覚・平衡機能障害が、「医療体制の充実」では内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）が、「建物・道路等のバリアフリー化」では肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）が多くなっています。

●重点的に行うべき施策（身体障害の種類別）

		全体	情報提供・相談支援体制の充実	医療体制の充実	ホームヘルプサービスの充実	グループホームの整備	入所施設の整備	就労支援の充実	日中活動の場の確保	住まいの確保	コミュニケーション支援の充実	移動支援の充実	福祉機器・補装具の充実	経済的支援の充実
	全体	584 100.0	215 36.8	193 33.0	75 12.8	21 3.6	100 17.1	31 5.3	25 4.3	66 11.3	32 5.5	82 14.0	63 10.8	143 24.5
身体障害の種類	視覚障害	37 100.0	20 54.1	10 27.0	6 16.2	2 5.4	6 16.2	3 8.1	2 5.4	3 8.1	2 5.4	7 18.9	4 10.8	8 21.6
	聴覚・平衡機能障害	41 100.0	26 63.4	13 31.7	8 19.5	3 7.3	8 19.5	2 4.9	1 2.4	6 14.6	12 29.3	2 4.9	8 19.5	7 17.1
	音声・言語・そしゃく機能障害	19 100.0	7 36.8	5 26.3	1 5.3	-	4 21.1	2 10.5	-	2 10.5	1 5.3	4 21.1	4 21.1	4 21.1
	肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）	312 100.0	113 36.2	91 29.2	44 14.1	16 5.1	62 19.9	11 3.5	17 5.4	32 10.3	14 4.5	59 18.9	35 11.2	76 24.4
	内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）	198 100.0	64 32.3	82 41.4	18 9.1	1 0.5	26 13.1	14 7.1	6 3.0	26 13.1	8 4.0	22 11.1	18 9.1	54 27.3
	無回答	14 100.0	3 21.4	3 21.4	1 7.1	-	2 14.3	1 7.1	-	-	-	1 7.1	-	2 14.3

		建物・道路等のバリアフリー化	教育・療育の充実	障害理解の促進	成年後見制度等の利用促進	生涯学習や余暇活動の充実	災害時の支援体制の確保	当事者同士で支援しあえる仕組みづくり	福祉人材の育成	家族が休養できる体制の充実	障害者差別解消法にもとづく相談窓口や相談員の配置	その他	特にない	無回答
	全体	137 23.5	7 1.2	71 12.2	12 2.1	20 3.4	147 25.2	13 2.2	51 8.7	85 14.6	39 6.7	7 1.2	48 8.2	79 13.5
身体障害の種類	視覚障害	9 24.3	1 2.7	4 10.8	1 2.7	-	14 37.8	3 8.1	3 8.1	10 27.0	3 8.1	1 2.7	1 2.7	5 13.5
	聴覚・平衡機能障害	5 12.2	-	15 36.6	2 4.9	1 2.4	13 31.7	-	7 17.1	6 14.6	10 24.4	-	4 9.9	2 4.9
	音声・言語・そしゃく機能障害	2 10.5	-	-	-	-	2 10.5	-	2 10.5	3 15.8	-	-	3 15.8	4 21.1
	肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）	101 32.4	4 1.3	35 11.2	6 1.9	17 5.4	92 29.5	7 2.2	27 8.7	45 14.4	18 5.8	6 1.9	20 6.4	34 10.9
	内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）	29 14.6	2 1.0	19 9.6	3 1.5	3 1.5	35 17.7	2 1.0	14 7.1	25 12.6	10 5.1	1 0.5	20 10.1	37 18.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	-	4 28.6	3 21.4

疾患や障害の有無別に見ると、「経済的支援の充実」では統合失調症、気分障害（うつ病・躁うつ病）、神経症が、「医療体制の充実」では慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）が、「就労支援の充実」では気分障害（うつ病・躁うつ病）、発達障害が多くなっています。

●重点的に行うべき施策（疾患や障害の有無別）

		全体	情報提供・相談支援体制の充実	医療体制の充実	ホームヘルプサービスの充実	グループホームの整備	入所施設の整備	就労支援の充実	日中活動の場の確保	住まいの確保	コミュニケーション支援の充実	移動支援の充実	福祉機器・補装具の充実	経済的支援の充実
	全体	860 100.0	304 35.3	244 28.4	89 10.3	57 6.6	131 15.2	119 13.8	45 5.2	112 13.0	64 7.4	101 11.7	64 7.4	256 29.8
疾患や障害の有無	難病	68 100.0	28 41.2	20 29.4	12 17.6	3 4.4	10 14.7	11 16.2	1 1.5	6 8.8	5 7.4	9 13.2	4 5.9	16 23.5
	慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）	198 100.0	68 34.3	82 41.4	26 13.1	4 2.0	34 17.2	12 6.1	8 4.0	28 14.1	8 4.0	34 17.2	21 10.6	68 34.3
	統合失調症	79 100.0	26 32.9	16 20.3	7 8.9	7 8.9	9 11.4	15 19.0	6 7.6	15 19.0	6 7.6	5 6.3	1 1.3	37 46.8
	気分障害（うつ病・躁うつ病）	80 100.0	30 37.5	18 22.5	8 10.0	2 2.5	3 3.8	32 40.0	6 7.5	20 25.0	7 8.8	1 1.3	2 2.5	40 50.0
	神経症	25 100.0	8 32.0	6 24.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	7 28.0	3 12.0	3 12.0	6 24.0	1 4.0	-	12 48.0
	依存症（アルコール・薬物等）	6 100.0	3 50.0	3 50.0	1 16.7	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-	3 50.0
	知的障害	113 100.0	33 29.2	17 15.0	7 6.2	33 29.2	24 21.2	35 31.0	10 8.8	13 11.5	13 11.5	14 12.4	2 1.8	32 28.3
	発達障害	59 100.0	19 32.2	10 16.9	4 6.8	12 20.3	8 13.6	21 35.6	9 15.3	11 18.6	7 11.9	5 8.5	-	20 33.9
	高次脳機能障害	26 100.0	7 26.9	6 23.1	1 3.8	2 7.7	8 30.8	5 19.2	2 7.7	3 11.5	-	5 19.2	2 7.7	8 30.8
	その他	96 100.0	37 38.5	29 30.2	14 14.6	6 6.3	14 14.6	12 12.5	4 4.2	10 10.4	5 5.2	13 13.5	9 9.4	26 27.1
	特にない	173 100.0	68 39.3	43 24.9	15 8.7	5 2.9	26 15.0	7 4.0	9 5.2	24 13.9	10 5.8	19 11.0	15 8.7	36 20.8
	無回答	98 100.0	30 30.6	28 28.6	8 8.2	3 3.1	14 14.3	6 6.1	4 4.1	8 8.2	11 11.2	11 11.2	14 14.3	18 18.4

		建物・道路等 バリアフリーの 整備	教育・療育の 充実	障害理解の 促進	成年後見制度 等の利用促進	生涯学習や余 暇活動の充実	災害時の支援 体制の確保	当事者同士で 支えあえる仕 組みづくり	福祉人材の育 成	家族が休養で きる体制の充 実	障害者差別解 消法に相 談員の配置	その他	特にな い	無回 答
	全体	160 18.6	21 2.4	152 17.7	31 3.6	28 3.3	192 22.3	26 3.0	86 10.0	115 13.4	78 9.1	13 1.5	76 8.8	109 12.7
疾患や障害の有無	難病	12 17.6	-	11 16.2	2 2.9	1 1.5	20 29.4	4 5.9	4 5.9	6 8.8	5 7.4	1 1.5	5 7.4	12 17.6
	慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）	43 21.7	1 0.5	28 14.1	4 2.0	5 2.5	50 25.3	7 3.5	22 11.1	35 17.7	12 6.1	3 1.5	10 5.1	28 14.1
	統合失調症	5 6.3	2 2.5	17 21.5	5 6.3	4 5.1	15 19.0	-	7 8.9	4 5.1	6 7.6	2 2.5	13 16.5	10 12.7
	気分障害（うつ病・躁うつ病）	6 7.5	3 3.8	28 35.0	1 1.3	1 1.3	14 17.5	4 5.0	6 7.5	6 7.5	11 13.8	3 3.8	5 6.3	9 11.3
	神経症	5 20.0	2 8.0	7 28.0	2 8.0	1 4.0	5 20.0	-	3 12.0	2 8.0	5 20.0	2 8.0	-	4 16.0
	依存症（アルコール・薬物等）	-	-	1 16.7	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-	3 50.0
	知的障害	9 8.0	4 3.5	28 24.8	11 9.7	3 2.7	17 15.0	4 3.5	23 20.4	18 15.9	13 11.5	3 2.7	8 7.1	13 11.5
	発達障害	3 5.1	5 8.5	13 22.0	6 10.2	4 6.8	12 20.3	2 3.4	10 16.9	13 22.0	11 18.6	2 3.4	4 6.8	4 6.8
	高次脳機能障害	5 19.2	-	7 26.9	-	1 3.8	6 23.1	1 3.8	4 15.4	7 26.9	3 11.5	2 7.7	-	4 15.4
	その他	19 19.8	1 1.0	16 16.7	4 4.2	-	29 30.2	1 1.0	11 11.5	14 14.6	10 10.4	3 3.1	6 6.3	14 14.6
	特にない	48 27.7	7 4.0	24 13.9	3 1.7	6 3.5	39 22.5	4 2.3	5 2.9	21 12.1	10 5.8	-	27 15.6	16 9.2
	無回答	19 19.4	1 1.0	11 11.2	4 4.1	8 8.2	25 25.5	4 4.1	13 13.3	13 13.3	11 11.2	1 1.0	4 4.1	17 17.3

(2) 自由意見

問 49 昭島市の障害者施策に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

「行政への意見・要望」が 81 件と最も多く、次いで「福祉サービス」が 65 件、「生活環境」が 28 件、「障害理解」が 25 件となっています。

回答の内容			件数	回答の内容			件数
1	行政への意見・要望		81	6	医療・健康		19
2	福祉サービス		65	7	災害対策		14
3	生活環境		28		将来の不安		14
4	障害理解		25	9	雇用・就労		12
5	経済的支援		23		その他		44
				総件数			220

※複数の内容を含む回答があるため、各分野の件数の合計は総件数を超えています。

●主な意見

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

①行政への意見・要望

意 見	障害の種類	性別・年齢
市役所でも障害福祉課の方はとても親切に接して下さいますが、他の方で対応して頂いた時、差別的な扱いを受けたことがあります。まずは役所の方からいろんな障害のある人がいるんだということを少しでも理解していただけたら嬉しいです。よろしくお願いします。	精神障害	女性 30 歳代
市役所が遠いので、もう少し近い場所での手帳の受け取りが出来るようにしてほしい。	精神障害	男性 30 歳代
自分から聞きに行かないとサービス等の制度や年金情報など教えてくれないので、そういった情報がわかるようにしてもらいたい。	肢体不自由 音声・言語・ そしゃく機能障害 知的障害	男性 50 歳代
市のホームページから障がい者等が受けられるサービスを紹介するナビゲーションシステムがあると良いと思います。具体的には、障がい者等が体の状態や、困っている事項を入力すると、受けられる適切なサービスが確認でき、そのサービスを受けるための手続きの方法を知ることが出来るシステムです。	内部障害	男性 50 歳代
役所での手続きをもっと分かりやすくしてほしい。平日の勤務のため、仕事を休んで手続きに行かなくてはならず、そのたびに賃金が減って困る。	精神障害	女性 60 歳代
障害者を支えている家族がいなくなり、一人になった時に障害者にあった市の十分な支援ができるような施策をしてほしい。身動きできない寝たきりの障害者、知的障害者が安心して暮らせるような施策や施設を考えてほしい。	聴覚・平衡 機能障害	女性 80 歳代

②福祉サービス

意 見	障害の種類	性別・年齢
色々なサービスがとてもありがたいのですが（移動支援）利用したくてもヘルパーさんが不足しています。希望してもその理由で外出が少なくなっています。ヘルパーさんが長く働くより良い環境を整えてほしいです。	知的障害	男性 20 歳代
昭島市内で利用できる福祉サービスが少なく困っています。短期入所もほとんどがないと言って良いと思います。遠い施設を探すしかないので緊急時など預けることができません。将来はグループホームなどに入れたくてもなかなか見つかりません。障害福祉に力を注いでください。	知的障害	男性 20 歳代
介助や支援ができなくなった時グループホームに入居させたいと思っています。家族が年金で生活する歳になりました。早急にグループホームの整備をお願いします。	知的障害	男性 30 歳代
ホームヘルパーが足りていないので増やした方が良いと思います。ヘルパーに来てもらうためのモニタリングの頻度が半年から 3 か月に変わったのが困る。何度も人が来ると緊張してしまってとても疲れる。精神障害についての理解がまだ薄いと思います。	精神障害	女性 30 歳代
利用しているサービスにはとても素晴らしいものがあるのに、知られていないケースが多いと感じる。情報提供をもっと行ってほしいと感じる。	精神障害	男性 40 歳代

③生活環境

意 見	障害の種類	性別・年齢
駅の階段の手すりが両端にしかないのが困ります。階段の真ん中にも設置していただければ階段が利用しやすくなります。また、階段の踏面の面積も少しでも広ければ安心できます（階段降りる際に転げ落ちた経験があります）。	肢体不自由	男性 30 歳代
建物、道路のバリアフリー化を特にお願いいたします。ほんのわずかな段差、歩道の傾斜は歩行を困難にすると共に転倒にも起因します。市内を走行する民間のバスは安全運転と障がい者には特に配慮願いたい。目の前でドアを閉め、走り去られたことがあります。	肢体不自由	女性 70 歳代
歩行者の安全性の充実。障害者や老人の皆さんが散歩できる施設（公園、安全、安心な歩行ができる）を整備してほしい（車と人間の分離安全が確保されていない道路が多すぎる）。	内部障害	女性 70 歳代
駅に行く、スーパーに行くなどの交通手段が確保されていないので整備して欲しい。	肢体不自由	女性 70 歳代

④障害理解

意 見	障害の種類	性別・年齢
障害者にも健常者にはない良いところがあることを広めて欲しい。	精神障害	男性 30 歳代
見た目は障害者とは思われないことも多く、ヘルプマークをつけていてもほとんど無視されます。何とかならないでしょうか。	精神障害	男性 50 歳代
買物に行ったときに駐車場に車いす用駐車場に健常者の方が利用している様子をよく見ます。できれば、利用方法を考えていただければと思います。	身体障害 (種類無回答)	女性 60 歳代

電車で病院に行くとき立っているのが大変なのですが、優先席に元気な様子の方が座っていることがたまにあります。私の困っている様子を見て、遠い席から呼んでくださる方もいらっしゃいます。車内放送もありますが、これが今一番困っていることです。	内部障害	男性 70 歳代
--	------	-------------

⑤経済的支援

意 見	障害の種類	性別・年齢
収入に関係なく年金支給してほしい。	知的障害	男性 30 歳代
障害のある人が優先的に生活保護が受けられるようにしてほしい。家族がいなくなったときの経済面が一番心配。経済的支援の相談をする窓口を本当に作ってほしい。	精神障害	女性 40 歳代
体調の変化に伴い、仕事が出来なくなった時に金銭的に苦しくなってしまうので、支援の拡充を期待しています。	肢体不自由	男性 50 歳代
国としての体制なのでしょうが、65 歳で障がい福祉手当が終わりになるのは？ 続けていただけることは出来ないのですか？	内部障害	女性 60 歳代

⑥医療・健康

意 見	障害の種類	性別・年齢
複数の医療機関の予約や連携などの相談に乗って欲しい。	精神障害	女性 50 歳代
3 年前に足がもつれて家の中での杖、外回りも杖と寝たきりになる所でした。現在のリハビリセンターで懸命にリハビリをしている。おかげさまで杖もいらなくなりました。	肢体不自由	女性 80 歳代
現在は歩行困難のため外出は困難です。その他耳が不自由のため外出、電話などができない。その適切な対応があるか？	肢体不自由	男性 90 歳代

⑦災害対策

意 見	障害の種類	性別・年齢
災害時の避難場所の整備（障がい者トイレ、入浴施設、休憩所のベッドの確保）がないと重度障害者は避難できない。その間に移動する手段が決められ提供されないと意味がない。	肢体不自由	男性 40 歳代
災害時の支援体制について、具体的に広報してください。一般の方々と同じ避難行動は取れませんので、障がい者、体の不自由な人が避難したときの不安が多く、自宅から出ないと思います。具体的に障がい者にはこのような場所があることなど広報してください。	視覚障害 音声・言語・ そしゃく機能障害 肢体不自由	男性 70 歳代
私は独り住まいです。万一の大きな災害時にはどのようにしたら良いかわからない。	内部障害	男性 70 歳代

⑧将来の不安

意 見	障害の種類	性別・年齢
親がいなくなった後が心配。ヘルパーの充実。入所施設等の充実が必要だと思います。	知的障害	男性 40 歳代

障害のある子どもを残してこの世を去ることが一番の心配事です。出来れば両親が元気な時に施設入所してほしいと思っています。施設になれば安心してできます。市も財政が厳しいと思いますので、土地の提供者、資金援助者などに働きかけ、市に一つでも入所施設があればと願っています。	知的障害	男性 40 歳代
親亡き後の生活の場として安心して預けられる施設（入所）を作っていただきたく希望します。	知的障害	女性 50 歳代

⑨雇用・就労

意 見	障害の種類	性別・年齢
昭島市職員としての障がい者採用を積極的に行ってください。	精神障害	男性 30 歳代
普段の生活はほぼ不自由なく暮らしているけれど、仕事を探すとき、障害者雇用の枠というのに少しジレンマを感じる。	精神障害	女性 40 歳代
高齢者、障がい者への一般企業への就労の積極的支援。公的場所への就労。	精神障害	男性 50 歳代

⑩その他

意 見	障害の種類	性別・年齢
障害があっても自立して、社会の一員としてしっかり生きていきたいです。	精神障害	女性 30 歳代
知的障害の人は思っていることを言葉が不自由（理解力がない）だったりしてうまく伝えられません。外出中にトラブルがあった場合、親兄弟以外でその場に行き、話してみて、他の人に代わって話をしてくれるような人がいたら良いと思います（同じ障害を持つ親や兄弟の方がボランティアなどをしてくだされば良いかなと思います）。	知的障害	男性 40 歳代
現在自治会に入っております。色々な行事そのものには参加できませんが、会費を納めるだけでも一助になるかと存じます。また、日常生活にも気をつけていただけることなど感謝しております。市の障害者施策も自治会に広めてください。	肢体不自由	女性 80 歳代
子ども食堂のような老人食堂がほしい。	肢体不自由	女性 80 歳代